

14. 2口-315



1200501168218

14.2_口
315

和服
和服
和服



始



第十卷

小間物化症品集

集賢堂

肌のアレ止め・日ヤケ止め・化粧下として

クラブ美身クリーム



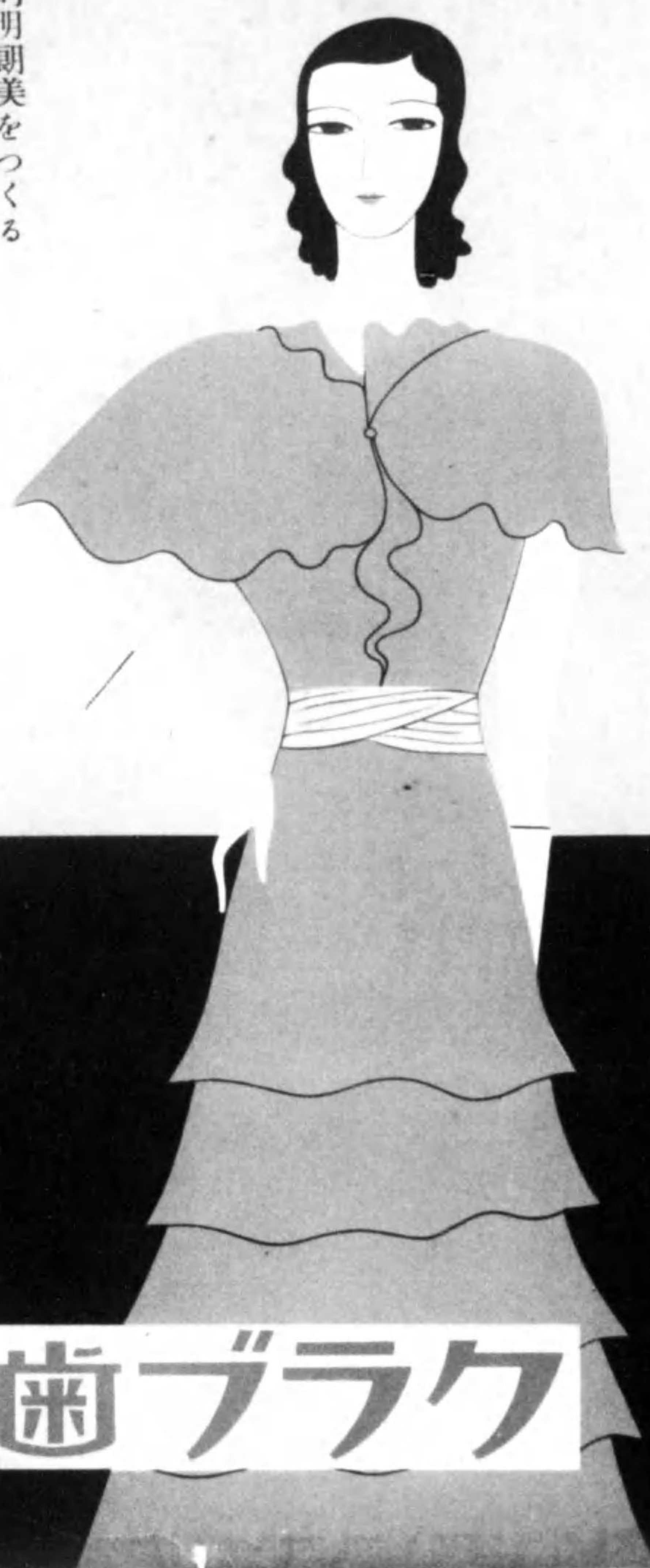
常に化粧品界の
最前線に立つ……

クラブ乳液・美の素石鹼
コールドクリーム・刷白粉
頬紅・口紅・ボマード
クラブキニーネから……
新しい時代の化粧と
流行の美が生れます



近代的明朗美をつくる

クラブは き白粉



ブラク磨歯



昭和十年

小間物化粧品鑑

附藥品・雜貨

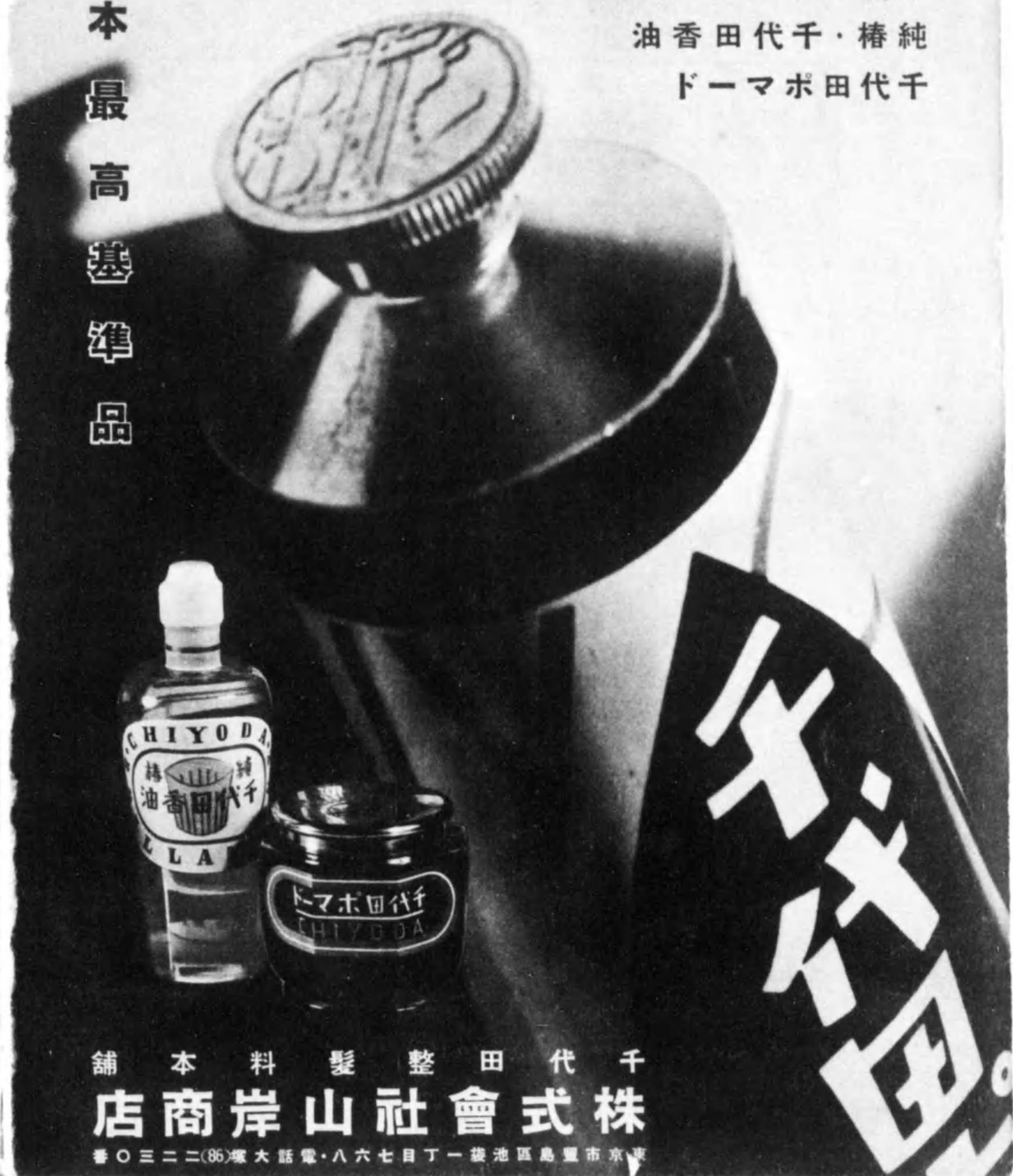


發行所寄贈本

連鎖整髮料·千代田

日本最高基準品

千代田ヤシブ
千代田ニットク
純椿千代田香油
千代田ポマド



千代田整髮料本舖
株式會社山岸商店

東京市豊島區池袋一丁目七八六·電話(86)二二三〇番

14.20-315

序

近代産業の線上に重要部門を占め、居然たるその勢力とともに、業界日本^のの建設に邁進しつゝあるわが小間物化粧品業界は、近代機構を取りてより既に半世紀の歴史を有するにも拘らず、文献の以て倚る可きもの寔に寥寥。爲めにその複雑多岐なる生産、販賣戦線の姿を明確に把握することの容易ならざるは、業界人の久しく遺憾とした處であつた。

機關新聞としての使命を業界に擔ふわが社は、多年その缺を補はむが爲めに、慘澹たる苦心をひそめ、具さにその計畫を進めつゝある中、昨年漸くその機會を得て實現を見るに至つたのは、即ち此の年鑑である。年鑑の目的とする處は、言ふまでもなく、明確鮮明なる業界の縮圖として、業界人をして業界の過去に稽へ、現有勢力に則らしめ、以て市場の活躍に備へしめむとするにある。然かも是れを編むことの至難なる、固より一朝一夕にしてよくす可きの業ではない。

今年版は、悉くその内容を改め、その材料を新にして更らに加ふるに領域を藥品、雜貨に擴め、正にその一步を進め得たるを信ずるも、尙未だ業界の期待に副はざる處多かる可きを慮る。切に今後に於ける業界の協力後援に待つてその完成を期せむとする所以である。

昭和十年一月二日

東京小間物化粧品商報社

緒言

一、昭和十年版の業界年鑑は、その題名を改め「小間物化粧品年鑑」と稱することにした。

一、十年版年鑑の内容は、悉く新規に材料を蒐集したるものにして、前年版より踏襲したものは、たゞ單に法令法規中の一部、及び圖書々式の類のみ、他は一切、新らしく調査を仕直したるのみである。

一、十年版年鑑の體系は、昨年分とその機構を同じうするも、今年からは新たに「藥品・藥業」「荒物・雜貨」の二部門を加へ、都合左の十五項目とした。

業界一年史 組合團體 商品商店
生産 販賣 廣告宣傳 海外業界
博覽會展覽會 清遊視察 服飾流行
法規法令 資料統計 人事人物
藥品藥業 荒物雜貨 業界便覽

一、各部門の配列は必ずしも、前年の通りではなく、またその部門中からも他の部門へ移したるものもある。例へば

「出張員一覽」は「人事人物」から「商品商店」へ

「會議所議員一覽」は「人事人物」から「組合團體」へ

「昭和九年特賣一覽」は「清遊旅行」から「生産販賣」へ

以上の如くである。尙「商品史」中の「荒物・雜貨・蕪香界」に關する分は、新たに設けた「荒物雜貨」の部へ移した。然し「業界諸團體」中に於ける荒物關係團體だけを一體にしてこれも「荒物雜貨」中へ移す可きであつたにも拘らず、これは分割し得なかつた。

一、今年新たに設けたものとしては、「全國組合一年史」がある。これは簡單ながら各地組合に對してその報告を求めたものである。それから「業界の生産販賣制度」「海外進出地圖」「全國旅館案内」その他がある。前年にあつて今年これを採用しなかつたもの主なるは如左。

- 「統計值段一覽」
- 「實業部外品取締規則各府縣施行細則」
- 「營業收稅」以下の各稅法
- 一、全國各地に於ける業界組合、商報社、商工會議所、府縣衛生課、各個人商店等々に、照會を發してその回答を求めたるは左の通りである。その調査の方法及び基準。
- A、業界職員録
- B、六大都市の著名同業店に照會してその報告を求む
- B、業界人名辭典
- 全國主要都市の業界有力者、全商店の重役、支配人、部長、東京組合員、各地商報主幹、幹部社員等五千名に對して照會した。尙、昨年登載したると雖も、今年の新規照會に對して回答なきものは掲載しない。
- C、工場一覽
- 全國著名の製造本舖及び東京組合員、但、今年は職工使用數十名以上の工場に制限した。
- D、出張員一覽
- 東京組合員中の一節。
- E、全國組合一覽
- 全國の各組合に直接照會を發するの外、各都市の商工會議所及び人口一萬以上の町役場に依頼して調査した。
- F、全國商業組合一覽
- 商工省の調査に據る。
- G、業界の諸團體
- 全國各地の組合及び商報社に委嘱して調査したる

ものみ基準とした。

一、實業部外品は、警視廳及び他の五大都市の各府縣警察部に依頼するの外、直接同業者へ照會したる處、部外品に非ざる「化粧品」を報告されたるものも尠ならず、その整理に多大の困難を感じたるも、かくする外にこの調査の方法は見出せなかつた。

一、印刷の工程上、相變らず苦心を要したものは統計表の組方である。随つてその入れ方の爲めに體裁を壞した處も尠くあるまい。

一、藥品藥業及び「荒物雜貨」の部門は、今年初めて設置したものであるだけに、調査甚しく杜撰を極めたると、且つその爲めに多くの頁を割くことが出来なかつた爲め、勞ひその不完全を免かれなかつたことは慚愧に堪へない。

一、編纂上、昨年と全然その方針を一變したのは、人名、團體等の配列の基準である。これは昨年版には「いろは」別としたが、今後は「五十音順」を採用することにその原則を定め、尙、府縣の順序も、内務省慣用の行政区劃順に據らずして地理的標準に據ることに一定した。

一、調査期日の明記を要するものは、それらの項目に於いて明示してあるから、こゝには一々列挙しない。

一、業界職員録「業界人名辭典」等々の期日に遅れた回答は、追補としてその末尾に附することにした。

一、編纂部からの照會及び調査依頼等に對してその回答を寄せ、資料を與へられたる多數の業界人及び業界の組合諸團體、商報社、並びに業界外に於ける内務省、商工省、大藏省、特許局、統計局、東京府市商工課、商工獎勵館、警視廳、各府縣衛生係、東京及び各地商工會議所、實業組合聯合會、東京日日新聞社、商店界社等々の其大なる援助に對しては厚く感謝の意を表する。

小間物化粧品年鑑目次

序

緒言

業界一年史

- 昭和九年の業界回顧……………一
- 同業組合の全国的強化運動……………二
- 東京卸商業組合の解消問題……………三
- 解消後の新團體……………四
- 商標擁護運動……………五
- 石鹼界の問題……………六
- 風水禍の問題……………七
- 三組合の聲明……………八
- 化粧品課税問題……………九
- 貴石關稅問題……………九
- 鉛白禁止問題……………一〇
- 滿洲關稅問題……………一〇
- 滿鐵運賃問題……………一一
- 組合・團體……………一二
- 全國業界の島嶼圖……………一三
- 全國組合の沿革現勢……………一四
- 商業組合及工業組合府縣別一覽……………一七
- 昭和九年中設立の新しき團體……………一八
- 業界の諸團體……………二二
- 全國會議所議員一覽……………二三
- 全國業界組合一覽……………二三
- 組合役員選舉……………二三
- 組合中心の諸問題……………二四
- 業界關係全國商業組合一覽……………二五

日 次

商品・商店

- 昭和九年業界商品史……………三七
- 化粧品石鹼界の趨勢……………三六
- 多難の洗濯石鹼界……………三六
- 白粉の趨勢……………三九
- 齒齋界の一年……………四〇
- クリーム界の回顧1……………六一
- クリーム界の回顧2……………六一
- ボマードの一年……………六三
- 香水の傾向……………六四
- 昭和九年の香油界……………六五
- 化粧水の傾向……………六五
- シヤンプーの發達……………六六
- 香料界の一年……………六七
- 婦人服飾品の傾向……………六八
- 婦人頭飾品の一年……………六九
- 貴金屬・裝身具……………六九
- 洋裝雜貨の流行……………七〇
- 袋物界の回顧……………七一
- 平穩な箱形界……………七二
- セロロイドの趨勢……………七三
- 化粧品原料界……………七三
- 昭和九年特賣一覽……………七四
- 昭和九年新製品一覽……………七五
- 地方出張員一覽……………七五
- 値段改正一覽……………七九

生産・販賣

- 昭和九年の生産販賣界……………七九
- 業界の機構解説……………八〇
- 業界の販賣制度……………八〇
- 化粧品小間物製造及販賣高(重要項目)……………八七
- 化粧品製造及販賣高(重要項目)……………八七
- 石鹼製造數量及價格(重要項目)……………八九
- 昭和七年ゴム製品生産販賣高(重要項目)……………九九
- 鉛白の販賣一年延期……………一〇〇
- 東京市の業界品販賣線展覧……………一〇一
- 帝都市場の一年……………一〇一
- 昭和九年度中販賣制度改正……………一〇二
- 昭和九年度中販賣制度改正……………一〇三
- 海外貿易・海外業界……………一〇五
- 業界日本の海外進出……………一〇六
- 歐米の業界大觀……………一〇六
- 歐米の香粧品界……………一〇六
- 海外主要商工會議所一覽……………一〇六
- 世界の香粧品界……………一〇六
- 世界の石鹼工業……………一〇六
- 世界のゴム工業……………一〇六
- 米國清淨協會のアットライン……………一〇六
- 世界のセロロイド工業……………一〇六
- 海外各地からの本邦品取引照會……………一〇六
- 羅尼亞への業界輸出品許可制度……………一〇六

五

ライオン社の見本市の反響……………二四
 主要業界貿易別表……………二五
 業界品輸入年表……………二六
 海外取引案内……………二六
 業界品輸入月表……………二八
 米國に於ける化粧品消費量……………二八
 粉白粉消費量……………二九
 クリーム消費量……………二九
 薬店の化粧品販賣高……………二九
 化粧品の雑誌廣告費……………三〇
 米國化粧品會社新聞廣告費統計……………三〇
 クイム及びローション雑誌廣告費……………三〇
 世界に於ける有名化粧品及香料製造會社一覽……………三一
 各國對日貿易狀勢……………三一
 各國石鹼統計表……………三二
 各國石鹼生產高及消費高……………三二
 外國洗濯石鹼分析表……………三三
 外國雜誌一覽……………三三
 本邦石鹼輸出高表……………三三
 蚊取線香燭寸輸出高……………三三
 海外業界組合……………三三
 海外商品陳列館一覽……………三三
 商工省貿易通信員アドレス一覽……………三三
 外國行小間物化粧品運賃表……………三三
 燭寸の對米輸出……………三三
 中華民國業界品輸入稅率……………三三
 重要輸出品に石鹼指定……………三三
 海外輸出品取扱回漕店一覽……………三三
 日本船の寄港する世界重要港……………三三
 滿洲の頁……………三三
 滿洲の全貌……………三三
 滿洲國業界品輸入稅率……………三三
 滿洲の產業界一瞥……………三三
 滿洲に於ける東京商品……………三三

滿洲の業界……………二六
 北滿の業界……………二六
 滿洲人の嗜好……………二六
 滿洲國主要國別輸出入額……………二六
 滿洲に於ける宣傳の種々相……………二六
 滿洲の小間物化粧品藥種雜貨商……………二六
 東京業界品對滿輸出高……………二六
 滿洲輸入組合……………二六
 滿蒙輸出組合に關する資料……………二六
 東京滿蒙輸出組合員……………二六
 滿洲の貿易商……………二六
 滿洲華商……………二六
 關東州輸入業界品數量及價額國別表……………二六
 哈爾濱商會陳列館一覽……………二六
 日滿電報の料金改正……………二六
 關東州滿鐵附屬地主要邑人口一覽表……………二六
 滿洲商標各國登錄數……………二六
 見本市の回顧……………二六
 博覽會に現はれたる業界品發達の跡……………二六
 昭和九年の博覽會展覽會及見本市……………二六
 博覽會一覽……………二六
 國際見本市覺書……………二六
 博覽會ニュース……………二六

B 販賣店に對する廣告宣傳……………二六
 業界關係廣告團體……………二六
 昭和九年中業界品新聞廣告品種別行數表……………二六
 マネキン發達史……………二六
 懸賞又は景品附販賣の方法……………二六
 業界の著作・出版……………二六
 廣告及販賣研究の參考書……………二六
 宣傳廣告日記……………二六
 廣告用品材料店……………二六
 廣告物販賣法施行細則……………二六
 視察・清遊・旅行……………二六
 業界清遊の傾向……………二六
 清遊地方別表……………二六
 日本風景案内……………二六
 全國清遊地旅館案内……………二六
 團體の清遊視察……………二六
 清遊觀劇一覽……………二六
 旅行の相談……………二六
 美容・服飾・流行……………二六
 昭和九年の流行界回顧……………二六
 昭和九年の美容を語る……………二六
 美容界の問題……………二六
 美容界の一年……………二六
 東京女子美容術組合一覽……………二六
 東都美容家一覽……………二六
 資料・統計……………二六
 業界品の歴史……………二六
 各業界品の工業的觀察……………二六
 世界各國の貿易調節施設……………二六
 石鹼の規格統一案成る……………二六
 特許出願登錄月計表……………二六

商標出願登錄月計表……………二六
 實用新案出願登錄月計表……………二六
 意匠出願登錄月計表……………二六
 特許各府縣別出願登錄月計表……………二六
 商標各府縣別出願登錄月計表……………二六
 實用新案府縣別出願登錄月計表……………二六
 意匠並類似意匠各府縣別出願登錄月計表……………二六

藥品關係業者系統一覽……………二六
 小賣藥業界の現狀……………二六
 東京・賣藥關係組合……………二六
 大阪・賣藥關係組合……………二六
 藥業關係・團體一覽……………二六
 各府縣藥劑師會……………二六
 東京藥業組合役員一覽……………二六
 藥品關係・官廳系統……………二六
 藥業關係新聞社一覽……………二六
 全國藥業者統計……………二六
 藥品生產統計表……………二六
 英國對日藥品類輸出入額……………二六
 東京藥業組合價格協定品目……………二六
 藥劑師登錄件數……………二六
 東京府下學校藥劑師數……………二六
 藥業關係諸書式……………二六
 藥品標準用語……………二六
 藥業問屋界の市場勢力……………二六
 賣藥請買關係案内……………二六
 產業別人口……………二六
 化粧品宣傳文用語注意……………二六

荒物業界の組合及團體……………二六
 荒物業の諸團體……………二六
 景氣から見た九年の荒物業……………二六
 荒物業一覽……………二六
 燭寸生産統計……………二六
 業界便覽……………二六
 業界關係の圖書々式……………二六
 商標登錄出願心得……………二六
 商品見本託送上の注意……………二六
 愛用者懸賞外面の郵稅……………二六
 內國郵便……………二六
 郵便爲替……………二六
 電信・電話……………二六
 旅客航空檢送賃金……………二六
 鐵道案内……………二六
 東京小間物化粧品商報社案内……………二六

法規・法令……………二六
 重要物產同業組合法……………二六
 重要物產同業組合法施行規則……………二六
 重要物產同業組合法第十條の四第三項の規定に依る重要輸出品の種類……………二六
 重要物產同業組合及同聯合會の取扱に關する件……………二六
 同業組合準則……………二六
 賣藥部外品販賣規則……………二六
 賣藥部外品販賣規則各府縣別の施行細則……………二六
 化粧品販賣規則……………二六
 懸賞抽籤附販賣取捨法規……………二六
 毒物劇物營業取締規則……………二六
 御肖像に關する取締……………二六

人事・人物……………二六
 業界職員錄……………二六
 業界人名辭典……………二六
 業界公人私人……………二六
 業界日記……………二六

藥業・藥品……………二六
 藥業界の領域擴大……………二六
 費藥の變遷史……………二六
 藥業界の諸問題……………二六
 藥品貿易の現勢……………二六
 藥業界の一年……………二六

荒物・雜貨……………二六
 荒物業の現勢……………二六
 荒物業界の取引制度……………二六
 荒物業關係本舖一覽……………二六

藥業・藥品……………二六
 藥業界の領域擴大……………二六
 費藥の變遷史……………二六
 藥業界の諸問題……………二六
 藥品貿易の現勢……………二六
 藥業界の一年……………二六

藥業・藥品……………二六
 藥業界の領域擴大……………二六
 費藥の變遷史……………二六
 藥業界の諸問題……………二六
 藥品貿易の現勢……………二六
 藥業界の一年……………二六

小間物化粧品
年鑑廣告索引

(昭和十年版)

特 殊

レイト化粧品 表見返し
クラフ化粧品 表見返し
ウテナ化粧品 表見返し
千代田蒸染料 表見返し

グラビア面

頭飾品製身具貨卸商
ライオン商會
御園化粧品
花王石鹼
庄慶香油
オリヂナル化粧品
石鹼製造
アモンパ
ミツワ石鹼・サワ白粉
ミツワ家庭薬
アデカ石鹼
墨染ゴマード
ヘチマコン
ライオン石鹼
モンコロ洗粉
ビタオールゴマード
井筒美髪料
ランクスクリューム
ループ化粧品
香料
メヌマゴマード
中外化粧品卸商
オシドリ梅香油
柳屋ゴマード
月の友五百香水

カガシ化粧品
千歳元結・三結香
ベジリン香水
香水
明色美顔化粧品
ホマレ石鹼
ゴサマーヘヤネット
船来かすがいかう
ニード洗粉
金鶴石鹼
化粧品問屋
玉かちらす
化粧品の製造
ラプミー化粧品
内外化粧品問屋
イワシヤンブ
アイデアル化粧品
鶴之卵石鹼
婦人小間物製身具卸商
さんやなぎ洗粉
調カツビー・クル化粧品
化粧品問屋
モダンシヤンブ
小間物化粧品問屋
婦人小間物問屋
コロルドリアン

カガシ化粧品本舖
三勇商店
小川商店
リール商會
永廣堂
桃谷順天館
福島東洋館
ゴサマー本舖
ヤマキ商會
小椋商會
田中善株式會社
鶴屋商店
松井號支店
三好梅壽堂
山田屋化粧品製造所
奥住商店
桑原花生堂
岩谷商會
高橋東洋堂
浅井石鹼店
万新商店
平松商會
田端豐香園
釜屋商店
萬原工業所
森本支店
會田政治商店
河合生堂
資生堂化粧品

忠勇ハブラシ
セルロイド問屋
鶴之卵ゴマード
化粧品石鹼問屋
ドン白粉
ラノリンコールドクリーム
化粧品原料
正清齒刷小楊枝
小柳スマート製洗粉
理容館化粧品
シャイン化粧品
カイロ印ホワイトオイル
タマゴシヤンブ
小町紅コンバクト
半煉の仁丹
仁丹商會
龜の子東子
荒物海草乾物問屋
石鹼化粧品問屋
スチルマンフレックタル
石鹼製器製造
荒物問屋
數島香
セルロイド製貨問屋
カンフオレイト
ウツマキ石鹼
百万弗シヤンブ
婚服用頭飾品製造
伊豆椿ゴマード
かのこ、手柄卸商
マ・クリューム
石鹼製器製造
丸善ベークラム
オチナイ糖

井阪支店
三浦膏治商店
高野膏治商店
大山勇次郎商店
磯野化學研究所
クレーオ研究所
寺内喜榮堂
柳佐吉商店
長谷川藤太郎商店
理容館
三友商會
石塚福治商店
早川市太郎商店
同本舖
美香園
羽根田作兵衛商店
森下博品店
同
西尾正左衛門商店
駒木銀三郎商店
藤田盛興堂
河田商店
井上小四郎本店
啓芳堂
津川安正堂
荻村龜太郎商店
飯塚芳太郎商店
近藤商店
木下商店
時田商店頭飾部
大觀彩芳園
松尾商會
守屋合名會社
丸善株式會社
オチナイ糖本舖

頭飾品製身具貨卸商
ライオン商會
御園化粧品
花王石鹼
庄慶香油
オリヂナル化粧品
石鹼製造
アモンパ
ミツワ石鹼・サワ白粉
ミツワ家庭薬
アデカ石鹼
墨染ゴマード
ヘチマコン
ライオン石鹼
モンコロ洗粉
ビタオールゴマード
井筒美髪料
ランクスクリューム
ループ化粧品
香料
メヌマゴマード
中外化粧品卸商
オシドリ梅香油
柳屋ゴマード
月の友五百香水

頭飾品製身具製造
ユニオン香水
メトロン月経帶
レツタルベーパー
たばこや石鹼
各種化粧品原料
頭飾品小間物卸商
ハリウッド化粧品
麗人白粉
ビエロ印針サシ
わかもとゴマード
ケンシゴマード
アール香料
化粧品雜貨問屋
同
マイスキ
香料
あづま卯甲
荒友會
ライトインキ
手藝材料卸商
化粧品石鹼問屋
荒物問屋
セルロイド小間物問屋
化粧品雜貨問屋
東京火災保險株式會社
レモン石鹼
君ゴ
半襟手拭
化粧品雜貨問屋
針問屋
鏡問屋
線香製問屋
頭飾品製造
ホシトク香油
セルロイド頭飾品卸商
かのこ、リボン卸商

丸竹兄弟商店
ユニオン商店
テレーシ商會
山田進歩堂
三共株式會社
松本伊兵衛商店
白澤商店
ハリウッド美容室
三原助九郎商店
萬善商店
早川定雄商店
佐藤精香會
遠藤香料店
畑中庄九郎商店
堺屋商店
三美研究所
小林安太郎商店
今井商店
藤崎インキ
關口次郎商店
上州屋商店
中村本店
木野喜之助商店
式子花香堂
金美堂本店
成和商會
山吉商店
眞田佳一商店
池田鶴一商店
石井啓三郎商店
村山勳商店
小森敬三商店
柳澤恒吉商店
星德藏商店
鈴木清一郎商店
三浦啓司商店

オリヤマ化粧品
あせ知らず
かめぶし
久能木石鹼
化粧品問屋
パルナス洋美品の
金鶴香水
小間物雜貨卸
線香問屋
カリリングアイロン
タカト製洗粉
丈長根掛
握り止掛
齒刷子雜貨卸
レツタルベーパー
喫煙具一式
金壽小間物
洋製袂製造
織物製造
化粧品製造
化粧品製造
ラモナー化粧品
香料
セイラン化粧品
化粧品雜貨問屋
石鹼化粧品問屋
新ダイヤ模造寶石
ベルダムバンド
和洋結髪用品
オモダカ化粧品
カワウ化粧品
ニツケル容器
菊水製洗粉
木桶
ビクトリヤ月経帶

河合照香堂
徳田商店
沙見商店
久能木本店
小林慶次郎商店
塚田合名會社
ヤマキ商會
金鶴香水株式會社
中津屋本店
中造玉切堂
鈴木アイロン製作所
中澤共盛堂
アサ啓商店
森末商店
徳水保之助商店
堀田印刷所
金井五郎兵衛
風間商店
伊庭商店
橋原市太郎商店
林儀次商店
カオリーメセ
ラモナー美粧園
高砂香料株式會社
尾崎精蘭園
高橋謙治商店
井田松太郎商店
近藤善彦商店
林三郎商店
丸治商店
朝井清輔商店
宮佐商店
川原香油店
今西敷治商店
洗光堂
十三屋商店
橋本硝子製作所
大和ゴム製作所

磨齒ノオイラ

の外に、洗煉された技術の玄妙を要するは申す迄も御座いませぬ。刻苦精勵三十有餘年に亘る體驗から得た弊社獨得の技術は、其製品の上に、絶えず顯著なる創造性と潑刺たる清新味とを漂はして、常に江湖の御賞讃を博し、搖ぎなき最優秀品たる光榮を荷ひ續けてをります。

理想的齒磨の製出には、純良なる原料



ライオン歯磨



磨齒ンオイル

の外に、洗煉された技術の玄妙を要するは申す迄も御座いませぬ。刻苦精勵三十有餘年に亘る體驗から得た弊社獨得の技術は、其製品の上に、絶えず顯著なる創造性と潑刺たる清新味とを漂はして、常に江湖の御賞讃を博し、搖ぎなき最優秀品たる光榮を荷ひ續けてをります。

理想的齒磨の製出には、純良なる原料



ライオン齒磨本舗

株式會社 小林商店

東京・大阪・名古屋

進む！進む！品質卓絶の一路！



私の生活の一つの歡び・
油圓クレームで快く保てる愛の肌。
片岡千恵蔵



輕装...
油圓つぼみ白粉・肌色・黄肌色で
卒直に自然に現はす個性美！
そこに味はひよき調和を見出します
水ノ江瀧子

御圓白粉



明るさを求める近代生活には、油圓チタニウム白粉
での明朗美こそユニツクな美しさです
市川春代



スクリン化粧から、ステイヂ化粧に遷つてから切實に必
要を感じ出した白粉下油圓のつぼみ
夏川静江

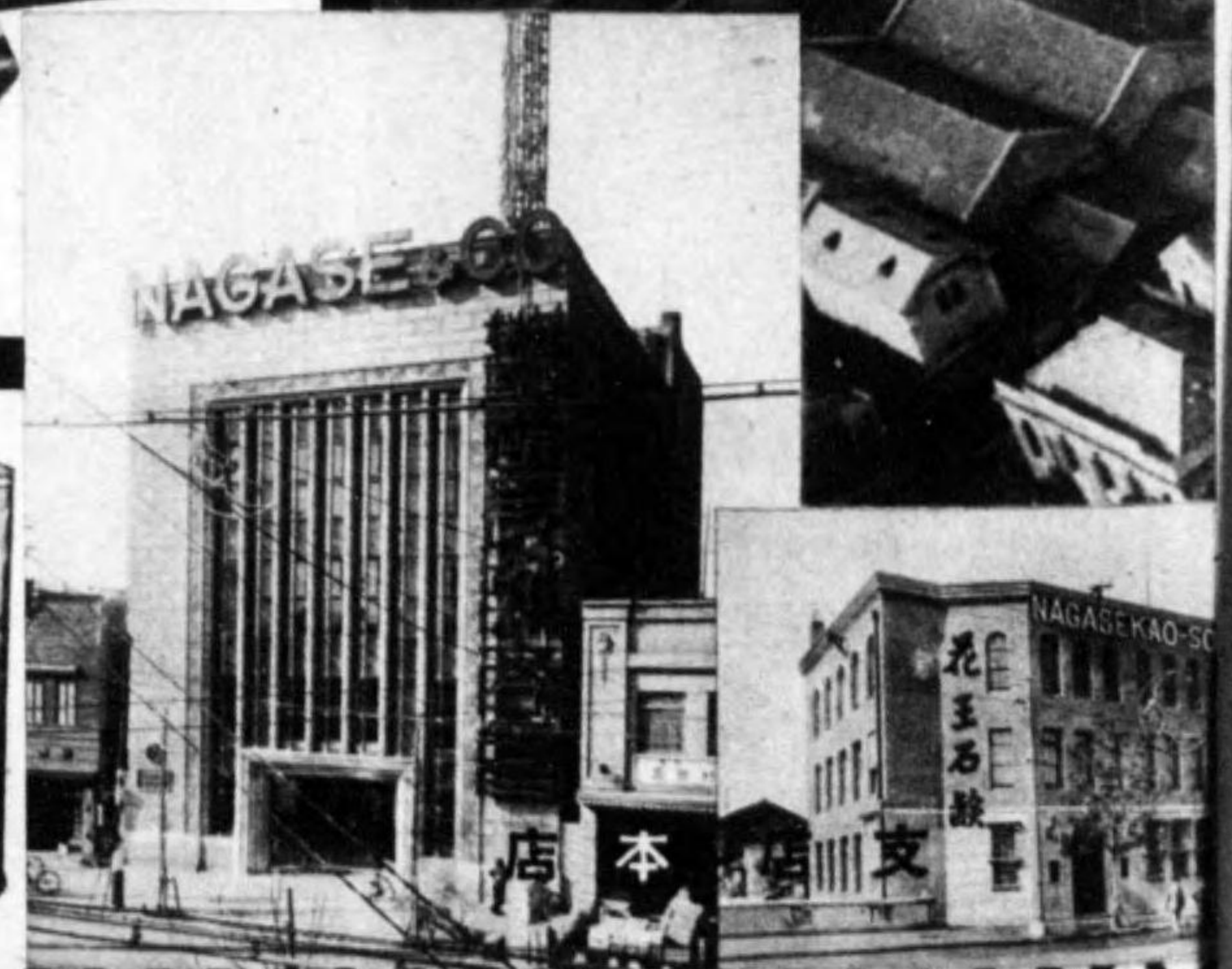


いつも私は白粉下油圓のつぼみを引いて艶麗な化粧美
を誇るので
飯塚敏子

會商瀨長社會



て東洋第一の規模と設備を愈々
 充實 全機能を發揮し 大量生
 産の實とソーブラインの完璧と
 を期してをります 茲に永年の
 御顧眷を感謝すると共に何卒今
 後共宜敷御指導御聲援を賜はり
 度く願上奉ります



式株鹼石王花



長瀨商會は良品廉價を信條とし
 創業以來四十餘年製品に真心を
 籠めることに終始一貫して参り
 ました 花王石鹼を初め各種の
 製品は總てその良心的な所産に
 外なりません 昭和九年油脂新
 工場の擴張と共に石鹼工場とし

會商瀨長社會式株鹼石王花

本支出張工場
 本店 所張場
 東大朝滿東
 京阪鮮洲京
 市市京國市
 日西城新向
 本區府京島
 橋立永溝區
 馬場樂和吾
 喰北二一町
 町通丁一東
 丁二日九
 丁五の
 目七A目

方香佳絶

製 樽

庄慶

香

油

庄慶ポマード
 ショーケイクリーム
 庄慶シャンプー
 ショーケイチツク
 庄慶洋髪美粧香油
 庄慶養毛トニツク



店商慶庄 會社 舖本

幌札・臺仙・京東



昭和九年の業界回顧

昭和九年の業界に、回顧の一瞥を興ふるの時、眞つ先にその指を屈しなければならないのは、東京化粧品卸商連組合の解消問題であらう。蓋し此の問題こそは複雑多岐な一路を辿つた此の年の業界に、最も重大な波瀾を残して行つたばかりではなく、中小工業者の生きる唯一の道として信ぜられた商業組合の存在に、解き難き多くの疑問を投げかけた問題であつたからである。即ち價格統制の大業、遂ひに成らずして組合解消の非運に遭遇したる主たるその原因が、もとは第九條の發動に期待し得ざるに至つたが爲めであるに徴すれば、少くとも統制事業に對する場合、商業組合法の無力、頼むに足らざる事が知らるゝと同時に、帝都に於ける卸業者の嘗めたる此の苦盃が、業界今後の動向に、何を齎らすかは、注意に値ひする處であらう。

化粧品課税問題は、此年に於いてもまた業界を脅かすこと夥しきものがあつた。岡田内閣の出現とともに高橋財政をそのまゝに踏襲せる藤井蔵相は、その豫算編成に際して一度は軍部の強硬なる要求に遇ふや、遂ひに就任當初の公約を擲ち、増税断行の決意を掲ぐに至つた。而して幾多の紆餘曲折を経たるの後、閣議もまた是れを承認するに至つたのである。然しその臨時利得税の中には業界品を含まざることは、後に明白になつたけれども、一時は増税の聲とともに化粧品もまた課税の對象物たる可しとの杞憂が、可成り強く業界を支配したことは疑ひない。然しながらその一面には社會情勢の變化に伴ひ、課税問題に對する業界人の心理的變化もまた見免がすことの出来ない事實であらう。

更に滿洲國關稅問題に對しては、前年來の懸案でもあり、且つその全面的改正の期近しとの情報を得たる東京、大阪兩組合に於いては、此の機遇す可からずとして起ち、現地工作の必要からその代表を滿洲に派遣することに決したるも、何れも特權の姿勢のまゝ年末となつたが、業界の滿洲進出を阻む關稅障壁の撤廢に對しては、切にその努力に期待せざるを得ない。その他業界關係の問題としては、貴石關稅の改正運動に次ぐに同業組合の強化運動の如きもまた此の年に於ける重要問題として、業界よりも協力、若くはその應援にそれぞれ努力を興へた處であつた。就中大阪に開かれた同業組合の全國大會の如きは、業界勢力が、その指導中心となれるかの感があつたのは、蓋し會心の極みであつたと云へやう。

昭和九年はその一年を通じて天災的事變多く、函館の大火、北陸の水害、關西の風水禍、東北の冷害等々、業界としても直接、間接の損害多きを免かれず、消費方面の疲弊は販賣界にも勝からざる打撃を興へたことと思はれる。關西の風水禍に於いては濡れ荷引換問題等をも惹起するに至つた。然かも年迫るに隨ひ、販賣市場に於ける無統制状態はいよゝその深刻を加へ、何處までも多難に終始した一年ではあつた。然し光りば既に前にある。禍ひの九年を遂つて禍ひの十年を迎へたのである。此の年の業界をしてより多幸ならしむると否とは、一に繫つて全業界の協力にあり、努力にあることと言ふまでもあるまい。

業界一年史

例言

- 一、「業界一年史」は、過去一年間に起れる業界の諸問題中、その主要なるもののみを問題別に取扱ひ、以て業界の趨勢、動向を知るに備へむとしたものである。
- 二、過去一年と言ふは、九年版年鑑以後、即ち昭和八年十二月一日より同九年十一月三十日に至る間を指すものである。
- 三、問題は原則として、全業界的のもののみに限れるも、業界に關係ありと思惟せる一般的問題或は地方的の問題にして必要ありと認めたるものは、之れを採録することにした。
- 四、「業界一年史」の材料は、主として全国各地の商報に採りたるも、業界外の問題に關しては、東西の日報新聞に求め、或は關係各方面の材料によつて之れを補足するに努めた點も尠くない。
- 五、前年よりの繼續的問題に就いては、多少その經過を明らかにするに努めたるも、若しそれその詳細に至つては九年版の「業界年鑑」を参照せられ度い。
- 六、尙、附する處の「業界日記」は、問題の經過を知るに便であると信するから、必要の場合にはこれにも一瞥を與へられ度い。

同業組合の全国的強化運動

同業組合の強化運動は、昭和九年に於いて一層その熾烈を極め、輿論の力は遂に最も強大なる運動形態を以て現はるに至つた。即ち十一月四五日の兩日、大阪に開かれたる同業組合全國大會がそれである。同業組合の強化運動とは抑も何を指すものか、由來その團結力に乏しといはるる、商工業者を驅つて全国的の大衆運動にまで進出せしめた動因は、果して奈

邊にあるか。それを説くには少なくともわが國に於ける經濟界の情勢、並びにその機構、及び商工業政策にも言及するの要あるけれども、然し端的にこれを表現すれば、資本主義日本の敗退に歸することが出来るであらう。勿論非常意識の重壓もあり、農村の疲弊による購買力の減退もその近因をなして居るには相違あるまいけれども、資本の對立による競争の激化は、中小商工業者をして今日の窮狀に陥らしめた最大の原因といふことが出来るであらう。

然るに彼等中小商工業者に許されたる唯一の團結、同業組合の組織力には其疑はしいものがあり、例へば彼等の窮狀を救ふ何等の方策をも與へられないばかりではなく、權益擁護の爲めに闘つても、動もすれば法律的に甚だ無力を感ずることが多い。それは無論重要物産同業組合法の不備を意味するものであるにも拘らず、これが監督指導の立場にある政府當局は、何等の考慮をもめくらさうとはせず、小賣商店の匡救といふも、低利資金の融通といふも、畢竟懸望の外の何物でもない。全國の組合が相呼應して必死その運動に努めた次官通牒撤廢の如きも、僅かに新次官通牒を以つて一時を糊塗せるが如く、中小商工業者彼等自身の手を以つてしては、何一つ開ひ奪ることが能はなかつたと言ふのが、今日に於ける同業組合の姿である。

然かも政府は、商業組合及び工業組合にのみ厚くして同業組合に對しては、殆どその存在を無視するが如き態度に出づるは、畢竟時局匡救の對症療法としては商業組合に如くはなしとする過信に基づくものに外ならざる可しと雖も、此の誤謬が却つて同業組合の強化運動に刺戟を與へたことは、紛れもない事實であつた。

大阪中の島中央公會堂にその氣勢を擧げた全國同業組合大會は、中山太一氏をその理事長とする大阪商工業同業組合聯盟主催の下に、全国各地より一千四百の代表者参加、先づその更生、強化を策するともにも組合

法の改正促進に對する宣言を發表した。

宣言

邦家産業界の現状に鑑み、われ等全國商工業關係同業組合一同は、本大會を機とし益々その結束を固め、機能發揮に協力するとともに政府當局に對し現行法規の圓滑なる運用並びに關係組合法の適當なる改正斷行を要望し以て官民一致、産業報國の大目的達成に邁進せむことを期す

次に、参加各組合より提出の議案を委員會に附して討議を行ひ、十有八項に亘る決議事項を決定、これを政府當局に建議することに定め、主催地大阪外二府三縣、三十名の實行委員を擧げ、中山太一氏を委員長として今後に於ける一切の行動に當らしめることに一決最後に左の決議を可決した。

決議

吾人は全國同業組合大會の宣言、決議事項の實現に協力し以て商工業の國是に資せむことを期す

一、商工業關係組合の根本方策確立の件

同業組合、商業組合、工業組合、輸出組合の各組合は現在に於いて對立的の弊に陥り之れが機能を失ふ現狀に鑑み、宜しく同業組合を母體として緊密なる關係を保持し、相互協力の下に機能を發揮し、完全なる統制力を具備せしむるやう現行法規の適當なる運用を希望するとともに必要に應じ、之れに伴ふ關係組合法規の改正を要望す。

二、現行法規改正並に運用に關する件

一、同業組合法第四條を改正し同業組合設置區内に於いて組合員同一の業を營む者は、組合より通知に依り當然組合員となる旨規定し、且組合設置の地域内に於いて營業所を置かざるものと雖も、その地域内に於いて組合員同一の業を營むものは、當該組合の統制に服すべき旨規定せられ度し

二、同業組合法第四條但書を削除すること

三、行政區域の變更に伴ふ地區の變更に關し重要物産同業組合法施行規則第二十一條第二項に左の但書を加

ふること

- 一、但し行政區域の變更に伴ふ地區の變更に就いては編入又は削除せらるべき區域に屬する組合員たるべき者、又は組合員の同意を要せず
- 二、價格協定の認可に際し商工省への打合せを廢し名實ともに地方長官に一任せられたること
- 三、同業組合の検査權を尊重し検査を統一せらるるやう要望すること
- 四、重要物産同業組合法第十條の次に左の一條を規定すること
- 五、産業若くは營業上の弊害を豫防し、又は矯正する爲特に必要と認むるときは、行政官廳は同業組合に對し、検査その他必要な取締若くは制限を命ずることを得
- 六、工業組合法第八條、商業組合法第九條に左の但書を附すること
- 七、但し同業組合に於いて當該商品に對し検査その他統制規定ある場合、その他の組合員に對しては此の限にあらす
- 八、輸出組合法第九條に左の但書を附すること
- 九、同業組合に於いて検査規定ある場合商品検査に限りその組合員に對しては此の限りにあらす
- 十、同業組合法第十條第二項を獨立條項とし趣旨を明確ならしむること
- 十一、同業組合の經費及過剰金の徴收は國稅徵收法に準據し得る規定を設くること
- 十二、同業組合法中に組合員間の商事紛議を調停する權能の附與條項を設くること
- 十三、同業組合に生産統制權を賦與すること
- 十四、主務省及監督官廳に於いて同業組合の地域内に於ける業界生産統計を完全ならしむべき方途に付考究せられたること
- 十五、工業組合に附與する工業の利益偏重的統制は之れを是正せられたること
- 十六、同業組合の設置ある地域に於ける商業組合、工業組合の構成分子たる業者の資格の有無に付地方官廳は當該同業組合に諮問せられたること
- 十七、同業組合の設置認可を容易ならしむること
- 十八、官公署に對する改廢業届出書類は總べて同業組

合を經由するやうその取扱手續を改正せられたること

一五、同業組合の爲本省並びに地方廳に於いて専任の監督官を設けられたること

一六、同業組合に於いて行ふ組合員の福利増進に對する共同施設に付特別の保護を與へられたること

一七、組合事業に對し國庫補助金の交付を要望すること

一八、特許局に於ける新たな特許、實用新案、商標、意匠の登録をなすに際し公知公用に屬するものなりや否や、若くは既得權者の利益を侵害すべき危険ありや否やに付明白なるもの外、當該關係事業に關する同業組合の全國聯合會がある場合は、該聯合會に、然らざる場合は重要關係地の同業組合に諮問して意見を徵する制度とせられ度し、又若し右の制度不可能なる場合は商事調停法の商事調停委員の例に倣ひ、當業者より適任者を選定し委員に擧げその意見を徵することとせられたること

此の年に於ける同業組合強化運動の記録としては、日本實業聯合會の動きをも忘れてはならない。即ち日本實業聯合會は二月二十一日、定時組合を開催してその決議により「重要物産同業組合法第十二條第二項を獨立條文とする改正法律案を議會に提案せられむことを望む」陳情書及び「商業組合法第九條の發動を組合員外のものにも適用せよ」との建議書を各關係當局に提出せるをはじめ、全國十有六の實業組合聯合會に諮問案を發して、その回答を取纏め、本格的救済案の確立に努めた。

東京卸商業組合の解消問題

「全部の同業をその傘下にあつめ、全部の業界をその統制下に置く」

此の意氣、此の氣魄、此の理想の下に、全國業界に率先してその營業統制を全部の業界に布いた東京化粧品卸商業組合である。然かもその價格統制が實施せられてより、いまだ僅かに一年を待たずして早くもその統制陣に一大異變を生ずるとともに、組合の機能停止を見るの己むなきに至るや、遂にその總會が組合の解消を決議するに至つたのは、洵に己むを得ざる事情によるとは言ひながらも、そのスタートの餘りに壯であつただけに、その成否に多大の關心を持つてゐた業界、並びに關係各方面に深刻な衝動を與へたのは、言ふまでもあるまい。

先驅者の行く可き道は、常に荆棘の道であると言ひながらも、千辛掙ゆまず、萬難屈せず、以つて取引の合理化、營業の正常化に必死の努力を奮ひ、産業日本本の建直しに一路邁進を期した卸商業組合が、その大きな期待の前に、餘りにも脆き崩壊のあとを辿つたのは、そも／＼何に原因するか、その由つて來る處を知るには、經過の一般を詳かにするの捷きに如くはあるまい。

昭和八年九月二十日、協定に參加せる十七本舖の製品に對して統制を布くや、全部の同業緊張、業界の黎明、漸く至れるかを思はしめた。而して二百有餘の全組合員が互ひに相成めて統制に服しつゝ、あつたにも拘らず、濫賣小賣店の系統調査から端なくも二三の違反者が發見された。即ち組合では同年十一月十七日

組合の統制品を統制直段以下で濫賣する小賣業者（統制品の供給を爲す組合員は違約行爲と認む）

以上の緊急通牒を一般組合員に發して濫賣小賣店への稱道を絶ち、業界の肅正を圖るとともに、嚴重な制裁を科することとなつた。而して越えて十九日には更に左の如き指令が發せられた。

一、定款第六十八條の違約處分を斷行した場合でも、その處分は公表しない方針であつた、然るに

今後は初犯者と雖も、假若くは過怠金徴収の上、これを公表すること。

二、統制品の現金取引に於いては取引先商店、品名、取引、正本を取引先へ、副本を保存すること。組合首脳部では統制力の強化を図る可く、あらゆる努力をその爲めに試み、情の重きものに對しては遂に制裁の即時發動によりて取引停止の處分に附する等、取締りのいよ／＼峻厳を極むるに隨ひ、一方、濫賣に味を占めたる不正業者は、法網を滑ることすまざる巧拙を極め、明らかに黒表に上れるものと雖も、その確證を得る能はざるが爲めに、如何とも策の施しやうがなく、轉、統制の難きを思はしむること頻りであった。かうなると首脳部必死の工作も、容易にその効なく、不正業者の跳梁は日を遂うて傍若無人を極め、彼等の黒き手が次第に全部の業界を荒しまくるに及び、統制規定の下、嚴としてその正道を守りつゝある組合員をして、脅威を感じしめ、遂に手も足も出ないと言つたやうな状態に陥らしむるに至つた。是に於いては問題が、とう／＼組合の存廢が議せられるに至つて發展した。

昭和九年六月四日、最初にして最後の組合總會が、上野の精養軒に開かれた。今や存廢の岐路に立つ組合の運命は、果して何うなるか、會するもの二百。非常な緊張裡に、神保理事長開會を宣するや、此の日、監督官廳たる東京府より臨席せる小笠事務官登壇、勇退一場の訓辭を興へ、業界の正常なる發展は、同業者の協力にのみよる、諸君は須らく獨自の見解によつて冷靜なる判断を惹かず、今日及び明日の業界の爲めに考へ、慎重に善處せよと力説してその反省を求めた。蓋し東京府として第一次監督の地位にある關係上、わけてもお膝下の組合が有終の美を齊す能はずして解散するに於いては、成長途上にある商業組合の發達にも影響す可しといふ、商工省の意も多分に動いたものと

思はしく、その前から組合首脳部に對して、屢々忠告を試み、その善處を要望されたのてけあるけれども、然し大勢は如何ともし難く、その豫備工作も、遂に功を奏するに至らずして、最後の幕切れとなつた。

即ち、此の日の第四號議案「組合の存廢に關する根本方針決定の件」が上掲するや、満場寂として一語なく、息詰まるが如き數分の沈黙は、異常なる重壓感とともに名狀し難き全員の心理状態を物語るもの、如く、解消必至の狀態の前後に、最早可否の討議を要せざるまでに緊迫せる空氣が漂ふかに思はれたが、議長よりこの賛否を満場に向ふこと再三にして、僅かに「異議なし」の聲あり、議長の悲痛なる解散宣告とともに、わが東京化粧品卸商業組合には、遂にその終焉の日が来たのであつた。

「願はば昭和八年二月二十三日、全部の化粧品卸業者が、燃ゆるが如き希望と、努力によつて結成せられた帝都の卸商業組合は、價格の協定統制を實現することによつて業界の正しき繁榮を招来す可しといふ理想の下に、大きな期待を懸けられたにも拘らず、同年九月二十日、眞に業界の歴史的事業と言はれた統制の實施後、僅かに十ヶ月に滿ちずして短命な、餘りにも短命な一生を終つたのは、全く別項の理由に基づくものであるが、それは會に獨り帝都業界の悲しむべき出来ごとたるのみならず、實に全業界に残された重大な課題として考究する可き緊要切實な問題といふ可きであらう。」

當時のわが商報は、かく結論をつけてその報道を結び、統制の大業、遂に成らなかつた理由として、神保理事長より説明された第四號議案の提案理由を加へて居る。その要旨に曰く
わが卸商業組合の生命的事業である營業統制に就いては、組合機關の一切を動員して眞に晝夜兼行、不屈の努力を傾注して来たにも拘らず、今日の如き情勢を見るに至つたことは、吾々役員として、深く遺憾に存する次第であるが、今日までの苦辛経験を顧みると、この理由として左の諸點を擧げること

態にあらしめること、常に同業者の權益擁護のためのみならず、全業界の信用に對しても、不利益であると言ふことが、痛感せらるゝに至つた。

其處へ現れたのは、東京化粧品卸商研究會の設立問題であつた。昭和九年七月二十日、同業組合の事務所に開かれたその創立協議會に參加したのは

- 田中吉兵衛氏 神保文太郎氏 金高良助氏 葉滿田芳兵衛氏 桑原啓造氏 千本木彌八氏 川野喜四郎氏 塚田合名會社 中原久太郎氏 脇田盛眞氏 福島福雄氏 松浦嘉七氏 山口竹太郎氏 芥田林藏氏

以上の十六名であつた。桑原啓造氏、起つて團體組織に關してその趣意を述べ、金高良助氏の指名により、田中吉兵衛氏を推して議長とした。いよ／＼協議會に入るや、滿場一致を以つてその設立に賛意を表した。續いて會則の制定、役員の選舉が行はれた。かくして立ちどころにその成立を見るに至つたのである。選ばれた幹部は

幹事長	金高良助氏
幹事	田中吉兵衛氏
同	葉滿田芳兵衛氏
同	桑原啓造氏
同	神保文太郎氏
同	千本木彌八氏

以上の如く、卸商業組合の解消後、四十餘日にして再び卸業者の團體が、帝都の業界に結成されたのである。然し此の新たな研究會は、帝都卸業界の主力のみを以て會員とせる、言は、中樞機關であり、新會員の入會を決するにも、全會員の無記名投票によるといふ規約もある程であるから、その門戸は何人にも自由に開かれ難く見ゆるけれども、然し行く／＼は卸業界の中堅を擁護してその擴大強化を圖るに相違あるまいから、商業組合の前身化粧品卸商同盟會の組織とや、その趣きを異にして居る點が、却つて統制ある團體としてその威力を發揮し得るであらうと見られる。何れに

が出来ると思ふ。
一、もと／＼多數の本舖が全國の市場を指して供給競争を續けて居り、その生産に於いても自由放任となつて居る化粧品業界に於いて、即ちその源を放任しながら、中流に於いて統制を試みむとする事は、非常に強力なる官權の援助でもあるに非ざる限りは實行不可能である。
二、然るに現行商業組合法は任意加入制であるから、組合區域内でも、組合員以外の同業者が濫賣をしても、組合の統制力は及ばず、商業組合法第九條による監督官廳の命令權發動も、傳家の寶刀として衰りに放いて貰はれないと言ふ現状では、見ず／＼その實害を傍觀するの外はない。
三、違約行為の方法が餘りに複雑多岐に亘り、隠蔽に易く、摘發に難く、脱法行為の巧みなものが跳梁する爲めに、正業者は漸次顧客を奪食せらるゝの非運に陥りつゝあり、然かもこれが調査の徹底を期することは、限りある經費と努力とを以てしては、到底堪へ得る處ではない。

解消後の新團體

帝都の化粧品卸業界は、卸商業組合の解消によつて當にその統制陣營が崩れたのみではない。統制陣營の崩壊とともに卸、問屋業者の聯絡を保つ組織線が、全くばら／＼に干切られて了つたのである。隨つて化粧品卸商同盟會以來持續せられ來つた處の大同團結も、遂にその尊き歴史を失ふの已むなきに至つたのである。卸業界は正に混戦、亂戰の狀態である、其處に残されたものは、不安の外の何ものでもない。遂かに失かれたるその業界機構に對して、最も不便を感じたものは何人であつたか、それ勿論卸、問屋業者そのものであつた。互ひに離れて見ると、第一に業界全體の情勢を把握するに困難である。隨つてその營業方針の立方にも尠なからざる支障を感じる。本舖、小賣兩者の間に立つ配給機關をして、何時までも無統制の状

せよ、商業組合解消の日、神保理事長が壇上から呼びかけた「商業組合は解消するとも、同業者間に結ばれた淵たかい業界愛は解消するものではない」といふ、悲痛なその言葉が、かくも早く實現するに至つたのは業界の爲めに慶びとし度い。

商權擁護運動

「商權を擁護」の旗印を掲げつゝ、商業組合の排撃に必死となつて居る所謂反産運動は、昭和九年の勇退、全國農村産業組合協會がその總會を東京に開催、三百名の各地代表をあつめて反産運動打倒の氣勢を擧げ、いよ／＼商工業者との正面衝突を辭せざるの態度が明白となるや、その挑戦に刺戟された全日本商權擁護聯盟では、即ちこれに對して起ち、一月二十五日常任委員會を日本商工會議所に開いてその方略を定め、翌二十六日、時を移さずして貴衆兩院の關係議員二十名を東京會館に招待、反産運動に對しての説明を試み、更らに兩院に對して建議案を提出せるをけじめ、全國的の輿論を喚起するために、二月初旬より中旬にかけて全國四十三支部加盟の商工團體を動員して反産運動の徹底に努め、二月二十三日を期して全國支部代表者協議會を東京に開催、目的貫徹の爲めに積極的の邁進奮闘する處があつた。

商權擁護運動は、既に久しき歴史を有するけれども産業組合に對する反産運動の強化を圖るため、日本商工會議所を中心に、全國の商工團體を叫合して全日本聯盟を結成したのは昭和八年十一月二十四日のことである。爾來大都市に在りては産業組合の爲めに攻撃せられつゝある小賣店救済の爲めに、その運動を續け來つたものであるが、政府の保護政策によりて今日の發達を見たる産業組合の基礎は、今や半平として抜く可からざるものがあり、背後には多數農民の支持がある

から、反産の目的を達するは蓋し前途遠慮と思はれる。日本商工會議所の依田主事は語る――
「化粧品關係では、既に石鹼が全購辦の手で製造され配給されて居ります、品物の種類が限られて居る間は、大して脅威を感じませんが、これが全面的に擴げられて來ると、商工業者に與へる打撃は著しく大きなものとなり得ます。産業組合は政府から低利資金の融通を受け、新らしく工場を設備する場合には、その設備に要する處の設備費や職員費用の半額は補助されるのでありますから、どし／＼事業を擴げて行くことは容易であります。それ故、そのやうな特典を廢止せよといふことを吾々は主張するのであります。購買組合では屢々量品附宜傳賣出しをやりませんが、それなぞは純然たる商行為であつて産業組合の境外に踏出したるものです。これ等も排撃の目標として絶えず運動の強化に努めて居ります。」

石鹼界の問題

A・硬化油統制解消

石鹼界に於ける昭和九年もまた波瀾軍疊を極めた一年であつた。就中、種々なる問題の醸し出されたその中に於いて、最も錯綜せる問題として、硬化油統制を繰る各種の工作であらう。今その混み入つた経過の荒筋を叙するに先立ち、結論から述べてかゝる。即ち昭和六年より向ふ三年間を一期と定め、重要産業統制法による統制組合として設立された日本硬化油同業會は、此の年九月を以つてその期限の満つるを待ち、爾後昭和十二年九月までの三年間、統制法より離脱して單に私的の協調機關として存続することに決定した。それに対しては商工省でも詮議の上、その自發的離脱を認め、遂に是れを許容するに至つたので、過去三年間、統制法の適用下にあつた硬化油も、再び自主的統制の舊態に復するに至つたのである。然らば何

が硬化油の統制をして解消に導いたか、それは此の年二月二十八日、東京石船二十日會の名を以て廢せられた「硬化油製造業に關する統制協定の取消を要求す」といふ、長文の聲明書にその端を發して居る。二十日會は東京石船製造組合の有志より成る有力團體であるだけに、その聲明は全業界に可成りの反響を齎らしたものと見られる。而してその運動の目標としたのは何か、當時委員の一人はわれ等に語るに

吾々の主張は統制法そのものに反對するのではなく、現在統制に参加してある硬化油業者が、吾々中小石船業者には統制施設で高價な原料を賣りつけて居るのに、一方業者は統制外の安價な原料によつて吾々の地盤を蠶食して来る。此の大資本家擁護の不合理なる統制の方法に反對して居るのである。統制を解消した結果の自由競争の下にあつて大資本に、中小石船業者が壓倒されて行くならば、それも已むを得ざることであるが、現在の如く大資本の石船業者に法の力を藉して、吾々中小石船業者を脅かす如き統制には、飽くまでも反對せざるを得ない。商工省當局をして言はしむれば、先づ工業組合を作つて大資本家に當り、然る後統制法第三條の適用を求めぬのが順序であるとするが、石船特化に統制に於いて工業組合を作ることは、昨年の洗濯石船統制の失敗に鑑みて、實現不可能なことである。吾々としても、工業組合を作る意志はなく、統制解消によつて石船界を自由競争の下に置くことを主張する。

その意圖以て知る可しである。二十日會の運動は商工省への陳情に及び、更に委員として保々、杉ノ原兩氏を西下せしめ、名古屋、大阪の同業者を説かした。名古屋側は即座に参加合流することに決した。大阪側は「いまだ東京石船、石船生地の進出を見ざる爲め、化粧石船業者が硬化油統制による業者の重壓を感じ、且つ統制解消により硬化油業者の石船界進出ともなふば、却つて業者の増加を見るの虞あり」との理由の下に、容易に同意せず、寧ろ東

京にも石船工業組合を設立するを急務とすべしとの議論もあり、一時意見の對立を見た。その後大阪側の情勢にも變化あり、四月七日、大阪石船工業組合の總會席上

硬化油統制の缺陷を矯正し併せて石船兼管問題の解決を期す、若し成らざれば硬化油統制の解消を以て可決した。以上の如き決議を見るに至つた。かくして四月二十四日の熱海に於ける全國石船製造業聯合會第九回大會となるや、東京、名古屋の兩組合より各個人提案せる統制解消の議題を中心に、意見を開はした。後「不合理なる硬化油統制の解消を期す」といふ、九州組合よりの動議成立を見るに至つて此の問題は、満場一致を以て可決した。

實に以上の如き経緯を有せる硬化油統制解消問題であつた。それが硬化油業者自身自身が、自から統制法離脱の一策に出でたるに就いては、種々の観測が行はれ居るも、畢竟、統制法による統制組合設立の當初期待せるものと、現實の結果については聊か異なるものあり、この統制外に表はれたる二三のアウトサイダーについては、何等の拘束力なく、法的制約は加盟業者をして自編自縛の結果ともなり、これによるの利益は漸次喪失されつゝあるの觀ある處へ、中小石船業者側の解消運動もその刺激となつて、此の擧に出でたるものと見られる。然して今後の統制は、共販會社を中心として、製産制限等の比率問題には一切觸れず、たゞ價格のみの協定を行ふこととなつたので、各業者は、いづれも、石船兼業の計畫をすゝめ、兼業者は、更に石船部を擴張して、硬化油の自給自足を目指すに至つた。故に今春以後の洗濯石船界は非常なる混戦を演ずべく、その動向こそは注意に値する處であらう。一方、二十日會を中心とする東京の石船業者は、硬化油同業會の解消により、その今春來の目的は達した

題がある。その無貨の名に於いて扱はるゝ處の業界品としては、洗濯石船がその主なるもので、最近の輸出統計に現はれた處によれば

以上の如く、必ずしも驚く可く程の數量には非ざるも、然し各國が何れも日本商品を怖れて關稅の障壁を高め、競うてこれを阻むに急なるの時、南洋進出に懸けられた日本商品の使命は、最も重要な役割をわが輸出貿易上につとめるものである。然るにわれに取りては絶好の市場、英印及びポルネオ東南部を中心にしてはスマトラ、東にはセレベス、南方にはジャバを有つ廣大な關稅が、またもやその門戸を固くしてわれ等の締め出しを圖るに於いては、漸くその足場を得た若き日本の南洋發展は、忽ちにして轉落の一路を辿るの外はない。

然かもその重大會商中、日印會商は漸く決裂を免れたとは言へ、實施されたその離貨關稅は最高三二五%、最低のものも九五%といふ禁止的高率である。これを業界品に見るに化粧石船に於いては從來の從價三五%が一躍一三五%。洗濯石船は二五%から八〇%に引上げられるに至つた。是に於いてか大阪石船同業組合の松原組長は、春元、播磨の兩氏及び硬化油業者の大橋氏等とともに上京、東京石船製造同業組合の相馬組長以下と協力提携の上、一月九日、商工省を訪ひ、吉野次官、竹内工務局長等と會見、苦境に立てる業者の立場を述べ、意見書を提出したが、印度に於ける石船輸入年額は八百萬圓比、その中日本からの輸出が昭和八年度が四十五萬圓、九年が百萬圓内外、總體の約一割にしか當らない日本品に斯くも高率關稅を課するのは、將來の進展に恐怖を抱ける英國の禁止的政策に外ならないわけて、業者の熱烈な陳情も策の施す餘地なく、そのまゝに彈かれて了つた。更に一方日印會商に就いては、既に接衝半成に及ぶるも、波瀾曲折、關稅側が適當なる砂糖問題を持出

るかの如くに、見えるものゝ、硬化油統制解消の原因は全く他に出でたるものであり、共販會社による大資本トラストは依然として存在するので、これが狀勢を見越して先づ七月、四十名の参加者を得て、東京石船購買組合を設立した。而して續いてこれが強力化を期して、工業組合を設立すべく準備をすゝめつゝあつたが、これが中心となるべき大會社側が、實際に工業組合の必要を感じざるために、再在年末に及び、一時その前途を危ぶまれたが、花王、ミツツ、合同、旭電

石船、芳誠會、相馬、帝國社等の協力によつて、單に洗濯石船のみならず、化粧石船をも含む工業組合が歲末に至り漸く成立するに至つた。B・B・印・日、石船界の國際問題と關稅問題とを關稅側と日印會商中にして、日印會商中に含まれた關稅問題

スマトラ東海岸州の輸入本邦品 (單位圓)
Table with columns for year (1932, 1933), item (化粧品, 洗濯石船, 賣藥, 煉乳), and quantity/price.

スマトラ西海岸州輸入本邦品 (單位圓)
Table with columns for year (1931, 1932, 1933), item (化粧品), and quantity/price.

すに及び遂に決裂を危ぶまれたつゝ、今尙僅かに一縷の命脈を保てるが如きも、今後の形勢に至つては容易に逆轉し難い。更に三月には、わが南洋委任統治地たる南洋諸島より輸入するコブラ課稅運動に反對して東京石船組合及び花王石船本舖長商會では各別に陳情を行ひ、八月には、東京石船組合では、大豆硬化油無稅輸入並びに大豆油戻稅に關する陳情を各方面に對して行ひ、この年に於ける石船界の對外的問題は、關稅引下げ及び關稅徵收運動に終始したのであつた。

風水禍の問題

昭和九年は、業界に取りても災厄の年であつた。春には北海の烈風、劫火を伴うて函館全市を焦土に歸せしめ、秋には稀有の颱風が、關西一帯にその猛威を逞しうした。何れも慘狀、眼を蔽はしむるものがある中にも、函館では罹災同業者のみで四百五十名を算した。關西の風水禍に至つては、その被害が大阪を中心として十數縣に及び、死傷算なしとさへ報ぜられた。東京組合に於いては、その何れに對しても、時を移さず全組合員の義氣同情に訴へて、極力救済の實を擧ぐるに努めた。蓋し業界人は業界人を救へたのである。即ち函館に對してはその義金三千三百九十二圓、これを函館小間物化粧品商組合、函館和洋小間物組合に託してその分配を一任した處、兩組合に於いては全罹災同業者に對して一店金七圓五十錢也を分配せられたとの報告があつた。更に關西風水禍に對しては、あつまる處の義金四千圓、これを左の如く配分して罹災同業者への慰問の資に充てた。

- 二、三〇〇圓 大阪府
三、〇〇〇圓 京都府

以上の配分に就いては、業界の組合、當該縣廳、義金を取扱ひつゝある地方新聞社等の中へ、便宜委託してその處置に一任した。關西の風水禍に伴ふ業界の損害中、新らしく起つた問題に滿れ荷引換へる問題がある。これはその中心地とも言ふ可き大阪の本舖及びこれに呼應して起つた東京の各本舖の絶大な同情の餘に出でたる善後處置であつた。即ち東西の各本舖とも此の未曾有の大災禍に對しては、多大の同情を惜まず、就中その罹災地の復興を速かならしむる上からも、能ふ限りの救済運動を進め、その再建に協力するの必要ありといふに意見の一致を見るに至つた。就中東京に於ける化粧品本舖十日會に於いては、臨時會を招集して協議を重ねたる結果、今次の風水害による水損品に對しては、その申出により補償を行ふことに一決、これを大阪側に通知すると同時に、左の如き共同聲明、並びに補償條項を發表した。

去る九月二十一日、突として關西地方に襲來せる猛颯風は、大阪を中心として各方面に未曾有の災害を齎らし殊に颱風による高潮の來襲は、海岸地域に二重の災害を齎し候は全く酸鼻の極に於いて、その大災厄は關東大震災に劣らざる經濟的打撃と存被候。此の不慮の災害に遭難せられたる被害者各位に對しては、萬腔の同情を捧げ申候とともに、殊にわが

同業業者各位に對しては、一層衷心より御同情申上候處に有之候。十日會各本舖に於いても、それ、本支店又は工場等を被害地に有し居候關係上、是亦相當の被害を相受け居候も、業界共存共榮の上より、此際罹災販賣店各位とともに一日も遅かなる復興を期し以て高都大阪を中心として關西各方面の商勢を恢復し以て非常時期にある國家經濟と産業の上に貢獻致し度くと存じ一大犠牲を忍び、當面の災厄に普應す可く熱議の結果、本會員等誠意を披瀝して販賣店各位の經濟的災厄を幾分にも縮少し將來の進展を期せしめられ候やう、過去に於ける一切の慣例を棄て、今回に限り特に左記の申合せを相決し申候。勿論業界に於ける一般商習慣上、被害商品に對する御取換又は御補償等一切の責任は無之候へども、非常時に際しては業界共存共榮の大義に立脚して考慮したる罹災商品御補償の上、採りたる誠意と犠牲とに對して只管御諒察の程奉冀上候。此の機に於いて罹災販賣店各位並びに御同業各位に對して重ねて衷心御見舞ひ申上候。

化粧品本舖十日會

- 一、罹災商品に對する御補償は、災害品十個に對し二個乃至五個の割合と御承知願上候。但御補償の災害商品は全部本舖に於いて破毀、又は適當に處分致すべく候に付御承知願上候。
- 二、罹災商品は一個又は一袋一瓶毎に原價保有のものに限り申候。
- 三、罹災商品御補償御申出は九月二十一日の風水害によつて御被害相受けさせられたる地域の方々によりて罹災商品御補償の御申出は凡て從來の御仕入先を以て御申出願上候。
- 四、罹災商品は補償の御申出に對しては、總て現品を以て御提供可申上、御入帳の儀は御斷り申上候。
- 五、罹災商品御補償の御申出に對する運賃は、片道御負擔のことに願上候。
- 六、罹災商品の送達に極力迅速を旨として取運び可申候へども、此際のこととて多少の遅延は御承知願上候。

八、罹災商品御補償の御申出期限は十月二十日迄のことと願上候。右の各項は非常災害に際し特に取定めたるもの付今回限りの特定と御承知願上候、以上。

三組合の聲明

地方業界に於ける組合、團體からの寄附や、援助の要求は、實に業界多年の慣例とは言ひながらも、寧ろ憂ふ可き業界の宿弊として心あるもの、懇縮に値ひずる處であつた。例へば組合の總會、新年宴會、若くは店員慰安會、運動會をはじめ、特殊の賣出し等の催しに際しては、殆ど恒例のやうに、寄附後援が求められた。求められた本舖、問屋としては業界の發展を助長せしめるといふ意味から、事情の許す限りはこれに應ずるの慣例となつてゐたが、業界の發展に伴ひ、同業團體の組織は町村にまでも及び、その數の夥しきを加へ來れる爲め、到底その一々の要求には應じ切れざるの状態となつて來た。のみならず、それが年々ともに悪弊を生み、多くの團體中には、本舖からの寄附を見越して之れを豫算に繰入れそれによつて新年宴會や、花見遊山の費用にまでも充當せられるの事實さへも見らるゝに至つた。是に於いてか本舖折角の奉仕も、却つて業界を毒するのみにして聊かの益をも胎さないといふ實狀に鑑み、化粧品本舖十日會では昭和八年の夏、全會一致の決議を以つて寄附辭退の聲明を發表してより以來、嚴に「その趣旨の何たるに拘らず、一律にお断はります」といふ決議の主旨の斷行に努めつゝあるは、今や殆く業界の知る處となつて居るであらう。

化粧品課税問題

年々國家の豫算編成期に入ること、宛がら恒例の如く、業界を威迫するものに化粧品課税問題がある。一昨年も赤字補償の一策として一般文化的商品に賣上税を課す可しとの案が、税制改正準備委員會の議に上つた。此の賣上税の中には化粧品も、齒磨も含まれて居つたことは言ふまでもなく、而して化粧品には生産費の五分、齒磨には三分見當を以て課税の目安とす可しといふ成案を得たるやに傳へられた爲め、東京組合では十六名の對策委員を擧げてその一切を委託することとなつたやうな経緯もあつたけれども、然し政府の案は單に當局の事務的研究に過ぎなかつたことが、後に明白となつた。

かくして問題は、一時解消したま、昭和九年に持越されたのである。然るに二月二十七日、内務省に開かれた結核豫防法改正に關する特別委員會に於いては、意外な決議が行はれた。それは結核豫防費の財源として考へられた諸項目中
一、賣薬に適當の課税を爲し之れを専ら結核豫防費に充當すること
一、化粧品、賣薬部外品、清涼飲料水等の課税に就いて考慮すること
以上の二項目が含まれてあつたことである。それは單に保健衛生調査會の決議に止まると言へば、それまでであるけれども、然し問題の重大性に鑑み、かゝる論議が輕々に行はれると言ふことに就いては、われ等營業者の深く遺憾とする處である。勿論此の決議が、財政當局に如何なる刺戟を與へたかに關しては、何等與かり知る處がない。

あるといふ處から出て來た化粧品課税問題である。故にこれを單に揣摩推測として斥けるには、やゝその根據があり過ぎる。何故なれば廣井藏相は、正統財政派としてその屬僚時代には増税論の急先鋒である、また自から調査研究した多くの資料とともに、相當強硬な意見の持主でもあるだけに、或ひはその衝に立つたことも、之れを政策化することが容易であると考へられたからである。然し藏相は「大臣となつた今日では全く白紙に還る」と聲明せる手前、且つ高橋財政再興の要望によりて選ばれたやうな立場に在る關係上、遽かにその財政政策に變革を加へるが如き輕舉は、敢てせざる可しと見られたにも拘らず、その觀測を裏切つて臨時利得税創設の計畫を閣議に持出した。ゆゑ、果敢に於ける増税可能の不安をも與ふるに至つたのは、新人財政家としての藏相に期待する處あつた國民に對しては、多大の失望を齎らしたものであつた。

貴石關稅問題

昭和九年の劈頭、忽焉として捲起されたる業界關係の運動に「貴石の十割關稅撤廢運動」がある。それは大正十三年七月二十九日法律第二十四號を以つて公布せられたる「貴石品輸入關稅法」中、別表四一二號貴石の關稅率を普通商品に改め、現に課せられつゝある貴石の十割關稅を撤廢して舊稅率たる從價五分に還元せしめやうとする處に、その目的があり、その理由がある。その趣意書に曰く

聲明を全國の各組合に向けて發した。拜啓、向來の御、貴組合各位益々御清榮に涉せられ候段、業界のため慶賀此事に奉存候、次に下名各組合等毎々各別の御愛顧を蒙り居候段、厚く御禮申上候。陳者、從來各地業界に於ける組合の總會、新年宴會、運動會、特殊の賣出し等、種々の御催しに際しては、下名各組合員等に對して御寄附御後援等御せつけられ候ことも屢々有之、下名各組合員等も亦業界奉仕の意味を以てそれ、の方法により、事情の許す限り聊か微力を致し來り候處、幾近急進なる業界の發展に伴ひ、その數の夥しきを加へ候のみならず事業の御計畫も年々大規模と相成候爲め、隨つて此種の御申越しも頼みに増加し然かもその御趣旨の寔に結構にして御賛同申上げ度きものも多々有之候へども、全國多數團體に對して一々その御意志に副ふことは、固より限りある下名各組合員等の力を以てしては、到底堪ゆる處に無之、折角の御希望に對しても御満足な圖ること相叶はざるの狀態と相成候に就いては、尚に遺憾ながら爾今、何れの御團體に對しても、その御趣旨の如何に拘らず、右様の御申込みは一律に御辭退申上ぐることに、各組合員會の決議を以つて固く申合せ、即時實行すること、相成候間、何卒衷衷御懇察の上、將來一層の御懇情垂れ賜はり度く致し右御願ひ旁々得貴意申候、敬具。以上の共同聲明は勿論、三組合獨自の立場からなされたものではあるけれども、自然十日會の主張を一層強化せしむるに、與つて力あるわけ、その文中にもあるが如く中央、地方、何れの團體を問はず、一切の寄附行爲には固くこれを斷絶することに決議の上、三組合の間にもその實行上、遺憾なきを期することに申合せが取交はされたのである。斯くして業界多年の宿弊を救ひ、他力依存の思想を一掃するとともに、刻下の非常時に際して、業界を擧げて自力更生への一途に邁進することになつたのは、業界の慶びとして迎へられた處であつた。

大正十三年七月二十九日法律第二十四號を以つて公布せられたる貴石品輸入關稅法律案中、貴石が從價五分より一割十割に引上げられたるは、歐米各國に於いても、曾つてその例を見ざる處の苛税にして吾國に於ける寶石價格が海外市場の相場に倍加するの原因とななり、その爲めに蒙れる營業者多年の苦痛は、實に言語に絶するものあり、當に業界の正常なる發達を阻害せるに止まらず、幾多の派生的問題を惹起するに至れるは、吾等の以つて大いに遺憾とする處也。思ふに此の高率關稅を布けるは、吾國に於ける當時の國情が經濟の引締めを行ひ、以つて大震災直後に於ける復興の精神を強調するの要あるが爲め、人心の反省緊張を促すとともに、その奢侈を抑制せむとするに出でたる政策に外ならざる可しと雖も、爾事星霜を閱みすること既に十年、今や吾國の情勢は當時とは全くその事情を異にし經濟界に於いても、社會事情に於いても、何等特別の施設を要するものあるを見ず、時代は幾變遷して當時の事實は全く解消せるのみならず、寶石を目して貴石品となすが如きは餘りに提はれたるの見解にして、是れ全く寶石の眞價を知らざるに由來するものと云はざる可からず、抑も寶石は所謂奢侈修養品品の定義とする處の浪費削減を伴ふものに非ずして、之れが永久不變の性能は、文明國共通の財産價値を有する貴重品として貨幣以上に尊重せらるゝ所以なるは、今更説くを須ひざる處。更に而して寶石は吾國內に於いては全く産出を見ざる處のものにして、國家産業保護の見地よりするも、輸入防遏の必要は毫も之れを認めず、全然高率關稅によりてその輸入を阻む理由の奈邊にあるやば、是れ亦推知するに苦しむ處也。然れば以上の如く何れの方面より見、又如何なる解釋を試みむとするも、かゝる苛辣なる惡税をそのまゝ存置するの不條理なるは、何人も首肯する處なるのみならず、今や時代に適せず、實情に即せざる法律の存在は、却つて吾等營業者を苦しめ、業界を不安に陥らしめ、餘弊の及ぶ處、遂に輸入事件の如き一大不祥事の勃發を見るに至れるのは、吾等の深憂措く能はざる處にして、是れが實の一牛は、

全國組合の沿革・現勢

全国各地に於ける業界の大勢を知らむと欲すれば、先づその地方に於ける組合の活躍状態を見るに如くはなしとの見地から、昨年はその第一歩として六大都市に於ける同業組合の沿革、現勢等に就いての報告を求め、以てその勢力、消長を知るに備へた。今年もまたその概を踏み、六大都市以外の組合を順次、紹介するに決したるも、求めたるその報告材料は、精粗必ずしも相同じからず、挙げたる項目にして答へられたるもあり、答へられざるもありてその取扱ひの劃一を期することは、竟ひに不可能に終つた。

北海道小間物化粧品卸商聯合會

沿革

歐洲戦争の好景氣から、北海道に於ける化粧品の需用は著しく増加した。かくて好景氣經濟界の一大轉落期後、化粧品販賣に於いても漸く値引競争の出現となりつゝあつた際、全道同業卸商の親睦を厚ふすとも一致協力、濫賣を避け、正しき營業によりてその福利をともにしやうと云ふ意志は、各業者の間にも話題にも上るに至つた。

大正十一年十月、レイト化粧料本舖が定山溪温泉に於いて全道の代理店を招いて懇談會を催した。好機到れりとせる一同は、會終了の翌日、聯合會創立會を開いて全員の賛成あり、こゝに目出度くその誕生を見たのである。時の役員は、會長に藤原英太郎氏、副會長に札幌の小六節之助氏、同大澤染次郎氏、小樽の久保與三五郎氏、同松本榮三郎氏、函館西澤晋八氏、同加藤文五郎氏、旭川石田万作二氏、同山本龜二郎氏が擧げられた。本會は會員相互の親交を温め、業界の發展

と各自の幸福増進を以て目的とす。を三條に樹て、十五ヶ條の會則を以て全道同業者の未加入者を動めて三十名の會員を獲得、第二回總會は大正十二年十一月十八日、小樽に於いて開催された。此時函館市に於ける同業者は全部入會拒絶の報告があり、聯合會としては甚だ遺憾の意を表するとともに重ねて入會希望を懇請することとなつた。

この第二回總會に於ける提出議案は、各地より多くの提出を見、同業卸店としての幅める相互利益擁護の内情に協力せんとしたのである。更らに業界多年の宿望たる機關紙商報發行の議も此時提出された。恰かも當時業界から獨立したる島野一二君が、同じく經營希望を有して居たので、聯合會は之れを島野氏に委して準備を進めしめ、翌年二月紀元の佳節を以て創刊されたのである。かくして聯合會は毎年恒例の總會を開いて業界の正しき發展に貢献し會員も亦親睦を重ねて昭和二年二月、聯合會とは別に北海化粧品卸商同業會の設立を見るに至りたるも、その年八月第六回總會の折北海化粧品卸商同業會は聯合會に合併することとなつた。

次いで第七回總會は函館市に於いて開かれ、時恰もクラブ太陽會創立總會と前後したので、函館の同業者

とも懇談の上、函館業者全員の入會を見、全道全市及び十二ヶ町の業者を網羅すること百名を突破するに到つたのである。その後再び函館側の退會となり、又化粧品界に於ける業態の變化から退會者を出すに至つたが、設立こゝに滿十三年、堅實なる業者は、よく聯合會の精神を體して今日に及んだのである。

現勢

昭和九年度に於ける會員数は小樽、札幌、旭川、帯廣、釧路、餘市、江別、根室、野毛中の五市四町に於いて三十一名。毎年一回宛總會を開催し目的貫徹に邁しつゝある。尙九年度は國立公園地帯阿寒湖畔に自然の風景を賞しながら、業界の諸問題に就いての協議を重ねたのであつた。事務所は小樽市住初町二丁目、現在役員氏名如左。

- | | |
|------|-----------|
| 會長 | 小樽 藤原英太郎氏 |
| 副會長 | 旭川 岡澤彦太郎氏 |
| 會計幹事 | 小樽 松本榮三郎氏 |
| 幹事 | 札幌 小泉清一氏 |
| 同 | 小樽 本間勘次氏 |
| 同 | 釧路 橋本文平氏 |
| 同 | 帯廣 莊田徳太氏 |
| 同 | 野毛牛 田巻靖司氏 |
| 書記長 | 鳥野一二氏 |

札幌小間物化粧品卸商聯合會

札幌組合は大正十五年六月、札幌市内に於ける小間物化粧品業界の有志により、札幌小間物雜貨卸商組合の名によりて生れたのが、此の組合の胎生である。それが昭和四年二月には札幌小間物化粧品雜貨卸商組合

と改稱された。然して更らに同年四月、此の組合を母體として機關新聞札幌小間物化粧品雜貨商報が発行された。その間組合員には多少の異動はあつたけれども、大體最初の顔觸れによつて昭和六年十一月、三度び札幌小間物化粧品卸商組合と改稱、今日に至つた。

現在の組合員は十五名、市内の小間物化粧品卸業者の中、最も有力なる業者のみをあつめ、春秋二季には總會を開いて組合の進展を期して居る。昭和九年六月、長谷川四郎氏を組合長に小六秀義氏を副組合長とする札幌小間物化粧品卸商納稅組合を設立してその成績を擧げて居る。現在役員如左。

- | | |
|------|-------|
| 組合長 | 小泉清一 |
| 副組合長 | 金田正清 |
| 幹事長 | 長谷川四郎 |
| 幹事 | 羽鳥千賀恵 |
| 同 | 小六秀義 |
| 同 | 小野平次郎 |
| 同 | 關根康弘 |

小樽小間物化粧品卸商組合

明治二十七年、小樽に於ける同業者の組合が、故村住三右衛門氏等發起の下に、卸、小賣合同して小樽小間物商組合が設立されたのである。然るに年々、同業者の数を増すとともに卸商と小賣商の合同では利益關係にも、組合の歩調を一致する上にも、多少の支障を感ずるに至つた處から、大正十二年一月、小樽小間物化粧品卸組合の創立となり、小樽小間物商組合創立三十周年記念會を機として卸商は、その組合から分離したのである。爾來十有二年、組合員二三の移動はあつたが、協力一致、卸商としての共存共榮のために組合

の發展を期し、毎月例會を開いて懇親を深めながら進みつゝある。現在組合員如左。

- | | |
|----------|--------|
| 梅屋商店 | 村住三右衛門 |
| 新發田屋商店 | 中山龍太郎 |
| 原商店 | 原榮藏 |
| 喜屋商店 | 長井廣吉 |
| 久保商店 | 久保久治 |
| 中松合名會社 | 松本榮三郎 |
| 藤原商店株式會社 | 藤原英太郎 |
| 西村石鹼製造所 | 毛利貢 |
| 本間商店 | 西村直敏 |
| 高森商店 | 高森市太郎 |
| 役員 | 村住三右衛門 |
| 幹事長 | 本間勘次 |

仙臺小間物雜貨商組合

遠く明治二十八年十月の創立にして、既に四十年の歴史を重ねて今日に及んで居る。業界品の運賃遞減問題に端を發して同業結束、組合發祥となつたのである。組合の事業として多くを行はざるも、店員の獎勵慰安會は明治三十八年五月その第一回を開催してより、今尙ほ依然としてこれを續けて居る。初代の組合長は八木久兵衛氏。

創立當時と今日とは、甚しく業界事情を異にする爲め、組合員の業態にも多くの變遷あり、現在組合員中には小間物、化粧品、玩具、洋品、運動具、文房具等の各種の業種を包擁して居る。組合よりは商工會議所議員特選の特遇があり、現に會頭三浦善作氏をはじめ

齊川、西内、奈良氏等の會議所議員を組合員中に有せるが如きは、業界でも異數とする處であらう。

- | | |
|------|-------|
| 組合長 | 齊川久吉 |
| 副組合長 | 櫻井益之助 |
| 常任幹事 | 高橋善四郎 |
| 幹事 | 西内長治 |
| 同 | 大澤晋平 |
| 同 | 奈良龍三 |
| 同 | 深堀豊治 |
| 同 | 遠藤長三郎 |
| 同 | 庄司勇太郎 |
| 同 | 八木久兵衛 |
| 同 | 八木安兵衛 |
| 同 | 三浦善作 |
| 顧問 | 中村梅三 |

仙臺化粧品商業組合

價格協定を旗印に、十周年を迎へた仙臺化粧品同業組合が、轉身してその組織を商業組合に改むべく、大澤晋平、村上安之助、高橋善七氏等が東奔西走、かくして生まれ出たものが此の商業組合である。濫賣都市として然かも三越、藤崎二大百貨店の進出以來、競争激烈を極め、業界混亂、小賣店よ何處へ行くとも考へられた仙臺も、共同仕入、價格協定を目的とした商業組合が成立してからは、殆ど無競争状態に還つたのは喜ぶ可きである。近く低利資金の貸下も實現するであらうから、今後に期待する處も渺くはない。現在役員如左。

- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 大澤晋平 |
| 常務理事 | 村上安之助 |

組合團體

- 理事 深堀豊治
同 今野平藏
同 佐藤量
同 飯田信七
同 鶴本平助
同 高島勝齋
同 小野寺剛
同 三浦山松
同 遠藤長三郎
同 三浦善作

岐阜化粧品組合

岐阜市に於ける化粧品商三百有餘名をその組合員として、昭和五年六月九日、その設立を見たものである。
随つて日向は深くして語るに足るの歴史は有しないが、然し組合員の結束固く、常に生産本館並びにその代理店である岐阜化粧品卸商組合との協力を保ち、粗製不良品を除くして新進優良の商品を選び、販賣上に於いては各自競争を避け、その弊害矯正の爲めに、組合にては規約に違約處分の一項を設け、組合員に對しては常に監視に努め、違約行為の疑ひあるものに對しては、警告を發して未然防止に努めつゝある爲め、業界の和平を齎さるゝが如き虞れはない。組合員の生産高は八年度に於いては約六萬五千圓、販賣取扱高三十五萬圓に上つて居る。組合經費年額三百圓内外。曾つて賣藥同業組合と相合して商業組合に轉向すべく、數回發行人會を開催したるも、われ化粧品業者中の有資格者百七名ある中、加入者五十八名にしてその維持到底覺束なきのみならず、商業組合法に於いては、値段協定に就いての確たる條文なく、甚だその無力を感じたので、斷然轉向を見合せることになり、只管理組合の堅實なる發達に向つて邁進を期しつ

京城化粧品組合

京城府内に於ける化粧品販賣業者が協力一致、以て健全なる業界の發展を期す可く、協定價額を定め、これを遵守することによりて相互の福利を保護増進しようといふ目的の下に、昭和四年の秋、九月を以て創立されたのが現在の組合である。當時の加入者二百餘名、組合長一名、副組合長二名、會計一名、幹事三十名、内地人二〇名、鮮人一〇名——の役員を定め、選ばれて初代の組合長となつたのは夏川榮造氏であつた。然し氏は昭和六年十月、大連に引上げたので、その後任として川浪清次氏が推されて組合長に當選。越えて同八年十月の總會に於いて現組合長山本惣三郎氏の當選を見るに至つた。現在組合員は三百名。

その間、昭和五年、京城本町二丁目京城競賣所の濫賣、並びにその他の濫賣取締に努め、昭和四年以降に於ける各有名品の値段協定實行、昭和七年六月には組合費の徴收上一等より五等までの等級制を定め、同八年十月の總會を期して運動會並びに十年以上勤続の従業員表彰式を舉行、昭和八年一月以來小賣値段の改正を行ひ、同八年九月役員會の決議により、組合運動會並びに總會費を節約して國防献金を實行することに決定、翌日献納せるをはじめ、同九年の夏、南鮮地方の水害に際しては、救助の一端として義金を贈つた。現在役員は昭和八年九月二十四日の改選である。氏名如左。

- 組合長 山本惣三郎
副組合長 和信商會
同 齊藤藤三郎

組合團體

とある。現在役員如左。

- 組合長 長谷川豊市
副組合長 西松金次郎
同 田中宗次郎
會計 和田辰次郎
庶務 後藤久次郎
監督 櫻橋幸太郎
同 宇野勸助
同 清水岩吉
同 清水文吉
同 後藤由太郎

福博化粧品商組合

極端なる濫賣の慘禍に晒された福博の業界の同業は、斷乎として業界革新の爲めに起ち
相部正太郎 白杵良太郎
粘川竹次郎 柴田彌一郎
戸島直助 錦種吉
井上與吉 新免久治郎
山本伊之次 下澤啓作
以上の諸氏が發金の下に、同業者を糾合して組合を設立した。大正十四年四月のことである。井上氏初代の組合長として一期をつとめ、相部氏に代つた。相部氏は四期繼續して現在に至つたのである。白杵、粘川の兩氏、副組合長として相部氏を輔け、五百餘名の組合員を有して居る。然かしてその組合員中の有力者は殆ど福博同業化粧品商業組合に加入して居るので、統制は總て商業組合をして行はしめ、商業組合に於いて統制し得ざる部分のみに對して統制するに過ぎないから、事業としては消極的であるけれども、然し卸商組合十日會、商業組合とは常に連絡を執り、よく業界平和の爲めに盡して居る。昭和六年秋より同七年春にか

會計

- 同 田永治
谷口藥店 宮本貞吉
日の丸小間物店 三浦藥店
阿部藥店 藤田藥店
山岸天佑堂 山本繁次郎
三河屋商店 杉本璋太郎
山口善太郎 榮光商會
大豐商店 第一洋品店
德永商店 北園庄七
西大門藥店 宮本千粒堂
白石商店 金武植
依昌商店 博愛堂藥局
東仁商店 大成百貨店
夏川支店 月本政次郎商店
三田村商會 川浪藥店
愛生堂藥局 文化研究所

釜山化粧品組合

今を去る十年前即ち大正十四年釜山共榮クラブ會の創立に因りて同業結束の機運到來、全化粧品品の値段協定を目的として組合の組織を見るに至つた。時に昭和四年、爾來全組合員は一致協力、値段問題に關しては堅くこれを守るに努め、目的の遂行に邁進しつゝある。昭和九年度に於いては役員會を開くこと四回、九月には總會に併せ店員慰勞會を開いた。現在役員如左。

- 組合長 西尾角藏
副組合長 中江重三郎
同 加納功
幹事長 水野儀一
會計 朝日堂

けて優良國産品愛用大運動を起したるが如きは、業界に對する大きな貢獻であつた。
現在役員は昭和八年四月の改選である。氏名如左。

- 組合長 相部正太郎
副組合長 白杵良太郎
同 粘川竹次郎
會計 和田辰次郎
同 櫻橋幸太郎
同 宇野勸助
同 清水岩吉
同 清水文吉
同 後藤由太郎

商業組合及工業組合府縣一覽表

Table with columns for Prefecture (府縣名), Commercial Combinations (商業組合), Industrial Combinations (工業組合), and Total (合計). Lists various combinations across different regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

全國組合一年史

一、昭和九年中に於いて行はれたる全国各地組合の事業概要を収む。
 一、材料は總て各組合よりの報告に據る。
 一、回答を與へられざる組合多く、締切期日に遅れたるものもまた尠からず、萬遍なく網羅し得ざりしを憾みとする。故にこれを以て全國組合一年史となすは、甚だ當らざるの感あるも、行く行くはその實現を期する處に、われ等の理想を置く。

北海道

北海道小間物化粧品卸商聯合會
 八月二十二日、第十三回聯合大會を國立公園阿寒湖畔に開く。▽同日二十三日、國立公園阿寒地帯の視察を行ふ。
札幌小間物化粧品小賣商組合
 一月二十日、第十三回定期總會を開く。▽九月十日、秋期懇親會開催。
小樽化粧品製造組合
 一月十五日、總會、次いで新年懇親會を開く。▽二月十五日、事務所に於いて原料材料共同購入に關する協議會を開く。▽五月十五日、花園公園に觀櫻會、十月十日、定山溪温泉鹿の湯クラブに觀楓會開催。
小樽石鹼製造業組合
 一月二十三日、迎陽亭に總會、續いて新年懇親會を開く。▽三月十三日、組合長西村喜代登氏逝去。▽四月十三日、小樽石鹼工業組合設立認可あり、小樽石鹼製造組合は七月解散。

函館小間物化粧品卸商組合

二月三日、湯の川梅久に於いて總會開催、出席者十八名、前年度庶務會計報告の後懇親會開催。▽三月二十一日、大火災の爲め組合員の大牛類焼、各自復興に努力、組合としての事業その他十月迄中止に決す、尙東京小間物化粧品卸商同業組合、大阪商社及び大阪北交會、東京第二帽子商組合その他より義捐金の寄贈あり、小間物商組合と共同の上、罹災者への配分を終る。
函館和洋小間物商組合
 一月八日、函館湯の川梅久に恒例新年總會を開く、出席者六十餘名全役員の改選後、庶務會計の報告を終りて新年宴會に移る。▽三月二十一日、大火災により組合員の大牛類焼、東京大阪各業界よりの義捐金を受け、組合役員會を開いて組合員に分配するとともに九月迄會の總ての事業中止。
東奥知安商會組合
 一月三十日、第一回通常總會開催、運搬事業、金融事業、共同仕入事業、保管

東 北

弘前小間物商組合
 一月十一日、第五十三回總會を開催、第二十八回勸業店員表彰式を擧ぐ。▽六月二十日、第五十四回總會夏期旅行として組合員及び家族の一泊旅行を行ひ、津輕半島北部小泊港及び龍飛燈臺見物、二十一日歸る。
秋田小間物商組合
 一月二十三日、秋田商工會議所に於いて

事業、事業施行に關する細則制定の件を附議、満場一致實行に可決確定、尙記念として月掛貯金の加入獎勵す。▽五月十日、第二回通常總會開催、八年度決算報告その他重要事項を附議す。▽九月、貨物自動車購入、運搬事業を實行中。
岩内洋品小間物商組合
 一月、新年總會。▽五月、觀櫻會を開く。▽毎月十九日集合して有名品の値段協定を行ふ。
網走化粧品商組合
 一月二十日、總會及び新年會。▽二月十日、幹事懇談會。▽五月二十日、觀櫻會。▽七月二日、安藤井筒堂、由卷商店主催の清遊會。▽八月二十三日、クラブ北陽會主催の清遊會。▽九月五日、觀劇會。▽十月十日、臨時總會。
江別靴物雜貨商組合
 一月十五日、總會を旗亭胡月に開く、店員、店主の慰勞の爲め定山溪へ清遊、石狩沿岸へ鮭漁を試む。

て第三十六回定期總會開催、同時に勸業店員表彰式を擧行。▽十月十七日、市外將軍堂遊園地に於いて店員慰安運動會を開く。
秋田靴物商組合
 一月二十三日、田中町松亭亭に於いて定時總會を開く。
山形小間物洋品商組合
 一月十五日、總會開催、前年度事務報告及び今年度事業計畫その他の協議を行ひ、新年宴會を開く。▽五月九日、十日の兩日に亘りて山形近郊景勝の地にして最上三十三札所第一番の靈場たる若松觀音に參詣、歸路天童温泉に於いて店員慰安會開催。
酒田小間物洋品文具商組合
 二月十六日、組合總會を開き組合役員改選を行ふ。▽同日組合店員七ヶ年勤績の左記四名の表彰式を行ふ。
 伊藤徳治店員 豊田清廣、日の出商店員 矢口彌助、伊藤政助店員 坂上伸江、水戸梅子
 六月十七日、自動車にて組合員及び家族慰安の爲め湯の田温泉に慰安會を催す。▽十月七日、商工業組合聯合會主催の從業員慰安會には當組合員店員各自參加。
鶴岡市小間物商組合
 五月三日、組合の總會を公園地又喜知亭に開催。
仙臺化粧品商業組合
 昭和八年九月より九年八月までの共同仕入額十一萬圓。▽三月二日、クラブ本館の提議により小賣價格協定委員會を精

整軒に開催、出席者二十五名。▽四月十八日、仙臺商工會議所に第二回總會を開く、同席上小賣價格協定を行ふ。▽九月六日、ライオン仁丹商標本舖提議により價格協定委員會を開催に開く、出席者二十五名、尙小賣價格協定會は、製産者、販賣者、消費者、官廳、立會の公正價格である。
仙臺小間物雜貨商組合
 六月一日、第二十九回店員獎勵會並びに慰安會を松島遊園に開く、十年精勤者二名、七年精勤者十一名、五年精勤者七名表彰。
福島化粧品商業組合
 一月二十五日、定期總會を商工會議所に開く。▽四月二十八日、市内信夫山公園に組合の觀櫻會開催。

東 京

東京小間物化粧品卸商同業組合
 昭和八年十二月二十三日、東宮殿下御降臨のお慶びを拜するや、小林組長は廣田理事等同、宮城坂下門奉拜所に何候、奉賀の意を表した。▽一月十二日、組合定時總會臨時總會を帝國ホテルに開催、第十四回滿二十年並びに第二十五回滿十年精勤從業員表彰式を擧ぐ、表彰を受けたる者、二十年十四名、十年百五十六名。
 二月十五日、増員役員選舉執行、外池五郎三郎、阪本一郎、株式會社資生堂、久保政吉、株式會社興住商店の五氏當選。
 二月二十日、貴石十割關稅撤廢を期し

て結成せられたる貴石關稅改正同盟會に組合も加盟して改正運動を試み、此の日大都市關係業者連署の請願書を貴衆兩院へ提出。▽三月二十三日緊急役員會開催函館市大火災救援方針を定め、後義金三千三百八十二圓を贈る。▽五月二十六日日商會商に對する組合の態度決定。▽六月八日、組合生産高及び販賣高調査委員會を開く。▽七月一日、保險部を設け此の日より事業開始。▽七月八日、東京府商工從業者表彰規程に依る滿三十年以上精勤の組合表彰從業員候補者を推薦。▽九月十二日、組合の法律顧問として辯護士法學博士高窪喜八郎、辨理士前特許局長官正四位勳四等中松盛雄の兩氏を囑託。▽九月二十六日、緊急役員會開催、關西風水害見舞方法決定、後に金四千圓を被害各府縣に配分。▽十一月、四、五日、大阪に於ける全國商工同業組合大會に組合代表として小林組長、宮本名譽顧問、葉滿田評議員、廣田理事の四氏出席。▽十一月五日、第五回大禮記念學術講習會開催。同二十三日終了。▽十一月十三日滿洲國關稅及び滿鐵運賃改正に關する陳情書原案確定。▽同、東北國作地義捐金募集の方針を定む。▽同、昭和十年度組合經費及び賦課金徵收法決定。▽十一月二十日、復興記念橫濱大博覽會組合出品同盟會成る。
東京化粧品卸商會組合
 一月八日、上野精養軒に臨時總會を開催、出席者百七十四名。▽六月四日、上野精養軒に總會開催、出席者百七十名、

組合の存廢に關する根本方針決定の件を附議したる處、組合員の總意により遂に組合解散に決し、價格統制即時中止に決した。
東京小間物商同業組合
 一、總會を開くこと二回、決算、決算承認。▽一、第三回表彰式を行ひ、十年以上百十五名、二十年以上十七名の勸業者表彰を行ふ。
東京石鹼組合
 一月十日、新年宴會を上野精養軒に開催。
東京香料商組合
 一月十一日、總會を福井樓に開き、終つて新年會を開く。▽六月八日、懸案であつた懇親會を兼ねたる旅行會を開催、伊豆の天城山をドライブして蓮臺寺温泉に一泊、翌日は下田を訪ね、歸途大島に遊ぶ。
東京靴物雜貨製造販賣同業組合
 一月六日、淺草草津亭に定時總會開催同日第二十六回表彰式を擧行、十年以上勸業從業員八名を表彰。▽十月十九、二十、二十一の三日間、小間物化粧品組合事務所三階に於いて品評會開催。
東京製糖業組合
 一月八日、東京商報社に於いて第三十三回定時總會並びに臨時總會開催、前年度業績報告及び同年度に於ける會計報告、役員改選後、十年勸業從業員七名の表彰式を行ひ、賞状並びに賞品銀時計を贈與、終つて新年宴會を開く。
東京製人毛商組合

業界不況の爲め組合費を免除、組合を十區に分ち通信費を徴收して通信事務を假事務所に於いて取扱ふ。
東京洋雜貨卸商同業組合
 一月二十日、定時總會、新年宴會を開く。▽四月二十三日、店員慰勞會として東京海汽船丸に便乗、房州保田に上陸鍋山登山、後、保田海岸に地曳網に興じつゝ夕刻歸京。▽五月二十日、定期總會を開催。▽十月二十日、店員修養講演會を實業聯合館に開催、加藤組長の挨拶、慶應大學教授柴田一能氏の講演「人の道」があつた。▽組合員の工業權擁護の爲め實用新案の登録異議申立を爲したるもの三件、四件、無効審判を請求したるもの三件、組合にて實用新案を登録、組合員に對して實施權を許したるもの二種。▽十一月五日、特許法改正を關係各省に献白及び陳情した。
東京城西藥種賣化粧品商業組合
 二月より九月迄の共同施設取高金三萬五千三百七十五圓六十一錢一厘。
東京城北藥種賣化粧品商業組合
 四月一日、事業開始。▽五月二十八日總會開催。
關 東
前橋小間物化粧品商組合
 一月二十五日、前橋市立川町前橋會館に於て昭和九年度新年組合定時總會開催、出席者三十名、組合員より一ヶ月五十錢宛を積立て、一年一回宛旅行を行ふこと

とに決定した。但本年度は當地に於いて陸軍特別大演習舉行、大本營を設けらるゝにより來年度に繰越した。

高崎化粧品商會

四月一日、總會開會、組合長金子織衛副組合長木暮彌平、會計國峰辰治三氏の表彰式を行ひ、記念品を贈る。▽八月十一日、小間物玩具袋物商組合を役員總會に於いて高崎化粧品商會と改稱、組合長に國峯辰治氏、副組合長に上原菊次郎氏當選。

群馬縣中部化粧品商會

九月二十一日、前橋市商工會議所に於いて認可後第一回の臨時總會を開會、左の議案可決。▽一、定款變更の件▽一、統制規定の制定の件▽一、統制委員選任の件▽一、理事及監事改選の件。

沼田小間物化粧品商會

一月十二日、總會及び新年宴會を開く。▽六月一日、日光、鬼怒川方面旅行を試む。

藤谷化粧品小賣商會

一月六日、設立登記。▽一月八日、組合員に定款、統制規程協定値段表を送達、同日地區内に於ける組合員に非らずして組合員たる資格を有するものへ、統制規定、協定値段表を添へ組合の統制に従はれ度き旨の通知を發した、施行は一月十日から。▽一月二十八日、通常總會を開會、統制規程の變更を決議した。▽二月十九日、組合員及組合員に非らずして組合員たる資格を有する者に就いて試買を行つた。▽七月七日、臨時總會を開會、

北埼玉郡、南埼玉郡、北葛飾郡の内八町六ヶ村に地區を擴張することに決議した。同日協定價格決定委員會及び信用評定委員會を開く。九月十日、地區擴張に付認可申請を埼玉縣知事に提出。同日統制規程、變更認可申請を埼玉縣知事に提出。一月より十月に至る共同仕入如左。

レイト化粧品	二九三〇九三
クラブ化粧品	三四八四〇八
千代田化粧品	五八七四八九
御園化粧品	二二二四九四
合計	一、四五三、四二四

蕨地方小間物化粧品商會

四月十一日、第二十一回定期總會を開會、優良組合員並びに功勞者の表彰を行ふ、組合員の販賣状況審査に關しては臨時審査員を派遣、組合員は協力一致協定價格を實行しつゝあり、毎月十五日評議員會を開く。

野田町化粧品商會

四月十七日、野田町清水公園清樂荘に第十六回總會開會、出席者二十二名、岡田組長司會の下に各報告、議事を終りたる後、役員選舉を行ひ、觀禮會を開く。

厚木化粧品商會

一月二十一日、第七回定期總會を大手町萬幸に開く。▽組合は常に小賣價格の統制に重點を置き、濫賣を未然に防止することに協心努力しつゝあり、尙此の目的を有効ならしむるため、役員以外の主なる店主に参加を求め、組合費以外に積立をなし懇談會を催すこと年に三回。

名古屋香油商會

一月十日、岐阜縣笠松町、四季の里に新年總會を開き役員改選を行ふ。▽四月六日、中區南岡町東船に業界時事に關する協議會を開く。▽十月四日、市内南伏見町の香取に於いて臨時總會開會、明年運動會舉行の件、明春一月十日新年宴會の開會、從來森組合長宅にありし事務所を名古屋小間物化粧品商會社内に變更の件を議決。

名古屋商會

中區富岡町料亭湖月に定時總會を開會、役員改選並びに十一月一日より製製品二割値上、明年度より組合費の増額徴收實施、從來年一回の總會を春秋二期に改むる件を議決。

名古屋化粧品小賣商會

三月二十三日、第七回定期總會を名古屋商工會議所に開く。▽十一月三日、中部化粧品小賣商會社と共同主催の下に化粧品愛用者招待談話と舞踊婚嫁美粧大會を開會。

愛西化粧品小賣商會

二月、舊正月前後を期して歳暮、新春賣出しをなす、八日間。▽四月二十六日總會。▽七月二十一日、統制規程認可。▽九月、舊盆の賣出し八日間。▽十月十五日、組合地方一市二郡に亘り組合事業としてキンシ洗粉七ヶ入を獨占的に直接共同仕入をなすの契約を結び現在實行中。

小牧雜貨商會

四月三日、組合員總會。▽四月十日、

北 陸

高田小間物化粧品卸組合
新年總會一回、秋季總會一回を開會、別に臨時旅行一回を行ふ。

新發田小間物商會

一月六日、定時總會開會、規約中一部改正を議決、續いて役員改選凡て重任

柏崎百貨同業組合

總會を開ける外には事業はない。

小千谷小間物同業組合

一月五日、總會及び新年宴會開會、五月十一日、店員慰安觀禮會を開く。▽六月十六日、組合員一同水上温泉清遊、伊香保温泉一泊、榛名山探勝旅行を試む。

富山市小間物化粧品卸商會

七月、組合員總出の上、宇奈月温泉に清遊を試む。

富山小間物化粧品小賣商會

四月十八日、第六回定期總會開會、役員改選を行ふ。▽十一月五日、組合員中有力者三十名飛越線全通を機として出發、下呂温泉一泊、名古屋見物の後、上京、各化粧品本舖の招待を受け、十日歸國。

高岡化粧品小賣商會

一月十日、第四回役員會を開會、組合事業計畫に付き協議を行ひ、値上製品に關する賣價協定の件を審議した。▽二月十八日、第四回定期總會開會、八年度會計報告承認の件、組合費増額の件を附議したる後、高岡警察署長、名譽顧問廣瀬

林也氏、組合長本間常吉氏等の業界統制に關する講演があつた。▽三月二十二日第九回常任理事會に於いて組合費増額徵集の方法審議、七月十八日、第十回常任理事會、規約一部改正、部長制度適用の件を附議した。▽七月二十一日、第五回役員會を開會、組合状況報告承認の件

魚津雜貨小間物商會

一、總會。▽二、化粧品小賣最低價協定。三、組合員の爲めに一定の協定額の範圍内に於いて金融幹旋。

金澤雜貨商會

一月十九日、總會開會、昭和八年度決算報告承認。▽十月二十一日、店員慰安會。

金澤市荒物卸商會

二月十一日、總會を開く。

武生小間物化粧品商會

二月十日、通常總會を開會、役員選舉定款の改正を行ふ。▽創立二十五周年祝賀會開會、勤続店員滿五年以上の表彰式舉行。

中 部

松本小間物化粧品同業組合
一月二十三日、淺間温泉に於いて總會

近 畿

各取引問屋を小牧山に案内して招待會を開く。▽四月二十五日、組合員の婦人旅行、多賀神社参拜。▽十月十九日、組合秋季總會及び昇拜。

半成化粧品小間物商會

十月十九日、半田常盤館に於いて第十八回定期總會を開會、出席者五十五名、協議事項は小賣價協定の件、不良品不賣斷の件、化粧品知識研磨の件、此の年の新加入者三名、脱退者一名。

京都小間物化粧品卸商會

三月一日、組合事務所役員改選を行ふ。▽六月四日、店員慰安會開會、大和權原神社参拜の後あやめ池遊園地に清遊。▽十一月九日、物故役員追悼法會を五條坂袋中庭に會む。▽同、前役員感謝狀贈呈式並びに勤続店員表彰式を四條萬葉軒に舉行。

大阪小間物卸商會

昭和八年十二月三十一日、事務所を新築の新館へ移轉、建築總工費六萬圓。▽一月十三日、午前事務所新築落成式、午後第二十四回店員表彰式舉行、受賞者二十五年五名、十年三十四名。終つて新年會を開く。▽四月六日、第五部春季總會を白濱に開く。▽四月十日、第七部總會を信貴山三樂莊に開く。▽四月十五日、第四部店員慰安遠足會。▽五月四日、第四部總會有馬温泉に開く。▽五月十四日、第六部總會を寶塚に開く。

▽五月十六日、第一部總會を松虫花に開く。▽六月、組合事務調査委員十六名を設く。▽十月八日、評議員議長松江新兵衛氏選出。▽十一月二日、第六部店員慰安の爲め笠置から奈良にかけて遠足會を試む。▽十一月十八日、第四部店員慰安會として欽傍、岡寺方面に遠足を試む。

大阪化粧品同業組合

一月五日、第十三回新年福壽會を田邊橋畔大阪ビル俱樂部に開く。▽一月三十日、通常組合會を開會、定款改正調査委員を擧げ組合の内部組織改正の研究をなす事に決定。▽三月三日、第十三回勤続店員表彰式舉行、十年三十二名、二十年三名。▽三月五日より六日間、大阪市教育部と共同主催の下に第十四回實務講習會を開會。▽三月二十八日、組合代議員選舉を行ふ、定員二十名。▽四月五日、函館大火、罹災同業者見舞の爲め金一百圓組合より、金五十圓商報社より贈る。▽四月十日、役員改選、中山太一氏五度び組長に重任。▽六月二日、恒例の運動會を奈良春日野に舉行、参加一千三百名。▽六月十九日、臨時組合會開會。▽九月十一日、滿洲國關稅改正運動の爲めに賑起することに決定、實行委員二十三名を擧ぐ。▽九月二十一日、颶風水害の同業者慰問として組合より三百圓、商報社より二百圓、自助會より五十圓寄贈、更らに組合より二千圓、商報社より一千圓支出。▽十月六日、復興資金融通問題の爲め緊急組合會開會、考究委員十一名を擧ぐ、東京組合より二千圓、大阪組合の

東京化粧品協同
大正十四年十一月創立、價格統制、販賣權正の爲めに努力せしむるも、後事業中止。昭和九年十一月十日、化粧品製造、卸、小販三業者間の緊密なる連携を保持し、業界改善の研究を目的とする私的團體として更新。松田幸治郎氏を代表として事務所を日本橋區橋町十三東京小間物商同業組合内に置く。會員二十三名、小間物商四十名、卸商四十名、小間物商四十名。業名五名、氏名如左。
伊東 榮氏 外池五郎三郎氏 高橋三四郎氏 中山 豊三氏 長瀬 富郎氏 小林富次郎氏 金原巳三郎氏 三輪善兵衛氏 進藤 榮氏 平尾 贊平氏 葉滿田芳兵衛氏 金高良助氏 田中吉兵衛氏 神保文太郎氏 原田久兵衛氏 松田幸治郎氏 三野村金次郎氏 森忠兵衛氏 富谷 宗吉氏 荻村 武郎氏 吉田 達次氏 中村 信治氏 菊地三之助氏

ツバメ
花王石鹼本舗長瀬商會の製品たるツバメ石鹼の販賣を市内に力すべく、販賣制度の嚴守、規定取引値段及び支拂期日の履行を目的として昭和八年五月創立。會員は東都卸商十四名、幹部は左の諸氏。
常任理事 五十嵐 敏雄氏 同 葉滿田芳兵衛氏 同 西川 健太郎氏 同 計 鈴木 義明氏

ナトミ
美香園製品の販賣機關として昭和四年設立。會員十七名、地区は東京市内、世話役は中原久太郎氏。
ナトミシャンプーの販賣機關として昭和七年八月創立。會員五十名、幹部如左。
會長 谷澤 修氏 幹部 清水三郎氏 同 鈴木代次郎氏
ホソネット化粧品
はかり賣店
創立昭和七年二月十一日、連鎖店加入者は現在八十七名。地区は關東、東北、北陸並びに大連。
香久花
香久花號山本角太郎商店の製品を中心とする販賣機關、創立昭和三年十一月三日、會員百九十名、幹部六名。地区は東京市内及近郊。
東陽明和會
メロワ化粧品、メロワ商刷子、メロワ石鹼等を中心とする共同

の製造販賣機關。創立昭和八年七月一日、會員八名、幹部飯塚芳次郎氏、堀内隆教氏、大野木傳氏。地区は舊東京市内。事務所は飯塚芳次郎氏方。
東陽協進會
昭和八年七月設立、會員八名。晃陽商會の製品を中心とする販賣者の團體、會員三十名、幹部は林儀次氏、大野木傳氏、金子太郎氏、櫻崎太四郎氏。地区は東京市。
平和會
まんだ椿油を中心とする販賣者の團體。創立大正十五年五月一日、會員二十名、代表者前田爲一氏。
マルエ
マルエ石鹼を中心とする販賣者の團體。創立昭和七年九月一日、會員三十名、地区は東京全市。
青葉會
青葉製薬品を中心とする販賣者の團體。創立大正八年五月。代表者青葉屋本支店。
東油五進會
昭和二年六月、會員の親睦並びに原料の共同仕入れを目的として、東京煉油業者を以てて創立、會員は左の五名。
朝井 清輔氏 森本嘉作氏 山本角太郎氏 齋藤恭之氏 星 德藏氏
風姿會
長坂商店の製品を中心とする小間物商の販賣機關。創立は昭和九年六月十九日、會員五十名。代表者長坂商店。地区は關東一

TC三友會
大正六年、テリシ商會代理店たる藥局、藥店の三名を以てて創立。地区は關東、東北、北海道、北陸。幹事は一年交代。
カオリの店チエ
カオリの店製品のチェーン團體。創立昭和五年二月一日、會員十一名、委員長長坂倉信雄氏。地区は關東地方一帯。
互誠會
ベルベツト石鹼會社の製品中オベラ、ラニタン、アーク、ハタカセ等の各種洗濯石鹼の販賣機關として、昭和九年一月創立。會員は左の五名。
森友商店 三勇商店 井上義三郎商店 木下吉兵衛商店
パケツ石鹼會社
パケツ石鹼の販賣機關として大東京一區一名合せて三十五名の會員を以て昭和九年春創立。代表者藤谷長左衛門氏。
石鹼二十日會
石鹼同業者間の親睦を圖るべく、明治時代より設けらるる事務所は東京石鹼製造同業組合事務所内。會員二十四名、代表者一柳信次郎氏。
神奈川縣
東京石鹼製造同業組合に於ける同志の團體、團結により硬化油業者に対抗するを目的として昭和九年二月三日創立總會を開く。會員如左。

岡崎	一宮	静岡	濱松	清水	甲府	大津	長濱	長野	大垣	松本	上田	仙臺	福島	郡山
藥、雜	雜	雜	小、化	小、化	藥	小、化	小、化	藥	藥	藥	藥	藥	藥	藥
平田國太郎	高橋三郎	宮木貫之丞	影山喜一郎	大村清次	岡部服太郎	中村藤吉	殿岡勝藏	坪田勇治郎	久保田勝五郎	小長井健太郎	望月和一郎	武居彌兵衛	西川安太郎	小山寅之助
長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川	長谷川

石井仙太郎氏
水村兵太郎氏 有馬 節藏氏 大崎 平氏 鈴木 武藏氏 ワイエス石鹼 田邊 周次氏 廣藤 高一氏 田中銀三郎氏 飯山 賢亮氏 岩澤 秀直氏 勝田 仁康氏 相馬 久吉氏 藤田 寛三氏 三 明 合 石井藤五郎氏 井村豊興氏 大野 三郎氏 並木民之助氏 山 栗 油 齋 崎 石 鹼 福島 市藏氏 福島 輝男氏 サクラ石鹼 木内 謙治氏 飯塚龜次郎氏 高木徳治郎氏 神尾 石鹼 福島 友吉氏 小泉 正治氏 堀 甲子松氏 丹波勝治郎氏

友會
昭和九年九月、同業者間の親睦を圖るを目的として設立。事務所は東京石鹼製造同業組合事務所内。會員三十名、幹部は左の諸氏。
石井仙太郎氏 福島市藏氏 福島 輝男氏

友會
石鹼製造に關する共同研究を目的として大正十四年設立。事務所は東京石鹼製造同業組合事務所内。會員十六名、幹事如左。
竹井 俊郎氏 三雲次郎氏 川上八太氏

東京敷島會
敷島販賣機關として設立。現在會員は左の八名。
森友商店 中村本店 下田嘉右衛門氏 三勇商店 木下商店 小森商店 黒田市之助商店 松澤商店

關月香を中心とする販賣機關で、昭和七年に創立。現在會員左の八氏。
小森敬三氏 塚本 龍藏氏 草壁竹藏氏 中造 金造氏 山岸多一氏 二澤正五郎氏 中野新作氏 笹村 末吉氏 萬上 香 會
萬上香を中心とする販賣店の團體。會員百五十餘名。
月虎會
月虎印取線香の販賣機關。大正十三年二月創立。
東京前庭玩具同業聯合會
淺草前庭通りの小物玩具問屋を以てて組織せられ、毎年春秋の二回玩具見本市を開催する。加盟店は十二店、創立は昭和六年九月。
共榮會
鐘樓敷取線香の販賣を目的として設立されたる組合、組合員は現在森友、下田兩商店。
カプト
カプト蠟燭を中心とする販賣者の團體、創立大正十年十月十日、會員三十八名、幹部は新宿澁橋、中野方面の地区は竹谷良吉氏、王子、尾久、赤羽方面の地区は松本小吉氏。
帝國護身會
山崎帝國堂の護身製劑を中心とする販賣團體、昭和六年六月設立、會員七百名。地区は關東東北、甲信越、北海道。
大日本ライト會
ライトインキ代理店及び特約店の聯盟として、大正十四年二月五日設立、會員五十名。世話役ライトインキ製造所常務取締役

レコード後援會
昭和八年十一月二十五日、伊豆伊東温泉に開催せられたるレコード石鹼協議會を機としてその創立發會式を舉行。合同油脂直轄の代理店區域一府十六縣を五部に分ち、左の幹部を置く。
會長 森本 三三氏 副會長 本間 常吉氏 會計部長 高井作右衛門氏 第一部長 根本 源助氏 第二部長 岸 淺次郎氏 第三部長 松浦 嘉七氏 第四部長 金子 公英氏 第五部長 飯島 兼次郎氏 第六部長 山本 宗一氏 第七部長 大山 和平氏 第八部長 緒方 裕吉氏 第九部長 河内屋 文吉氏 第十部長 野村 多三郎氏 第十一部長 大津 彌平氏 第十二部長 德野 彌吉氏 第十三部長 伊藤 伊三郎氏 第十四部長 松坂 屋商店氏 第十五部長 杉村 勤治氏 第十六部長 金子 一眞氏 第十七部長 德野 彌吉氏 第十八部長 稻垣 太兵衛氏 顧問 合同油脂株式會社 顧問 合同油脂株式會社

ハリウツド會
全國並びに殖民地に於けるハリウツド美容學校出身の美容院主を以てて昭和二年四月一日創立。會員一千名、世話役牛山清人氏。
若會
昭和九年十月一日、黒若取被理髮業者を以て設立、會員百名。世話役布施與八氏、都筑庸惠氏。

神奈川縣
クラパ化粧品取扱卸商より成る、濫賣防止が目的、事務所は横浜市區富土見町一の五神奈川報社内に。會員約百名。會長 霜田七郎氏。
神奈川縣衛生會
柳屋製品の價格統制、販賣強化を圖り、會員の福利増進を期するを目的として昭和九年十月十七日創立。事務所柳屋本店内。會員約二百名。幹部如左。
會長 山室慶三氏 副會長 横澤三郎氏 同 松永貞郎氏
小間物化粧品會
横浜市内一流商店より成り、共同購入、價格統制、並びに會員の福利増進を圖るを目的として創立、事務所は横浜市區長者町八丁目加藤方。會員約十名。
神奈川縣商會
製造本舗よりの共同仕入、同業親睦を目的として昭和四年創立、事務所は横浜市區神奈川區龜住町一五古牧與平氏。會員六名、代表者古牧與平氏。
神奈川縣キマ會
キマ石鹼を中心し、會員の親睦、値段の協定を目的として大正十三年五月創立。事務所は横浜市區磯子區丸山町四五、會員は卸商のみにして百八名。幹部は左の諸氏。
會長 金子 一眞氏 副會長 霜田 七郎氏 同 細田利三郎氏

富山	金澤	敦賀	福井	秋田	酒田	鶴岡	山形	弘前	青森	盛岡	盛岡	仙臺	福島	郡山
藥	藥	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜
富川保太郎	野村吉六	小西與三吉	猪口 博	河井彌太郎	木戸 誠太郎	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松
池上 由藏	富川保太郎	野村吉六	小西與三吉	猪口 博	河井彌太郎	木戸 誠太郎	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松	三浦千代松

愛知縣

大名古屋共榮クラブ會

會員相互の親睦、利益の保護増進を目的として大正十五年創立。事務所は名古屋市中區日比津町野合一七〇中部化粧品小賣商報社内。會員は二千三百名。幹部如左。

- 聯合會長 後藤庄太郎氏
主 事 山森 康光氏
名古屋に於ける化粧品石鹼類純製造業者の懇親と研究を目的として昭和八年十一月三日創立。事務所は名古屋市中區白川町五の二七に置く。會員左の十名にして、幹事は廻り持ち。

- 石塚 元雄氏 伊藤 鏡助氏
井上 銀太郎氏 伊藤 貞七氏
大山 正一氏 河合喜三郎氏
本舖側代理店側の懇親、研究を目的として昭和七年五月十一日創立。事務所は名古屋市中區白川町二七に置く。會員は左の十二名。

- ライオン倉庫
クラブ出張所
資生堂販賣會社
レイト出張所
中 東 商店
村瀬谷三郎商店
村瀬谷三郎商店
加藤寛次郎商店
村瀬三郎商店
近藤 誠宏氏
寺島 覺次郎氏

森 庄 助氏

化粧品の共同仕入を目的として昭和八年十一月創立。事務所は名古屋市中區相生町原錦社堂内。會員は左の五名。

- 原田 常吉氏 原 顯則氏
駒田 福男氏 村瀬鐵雄氏
戸島宗太郎氏

- 小問物製造及び卸業者の研究懇親の團體、創立は昭和三年五月。事務所は名古屋市中區南園町二の一四近藤善彦方。會員十八名。幹部如左。
竹市代吉氏 宮内良藏氏
中島敬祐氏

- 商品見本市を中心とする團體。昭和三年十月七日創立。事務所は名古屋市中區末廣町二の二七に置く。會員は左の八名。
長崎 商店 花水 商店
尾瀬商店 桑山喜重郎商店
十三屋商店 萬庄 商店
名古屋化粧品統制
聯合會

- 優良化粧品統制販賣を目的として昭和九年三月二十三日創立。事務所は名古屋市中區日比津町野合一七〇中部化粧品小賣商報社内。會員五百名。幹部如左。
會長 後藤庄太郎氏
副會長 加藤 健一氏
會計 伊藤銀四郎氏
同 石原徳三郎氏
幹事 同

豊橋化粧品小問物

昭和七年二月二十七日創立。會員十名。事務所は豊橋市花田町字狭間六九豊橋化粧品小問物商報社内。幹部は加藤新吉、渡邊太郎の兩氏。

- 三選共榮クラブ會
大正十二年創立。會員八百二十名。事務所は豊橋市花田町字西鶴角にあり。會長は坂田市三郎氏。

- 東海太平洋會
大正十二年創立。會員六十五名。事務所は豊橋市魚町片野商店に置く。幹部如左。
會長 片野 金次氏
副會長 坪田勇次郎氏
同 井澤 宗治氏
同 里見 市藏氏

- 小牧雜貨組合内小問物化粧品部
賣法の研究、販路擴張、相互の福利増進を目的として大正十五年四月二日創立。事務所は愛知縣東春日井郡小牧町大字小牧三〇三八に置く。會員二十九名。幹部如左。
山田 晴康氏 佐竹 米吉氏
福澤治郎吉氏 寺井金次郎氏

滋賀縣

京都五層會

會員相互の親睦、小賣正價の安定を目的として昭和四年七月二十三日創立。事務所は京都市新築橋頭藥師藤田化粧品店內。會員は左の八氏。幹事は二月に交代。

- 大丸百貨店 高島屋百貨店
丸物百貨店 丸物チェーン
丹神百貨店 藤田化粧品店
國枝化粧品店 千本丹百貨店

- 五條商店市
每年春秋二回開かれる商品市を中心とする小問物、化粧品及びオール種貨の卸商團體、創立は昭和七年七月、會員は四十名。會長は松尾喜七氏。

- 組合七日會
大阪化粧品同業組合の役員、代議員の懇親團體、昭和四年十二月七日創立。事務所は大阪組合内。會員二十三名、常任幹事石川靜三郎氏。

京都五層會

會員相互の親睦、小賣正價の安定を目的として昭和四年七月二十三日創立。事務所は京都市新築橋頭藥師藤田化粧品店內。會員は左の八氏。幹事は二月に交代。

- 大丸百貨店 高島屋百貨店
丸物百貨店 丸物チェーン
丹神百貨店 藤田化粧品店
國枝化粧品店 千本丹百貨店

- 五條商店市
每年春秋二回開かれる商品市を中心とする小問物、化粧品及びオール種貨の卸商團體、創立は昭和七年七月、會員は四十名。會長は松尾喜七氏。

- 組合七日會
大阪化粧品同業組合の役員、代議員の懇親團體、昭和四年十二月七日創立。事務所は大阪組合内。會員二十三名、常任幹事石川靜三郎氏。

は大阪商報社内。會員六十名。幹事年番交替、顧問角倉商店小牧次氏、中山太陽堂兒玉勝一氏。

本舖聯合宣傳並びに出品を目的として昭和三年十月創立。事務所は大阪商報社内。會員九名。幹事は御園本舖大阪支店長松波菊次郎氏。

本舖相互間の懇親、意志の疎通並びに東京十日會との連絡を目的として、昭和九年十月二日創立。事務所は大阪商報内。會員六名。幹部如左。

- 中山太陽堂
桃谷順天館
伊東胡蝶園支店
小林商店支店
長瀬商會支店
平尾商店支店

業界店員の精神修養團體にして、明治四十二年五月十五日創立。事務所は大阪組合内。贊助員四十名。幹部は桃谷順一氏、伊藤章三氏、山崎麻吉氏外理事七名。

會員の融和、業界の革新、販賣防止を目的として昭和九年七月創立。事務所は大阪市東區南久寶寺町一丁目一、會員十一名。代表者杉本與吉氏。

大阪同業油同業會
大阪同業油同業會の融和發展を目的として大正十二年十一月創立。事務所は大阪市南區鹽町通三丁目木村翁三郎商店内。

會員四十二名。幹部は會長平泉平右衛門氏、會計木村翁三郎氏外、左の諸氏。

- 三好 爲三氏 大槻 晃三氏
田中安次郎氏 田村 眞策氏
中務 安藏氏 松本竹次郎氏
福田源三郎氏 川崎 清平氏
渡邊 宗助氏 佐原忠次郎氏
野村 外吉氏

事務所は大阪市北區芝田町にあり、會長は松原一郎氏。

會員の親睦並びに原料の共同購入を目的として創立。事務所は大阪市旭區鳴野町二二二、會員八名。會長小西智太郎氏。

大阪石鹼製造同業會
會員の親睦並びに業界の向上發展を目的とする團體。事務所は大阪市旭區鳴野町にあり、會員十五名。會長は三輪乙五郎氏。

親睦團體にして委員制度を採る。幹部は西本辰藏氏、梶野氏、井上百太郎氏。

會員の親睦並びに原料の共同購入を目的とする團體。幹部は藤田善次郎氏、松原一郎氏。

大阪市内兎物問屋の親睦を臨調する目的の下に大正十二年五月十四日創立。事務所は大阪市東區傳券町四の五三にあり、會員は五十三名。會長大谷藤四郎氏、書記長田中久明氏。

幹事は一年交代。日本百貨均一卸協會
現金取引の助長、職權仕入の便宜を目的として創立。事務所は大阪市東區北久寶寺町二の四にあり、會員十八名。會長杉本林之助氏。

大阪商見本市
春秋二回、大阪府立貿易館に見本市を開催するを以て目的とする。昭和三年三月創立。會員百三十名。事務所は大阪市東區北久寶寺町二大坂小問物卸商同業組合内。

大阪見本市聯合會
大阪市内に開催される見本市、商品市の十三團體の統制を目的として、昭和七年七月創立。事務所は大阪市東區北久寶寺町二島居久吉氏。

皇國彌慶修養會
大阪小問物同業者の修養機關、會員三十名。事務所は大阪市東區南久寶寺町二島居久吉氏方に置く。

大阪小問物組合の前、元現の各役員の交親團體、創立は三十年前、會員百餘名。

大阪小問物市場に店舗を有する化粧品小問物小賣業者の親睦機關、大正十五年十一月創立、會員四十餘名。事務所は大阪市住吉區田邊西の町六、幹部如左。
名譽會長 池之端 穠氏

大阪小問物組合の前身、元現の各役員の交親團體、創立は三十年前、會員百餘名。

Table with 10 columns and 2 rows listing names and organizations in various regions like 高岡, 米子, 松江, etc.

Table with 10 columns and 2 rows listing names and organizations in various regions like 飯塚, 直方, 戸畑, etc.

全國業界組合一覽

〔商業組合は除く〕

組合名稱	所在地	設立年月日	組合長	書記長	組合員數
札幌小間物化粧品卸商組合	札幌市南一條西二丁目	昭和七年一月	小泉清一	名達修治	一五
札幌小間物化粧品小賣商組合	同 南五條西四丁目		小林輝館		
函館小間物化粧品卸商組合	函館市高砂町一三	大正十五年四月一日	齋藤備平	大槻善太郎	一九
函館和洋小間物商組合	同 高砂町一三	明治二十六年五月	齋藤備平	大槻善太郎	七一
小樽小間物化粧品卸商組合	小樽市花園町西二の二八	大正十二年一月	村住三右衛門		一二
小樽洋物小間物商組合	同 住初町一の二〇九谷方	明治二十七年	越井治郎	丸谷松三	六〇
小樽香粧品製造組合	同 住初町二の一七	昭和五年十二月三日	市岡六郎	中村寛一郎	七
小樽石鹼工業組合	同 住初町二の一七	昭和九年四月十三日	山崎自治	中村寛一郎	一〇
小樽炭物漆器問屋組合	同 港町大通足立合名會社内	大正八年十月	足立敬次郎		一八
北海道小間物化粧品卸商聯合會	同 住初町二の一七	大正十一年十二月	壽原英太郎		三〇
旭川小間物化粧品卸商組合	旭川市三條通八右四號	大正七年六月	池田兼次郎		一二
旭川炭物雜貨商組合	同 四條通五丁目左一號	大正九年一月十一日	西田幸次郎	高桑美三郎	五二

組合役員選舉

全国各地に於ける業界關係組合の役員中、昭和八年十一月一日より同九年十月末日迄の間に於いて新たに改選せられたるもののみを掲ぐ。調査は各組合より報告に據る。

大阪炭物雜貨卸商組合
 八年十一月十一日改選
 會長 大谷藤四郎
 副會長 榎谷新助
 同 古田權兵衛
 會計 加藤半藏
 幹事 杉岡新七
 同 眞木虎之助
 同 大西武雄
 同 矢野新次郎
 同 藤原市郎治
 同 山田房治郎
 參事 藤原市郎治

東京石鹼製造同業組合
 八年十一月二十二日改選
 會長 相馬久吉
 副會長 一柳信次郎
 評議員 保々誠次郎
 同 福島市藏
 同 福島輝男
 同 花王石鹼株式會社
 同 長瀬商會
 同 水村兵太郎
 同 三輪善兵衛
 同 合同油脂株式會社
 同 旭電化工業株式會社

組合名稱	所在地	設立年月日	組合長	書記長	組合員數
岩内洋品小間物商組合	岩内町廣泰町一二五	明治五年二月	江川利兵衛	森嶋利一	一九
稚内化粧品商組合	稚内町本通北二丁目	昭和五年五月二十七日	後藤佐吉	山口壽	二〇
稚内炭物雜貨商組合	同町	大正十年五月	寺江甚助	寺江甚助	二四
帶廣小間物商組合	帶廣市大通九丁目	大正五年	莊田徳太		六〇
釧路洋物小間物商組合	釧路市南大通六村瀬方	明治四十五年	村瀬兼次郎		二一
釧路炭種商組合	同 大川町五二酒井方	明治三十八年	酒井法弘		三五
網走化粧品商組合	網走町南四條西一	大正十四年一月	林好次	布施勇三郎	二五
伊達町小間物化粧品組合	伊達町網代町一〇	昭和三年五月	寺田源藏	寺田源藏	一〇
江別炭物雜貨商組合	江別町二五	大正二年	岩田友男	寺川定次郎	三〇
厚岸化粧品同業組合	厚岸町	昭和三年九月一日	丹野宗三郎	市川啓作	一四
岩見澤小間物化粧品商組合	岩見澤町一條西一丁目	昭和三年一月十日	長島善太郎		九
大泊小間物化粧品商組合	大泊町本町大通南一の二三	大正十一年七月	田邊清志		二〇
知取雜貨商組合	知取町初音町一の四	昭和二年	丸山通		三〇
青森和洋小間物商組合	青森市大町一の二一四	明治三十五年五月	樋口喜輔		五六
弘前小間物商組合	弘前市大字和徳町	明治三十年七月十五日	大高啓吉	原田啓三郎	二七

ライオン石鹼株式會社
 木内謙治
 藤田寛三
 勝田仁康
 ミヨシ石鹼工業會社
 箕山賢亮
 株式會社資生堂
 石井勝五郎
 井村整興社
 日本ワイニス石鹼株式會社

坂出化粧品同業組合
 八年十一月三十日改選
 理事長 藤田英夫
 理事 福岡次郎
 同 米澤英太
 同 渡邊幸平
 同 馬場繁
 同 探本岩吉
 同 大山新七郎
 同 高木春五郎
 同 長尾文四郎

小千谷小間物同業組合
 九年一月五日改選
 組合長 大原定吉
 理事 吉澤銀太郎
 同 田中仁太郎
 同 漆原孝吉
 同 石坂仙次郎
 同 西新藥店

關野物組合
 一月五日改選
 會長 藤田新六
 會計 野田彌兵衛

組合團體

盛岡小間物化粧品商組合	盛岡市三戸町一四八	大正十三年十月二十五日	熊谷長八	井上留吉	六八
一關洋物化粧品商組合	一關町宇地主町二九	昭和二年四月一日	千葉繁	佐々木猛	一〇
一關小間物文具商組合	同 地主町千葉方	大正六年	佐藤喜平	千葉久之阪	一〇
花巻小間物商組合	花巻町		岩田豊藏		二五
秋田縣					
秋田小間物商組合	秋田市大町三丁目秋田實業組合聯合會内	明治三十一年二月十一日	木内隆一	米塚勇五郎	三四
秋田農物商組合	同 大町三丁目秋田實業組合聯合會内	大正十三年四月七日	片屋永之助	米塚勇五郎	三〇
能代小間物商組合	能代港町上町七四マルキ洋品店內	大正四年五月	岸部儀助		二八
本莊町小間物同業組合	本莊町大町三九	明治四十四年三月	伊藤久吾		七
山形縣					
山形小間物洋品商組合	山形市旅籠町一	明治三十六年十月	佐竹久司		四三
鶴岡小間物商組合	鶴岡市上肴町	大正三年五月	小池銀太郎		二八
鶴岡農物商組合	同 新町申八一	明治十七年五月	諏訪 富右衛門	諏訪 富右衛門	二七
鶴岡蠟燭製造業組合	同上肴町五八	昭和六年三月	五十嵐 善五郎	五十嵐 善五郎	九
酒田小間物洋品文具商組合	酒田市大工町二七	明治三十八年二月五日	高山菊次郎		三一
酒田農物商組合	同 下中町五十嵐方	大正七年十一月	五十嵐傳七		五〇
宮城縣					
仙臺小間物雜貨商組合	仙臺市大町四之三八	明治三十一年十月	齋川久吉	井澤慶太郎	四五

三四

新設田小間物商組合
 一月六日改選
 組合長 齊藤太四郎
 副組合長 野澤 米吉
 幹事 加藤 長太
 佐藤 信一
 宮 恒吉
 川口 新作
 鈴木 吉平

熊谷化粧品小賣商
 一月六日改選
 理事長 坂田 仲造
 理事 西山 靜吉
 田伏 榮雄
 杉浦卯之輔
 渡邊儀三郎
 長谷川治平
 小林庄三郎
 小泉龜太郎
 信用評定委員
 藤倉 新吉
 柴崎忠太郎

丸籠小間物化粧品組合
 一月七日改選
 組合長 小西 篤治
 副組合長 大井 秀夫
 事務長 中野 幸吉

西館和洋小間物商組合
 一月八日改選
 組合長 齊藤 倚平
 副組合長 內山 晋雄
 庶務 柳原 康太
 會計 玉井護三郎
 評議員 奥田照太郎
 村田 文藏

組合團體

石巻洋品雜貨同業組合	石巻市大町三	大正元年十一月三日	菊田貞吉	四倉德造	一五
平小間物洋物商組合	平町四の二六	大正七年二月	猪狩庄平	中野庄吉	一五
湯本町小間物化粧品商同業組合	湯本町大字湯本字三南一九九	昭和元年十二月一日	若松寅次郎	村上金八	三〇
福島縣					
水戸市小間物化粧品商組合	水戸市商工會議所内	明治三十八年八月二日	中田彦太郎		八三
土浦農物商組合	土浦町榮沼方		榮沼繁之助		六
土浦化粧品組合	土浦町本町八三八	昭和八年十月	上野源吉	前橋藏之助	五二
茨城縣					
栃木町小間物化粧品商組合	栃木町傍町 杉江方	大正十四年一月	杉江龜松	小出喜七	六八
小山小間物化粧品雜貨商組合	小山町本町二一一五	大正十四年一月	野田喜平	大塚恒吉	三〇
田沼町小間物組合	田沼町	大正十三年四月	津布久綱一郎	和田政夫	三八
群馬縣					
高崎小間物化粧品商組合	高崎市本町一一五	大正九年九月一日	清塚佐太郎		一七〇
高崎化粧品雜貨商組合	高崎市田町九五	明治三十一年	國峯辰治		一二
澁川農物商組合	澁川町上之町 梅澤方	大正十一年	梅澤四郎	根岸雄治	一三
沼田小間物化粧品商組合	沼田町甲一一二八	大正十一年十一月	中山勝次郎	關上善次郎	一五
佐渡小間物化粧品組合	伊勢崎町一〇八七	大正十二年五月五日	星野忠藏		四八

三五

白崎朝次郎
 本岡 鶴松
 輪島榮之進
 佐々木孝三郎
 竹田洋品店
 吉田勤右衛門
 岡野上平吉
 米澤 貞郎

東京製菓業組合
 一月八日改選
 組長 小山 平藏
 副組長 石橋傳五郎
 會計主任 鈴木鉦太郎
 幹事 川上徳四郎
 高津 卓三
 水野 善治
 杉田 貞治
 田久保爲藏
 大島 茂一
 酒井 孝市

東京貴金屬製造同業組合
 一月十日改選
 組長 細沼徳四郎
 副組長 伊澤榮太郎
 名譽顧問 金子政太郎
 山崎 龜吉
 鈴木喜兵衛
 田中 一郎
 宮本 庄七
 品田 末藏
 評議員 高木新次郎
 原清右衛門
 久米 武次
 海老原 環

田中 謙三
 中村善太郎
 松山繁三郎
 溝口 萬吉
 池田 嘉吉
 黒川 義勝
 松村 伊助

埼玉縣

川口農物商組合	川口市九九七	大正十四年一月	富田定兵衛	組長 淺尾久晴	二〇
川越小間物化粧品商組合	川越市高澤町近與商店内	昭和元年五月	戸田安治	副組長 稻葉忠正	八二
大宮化粧品發賣商組合	大宮町四一〇七	大正七年十一月	清水滿藏	理事 喜中幸次郎	八一
秩父化粧品聯合組合	秩父町一三八七	昭和五年三月	平井久吉	同 小林清盛	一八〇
葛浦地方小間物化粧品商組合	葛浦町春日町三五九	明治三十九年三月	平澤清十郎	同 白田榮作	一四七
埼玉化粧品組合	久喜町久喜新田四一三	大正八年	服部清次郎	同 守谷貞良	二〇〇
深谷小間物化粧品組合	深谷町深谷二〇二横田方	昭和二年三月	横田治郎三	同 的場捨次郎	四〇
千葉化粧品石鹼商組合	千葉市本町三丁目	昭和四年十一月	宇津木市太郎	名古屋香油商組合	八〇
野田町化粧品同業組合	野田町二の二四六	大正十年五月三日	岡田安司	一月十日改選	三七
佐原小間物化粧品商組合	佐原町佐原イ四八七	大正八年	大木宗藏	組長 森庄助	一〇
木更津小間物化粧品組合	木更津町	大正四年七月	大野一郎	副組長 井上銀太郎	五〇
東京小間物化粧品同業組合	東京市日本橋區馬喰町三の三	明治二十五年四月十九日	小林富次郎	理事 伊藤鏡助	八九九
東京小間物商同業組合	同 日本橋區橋町十三番地八	明治四十年一月二日	三野村金次郎	同 松山與一	七二七
東京石鹼製造同業組合	同 本所區江東橋三の九	明治三十二年五月五日	相馬久吉	同 伊藤欽太郎	八一
東京石鹼購買組合	同 本所區江東橋三の九	昭和九年四月	保々誠次郎	同 武内富三郎	六〇

鈴木銀次郎 世木延七
喜多村保太郎 森 岩吉

魚津雜貨小間物商組合

一月十日改選

組長 淺尾久晴

副組長 稻葉忠正

理事 喜中幸次郎

同 小林清盛

同 白田榮作

同 守谷貞良

的場捨次郎

名古屋香油商組合

一月十日改選

組長 森庄助

副組長 井上銀太郎

理事 伊藤鏡助

同 松山與一

同 伊藤欽太郎

同 武内富三郎

同 伊藤貞七

相談役 伊藤貞七

長濱小間物化粧品商組合

一月十日改選

組長 羽淵善三郎

會計幹事 中島昇

幹事 中澤發三

同 鈴木民三郎

同 道邊與三郎

同 羽淵善三郎

同 中島昇

同 中澤發三

同 藤居賢造

同 弘前小間物商組合

一月十日改選

組長 大高啓吉

神奈川縣

東京香料商組合	東京市日本橋區本町四の九の六	明治四十年八月十日	長谷川 藤太郎	副組長 藤六	二三
東京雜物煙草具製造販賣同業組合	同 淺草區柳橋二の五	明治三十八年十二月十五日	村山善兵衛	同 土田與德市	一八〇
東京荒物問屋組合	同 日本橋小網町一丁目	大正三年八月三十日	中村茂八	同 小川藤四郎	二〇
東京洋裝雜貨卸同業組合	同 日本橋區橋發町四の一	明治四十五年六月十四日	加藤末藏	同 板垣常吉	一一〇
東京黃楊櫛製造業組合	同 本郷區湯島天神町一の七	明治二十八年五月八日	富田三五郎	同 藤田寅太郎	四五
東京醫形業組合	同 日本橋區馬喰町三の三の一	明治三十三年十月九日	小山平藏	同 辻井幸次郎	四八
東京蠶人毛商工組合	同 淺草區松清町三瀬戸方	明治十七年	濱戸直次郎	同 早川市太郎	二二九
橫濱化粧品卸商同業組合	橫濱市中區富士見町一の五	明治四十二年	霜田七郎	沼田小間物化粧品商組合	九七
鶴見小間物化粧品組合	同 鶴見區瀨田町二〇七九畑方	昭和四年十月十三日	畑 與三吉	一月十二日改選	
橫須賀雜貨卸商組合	同 橫須賀市大瀬町三八村松紙店方	昭和六年一月五日	村松 規具	副組長 關上 忠作	三一
厚木化粧品商組合	厚木町二六〇四	昭和二年十一月	岡部能太郎	會計 宮下善次郎	三〇
小田原化粧品商組合	小田原町幸一丁目里見方	昭和四年十一月	里見德太郎	評議員 矢島 伊助	五二
秦野洋物化粧品同業組合	秦野町二六八七小泉忠次郎方	大正三年六月		同 井上 實次	九
三崎化粧品組合	三崎町日ノ出六八	昭和六年四月一日	佐々木 元三郎	同 杉田孝五郎	二二
新潟化粧品小間物發賣卸商組合	新潟市本町通六番丁一一二九	昭和四年五月	小黑喜三郎	高田小間物化粧品商組合	一三
新潟市化粧品小間物發賣卸商組合	同 本町通八番町	大正十四年四月	川崎又治	一月十四日改選	四三

新潟縣

組長 丸山喜太郎

副組長 森 平治郎

幹事 高橋 啓造

同 大久保正吉

同 野口好太郎

同 丸山喜太郎

會計 丸山喜太郎

神前小間物化粧品組合

一月十四日改選

組長 淺沼 助藏

高田小間物化粧品卸商組合	高田小間物商組合	長岡市小間物雜貨商組合	柏崎百貨同業組合	三條小間物洋品商組合	新發田小間物商組合	新發田町雜貨同業組合	小千谷小間物同業組合	堀之内小間物商組合	新津町小間物同業組合	富山小間物化粧品小賣商組合	富山小間物卸商組合	富山小間物商組合	高岡化粧品小賣商組合	高岡雜貨五業卸商組合	高岡雜貨物組合	魚津雜貨小間物商組合
高田市東本町三〇一七〇	高田市東本町三九山方	長岡市東千手町	柏崎町本町七丁目	三條市大字三條字二ノ町	新發田町新道四六五	新發田町萬町	小千谷町本町大塚方	堀之内町大字堀之内	新津町上山谷	富山市東四十物町矢郷方	同 西三番町	同 一番町九	高岡市小馬出町七五本間方	同 小馬出町	同 小馬出町	魚津町大字金屋町稻葉方
大正元年三月十三日	大正十三年	明治四十二年一月	昭和四年	大正四年五月	昭和二年八月	明治三十五年	明治三十六年	昭和四年七月	大正十四年	昭和五年二月	昭和七年十月十五	大正二年一月十二	昭和六年七月	昭和七年十一月	明治四十五年十二月一日	明治三十五年六月十日
丸山喜太郎	丸山喜太郎	山口健造	市川茂平治	吉田熊次	齋藤太四郎	田村甚左衛門	大塚定吉	矢島京平	吉田德次	安井榮次郎	成田松太郎	鳥倉彦作	本間常吉	谷道岩次郎	井本和平	淺尾久晴
丸山喜太郎			原山富行	組合長兼任						永森德平	高岡庄次郎	有澤恒男	毛利龍藏	宮崎喜三	稻葉忠正	
二五	二七	六八	四〇	七〇	一八	一二	三〇	一二	一〇	一一〇	一四	五五	一一〇	二二	一〇	二〇

副組長 橋爪五兵衛
 會計 和田善兵衛
 理事 山中 佐吉
 同 伊藤寅之助
 同 富村重太郎
 同 奥川 源吉
 同 上村 政吉
 同 高村 政吉
 同 伊藤幸次郎
 同 寺川定次郎

江別雜貨商組合
 一月十五日改選
 會長 岩田 友男
 副會長 林 榮作
 幹事 中野覺次郎
 同 川合友次郎
 同 野呂 英二
 同 小澤 次作
 同 藤井次一郎
 同 松田 清一
 同 寺川定次郎

黑石商業組合
 一月十五日改選
 理事長 佐藤 清吉
 理事 工東 六郎
 同 高谷 孝七
 同 山田 作内
 同 小田桐才太郎
 同 松井 牛六
 同 千原孝次郎
 同 高橋竹次郎
 同 中村 芳一
 同 佐東 清司
 同 北山 直衛
 同 山形 清七
 同 寺山國太郎
 同 村上喜一郎

新宮化粧品商組合
 一月十六日改選
 組長 兒島勝太郎
 副組長 小森甚太郎

金澤雜貨商組合
 一月十九日改選
 組長 素谷 篤爾
 副組長 宮本三千雄
 主任會計 岡本伊三郎
 會計 敷波喜三郎
 部長 宮本 宗平
 同 長村 五六
 同 出村 喜作
 同 竹谷 彦市
 同 村上 藤吉

札幌小間物化粧品
 小賣商組合
 一月二十日改選
 組長 小笠原楠爾
 副組長 小林 彌助

松本小間物化粧品
 雜貨商組合
 一月二十三日改選
 組長 猿田條左衛
 副組長 小林大三郎
 會計 百瀬 長十
 同 石曾根義三
 同 宮坂 金人
 同 松山 角十
 同 高山 正一
 同 石原 豐藏
 同 藤本 勝次
 同 伊藤 善堂
 同 宮澤 久平
 同 中島 清治
 同 小林市太郎
 同 松田國太郎
 同 瀧川 民治

滑川小間物化粧品組合	金澤小間物化粧品商組合	金澤雜貨商組合	金澤雜貨小間物化粧品卸賣組合	金澤市雜貨卸商組合	小松小間物化粧品組合	福井小間物商組合	福井小間物商組合	教賀化粧品小間物組合	武生小間物化粧品組合	長野雜貨商組合	松本小間物化粧品雜貨同業組合	上田小間物化粧品商組合	須坂小間物化粧品組合	須坂町雜貨商組合	諏訪小間物化粧品卸商組合
滑川町瀨羽町一八六四	金澤市南町	同上今町三六	同上構町六	同上近江町三六〇二	小松町字茶屋町	福井市尾上下町	福井市尾上下町	教賀町旭四八	武生町三六	長野市南千歲町一二九	松本市	上田市原町	須坂町一九一	同 二〇九	諏訪郡岡谷六五二一
大正十年四月	大正二年十二月二日	明治四十四年二月一日	昭和二年二月十一日	昭和二年二月十一日	大正十三年二月二十日	大正十年五月	昭和五年十月	明治四十四年二月	大正十一年二月二日	大正五年十一月	大正五年十一月	大正二年二月	大正三年四月十日	大正十二年九月	大正八年五月十六日
堀邊久右衛門	野村吉六	素谷篤爾	清水 優	德野彌吉	和田靜夫	三田崎政治	池田藤吉	宇野貞吉	宇野貞吉	北澤新作	猿田條左衛	秋山 馨	北島金吾	神林信兵衛	小口正一
竹澤幸太郎	南 清八						池田藤吉	清水愛治	栗田留治	石曾根義之	福津喜久治	本多 綱			
三五	八〇	五一	一八	一七	一七	五五	四二	二六	二八	二八	五七	二一	二六	八	一七

副組長 橋爪五兵衛
 會計 和田善兵衛
 理事 山中 佐吉
 同 伊藤寅之助
 同 富村重太郎
 同 奥川 源吉
 同 上村 政吉
 同 高村 政吉
 同 伊藤幸次郎
 同 寺川定次郎

江別雜貨商組合
 一月十五日改選
 會長 岩田 友男
 副會長 林 榮作
 幹事 中野覺次郎
 同 川合友次郎
 同 野呂 英二
 同 小澤 次作
 同 藤井次一郎
 同 松田 清一
 同 寺川定次郎

黑石商業組合
 一月十五日改選
 理事長 佐藤 清吉
 理事 工東 六郎
 同 高谷 孝七
 同 山田 作内
 同 小田桐才太郎
 同 松井 牛六
 同 千原孝次郎
 同 高橋竹次郎
 同 中村 芳一
 同 佐東 清司
 同 北山 直衛
 同 山形 清七
 同 寺山國太郎
 同 村上喜一郎

新宮化粧品商組合
 一月十六日改選
 組長 兒島勝太郎
 副組長 小森甚太郎

金澤雜貨商組合
 一月十九日改選
 組長 素谷 篤爾
 副組長 宮本三千雄
 主任會計 岡本伊三郎
 會計 敷波喜三郎
 部長 宮本 宗平
 同 長村 五六
 同 出村 喜作
 同 竹谷 彦市
 同 村上 藤吉

札幌小間物化粧品
 小賣商組合
 一月二十日改選
 組長 小笠原楠爾
 副組長 小林 彌助

松本小間物化粧品
 雜貨商組合
 一月二十三日改選
 組長 猿田條左衛
 副組長 小林大三郎
 會計 百瀬 長十
 同 石曾根義三
 同 宮坂 金人
 同 松山 角十
 同 高山 正一
 同 石原 豐藏
 同 藤本 勝次
 同 伊藤 善堂
 同 宮澤 久平
 同 中島 清治
 同 小林市太郎
 同 松田國太郎
 同 瀧川 民治

組合團體

Table listing various trade associations in Aomori Prefecture, including categories like '岐阜化粧品商組合' and '津市小問物化粧品商組合', with columns for dates and names.

四〇

Vertical text providing details for the associations listed in the table above, such as '輪湖 定吉' and '上佐佐平次'.

愛知縣

Table listing various trade associations in Aichi Prefecture, including categories like '津市小問物化粧品商組合' and '名古屋小問物卸商組合', with columns for dates and names.

組合團體

四一

Vertical text providing details for the associations listed in the table above, such as '小泉 清一' and '金田 正清'.

京都小間物化粧品卸商同業組合	京都市下京區東洞院五條上ル	明治四十一年十一月二十四日	松尾喜七	西川甚之助	一三七
福知山化粧品商同業組合	福知山町字下新	大正十一年六月二十五日	牧彌三松	淺場留治	四八
綾部化粧品組合	綾部町	大正十五年	梅垣英次郎	安達辨之助	二七
舞鶴雜貨小間物商同業組合	舞鶴町字竹屋九四の二土井方	昭和九年九月十八日	土井駒藏		一六
神戸石鹼化粧品業組合	神戸市海東區多聞通三の五	大正十一年七月一日	前田竹松	山内直一	三七
姫路化粧品石鹼卸商同業組合	姫路市北條口四四	昭和六年十一月二日	尼子富三郎	山田常藏	一〇
大阪小間物卸商同業組合	大阪市東區北久寶寺町二の四	大正六年十月二十三日	田中常三郎	萩原靜三	五〇〇
大阪化粧品同業組合	同 東區博勢町二の五	大正九年六月十八日	中山太一	石川靜三郎	二六一

同 森川 菊松
 同 金澤小間物化粧品商組合
 二月改選
 組合長 野村 吉六
 副組合長 南 清八
 上野 太一
 同 武生小間物化粧品組合
 二月十日改選
 組合長 宇野 貞吉
 副組合長 清水 愛治
 評議員 土田宗治郎
 藤生 巳作
 黒田 廣吉
 同 酒田小間物洋品文具商組合
 二月十六日改選
 組合長 高山菊次郎
 副組合長 中村 貞吉
 評議員 丹吳 佛治
 中村彦右衛門
 佐藤英治郎
 鍋谷助右衛門
 大島傳四郎
 同 京都小間物化粧品卸商同業組合
 三月一日改選
 組合長 松尾 喜七
 副組合長 三上 竹藏
 會計係 今西兵衛
 評議員 西川孝太郎
 中野直次郎
 鈴木末次郎
 宅間末之助
 中川寅次郎
 福井 勝秀

奈良小間物化粧品商組合	奈良市元興寺町	大正二年七月一日	小林米藏	若狭義太郎	一〇〇
郡山化粧品藥業組合	郡山町矢田藤田方	大正十三年八月十日	藤田龍三		六五
高田化粧品協定會	高田町本町二の一八二六	昭和三年二月十一日	細井榮造	安井德松	六一
和歌山化粧品小間物同業組合	和歌山市杉ノ馬場三の一	大正七年七月一日	岩橋 濟	湯淺精吉	八一
和歌山小間物化粧品商組合	同 杉ノ馬場三岩橋方	大正七年七月	岩橋 濟		六〇
和歌山雜貨商組合	同 東仲間町一の三	明治十四年	前田茂兵衛		八
大阪石鹼同業組合	同 南區安堂寺橋通四の二九	明治三十三年十一月一日	松原一郎	三阪 涉	一二六
大阪雜貨卸商組合	同 東區博勢町四の五三	大正十二年五月十四日	大谷藤四郎	田中久明	五三
大阪白粉商組合	同 天王寺區上本町九の三三	明治三十五年一月	神田莊治郎		
大阪香料商組合	同 東區淡路町二の三五	大正十四年十一月	田村 眞策		
大阪油卸商組合	同 東區京橋三の一	明治十八年九月	吉原定次郎		
日本刷子輸出組合	同 東區北久寶寺町二の六〇	昭和三年八月二十日	岡田 治		五〇〇
大阪雜物線香商組合	同 北區老松町一の二〇	明治二十九年五月	福井伊助		
大阪蠟商組合	同 東區高麗橋四八川原方	明治十六年七月	川原義六		
堺化粧品同志會	堺市大町東二丁目三好方	大正元年十月十五日	三好 爲三		二〇
堺線香同業組合	同 商工會議所内	大正二年九月五日	中田作五郎		五七

同 見延 清藏
 同 田畑 甚藏
 同 杉本吉之助
 同 上野甚之助
 同 藤林正次郎
 同 桑名與太郎
 同 酒井 久嗣
 同 片野 省一
 同 三浦 健利
 同 近藤彌五郎
 同 中嶋伊兵衛
 同 藤井 孝一
 同 宇野原常郎
 同 山口忠兵衛
 同 谷川 幸助
 同 増田 和藏
 同 三上 金次
 同 木村玄三郎
 同 村田喜太郎
 同 松本 久七
 同 帶廣種化化粧品商
 同 理事長 黒澤武三郎
 同 理事 伊藤 健作
 同 寺西 武司
 同 有田重太郎
 同 野崎三千治
 同 小島 重平
 同 愛須 英夫
 同 石神 清二
 同 藤田 徳太
 同 竹中 正行
 同 名古屋化粧品小賣
 業組合
 三月二十三日改選
 組合長 後藤庄太郎
 副組合長 加藤京治郎

新宮化粧品組合	新宮市新宮浮島一〇〇	大正十四年二月八日	兒島勝太郎	小森甚太郎	三〇
海南小間物化粧品組合	海南市日方	昭和四年	小島山太郎		三五
田邊化粧品商組合	田邊町大字榮町	昭和五年一月十六日	山本善一郎	山本善一郎	四三
御坊町小間物化粧品協會	御坊町大字御坊	昭和八年十月			八
鳥取縣					
鳥取小間物化粧品商同業組合	鳥取市川端三〇五六	大正二年四月	松田恒藏	八田茂雄 小泉乙三	三〇
米子雜貨小間物商組合	米子市加茂町一〇八商工會議所內	昭和五年六月十九日	神庭政七		四〇
島根縣					
松江市小間物化粧品商組合	松江市白湯本町三九梶谷方	明治二十五年	梶谷種一郎		六
今市小間物化粧品組合	今市町六五二	明治四十三年七月	片岡信助	横木米次郎	一八
岡山縣					
岡山小間物化粧品商組合	岡山市內山下町商工會議所內	明治二十五年五月	石川萬吉		三〇
岡山漆器雜貨物商組合	同 下市町五二	大正十二年七月五日	林泰八	久保津信夫	二一
津山化粧品商組合	津山市商工會議所內	昭和五年三月二十日	富岡德平	牧善弘	六〇
倉敷小間物化粧品商組合	倉敷市阿知町原方	昭和二年三月	原安次郎		二四
倉敷化粧品小間物商組合	同	大正十四年一月	原安次郎	木村金十郎	二六
廣島縣					
廣島雜貨物商組合	廣島市猿渡橋町八一	大正七年十月	柴田益明	谷川房太郎	二七

大阪化粧品同業組合
三月二十八日代議員改選

前田 富保
長瀬商會大阪支店
高野勝三郎
小川香料店
佐原忠次郎商店
巴屋化粧品製造所
西村 卓二
和泉乙三郎
福田源三郎
田中善株式會社
廣瀨小三郎
兒玉 篤
三好 爲三
野村商店
森岡末次郎
三美 堂
上山勲太郎
太田榮治郎

四月十日改選

組長 中山 太一
副組長 平泉平右衛門
同 梶谷 順一
同 松本 丹治
同 石田公四郎
同 角倉 秀雄
同 伊東 大藏
同 松波 次郎
同 小林商店大支店
同 山崎 廣吉
同 平尾 實二
同 林原信太郎
同 今井安太郎
同 水上 政勝
同 宇野進之助

瀬山小間物化粧品商組合	瀬山市笠岡町	昭和二年四月	大島昇一	石井圭一	二三
尾道化粧品商組合	尾道市土堂町尾道商工會議所內		大石五六	大村護郎	
吳化粧品小間物商組合	吳市商工會議所內	昭和六年四月	山縣鐵之助	松井保治	四〇
芦品化粧品小間物組合	府中町府中	昭和三年十月十五日	益田照次郎		三〇
山口縣					
下關化粧品商組合	下關市西之崎町商工會議所內	昭和二年	猿野秀吉	岡山和人	三六一
山口化粧品商組合	山口市西門前三〇	昭和九年七月七日	來栖信助	加藤八郎	一三〇
山口小間物商組合	同 西門前來栖方		來栖信助		九
宇部小間物化粧品同業組合	宇部市東區常盤通一		西田民憲		五
德島縣					
德島小間物化粧品商組合	德島市商工會議所內	明治四十四年	大石德藏		一五
德島市洋品雜貨商組合	同 商工會議所內	明治四十二年三月	平岡富藏		二五
香川縣					
香川縣化粧品小間物商同業組合	高松市南新町株式會社被田商店內	大正十四年	綾田安次郎		三一
丸龜小間物化粧品組合	丸龜市松屋筋霞町二七	大正十四年十一月二十五日	小西篤治	中野幸吉	三七
高松市小間物化粧品小賣同業組合	同 兵庫町金光方	昭和五年	金光常吉		二〇〇
高松洋品雜貨商組合	同 高松商工會議所內		安田美代造		

名古屋小間物商組合
四月四日改選

組長 森本 善七
副組長 村上 庄造
同 野原 文香
同 竹市 代吉
同 桑山喜重郎
同 山田 治助
同 佐竹銚三郎

四月十一日改選

組長 平澤清次郎
副組長 福田 啓助
同 水野 米吉
同 鳥田 昌信
同 森澤 龍
同 正木正五郎
同 矢島力之助
同 黒須角太郎
同 青木 長平
同 小松 仙松
同 堀部 安司
同 遠藤山太郎
同 齊藤喜兵次
同 齊藤和乎次
同 高橋九右衛門

四月十五日改選

熊本化粧品同業組合

理事長 正清 朝七
理事 尾崎茂之助
同 田中 茂七
同 益田 彌平
同 森田 兵衛
同 千葉 四郎
同 指田 勝夫
同 岩本 健雄

組合團體

宇和島化粧品小問物卸同業組合	宇和島市朝日町一	昭和七年十一月五日	黒田利三郎	金尾啓三郎	八
宇和島雜貨商組合	同 横新町	昭和七年三月	磯野 穰	磯野 穰	三五
八幡濱小問物化粧品同業組合	八幡濱町船場通	大正九年一月	大谷長九郎	淺田 隆	六〇
西條雜貨化粧品同業組合	西條町大町 藤田方	昭和五年三月	藤田太三郎		二二
高知縣					
高知化粧品小問物商組合	高知市商工會議所内	昭和五年六月十八日	横山清太郎		二三
大分縣					
大分化粧品商公認組合	大分市千代町電車通五三三四六	昭和三年七月	中山善助		一五〇
大分市洋品雜貨商組合	同 竹町	昭和四年九月	一九伍兵衛		二九
別府小問物化粧品商組合	別府市中濱筋 工藤方	昭和元年一月五日	工藤 隆男		三〇
中津化粧品小問物商組合	中津市片端町 小林二八堂内	大正十二年四月	石田 素		四五
佐伯小問物化粧品組合	佐伯町二四六	昭和五年四月一日	佐々木庫也		二〇
臼杵町小問物化粧品組合	臼杵町疊屋町	明治二十五年四月十日	江藤 乙一	吉良 貞吉	一〇
福岡縣					
福岡化粧品商組合	福岡市行町五三	大正十四年四月	相部 正太郎	石橋 時次郎	五四〇
福岡化粧品石鹼卸商組合十日會	同 行町 九州商報社内	昭和八年四月			一六
小問物化粧品卸商組合八日會	同 下西町 新免方		新免 久次郎		
福岡藥種化粧品小賣業組合	同 新柳町大門通高倉藥局内		木村 巳之吉		

四六

野田化粧品組合

四月十七日改選
 組長 岡田 安司
 副組長 直井 近藏
 理事 茂木 直藏
 幹事 杉崎 市郎
 飯島 年子
 布川 如益
 戸邊 龜吉

仙臺化粧品商會

四月十八日改選
 理事長 大澤 晋平
 常務理事 村上安之助
 理事 深堀 豊治
 同 鶴本 平助
 同 飯田 信七
 同 今野 平藏
 同 佐藤 豊
 同 高島 勝衛
 同 小野寺 剛
 同 遠藤長三郎
 同 三浦 由松

富山化粧品小問物小賣商組合

四月十八日改選
 組長 安井榮次郎
 副組長 平山常次郎
 同 矢野大次郎
 同 三浦 隆造
 會計部長 柴田榮次郎
 同 增田 隆造

長崎化粧品小賣商組合

五月十六日
 組長 成宮長治郎
 副組長 富永 政彦
 同 吉田孝治郎
 同 九橋三五郎

高崎化粧品雜貨商會

八月十一日改選
 組長 國峯 辰治
 副組長 上原菊次郎
 理事 金子 木店
 同 矢野 卯助
 同 齊藤忠三郎
 同 阿藤晴次郎
 同 根代 民二
 同 根岸 憲

北海道小問物化粧品卸商會

八月二十一日改選
 理事長 壽原英太郎
 財產保管員 廣瀬 徳市
 同 高森市太郎
 同 本間 勳次
 同 小六 秀義
 同 岡澤彦太郎
 同 田巻 靖司
 同 有田 勝彦
 同 橋本 文平
 同 山口 直次
 同 茶木 商店
 書記長 島野 一二

群馬縣中部化粧品商會

九月二十一日改選
 理事長 高橋政次郎
 常務理事 新井雄次郎
 同 中島 幸平
 同 恩足 鋼作
 同 白田 謙藏
 同 星野 忠藏
 同 星野 謙作
 同 磯野徳太郎
 同 田島巳代吉

組合團體

九州洗濯石鹼工業組合	同行町	昭和八年十二月十日			四六
門司化粧品商組合	門司市榮町六丁目	大正十五年十二月十日	鳥生利三郎		三三〇
小倉化粧品商組合	小倉市魚町四の一二四	昭和二年四月五日	西村幸三郎	井安永一 延之	二五〇
若松雜貨小問物同業組合	若松市明治町三丁目 宮地方	明治三十九年十一月	宮地 俊作		一五
飯塚雜種小問物化粧品同業組合	飯塚市本町	昭和九年六月六日	伊藤萬三郎	寺島 次郎	一五〇
大牟田化粧品商組合	大牟田市榮町 川野方	昭和三年二月一日	川野 忠吉		一三〇
戸畑化粧品商組合	戸畑市 中村本店方		田中庄太郎		
直方市化粧品小賣商組合	直方市明治町 藤原方	昭和五年	藤原 力蔵		二七
佐賀縣					
佐賀市化粧品商組合	佐賀市蓮池町佐賀商工會議所内	大正十四年三月一日	小部松一郎		一五二
東松化粧品商組合	唐津市大石町 峯金松方	昭和三年二月	白井 新作		一一七
武雄化粧品商組合	武雄町池田方	大正十四年六月十五日	池田 源一		二〇
長崎縣					
長崎化粧品商組合	長崎市榮町四三 成宮商店内	大正十五年五月十三日	成宮長治郎		四〇〇
長崎市雜貨商組合	同 村木町二八	明治三十六年七月一日	戸所 喜平	清田 啓一郎	七二
長崎電業組合	同 今魚町五七	昭和二年一月	江崎 榮造		三二
長崎電甲商工組合	同 江戸町六八	昭和六年二月	坂立 寅藏		三七
佐世保化粧品商組合	佐世保市		菅井喜代松		

四七

西肥化糖品商組合	早岐町村山方	昭和二年六月二十	村山甚十郎	一三〇
島原化糖品販賣組合	島原町中堀町谷口方	大正十二年三月	谷口爲八	三三
熊本化糖品商組合	熊本市西外坪井町一の九	大正十四年二月十	正清彌七	三九七
青北化糖品商組合	水俣町濱米澤方	昭和三年五月一日	米澤市藏	四五
宮崎市洋品雜貨商組合	宮崎市橋通三丁目	昭和三年四月五日	中村榮吉	二二
宮崎化糖品商組合	同 橋通二の五一	昭和四年一月二十	仲田 豊	一八〇
都城化糖品商組合	都城市西上町	大正十三年十月	瀬戸山武助	三八
都城雜貨商組合	同 商工會議所内	昭和三年十一月十	瀬戸山武助	二四
川内洋品雜貨小問物化糖品商組合	川内町限町	大正十年三月十五	奥村 義雄	三〇
臺南和洋雜貨商組合	臺南市本町四の一七四	昭和六年五月	邱 天賜	四九
奉天洋糖貨化糖品商組合	奉天平安廣場奉天輸入組合内	昭和五年十一月二	加藤佐太郎	二一
京城化糖品商組合	京城府本町二の二	昭和五年	山本惣三郎	二七〇
釜山化糖品商組合	釜山府大倉町三の四	昭和三年十月三日	西尾角藏	二二三
釜山化糖品商組合	同 本町三丁目富原方	明治四十四年十二	富原研二	四五
仁川化糖品商組合	仁川府宮町二二	昭和六年一月八日	永井房吉	六五
仁川化糖品同業組合	同 本町三古田方	昭和七年八月	古田新治	四一
元山洋品雜貨化糖品商組合	元山府本町三丁目飯山方	大正十年一月	飯山喜三郎	一〇
清津雜貨小問物化糖品商組合	清津府明治町	昭和五年一月一日	浦木 彌楠	一八
清津雜貨商組合	同 明治町一七上田商店内	大正十四年十一月	松岡茂藏	一〇
大連化糖品商組合	大連浪速町一四六	大正十四年二月十	今中 良	八〇
青島和洋雜貨同業組合	中華民國青島中山路六九 藤	大正十年一月	石田純三	二三

監事 山口 巖
藤岡 幸吉
波戸信太郎
國下文太郎
藍澤 一
岡上 忠作
中島 藤一
木暮 菊次
高桑菊太郎
磯野宗三郎

名古屋發物卸商組合

組合長 馬淵 源六
副組合長 森島文次郎
會計 塚本富三郎
理事 平野 由藏
同 北川九一郎

名古屋糖商組合

十一月一日改選
組合長 山田 治助
副組合長 岩田彦兵衛
常任幹事 水野信太郎
同 岡田豊太郎
同 古澤勸治郎
同 伊藤 鋼二
同 牧野 勘七

門司化糖品商組合

副組合長 新次 元一

組合中心の諸問題

昭和九年に於ける組合を中心とする團體運動の主なるものは新泰勇頭、大阪石糖組合の代表

主なる團體運動

東上して日印商の論せる禍根、石糖の新税率引下運動を當局に試みたのをはじめ、東京貴金屬組合の貴石十割關稅撤廢運動、日本實業組合聯合會の同業商業兩組合法の改正運動、東京石糖組合のコーラ課稅反對、大豆硬化油の無稅陳情、東京、大阪兩組合の滿洲關稅改正運動等々であつた。大阪石糖組合もまた此の問題に關して起ち、現地工作の爲め一足先に滿洲へ出かけた。

その他には東京組合は別個に滿鐵運賃引下げの運動をも試みた。

北海道聯合會總會

北海道小問物化糖品卸商聯合會は、盛夏八月二十二日を期して國立公園阿寒湖畔、阿寒莊にその第十三回總會を開催した。鋼路、帶廣、野付半の主權組合をはじめ、旭川、札幌、小樽の各地組合より参加せる代表三十餘名。會長壽原英太郎氏開會の挨拶を述べ、鋼路組合の橋本文平氏を議長として議事に入るや、

- 一、打撃、最長取扱手数料に關する件
- 二、鋼路半期決算に關する件
- 三、過大及び不實なる最長取扱費に關する件
- 四、放漫なる長期取扱費撤正に關する件
- 五、卸賣取極限に關する件
- 六、用紙に關する件
- 七、次回總會主催地選定の件

以上の各議案を議了、宣言及決議を發表した。

各地の災禍救援

兩館の大火、關西の風水害に對しては、東京組合、大阪組合とも率先して起ち、これが救済の爲めに努力を惜まず、博大な同情のあつたる處

- 一、三、三八二面 東京組合
- 二、二〇〇面 大阪組合
- 三、〇〇〇面 名古屋組合
- 四、〇〇〇面 大阪組合

以上の如く見舞金を附れるの外、大阪組合には復興相談所を設け、復興資金の低資融通に關して斡旋に努め、東京組合は更に東北冷害に對して組合員よりの義金

同業組合全國大會

大阪に開かれたる同業組合の全國大會には、大阪化糖品同業組合は地元組合として且つその組長中山太一氏が、大會の委員長でもある關係上、大いに活躍せるをはじめ

東京組合 京都組合 名古屋組合 小樽 大阪小問物 大阪石糖

以上の各組合より代表を送つてこれに參列せしめ、東京組合より提案の左記議案は決議事項として可決、他の諸案ともに實行運動に移さるゝこととなつた。

全九州聯合會總會

全九州化糖品商組合聯合會は十月二十三日、小倉市の小倉商工會議所に第八回總會を開催した。出席者は門司、小倉、福博、久留米、長崎、大牟田、佐賀、熊本の各地組合代表二十四名にして主催組合たる小倉組合の西村組合長の挨拶、正清聯合會長

關係全國商業組合一覽

〔昭和九年十一月一日現在〕

組合名稱	設立認可年月日	地域	組合員數	出資總額	事業計畫	事務所	代表者
野付牛雜貨組合	九、二、一四	常呂郡野付牛町	四九	一、二、〇〇〇	共同仕入、共同保管、共同運搬、營業上の統制、賣金の貸付及貯金の受入	常呂郡野付牛町	浦田清太郎 外九名
余市米穀雜貨商業組合	九、二、二八	余市郡余市町	四三	五、〇二〇	共同仕入、共同保管、共同運搬、粗製品及不常販賣の取締、營業方法、營業時間及販賣價格の統制、賣金の貸付及貯金の受入	余市郡余市町大川町	藤田淳一
帶廣藥種賣藥化粧品商業組合	九、三、二	帶廣市	三三	五、〇〇〇	共同仕入、商品の分析試験、販賣價格、營業方法及營業時間の統制	帶廣市九の四	黒澤武三郎 外九名
小樽藥種賣藥化粧品商業組合	九、三、五	小樽市一圓	九一	一〇、〇〇〇	共同仕入、共同保管、保管倉庫の設置、包裝品の設置、營業時間及販賣價格の統制、商品の試験、營業上の統制、商品の鑑定を行ふ、金庫の設置	小樽市稻穂町西七の一	三ツ野得二 外九名
旭川藥種賣藥小賣商業組合	九、五、一〇	北海道上川郡旭川市 同郡東川町字近文自 同郡東川町字近文自 同郡東川町字近文自	八一	三、〇八〇	共同仕入、價格の協定及び營業の統制、觀察員の設置、見本市、博覽會に對する出品、販賣の調査、賣金の貸付及び貯金の受入、取扱品の検査、共同保管	旭川市一條七丁目右十號	中保 外六名
函館時計貴金屬商業組合	九、九、二七	北海道 函館市一圓	七八	七、二四〇	取扱商品の共同仕入、營業上の統制、營業に關する調査、研究、並に指導、賣金の貸付及び貯金の受入	函館市末廣町二 三加藤理事方	加藤久太郎 外六名
青森雜貨商業組合	八、八、一二	青森市	三六五	三五、五〇〇	共同仕入、共同保管、共同賣出、賣金の貸付及貯金の受入	青森縣青森市新町九〇	中村才太郎
保證責任釜石雜貨商業組合	九、六、二九	岩手縣上閉伊郡釜石町	八〇	五、六〇〇	共同仕入、取扱商品の保管、賣金の貸付及び貯金の受入、價格の協定並に營業上の統制、共同保管、倉庫の設置、營業上の統制、商品の共同保管	岩手縣上閉伊郡釜石町第二地割一〇一	白土泰輔 外六名
仙臺化粧品商業組合	八、七、二一	仙臺市	一三六	一〇、一四〇	共同仕入營業の統制	宮城縣仙臺市仲の町二三	大澤晋平
氣仙沼洋物雜貨商業組合	九、八、九	宮城縣本吉郡氣仙沼町	一五	四、〇〇〇	取扱商品の共同仕入、賣金の貸付及び貯金の受入、價格の協定、營業上の統制、商品の共同保管	福島縣福島市北町六三	武川德三郎 外二名
福島化粧品商業組合	八、四、二四	福島市及隣接町村	八九	五、七〇〇	共同仕入、價格の協定、賣金の貸付及貯金の受入		長谷川兵吉

組合名稱	設立認可年月日	地域	組合員數	出資總額	事業計畫	事務所	代表者
宇都宮洋物雜貨小賣商業組合	八、六、二六	宇都宮市	三二	七、〇〇〇	共同仕入、共同保管、共同販賣所の設置、營業の統制、賣金の貸付及貯金の受入	宇都宮市商工會 議所内	青木 外五名
足利藥業商業組合	九、七、二七	栃木縣足利市及足利郡一圓	三一	五、四五〇	取扱商品の共同仕入、營業の統制、取扱商品の共同保管、取扱商品の検査、小分作業者の設置、販賣の調査、賣金の貸付及貯金の受入、販賣並に販賣場の調査、販賣場の統制	足利市通三丁目三、五二五	理事 小川信
中部化粧品商業組合	八、一二、五	前橋市、利根郡、野宮郡、佐渡郡	三六	四、一八〇	共同仕入、共同保管、共同運搬、取扱商品の検査、價格の協定、組合員及使用人の表彰、賣金の貸付及貯金の受入	前橋市立川町三四	理事 高橋政次郎 外十九名
東部化粧品商業組合	九、三、二九	桐生市、山田郡、新田郡、邑陽郡	一五三	四、一〇〇	共同仕入、取扱商品の検査、營業上の統制、組合員及使用人の表彰、取扱商品の保管、價格の協定、賣金の貸付及貯金の受入	桐生市本町四の三四	理事 松本林八
西部化粧品商業組合	申請中						
熊谷化粧品小賣商業組合	八、一〇、二六	熊谷市	三六	四、〇〇〇	共同仕入、營業の統制、觀察員の派遣調査、賣金の貸付及貯金の受入	埼玉縣熊谷市熊谷二九九八	坂田仲造
東京中央藥種賣藥化粧品商業組合	八、三、三〇	東京市神田區、日本橋區、京橋區、芝區、豊島區、池袋區	三八五	一一、二八〇	共同仕入、共同運搬、共同保管、營業の統制、賣金の貸付及貯金の受入	東京市芝區田村町三の一三	菊地三之助
東京江東藥種賣藥化粧品商業組合	八、三、三〇	東京市江東區、江東區、向島區、江戶川區、葛飾區	三四七	八、〇二〇	共同仕入、共同保管、營業の統制、觀察員の派遣、販賣の調査、賣金の貸付及貯金の受入	東京市本所區綠町三の三	吉田土八重吉
東京北豐島藥種賣藥化粧品商業組合	八、三、三〇	東京市豊島區、板橋區、王子區、豊島川區、荒川區	三〇六	一七、六五〇	共同仕入、取扱商品の検査、營業上の統制、組合員及使用人の表彰、取扱商品の保管、價格の協定、賣金の貸付及貯金の受入	東京市豊島區池袋一の七二一	鈴木勇雄
東京都南藥種賣藥化粧品商業組合	八、四、二六	東京市南區、大森區、品川區、目黒區、目黒區、目黒區	四八一	一〇、一二〇	共同仕入、共同保管、共同運搬、營業の統制、賣金の貸付及貯金の受入	東京市目黒區下目黒二の四四四	吉田達次
東京山之手藥種賣藥化粧品商業組合	八、六、一	東京市山手區、四谷區、小石川區、本郷區、池袋區	四五五	一一、五六〇	共同仕入、共同保管、共同運搬、營業の統制、價格の協定、營業に關する指導研究、調査賣金の貸付及貯金の受入	東京市牛込區津久戸町二五	荻村武郎
東京化粧品卸商業組合	八、六、八	東京市	一七六	五、二八〇	共同仕入、共同保管、營業の統制、陳列所及販賣所の設置、賣金の貸付及貯金の受入	東京市日本橋區馬喰町三の五	神保文太郎
新島本村日用品雜貨商業組合	八、六、八	東京府新島本村	五五	二、八六〇	共同仕入、共同保管、營業の統制、陳列所及販賣所の設置、賣金の貸付及貯金の受入	東京府新島本村	植松長之助 外四名
東京城西藥種賣藥化粧品商業組合	八、一二、四	澁谷區、中野區、杉並區	二三八	四、八〇〇	共同仕入、取扱商品の統制、取扱商品の調査、販賣時間の統制、營業の統制、貯金の受入	澁谷區下通一の	關口彌三郎

全國業界機關新聞一覽 (昭和九年十一月一日現在)

Table with 10 columns: 名 (Name), 稱 (Title), 所 在 地 (Location), 創刊年月日 (Start Date), 社長・社主 (President/Owner), 主 幹 (Editor), 回 數 行 (Frequency), 定 價 (Price). Lists various industry newspapers across Japan.

商報社の一年

東京商報「小間物化粧品業界年鑑」刊行... 大阪商報「定期總會を伊勢二見に開く」... 大阪商報「大阪商報」...

Table with 10 columns: 名 (Name), 稱 (Title), 所 在 地 (Location), 創刊年月日 (Start Date), 社長・社主 (President/Owner), 主 幹 (Editor), 回 數 行 (Frequency), 定 價 (Price). Lists various industry newspapers across Japan.

大阪石鹼商報 日本石鹼新聞と改題... 大阪石鹼商報 滿洲國帝制記念「香皂與香粧品」刊行... 東京商報 全國業界視察の第三年度計畫として...

輸出組合一覽

【業界關係組合のみを挙ぐ—昭和九年十一月一日現在】

組合名	設立年月日	所在地	員數	出資額	事務所	理事
對露輸出組合	大正五、八、三	内地	二八	一七、五〇〇	東京市豊島区西町一ノ一七、日露會社内	倉知 鐵吉
對佛瑞白輸出組合	昭三、五、三〇	内地	二八	一七、五〇〇	東京市豊島区西町一ノ一七、日露會社内	倉知 鐵吉
東京滿蒙輸出組合	昭八、三、三九	東京府	八七	三〇〇,〇〇〇	東京市丸の内、府立商工獎勵館内	星野 錫
東京雜貨對印輸出組合	昭九、九、一〇	東京府	三七	一八、五〇〇	同	松本鐵治郎
日本滿蒙輸出組合聯合會		内地			東京市、商工省内	
神奈川縣東亞輸出組合	昭七、三、二六	神奈川縣	六〇	一〇、〇〇〇	横浜市中華街海通一ノ一、ニユー・ヨコヤマ・エキスプレス内	小川 益吉
東部日本亞爾然丁輸出組合	昭九、八、一	愛知、岐阜、石川以東の内地	一九	三三、〇〇〇	名古屋市東區中區通一ノ三、加藤會社内	加藤平次郎
名古屋中南米輸出組合	昭四、四、三三	名古屋	三五	五五、〇〇〇	名古屋市中區新橋町、住友ビル内	井元爲三郎
愛知縣滿蒙輸出組合	昭九、三、三二	愛知縣	八八	四六、〇〇〇	名古屋市中區新橋町、住友ビル内	加藤勝太郎
富山縣滿蒙輸出組合	昭八、八、一〇	富山縣	三四	六、〇〇〇	富山市總曲輪二一三ノ一	橋 文藏
中米藥品輸出組合	昭八、九、二二	内地一圓 (但東京府を除く)	七	四、〇〇〇	富山市千石町、國勝製糖株式會社内	飯倉平兵衛
新潟縣滿蒙輸出組合	昭九、一〇、五	新潟縣	四四		新潟市、新潟縣廳内	白勢 景作
京都對米輸出組合	昭三、三、四	京都府	四二	三三、〇〇〇	京都市、京都商工會館内	坂田 文助
日本刷子輸出組合	昭三、八、三四	内地	五五	七五、〇〇〇	大阪市東區北區東寺町二ノ六〇	岡田 治
大阪阿弗利加輸出組合	昭四、一〇、二八	大阪府	一八	四四、〇〇〇	大阪市北區北區、東ビル内	安住伊三郎
日本比律賓メリヤス輸出組合	昭六、六、三	内地	五五	三〇、〇〇〇	大阪市北區東區、大毎ビル内	田淵 忠治
日本人造眞珠硝子珠輸出組合	昭七、一、二五	内地	一三	三〇、〇〇〇	大阪市南區長堀橋筋一、三	中西庄太郎
大阪中南米輸出組合	昭七、九、七	大阪府	三六	二六、〇〇〇	大阪市西區阿波橋通、阿波ビル	濱口 俊介
大阪滿蒙輸出組合	昭八、二、四	大阪府	三三	五五、〇〇〇	大阪市、大阪府立實業會館内	森 平兵衛
日本對米構寸輸出組合	昭九、三、二五	内地	一八	一三、〇〇〇	神戸市、神戸商工會館内	瀧藤治三郎
日本莫大小輸出組合	昭九、六、二	兵庫、大阪、奈良、和歌山、京都、廣島、香川、徳島の各府縣一圓	三六	三六、〇〇〇	神戸市葺合區御幸通七ノ七七	丹下良太郎
兵庫縣滿蒙輸出組合	昭九、七、三〇	兵庫縣	七二	一七、〇〇〇	神戸市、神戸商工會館内	黒瀬 弘志
西部日本亞爾然丁輸出組合	昭九、八、二	福井、滋賀及び三重以西の内地	三九	三九、〇〇〇	神戸市神戶區東町一六一	藤井松四郎
日本護謄製品輸出組合	昭九、八、三	内地	三〇	三三、〇〇〇	神戸市神戶區北長坂四ノ二三	田島長三郎
大和實業滿蒙輸出組合	昭九、二、三〇	奈良縣	一〇	一〇〇,〇〇〇	奈良縣高取町	奥村 正信
徳島滿蒙輸出組合	昭九、七、三〇	徳島縣	一八	三、五〇〇	徳島市北左町字松之内、長尾商店	長尾 傳藏

輸出組合の沿革

本邦輸出貿易の大部分は中小輸出業者により經營せられてあるため、その薄力と同業者間の無統制状態とは、動もすれば無謀なる賣込競争を惹起するのみならず、之に伴ふ品質の低下その他種々なる弊害により本邦品の海外に於ける信用を失墜すること夥しく、爲めに市場喪失の憂目を見むとしたるの事例、夥しとしない。

是に於いて政府は、輸出貿易に秩序統制を興へ、以て之れが健全なる發展を圖る可く、大正十四年三月、輸出組合法を制定、同年九月一日より之れを實施した。即ち、本法によつて利害關係を共通する同業者の自治的團結により組織された經濟團體（輸出組合）に法人格を興へ、組合員の協同的精神と自治的統制とに相俟つて、各種の積極的諸事業を營ましめ之れを以て組合員の營業を助くる經濟的助成機關たらしめるとともに、更に消極的事業即ち組合員の事業經營の内容に立入り、或る程度の制限又は取締の如き事業をなす自治的統制機關たらしめ、新業を組織化することによつて輸出業界を統制改善するの實を舉げむことを期した。

現在に於ける輸出組合法施行の状況をみるに、昭和九年八月に於いて組合数は六十一組合にして、その總組合員數五千三百七十四名、總出資額二百六十三萬四千四百餘圓、總拂込額百二十二萬四千餘圓を算し一組合當り平均は、組合員數八十八名、出資額四萬三千餘圓、拂込額二萬餘圓となつてゐる。また、之れを種類別に見ると商品別組合三十二、市場別組合十六、商品及び市場別組合十三であつて更に地區の廣狭に従へば内地一圓を地區とする全國的組合二十五特定地方に限定せる地方的組合三十六である。

高品商店

昭和九年業界商品史

商品の氾濫は幾がて商品の停滯である。而してよく之れを救ふものは、その量の適正と、その質の優秀と、此の二つの外にあり得ないことは、少くとも過去一年間に於けるわが商品市場の動向が、之れを物語つて餘りあると思はれる。わけても配給機關の無統制に伴ひ、漸く取引の正常を失ひかけてゐる方今の市場にありては、その肅正上、殊にそれが必要である。堅實なる業界の發達といふも、畢竟強く正しき力からのみ生まれる道徳的營業統制と、化學工業の進歩による商品の優良化、清新化とを條件とする以上、業界の現有勢力を高める上に於いても、同業の福利増進を圖る上に於いても、その重點が一に集つて商品の問題にあるは明白であらう。就中、業界品の本質上、整容服飾流行等々の近代的社會情勢に最も敏感に反映する商品にありては、一層その研究の完成に、寸時の懈怠もなく精進する處に業界の繁榮と躍進とが、約束せられるであらう。今その一年間に於ける商品勢力の消長を業界の實際に聽いて明日への躍進に備へ度い。

一、選べる商品十有八種類、これは業界の主力的製品のみを挙げたのである。

一、新製品相次ぐの今日に於ては、業界の分野は益々複雑多岐にわたれるのみならず、商品としての歴史尙淺く、その全貌を描くに困難なるものも、或ひは又、他の商品に附隨して獨立せる商品として扱ひ難きもの等もあり、一々、それを取り出して検討する時は、全業界の構成を知る上に於いて却つてその主勢力の存在を以て認識困難ならしむるの虞れがあるので、敢て他の商品には及ばなかつた所以である。

一、昭和九年版に分類したる「貴金屬寶石」及び「指環、帶留」の二項目はこれを合して「貴金屬寶石品」の一に改め、新たに「婦人洋裝雜貨」なる新部門を加へた。

一、「荒物」及び「薰香」は、今年より新たに「荒物雜貨」の部門を設けたから、切離してその方に移すこととした。

一、商品史の調査は全くセンサス的に行はれたものではない。たゞ少數なる業界に於ける専門家にその材料を求め、或ひは補足的にその談話を求め、或ひはまた執筆を求めた處もあり、その方法に於いては、必ずしも撰を一にしてゐない。

一、隨つてその扱ひ方に於いては、聊か統一を缺くの感なきにあらざるも、正しき年鑑の定型を得るまでの過渡期的取扱ひ方として、只管諒承を願ひたい。

化粧石鹼界の趨勢

最近、世の大勢として各國の自主的關稅、保護貿易政策は、益々積極化致して來た。その爲に化粧石鹼原料に對しても、直接又間接に甚大なる影響を及ぼして居るし、又石鹼原料の消費絶大なる北米合衆國に於ける經濟政策の影響も決して見逃し得ない。それから一時的ではあるが、棉花の不作に伴ふ棉實油の減少、並びにわが國國貨の不利等は、こゝに益々原料油脂の價格に變調を來さしめ、牛脂は暴騰し、パーム油は暴落し、採實油カボック油は輸出旺盛を極めてその價格は實に落花生油のそれに肉薄し、他方歐洲向け大豆の輸出増進よりして、これも一時的ではあるが、大豆油の暴落を將來し、結果は格安なる大豆硬花油の輸入を見るに至り、恰も牛脂暴騰の時を當つて、俄然化粧石鹼界は此の大硬花油に向つて注視することに成つた次第である。勿論その使用法にも研究は積めるも、更に一方、魚油硬花油は比較的安價であるから、益々その使用量増大に拍車をかけられると云ふ有様で、結果は牛脂の輸入は著しく減退するに至つたのである。尤も以上の現象は、從來徐々に来たものではあるが、而も九年度に至つて特に顯著なるものがある。即ち震災前までは化粧石鹼原料としてこれ等の硬花油は、牛脂椰子油とその範圍が殆んど限定せられた點があつたのに、震災後に至つて遂次、油脂原料の選定範圍は擴められ、九年度に及んでその勢ひは、遂に決定的となつたのである。

次に石鹼用香料に就いて觀ると、天然香料は昨年度の世界的氣候不順の爲め收穫減と成りて現はれ、例のフラン價の昂騰とともに歐洲産天然香料の價格は變上りに上昇した。之れに反して人造香料の方は價格も平靜であり、或種のものゝ如きは國産品の出現によつて却つて落潮の一途を辿つたのである。従つて石鹼香料

は益々人造香料の需要を喚起して此の間調香術の進歩著るしきもあり、比較的高價なる香料を少量使用して製品の品位を保つと云ふやうな方法も講じられたのであつた。

他面石鹼の色彩に就いても、かなり研究されて、白色生地に二酸化チタニウムを使用したものが數多く認められたし、又青色生地に同じく此の二酸化チタニウムを併用して新味を加へたものもあつた。それから包装に至つては、製紙業者の生産制限と價格統制に依る紙價漸騰の爲めに、化粧石鹼業界としては相當の犠牲を拂はしめられた次第であつた。

大體以上の如き原料の趨勢であるにも拘はらず、化粧石鹼の價格(品質は勿論)漸落歩調を採つたのは御承知の通りで、昨年末には實に九割に及ぶと云ふやうな實に化粧石鹼としては空前の安物をも現出するに至り、従つて各製造業者の原價切下げは勢ひ原料の選擇に自由を缺き、結果は過度の魚油硬花油の使用、又は魚油重合油さへ化粧石鹼に使用せらるゝに至つた。品質の低下は著るしものがあり、更に硬花油業者の化粧石鹼界への進出氣運濃厚と成り、品質價格の低下は一層甚しからんとするに至る等、業界はこゝに價格統制に就いて少からざる關心を有つに至つたのであつた。

講つて輸出向き石鹼は、引續き旺盛を極め、昨年十一月には商工省令を以て重要輸出品として指定せらるゝに至り、又數年來の懸案であつた石鹼規格及び分析法は、化學工業協會の斡旋に依つて立案完成したが之により幸ひに、以上の如く輕んじ給んど底止する所を知らざるが如き品質の低下を、よく挽回統制することが出来たならば、獨り業界のみの悦びでは無いと考へる。最後に昭和七年以降に於けるわが國化粧石鹼輸出高を手許の表から抜いて、御參考に供し度と思ふ。

〔丸見屋商店・三輪善太郎〕
昭和7年 1~8月 503 單位1000個

多難の洗濯石鹼界

昭和九年の業界を顧みて、何人の印象にも、一番強く残つてゐるものは風、水、旱、冷等の惡天候の災禍であらう。然かも今年の不順の天候は殆んど世界的であつて、内地に於ける需要を減殺したに止らず、洗濯石鹼界に最も著大の關係ある滿洲の大豆、北米の棉花、玉蜀黍等の凶作を招來し、爲めに植物油の著しい減收が報せられ、従つて九年度半期に入るや、石鹼原料一般の暴騰を見るに至り、需要の著減に悩んでゐる業者をして、一層の痛苦を味はしめたのであつた。

近來洗濯石鹼業界の發展は實に驚異に値ひするものがある。僅かに十數年前までは未だ家庭工業の域を脱し得なかつたのであるが、現在は大規模に製造するものが尠からず存するに至つた。この短期間に於ける長足の進歩は、需要の増大に因るところ勿論であるけれども、亦本邦硬花油工業の發展に負ふ所頗る大なるものがあることを忘れてはなるまい。

元來硬花油は、洗濯石鹼原料の過半を占むるものであるから、硬花油業界の動向、消長は取つて以て直ちに洗濯石鹼業界に甚大なる影響を及ぼすことは、説明するまでもないことである。

硬花油業者は去る昭和六年に産業統制法による統制組合を結成以來、生産と價格によく統制を保つて來たのであるが、その間一般石鹼業界は所謂兼業者問題で甚だしく苦杯を嘗めざるを得なかつた。かゝる状態は昨年來二三のアウトサイダーの出現を促がすこととなり、これとともにさしもの硬花油統制も、漸く不徹底を免かれぬ状態となつたのである。こゝに於いて硬花油統制組合は、去る九月の滿三ヶ年に涉る統制期間の

満了を機として、法による統制を一旦解消して、今後共販會社を中心とする價格の協定に止むることになつたのである。

一方洗濯石鹼の統制は、昭和八年の初め合同油脂株式會社の久保田四郎氏によつて提唱せられ、よく全國單業者の結成を見るに至つたのであるが、一半の目的たる硬花油兼業者の参加を得るに至らなかつた爲め、遂に程なく一時解消を餘儀なくされたのである。

しかし兼業者問題で苦杯を喫した單業者は、その後更に一步を進めて阪神、九州、臺灣の同業者は工業組合を結成し、東京組合は工業組合は作らなかつたが、益々團結を固うして硬花油統制解消の運動を起し、ともにその窮地から脱せんことを努めたのであつた。然るに前述の通り硬花油統制解消の實現とともに東京組合に於いても急轉直下、工業組合の結成に轉向せんとする状態である。

講つて九年の輸出貿易は、内地の不振を他所に、又南阿、英印、シヤム等の高關稅による防遏があつたにも拘らず、大正十三年以來の好調を見た前年中の輸出——洗濯石鹼のみ——約一〇〇萬圓に對し、九年は九月度までに既に七七萬圓、前年同期に比すれば二二萬圓の増加である。然しながら若し前記諸國の彈壓がなかつたならば、今年の輸出は未曾有の記録であつたにちがひない。それにつけても諸外國から締め出された原因の中に、業者の無節制なる競争がなかつたかをお互ひに反省して見る必要があると思ふ。

前年來安物全盛を現出した當業界も、九年に入つてから前記需要の減殺に伴ひ、反省の機會を與へられてか、漸次「値段より質へ」の傾向が顯はれ來つたことは同慶に堪へざる次第である。これは勿論需要者の欲求の反映でもあるが、吾人はこの機運を益々助長して業界の健全なる進歩と國民衛生の向上に貢献したいものであると思ふ。

今年度に於いて特に記憶しなければならぬことは、

商 品 商 店

關係官廳、學者、業界の技術者を委員とする化學工業協會主催の石鹼規格委員會が、昭和七年二月以來三ヶ年の日子を閲みして、その規格案を決定し、之れを商工省規格委員會に提出されたことである。之れが實施までには猶相當の日子を要することであらうが、實施の期には輸出に内地の統制に貢獻する處甚大にして、本邦石鹼界史上に特筆するべきものと信ずる。

既述の通り、多年業界の問題となつてゐた硬花油統制の解消が實現したが爲に、業者團結の目的の一半はこゝに達成せられたかの感があるが、しかしながら生産制限から解放された硬花油業者は、石鹼兼業者はその石鹼製造設備を擴張し、從來の單業者も漸次兼業者とならんとする傾向は必然であるから、石鹼業者の不安は更に新に加はるものと見なければならぬ。

之れが對策としては、業者の結束を一層堅うしてその統制を強固にするとともに、兼業者間の無基な競争を抑壓することの他にないと思ふ。

何れにしても本邦洗濯石鹼界は、魚油に大豆油に、その原料資源に恵まれてゐるのであるから、内に業者相ともに戒めて、無基なる競争を慎み、外は共同して輸出に力を注いだならば、將來の伸張は眞に見るべきものがあらうと思ふ(ライオン石鹼株式會社取締役竹井俊郎)。

白粉の趨勢

わが國に於ける最近數年間の白粉界の進歩は洵に目覺しいものがある。これは各當業者が競つて不斷の研究をなしたし、ある努力によるものであることは素より云ふまでもないが、新聞雜誌を通じて行はれる婦人間の化粧法の研究が、近年いよ／＼普及向上したので、これが一面、當業者への拍車となつて、絶えざる製品の改良が行はれ、又一方には白粉の需要を増大せしめ、た有力なる原因となつてゐることは否むことは出来な

いのである。而してこれらを通じて窺はれる化粧法の傾向は、最近に於ては、いよ／＼化粧したやうに見えない化粧、自然のままの美しさをその儘發揮することの出来る化粧法が、流行界を支配し、健康な地肌的美を暗示し、個性美を生かす色白粉の化粧が益々増加しつつある。

美容界のこの傾向に従つて、白粉界に於いても、皮膚の榮養回春をはかる、レシチン、コレステリン等のホルモン類、又は各種の榮養劑の白粉への應用が研究され、その新製品の發賣せらるゝものも多く、又、各白粉原料の研究が進むにつれて、各原料による被覆力の相違も明かとなり、粉の配合技術が著しく進歩し、更にこの年の研究の對象となつた色味の配合選擇は、日本人の皮膚の性質についての研究の進歩によつて、著しい發達を示した。今左に現在の各種白粉の趨勢について概観しやう。

煉白粉

固煉白粉、粉白粉、海綿白粉、煉白粉等の名稱によるものを、すべてこれに包含すれば、わが國の現在の白粉中、その王座を占むるものはこの煉白粉であるといへる。過去に於いては、花柳界方面の化粧法が流行界を風靡してゐたる關係上、煉白粉も固煉のくつきり濃くつくものが、最も歡迎せられてゐたものであるが、近來、化粧法の普及發達によつて素人の令嬢夫人等の時代に適合せる新鮮味を持つた化粧法が、却つて花柳界方面をリードする傾向となり、從來の個性美を隠してしまふ迄に濃化粧法から轉じて、薄くしかもムラなくつく強い被覆力を持つた白粉が求められてをり、煉白粉にも時代に應じた研究が加へらるゝに至つた。然し販賣上に於いては、何と云つても煉白粉は白粉中第一の需要を持つもので、その生産額はこの年に於いても非常なる増加を示してゐる。

粉白粉

優良なる國産白粉の多數存在せる今日、尙、舶來品

の勢力の最も盛存せるものはこの粉白粉、刷白粉であるが、各本舗不斷の研究の結果、その分子の細さに於いても、自由なる色味の豊富さに於いても、毫も劣らざる優良なる粉白粉が多数出現して、この年に於いては、殆んど歐米品を駆逐するの有様を示した。これら粉白粉は、歐米人とは異なる肌質を持つ、日本人の肌質に合せて処方されたものであり、その優秀さが一般に知られると同時に、化粧界の流行と俟つてこの年に於ける粉白粉の需要の激増は真に目覚ましいものがあつた。今後、化粧法の簡單化とともに粉白粉の需要は益々昂まる傾向にあり、將來の粉白粉界に於いてその王座を占むるものは、粉白粉であらうとさへ豫想される。

水白粉

他の白粉がいづれも非常なる躍進を示してゐる間にあつて、水白粉はこの年に於いては見るべき發展を示さなかつたが、所謂「隠し化粧」として老若を問はず用ひられてゐるものであり、且つその化粧法も固練白粉等に比して甚だ簡單であるので、液状の白粉で優秀なるものさへ現れるならば、その將來の發展性は大きいあるものと云へやう。

クリーム白粉

粉白粉とともにこの年に於いて非常なる躍進を示したものにクリーム白粉がある。これは前年來、白粉界に登場した新化粧料であるが、化粧のスピード化を旨とした簡單なる化粧効果が繁忙なる時代の要求に合致して、忽ちに白粉界に有力なる商品となつたのである。人によれば、將來、このクリーム白粉は水白粉の分野に食込んでゆくであらうと觀察する向もあるが、果して然るか又は別に新たなスピード化粧の新需要を開拓してゆくものか、將來への宿題として残されるものであらう。

以上の如く各種白粉それぞれに發展を示してゐるが、これを過去十年について回顧して見ると、實に

次の如き数字が求められる。

最近十年間白粉生産額 (商工省工場統計表による)

大正 12年	4,555,231
" 13 "	4,882,237
" 14 "	5,072,150
昭和 1 "	4,912,941
" 2 "	8,701,576
" 3 "	8,092,807
" 4 "	8,278,752
" 5 "	7,955,350
" 6 "	6,843,587
" 7 "	6,802,941

最近二ヶ年の全國的生産統計については、未だこれを求めることを得ないが、本邦白粉の大部分を生産する東京並びに大阪兩組合の昭和七年より八年への生産販賣額増減は、左表の如くである。

販賣額	昭和七年	昭和八年	増
東京組合	二,三三八,八四〇	二,三七〇,五五九	三二,七一九
大阪組合	三,三三三,六一二	四,三三三,〇二四	一,〇〇〇,四一二
東京組合	三,七四八,八二〇	三,七六六,八三三	一八,〇一三
大阪組合	四,二五五,四三三	四,六八〇,三九六	四二四,九六三
大阪組合	四,二五五,四三三	四,六八〇,三九六	四二四,九六三

この増加の傾向は昭和九年度に於いても益々繼續して現はれ、品質の向上とともに真に名實ともに誇るに足る國産白粉の制覇は、この年に於いて全く完成の域に達したのであつた。(伊東朝樹著・阪本尚美堂調)

齒磨界の一年

齒磨界に於ける昭和九年度の回顧としては、一般化粧品と同じく相當曲折があつたが、業界の提携善處によつて一般不況の折柄にも拘らず、順調なる経過をたどり得たことは、幸慶に堪へない處である。左に齒磨界九年度の経過を略述してみよう。

2、各商店の化學的研究方面及び製造設備の刷新

各商店化學研究所に於ける品質改善の努力、又は進歩的新製品の製造等に關する研究は、實に真剣に行はれてゐる。歐風模倣のみ因はれた時代は既に過ぎ去つて、近時わが國特有の趣味嗜好に近代の色彩を加味せる新製品の製出を見るに至つたことは、喜ぶべき現象であると思ふ。殊に香料薬品の一部にあつては苦心研究の結果、國産品が却つて輸入品を凌駕するものすらある。而も此の傾向が一年と新らしき分野を開拓しつゝある状態であるは、邦家の爲めに慶賀に堪へないことである。更には齒磨製造設備に於いても、九年度に實行されたものに一つの變革がある。それは工場内空氣の洗濯である。即ち清澄なる水を以て外氣を洗濯して工場内に導入し、汚染空氣は不斷に之れを引抜くものであるが、斯うした装置が、齒磨製造工場に實現したことは素晴らしい變革として誇るに足るところである。

3、需要喚起に關する文化的運動とその施設

口腔衛生の普及宣傳。大正初年、いまだ口腔衛生の黎明期に當りて、社會的事業の一端として國民保健上に齒科衛生の極めて緊要なる所以を認識せしめんとして生れたのが、全國に亘れる口腔衛生運動であるが、爾來幾多の困難を突破して恒に終始一貫、今日の充實を見るに至つたもので、その講演會の如きはそれぞれ専門齒科醫を講師とせるもので、全國的に學校、軍隊、工場、男女青年團及び在郷軍人會等と連絡を保ち、齒科講演會、映畫會、展覽會、並びに口腔衛生講習會等を開催して斯道の普及宣傳に當つたのである。純近學校齒科醫令の公布を見るに至つて一層口腔衛生運動の重大性を認識され、當局亦學校齒科衛生教育に重點を置くやうになつた。而して毎年六月四日の全國ムシ歯豫防デーには、官民協賛して一大デモンストレーション

1、販賣方面の動向

一、各種齒磨の値段改正
昨年來引續き各種原料の騰貴を來たし殊に紙類、錫等に於いて最も著しく、遂に各種齒磨を通じて一割乃至三割程度の値上を斷行したが、是れはその品質保持の上から止むを得ざる措置であつた。

一、粉、煉製齒磨全盛時代と中性齒磨創製時代
濃郁たる香氣と柔軟性に富める粉製齒磨は、依然として數十年來の歴史的な需要者を有し、煉製齒磨は又その近代的味覺を持つること及び取扱の便利なること等より、業界の寵兒としてその進出目覺しく、兩々相譲らざる状態にある。近年又粉、煉の中間を行かんとする所謂中性齒磨、即ち半煉又は潤製齒磨の創製時代に移つたが、その煉製に近き特殊の香味と、粉の飛び散らぬ特長等は、今後の研究如何によつては更らに新規の需要を喚び起すであらう。何れにせよ、近來衛生思想の發達とともに齒磨の需要著しき増加を示すとともに、各種齒磨の賣行を高めつゝあり、真に齒磨界の全盛時代といふべき状態である。

一、販賣上に関する各種特賣とその方法

業界年中行事とも云ふべき各種特賣は依然として隆盛を極め、或ひは金券に依るもの、或ひは物品景品に依るもの、乃至は觀劇、清遊、旅行、慰安、販賣店の優待、需要者への奉仕等、各種各樣の方法を講じ、以て賣上の増進に努めてゐるが、これ等幾多の廣告乃至販賣上の試みは、獨り齒磨界のみの問題に止まらずして一般業界の傾向である。

一、本舗、卸店、小賣店、相互に於ける共榮販賣方法の研究

唇齒輔車の關係にある本舗、卸店、小賣店三者の共榮販賣方法に就いては、今後に残された重要な問題として、根本的に研究を要するもので、一日も早くその適當なる方策の實現を望んで止まざる次第である。而して此の問題の解決に最も大切なことは、相互間

に於ける信用と德義の尊重である。これさへ圓滑に行ひ得られたならば、業界の將來は實に洋々たるものあらうと考へる。併し之れは、言ひ易くして行ひ難き問題であるから、互ひに研鑽努力して、漸次此理想に接近するやう工夫しなければならぬことであると思ふ。

一、齒磨類輸出の趨勢

近時わが國輸出貿易の進展は實に驚くべきものがあるが、齒磨類の海外輸出も亦年とともに増加してゐる。昭和八年に於いては年額五十餘萬圓の輸出を見、七年に比すれば二十餘萬圓の増加を示してゐるが、九年度は八月末迄に既に三十五萬圓餘を輸出してゐるから、昨年度よりは一層の増加を見るものと思ふ。九年度に於ける齒磨類の輸出中注目すべき點は、新興滿洲國に於ける需要の激増と、北支市場の回復である。滿洲國に於いては、各種廣告宣傳、その他販賣に盡力せる結果、九年度は上半期のみにて十數萬圓の輸出を見、八年度年額十四萬圓に比すれば著しい増加である。北支市場に於いては、暫らく日貨排斥に果されてゐるが、近時の對日感情好轉とともに輸出量も増加し、今や舊市場を回復して北平、天津を中心とした山西、河南各省、遠くは陝西、甘肅、新疆の諸地方にまでも進出してゐる。長江沿岸地帯、印度、南洋、その他の市場への輸出量も、漸次増加の傾向を辿つてゐるが、引續く世界的不況は前途に樂觀を許さざるものがある。更らに新市場への進出としては、アフリカ、中米、中歐への輸出が目につく。齒磨の種類に就いては、ライオン、クラブ、仁丹等の煉製、粉製各種であるが、就中「ライオン」の名稱は支那印度はもとより、南洋その他の市場に於いて次第にポピュラー化しつゝあり、就中煉製の齒磨消費高が目覺しき躍進を示し、今後彌が上にも發展の傾向を見せつつあるが、一方支那、印度に於ける粉製の需要も侮るべからざる状態を示せるも、此處暫くは現状を維持することと思ふ。

クリーム界の回顧

昭和九年度に於ける化粧品産業の中、クリーム部門に就いての一般動向とその業績とを検討するの時、何人とも次々の三つの顯著なる現象を見出すことは出来ないであらう。その三つの顯著なる現象と云ふのは、一、圓爲替安が招來したる原料及び香料の値上りと、グリセリン共販會社の設置によるグリセリン價の引上げによる製産費の昂騰、二、皮膚の手入又は文化工作の基本材料としての化粧品種別中、クリーム類が占むる重要地位の確立、三、性状及び用途によるクリームの種類別が、益々明確になつて來たこと、品質の一般的向上。

その一に就いてはすべての化粧品に共通するもので

品であるが、各優良品も漸くこの年より輸出に意を向け、その激増ぶりは大いに見るべきものあり、内地の需要の漸増と相俟つてポマードの将来は、いよ／＼輝かしいものとなりつゝある。(メモマ本舗・井田友平氏談)

香水の傾向

昭和九年度に於ける香水界にとつて最も特筆すべきものは販賣額の著しい増加である。現在では未だこの年に於ける香水の生産額を明らかにすることを得ないが、一般に前年度に比較して五割乃至八割の激増が豫想されてゐる。これは主として財界の好轉による経済界の活況に刺激されたことは勿論であるが、また一方には國民の文化生活の向上に伴ひ、社交の機会がいよ／＼多くなり、従来、非常なる贅品視されてゐた香水が、社交上の儀禮として日常必需品視せらるゝに至つたため、国内の需要も著しい増加を示し加ふるに満洲への輸出の激増に伴ひ、香水の輸出は飛躍的な數字を示すに至つた。九年一月以降十月までの香水輸出入累計を前年と對比すれば

年	輸 入	輸 出
昭和七年	一七〇、一七〇	三〇四、四四四
昭和八年	三七〇、六四〇	二八三、〇二二
昭和九年	五七一、八六六	三〇九、〇六六

即ち、その輸入が漸増の勢ひを示してゐるに對し、輸出は倍加の數字を示してこの年に於けるわが香水の海外進出が、如何に著明らしいものであつたかを物語つてゐる。今これを月別に示せば左表の如くである。

【外貨貿易月報】

月	輸 入	輸 出
一月	26.682円	26.242円
二月	30.211	34.024
三月	31.555	54.978
四月	34.016	58.065
五月	35.706	81.533
六月	46.749	56.443
七月	16.205	65.299
八月	32.486	51.648
九月	28.284	60.751
十月		

而してこれらの香水の輸出入をその相手國別に示せるものは次表である。

輸 入	輸 出				昭和八年	昭和七年
	總計	英領印度	關東州	滿洲國		
總計	三〇九、〇六六	二八三、〇二二	一七〇、一七〇	一〇二、八五二	三〇四、四四四	二八三、〇二二
北米合衆國	一四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
獨逸	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
佛 蘭 西	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
英 領 印 度	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
關 東 州	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
滿 洲 國	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

これによつても明らかなるが如く、わが國の香水界は、歐米より高級品を輸入し、國産品を滿洲印度等に輸出するのであるが、昭和七年に於いて輸出入略々同額であつたものが、八年に於いては輸出の方が増加し更に九年に入つては、滿洲方面への大量輸出によつて、遙かなる出超を見るに至つた。今後と雖も滿洲方面への輸出は、その文化の普及につれていよ／＼増加することと思はれるから、わが國の香水は更に目覺しい發展を海外に示すものとして期待できる。

水の原料たる化学香料の進歩に於いては、わが化学界は目覺しい進歩を遂げてをり需要者たる大衆の間にも、漸次香水趣味は普及しつゝある現狀であるから、わが香水界の將來は、多幸なる未來を約束されてゐるものと云へるであらう。(安藤井筒堂談)

昭和九年の香油界

昭和九年度の香油界はと聞はれても、前年度に比較して見て別に大した變化があるやうにも思はれない。たゞ社會の情勢によつて多少の移り變りはある位のものであらう。

然しわが國も聯盟を脱退した當時はそれ程とも思はなかつたけれども、月日を経るに隨ひ、各國からの經濟壓迫がますます／＼甚しくなりつゝあるの今日、その反動的傾向とていふか、國內に於ける民心の趨向は固有の國粹と云ふ點に重點を置くやうになつたかのやうに思はれる。殊に私どもが最近著しく感ずることは、例へば文學としては國語を尊び、音樂に於いては和樂が興隆するといふ風に、服装や整容にしても、著しき國粹的の現はれを感ずるのである。問題は少しく大きくなり過ぎたやうだが、結局その影響を私どもの直接關係のある髪容と云ふことにも及ぼして來るのである。手近な例として挙げれば昭和八年の暮から九年の春にかけて、日本髪が多かつた事は、近年稀れに見るの現象であつた。然らば十年度は何うかと云ふと、昨年よりも一層日本髪が多くなるのではなからうかと思はれる。此の日本髪が多くなると云ふことは、即ちわが國特有の國粹美たる黒髪を貴ぶといふ心の現はれてあつて、東髪——普通に云ふ處の洋髪に於いても、目に立つて減少したのは極端に頭髪を剃つて焼いたりすることや、斷髪である。假令東髪にしても少しづつでも髪油を使つて頭髪を保護するといふ點に注意するやうになつたことも見免がせない事實である。これは單

に黒髪の保護と云ふことだけではなくして、確かに國粹美を貴ぶと云ふ點からすると、洵に結構なことだと思ふ。

以上述べた處は聊か餘談のやうにも思はれるけれども、然し香油の問題に對しては最も重大なる關係があり、即ち以上の狀態から考へて香油の一般需要は、多少とも増加しつゝあることが明らかに證據立てられるのである。ただその使用方法は髪容によつて違ふことはいふまでもあるまい。

香油の種類に就いてもまだその原料によつて大別すると、植物性油と礦物性油となるが、保健衛生上から云ふと、何うしても植物性の方が最も頭髪に良好であると言ふこと、その中でも樟油が一番良いと云ふことは、實に業者のみならず、需要家一般のひとしく認識せらるゝ處であるは今更ら言ふまでもなからう。

かゝるが故に髪油製造業者は、此の衛生上の見地よりして優良の髪油を市場に賣出すと云ふことに、互ひに盡力すべきであることは勿論であると同時にわが香油業者の中にも、偶々香油の需要が減少しつゝあるのではないかといふ、悲觀説を唱ふる人もあるやうではあるが、決してそのやうな心配のないことは、いろいろな材料によつて斷言することが出来るのであるから、一層新薬に邁進しなければならぬと思ふ。敢て私は日本髪とか、洋髪とかを論ずるのではない。たゞわが國特有の婦人美、即ち世界に誇る黒髪的美である

第二に九年度の香水界について擧ぐべきは、品質の向上である。需要者の香水に對する嗜好は年毎に洗練されてゆくものであるから、製造者はその品質を絶えず改良してゆかなければ、需要者の十分なる満足を得ることは到底出来ないものである。従來に於いては、高級香水はすべてこれを歐米品に倣つといふ状態に甘んじてゐたものであるが、近來わが爲替の下落は歐米品の入手を高率の關稅ともにも困難ならしめ、且つわが國の化學的香料の長足の進歩は、香水原料をして自由に入手するを得しめたのでわが香水界はその品質に於いて格段の進歩をとげるに至つた。

第三に考へられることははかり香水の勢力が著しく強まつて來たことである。はかり香水はいづれかと云へば低級なる需要者層を目的とするものであるが、近來では香水に興味を持つ人々が次第に多くなつて來てゐるので、自分で各種の香料を調合することも漸次流行し始め、このために計り香水が著しく増えて來たことも、この年に於ける香水界の著しい傾向として見逃すことは出来ないであらう。

第四は各業者がそれ／＼自家の研究になる力作を續々と發表したることである。これまではわが香水界に於いては、昭和七年發刊のわが社の小間物化粧品名鑑に收録せられたものも百十一種の多數に上つてゐるとは云へ、眞に香水独自の商標を以て獨特の處方を費つてゐるものは僅かにオリヂナル香水、金鷄香水、月の友香水等に過ぎざるが如くであつたが、この年に於いては各種の新處方を持つて新製品が發表され、香水界は非常な活氣を呈するに至つた。香水は多數の人々の競争的なる調合によつて研究されれば容易に進歩を見ることが出来ないものであるから、かゝる現象は大いに喜ぶべきことであらう。然しながら歐米の化粧品界に比して、毫も遜色なき今日のわが化粧品界に於いて獨り香水のみは、未だ歐米に一籌を遜さねばならぬのである。これは種々の事情によるものとはいへ、香

化粧水の傾向

今日、化粧水として業界に存在するものは、わが社の化粧品名鑑にあげられたもの一七二種類。昭和七年の商工省工場統計表による化粧水生産額は、數量の判明せるもの、一三・三三三七立、一九・五九九圓、數量不明なるもの八二・三・六七〇圓といふ額にして、逐年増加の勢ひを示してゐる。

従來、化粧水は季節的に夏季の化粧用に使はるゝものとされ、當業者の間には、この期間にのみ宣傳に力を注ぐといふ傾向があつたことは否む能はざるも、近年美容法の發達ともにも化粧水の需要は四季を通じて漸く盛んとなり、透明化粧水、不透明化粧水、コロイド狀化粧水の各種類を通じて、化粧水の需要は宣傳によりていよ／＼喚起され、男子の間にも剃鬚後の整肌用として廣く用ひらるゝに至り、化粧水の需要は益々増大を示した。現在、化粧水として市場に有名なるものには、ヘチマコロン、白美液、白色美顔水、美顔ユーマー、リートフード、カティフード、ラブミール、御園四季の花、ライラック化粧水、アイデアル化粧水、クラブ化粧水、リート美粧水、ウテナ化粧水、マスタール一番整肌液、ミツワ露の雫等があり、更に昭和八年度に於いて著しい躍進を示せるものに昭和八年發賣のユキワリミン、ボンジーコロイドミルク等がある。新製品のわがる進出に對して、舊來の有名品には新形ヘチマコロンの發表あり、發賣二十周年を迎へたるリートフードは、その記念特賣を發表して益々かわらざる廉價を保持し、美顔水も目覺しい復活ぶりを示して大いにその氣を吐いた。更らに

この年に於ける化粧水販賣界に見逃せぬ現象は、化粧水中、第一の販賣額を有するヘチマコロン...

その傾向を求むるならば、これを大別して三種類に分つことが出来る。その一はヘチマコロンの如き所謂透...

従つて化粧水の宣傳に於いても、この點について評たへる傾向が、各商品を通じてどうかは、植物性、...

増加するに至つた。斯くて昭和九年度に於いては、シャンプルー界は、前年度の激化する競争の後をうけて、却つて平穏となり...

而してこの商品が將來わが國に於いて、如何なる發展性を有するかと云ふに、これについては次の如き市場調査がなし得るであらう。即ち、昭和七年の人口調査によれば、樺太、朝鮮、臺灣を除く、わが國內地の...

未だ文化の程度の比較的低い農村婦人等にこの消費を求めることが實際には前途尙遠慮であるとするも、現在に於けるシャンプルーはこの想定数の半にも達してをらず、シャンプルーとしては、更に廣大なる未開拓の需要層が残されてゐることが知らるゝであらう。以上によつても明かなる如く、これらの婦人にシャンプルーの需要を開拓してゆくならば、シャンプルーの販賣額を現在に倍加せしめることも必ずしも困難ではなく、更に進んで、婦人間の洗髪習慣が毎週一回は衛生上必要なりといふやうなことが求められ、これを各洗

その他、果實の精なることを強調する宣傳が各商品にも行はれてゐる。かくて、需要家の化粧水に對する知識も次第に向上するとともに、従來有名品に交つて販賣されつゝあつた十銭級の所謂パチモノは、藪をひそめ、有名本舗より發賣される信用ある商品に大衆の需要はいよゝ向ひつゝあるは疑ひを容れない。(ヘチマコロン本舗、レイト本舗、ラプミー本舗調)

シャンプルーの發達

洗髮料界にシャンプルーなる名稱が洗髮粉に代つて、一般的に稱呼として用ひられ初めたのは、僅々四五年前からのことであるが、わが國に於ける洗髮料の歴史は甚だ古く、日本婦人の黒髪を美とする清淨料として古くから存在してゐたものである。古來、一般に用ひられてゐた洗髮料としては、有名なるものに、上州沼田或ひは信州地方の酸性白土、鹿兒島の火山灰等があり、その他、蕎麥粉、フノリ、澱粉等が廣く用ひられてゐた。然るに近年に至つて、石鹼末の洗滌作用を洗髮料に應用せるものが、漸く出づるに至つた。これらの加里石鹼を主成分とする洗髮料は、主に理髮店等で用ひられてゐるが、洗淨作用は強力ではあるが、曹達分を多量に含めるため、毛髪を損ふといふ欠點があつた。この點、毛髪をしつとりした艶を保つには、古來の洗髮料たる飽飽粉、粘土、フノリ等は、加里石鹼に適かに優つてゐるものではあるが、その反面に於いて、洗淨作用に於いて劣り、且つ殘渣等を毛根に残し易く、いづれも一長一短あり、理想的なる洗髮料の出現は業界に於いても久しく待望されつゝあるところであつた。

昭和二年、モダン洗髮粉が發賣せられた當時にあつては、有名なる洗髮粉としては、酸性白土を原料とするものに、日の丸美人洗髮粉、ぼたん園洗髮粉等があり、糊状のものにオリブ洗髮粉があり、化學的なる製

香料界の一年

多くの香料需要家では、従來自家の製品に使用する原料は、殊に香料にあつては、それが外來品であるといふことが、その誇りでもあり、且一面、販賣政策上の宣傳の具でもあつた。然るに今日では例へばそれが外來品を使用しても、國産品と銘を打たなければならぬ、そうしなければ販賣され難いといふ状態にまで變化して來た。勿論それは數年來あらゆる機會に於いて朝野に叫ばれた國産奨励の聲が然らしめたのである。然し永らく使ひ馴れた外來品は、多少の價格の差位では却て國産品には置き代へることは難かしかつた。元來化粧用品、石鹼等に於ける香料は、その製品に取りては相當重大な役割を持つて居るにも拘らず、宣傳費その他に比しては案外等閑視され易き立場に置かれて居た。即ち製造原價の多少の差位は影響としては少ない。それと殊に有名品にあつては、傳統的慣習に重點が置かれてゐるのみならず、一方香料は技術的鑑識、或ひは識別が容易でない商品であるため、代用品の置換へは相當難事とされて居た。ところが近年一般財界の不況は當然業界にも波及するに及び、競争激甚を極めた結果、經濟的に國産香料が注視され始め、國産香料を外國香料に代用するの機運に向つて來て居た。そこに、過ぐる對外爲替の變動來から、外來香料と國産香料との間に相當大なる價格の差が生じたので製造原價の採算上到底外來香料は使ひ切れぬ、出來得る限りは國産香料を代用しなければならぬ状態になつた。従來は一顧だも興へられなかつた香料にまで、關心が持たれ始め遂に今日の國産香料時代を現出したこと

法によるものに、マダム洗髮粉並びに新たに出現したる植物性洗髮粉モダン等があつた。この時代にあつては、未だシャンプルーなる言葉は一般に理解されるに至らず、たゞ僅かにモダンが、シャンプルー・パウダーなる説明字句を用ひ、在來の洗髮粉に對して新製品の新鮮味を現はんとする程度であつた。その後、昭和五年頃に至つては、洗髮粉にシャンプルーなる振假名をつけて、次第にシャンプルーなる名稱を大衆に親しませんとする廣告法も用ひられてゐるが、洗髮料としての一般的稱呼は、依然として洗髮粉であり、前記の各有名品の他に、イワヤ洗髮粉、美人洗髮印洗髮粉、ケイラン洗髮粉、百萬那洗髮粉、玉子洗髮粉等があり、小間物化粧品名鑑に收録されたる洗髮料としては、一〇九種に及ぶ多數の洗髮料が市場に存在したのであつた。昭和六年の商工省工場統計表によれば、洗髮粉の生産額は、數量の判明してゐるもの、五〇・三〇四噸。一八・六一八圓。數量不明なるもの、八六四・三〇八圓となつてゐる。斯く金額が相當なる額を示してゐるにも拘らず、その數量が不明なる點などは當時如何に多數の洗髮粉が發賣されてゐたかを物語するものであらう。然るに、昭和六年、花王シャンプルーが長瀬商會より發賣されるや、その宣傳力を以て廣告大いに努め、洗髮料界に非常なるセンセーションを起すとともに、その宣傳によりシャンプルーなる名稱は、一般需要者に漸く認識されるに至るや、爾來シャンプルーは洗髮料の一般的稱呼として廣く用ひらるゝに至つた。斯くて昭和七年より八年にかけては、資生堂シャンプルー、千代田シャンプルー、ぼたん園シャンプルー、固形モダンシャンプルー等が新たに出現し、花王、モダン、玉子、イワヤ、資生堂、千代田等の各有力品の間に、激烈なる競争が行はれ、各シャンプルーをしていよゝ進歩せしめるに至つた。その結果として化學的製造によれる各シャンプルーが在來品を次第に壓倒し來り、液状、クリーム狀粉狀及び固形の各種を通じて、シャンプルーの需要は益

は、邦家の爲め慶賀に堪へざるどころである。斯くて此の國産香料時代の現出の結果は、工場とは名ばかりの殆ど販賣政策上の宣傳の具にししか過ぎなかつた試験室的工場等が、本格的に活動を開始した。近來一流香料商店が等々並べて香料製造所の經營に乗り出し始めた。數年前までは香料の製造所は僅か二三に止り、その投下資本も僅々六十萬圓程度であつたが、九年度の推定によれば、實にその三倍に近き百七十萬圓に達せるのみならず、更に擴張しつゝあるの現状である。此の外一般化學工場の一二では、副業的に一部分の香料の製造を企圖して漸々成功した。斯うした傾向は香料界としては喜ぶべき現象で、原料から自給される純國産香料が陸續製出されるに伴ひ、外來品の輸入を必要とせざるの状態を現出した。加之、數種の香料にあつては、逆に従來原料の輸出地だつた香料の本場である歐米諸國にまでも輸出され出したのである。この事實は爲替安の關係のみとは言へない。化學者の機ゆまざる研究の收獲であり、殊に一般化學工業の發達が、香料製造工業の進歩を助成した點も、特筆に値ひする。これは技術的にも外來品に遜色のないことの良き證明で、この非常時に際して實に心強い限りである。その重なるものを舉ぐれば、本邦獨特の天然樟腦の副産油たる樟腦赤油分を製造するものを筆頭に、實に左表の如きものがある。——昭和九年度推定

Table with 3 columns: Name (品名), Quantity (數量), Price (價格). Lists various products like サフロール, シネオール, etc.

ロニリン	15,000
ヘリオトロリン	10,000
シトロネロール	5,000
その他	100,000
計	130,000

昨年来非常時局に直面せるが因としては、化学工業も軍需品製造等の影響を受けて、稀れに見るの活躍振りを見せて、香料合成上必要な助劑の國産化を齎らした。即ち電解工業の發達は鹽素利用の一方として、コールドターの分劑物とともに嘗ては、經濟的不可能視された次の如きものも製造するに至つた。

人造麝香類	10,000
本ロニリン	100,000
シフエニール	20,000
オキサイド	5,000
アミールシナミ	10,000
ツクアルデヒド	10,000
フェニール酸及	10,000
びそのエステル	10,000
アントラニール	10,000
アロムスチロール	10,000
桂皮酸エステル	1,000
安息香酸エステル	1,000
その他	10,000
計	140,000

此の外原料を輸入に待つて製造するものは尙十數種ある。以上は合成香料であるが、天然香料に於いても見逃がすことの出来ぬ發達が窺れる。前述した臺灣より産出するシトロネロールの外、レモンダラス油がある。又古くから努力して製出されて居るものに、蜜柑油、オレンジ油がある。内地の各地で製出される黒文字油は、輸入香料のラベンダー油の原價高のため相當の代用をとめて居る。北海道、樺太等より産出され

る松精油は、天然龍腦の原料以外に、石鹼香料等に使用され、或る部分は輸出されてシベリヤのバイニードル油の領域を侵して歐米市場にも盛んに輸出されて居る。又四國及び近畿地方より産出される杉油、樟油は調査されて、化粧品及び石鹼の香料とされる以外、醫藥方面にも相當廉價が認められた。——昭和九年度推定生産状況——

樟油	6,000
杉油	10,000
松精油	10,000
黒文字油	10,000
オレンジ油	10,000
蜜柑油	10,000
シトロネロール	10,000
レモンダラス油	10,000
計	70,000

此の外、調査香料は對外爲替の影響を受けたことが最大のものであつた。邦債に換算すれば原價の倍額の上に、十割關稅を課せられる結果、到底經濟的に使ひきれない、國産品を組成として作成されるものに比しては四倍、最大のものに至つては六倍ものすら珍らしい。此の結果香料の取扱業者は勿論、香料需要家も技術者を脅して、之れが研究に精進し此の方面も大いに進歩して、相當の好成績を挙げ、従來は殆んど輸入品であつたものが、現在では普く化粧品、石鹼等の調査香料は是を外來品に仰ぐの要なき域に達したのである。この調査香料では長クムゲット系統の香ひが好まれたが、輸出化粧品、石鹼等の影響もあるか、化粧品にはローズ系ものが、石鹼にはジャスミン系ものが據頭し流行し始めたのは、見逃がしてはならない傾向である。更らに飲食料香料のエッセンス方面では往時は年額一〇〇、〇〇〇圓餘の輸入を、プシユ、及びスチブソン等々の英國製品に仰いで居たが、前述の調査香料と同じ理由でその大部分が國産に代り、

九年度の輸入額は約五分の一即二〇、〇〇〇圓を超えざるに至つた。

以上は技術的方面を主として述べたが、之れを營業的方面より見れば、香料消化の状況は、上半年は昨年来の活況の連続もあり、輸出方面では日蘭會商等を控へて、見込輸出等の好材料のため、相當消化力が強かつたが、部分的ではあるが、大火あり、洪水あり、廣範圍の農作物不作もあり、更らに梅雨期に雨がなく、盛夏に却つて降雨多きなど、天災と變態的な氣候のため、地方農村の疲弊、困憊、又政變後の所謂非常時豫算等の影響が、一般財界を不振ならしめたと同様に、後半年に於ては之れが消化力を激減した。

婦人服飾品の傾向

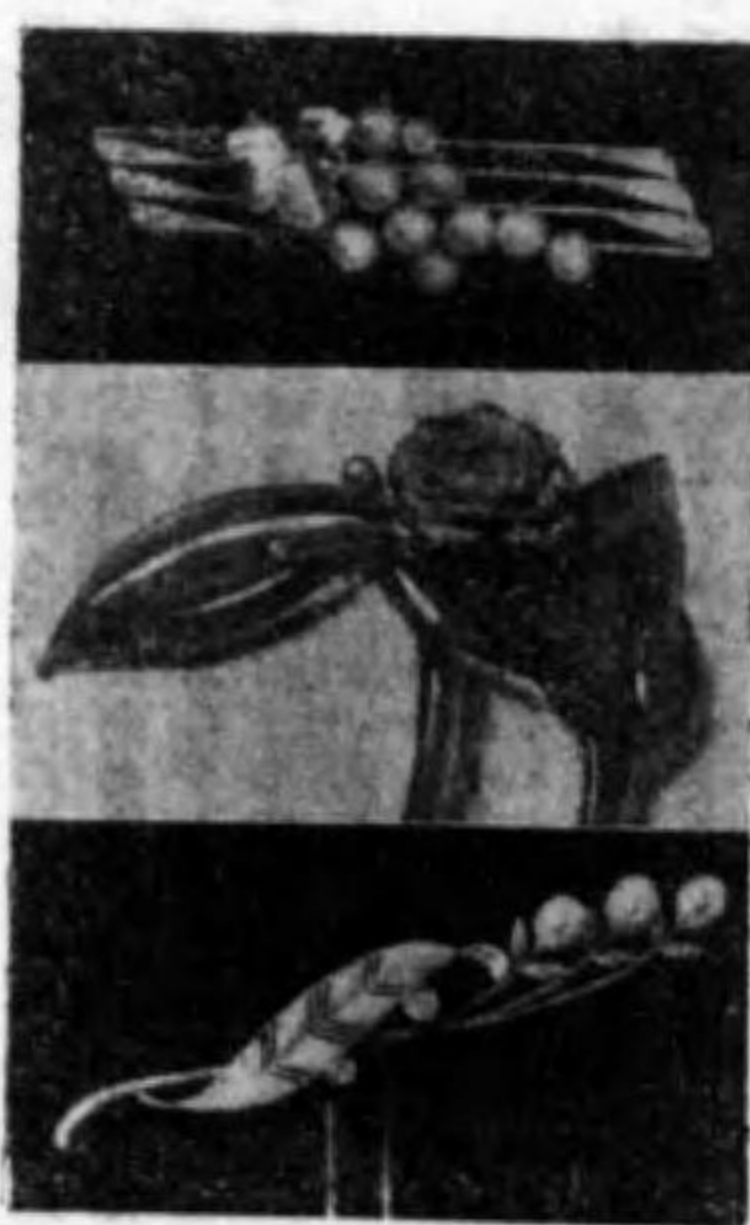
總じて婦人服飾品——小間物に就いていふと、非常時など云はれながら、實は反對に派手なものがよく出た。色にしても、春あたりから出だしたダリア色などが、依然、秋から冬へかけても盛んに出つてゐる。全くこの色全盛の昭和九年であつた。櫛、髻、丈長、ブローチ乃至コムバクト、化粧セツトの類まで、斷然ダリア色が一般の愛好に迎へられた。

そして模様よりも地色、この傾向は寔に顯著なものがあつた。一般選擇の標準は先づ地色で、模様は第二義、然も極くあつさりしたものの方がよるこばれた。で、總花模様などよりは新らしい所謂モダンなものが當

ればならない。(森本支店・鈴木風太郎氏談)

貴金屬・裝身具

最近に於ける貴金屬裝身具の大勢を見るに、いづれの都市をも通じて見ると、處は、貴金屬裝身具の一般商店に於ける店頭販賣が著しく不振を示し、あるの事實である。この店頭販賣の減少は、もとより景氣の如何に左右されてゐることは言ふまでもないが、これに反して大都市に於ける百貨店の貴金屬裝身具の賣上高は、刻下の不況にも拘らず寧ろ漸増の傾向を示してゐる。貴金屬裝身具に對する一般の需要が、個人商店よりも、遙かに巨大なる資本を擁し且つ商品數に於いても豊富なる百貨店に漸次集中せられつゝあることは、今後と雖も一層その度を強むるに至るであらうと豫想されるが、然し店頭販賣に行詰まれる一般商店が、今や外賣方面に非常なる進出ぶりを示してゐることは注目し置かざる最近の傾向である。



貴金屬裝身具の如き、高級なる趣味的商品にあつては、一般需要者は百貨店に集中されてはゐるものゝ、高級なる需要者にあつては大家を目標とする百貨店のみでは満足せず、更らに自己の嗜好に合せて自由なる注文をなし得る裝身具店を求めるとの傾向が強いので、この點に於いて、顧客の家庭に出入してその趣味嗜好を十分に知悉したる上、これに適合する裝身具を奨め得

婦人頭飾品の一年

婦人頭飾品には時代の變遷が最も顯著に現はれて居る。然かも震災後は年々衰々、その需用漸減の傾向を

然人氣を呼んだ。又、何品にせよ、新形が出来ると直ぐ賣れるといふ傾向も濃厚であつた。値よりも柄が土豪で少し位値は張つても柄のいいものは觀面に賣れた。

次に個々の品物に就いていふと、ハットピンやブローチは去年あたり比べてぐつと出るやうになつた。が、之等からは未ださう變つたものも出なかつたが、そこへ行くと時計のバンドである。色々變つた品が出た。で、草やレザーはや、すたれ氣味で、リボン式の布地が斷然よるこばれるやうになつた。色は矢張り前述のダリア色系統、そして挿し込んで簡単にとまり、先端がビラ／＼してゐるやうなものが一番よく賣れた。革やレザーも極く變つたものなら兎も角、平凡なものももう顧みられなくなつた。

半幹は、今年は無地の變つたものが一番よく出た。色は大體薄い白茶系統で、前述のダリア色など最も愛好された。服飾用リボンや、ストッキングも隔段に出るやうになつたが、ストッキングは毛のものよりは人絹のすべ／＼したものが最もよく出た。

帯締に就いていふと、在來は布地が割によく賣れたものだが、今年あたりは組織に移つて來た傾向がある。そして却々高級品も賣れるやうになつて來た。

兎も角、猫の眼の如く、時々刻々と移りゆく小間物界の流行である。で、客の氣が短くなつた。一遍買つたものはもう二度と買はない。業者も骨が折れる、餘程種類を豊富に置かなければ……。又、最近、尖端的に流行を趁ふのは良家の令嬢達で、それに倣いて女給等の職業婦人が追隨してゆく傾向が見え出して來た。要するに以前とは反對の傾向で、一面不景氣の反映と見ることも出来よう。(飛川商店・久保方松商店談)

迎つて居つたので業界一般としては、その前途に非常な憂慮を抱いて居たが、此の需用激減は過渡期に於ける一時的の現象とでも言はるか、此の一兩年來は秋から冬にかけては、東洋婦人の誇りとする濡れ羽色のみどり滴る島田、桃割、丸髻等々の日本髪が、勿論往年の日本髪全盛期當時とまでは行かずとも、漸次増加の一途を辿りつゝあるの事實を示して來た。

現に昭和八年度より九年度正月にかけては、日本髪が近來曾つて見ざる程、非常に多く見受けらるゝに至つたが、昔の如く年中かゝる旺盛を見るに至るまでに立戻るか否かについては未だ相當に疑問であるとして、兎も、兎に角例へ季節的とはいひながら、徐るに日本髪は恢復しつゝあることだけは容易に看取し得るのである。然し業界の最も苦痛とする處は、小學校から女學校時代の少女達が、オカツバ、又は斷髪になつたことである。これは全業界に取つての非常な打撃であることと言ふまでもない。一部分には七五三の御祝ひの頃から、正月にかけてリボン結びの髪飾りを相當に使用されてはゐるけれども、平素は殆ど髪飾りと云ふ程の物を用ひず、只單純なオカツバ止め、又は斷髪止程度のものに限られて居るから、昔から見るとその範圍が非常に縮小されたわけである。試みに全國に於ける小學校女児及び女學校時代と思はれる八歳より十九歳に至る女子の數を見ると、大正十四年に於ける國勢調査に照へば七、五〇四、九五五人であるから、これ等の少女及び妙齡の婦人が多少なりとも頭髪用品を用ゆるに至らば、業界の更生は實に素晴らしい勢ひを以て行はれることであらうと思はれる。然しこの需要減退の最も甚だしかつたのは、斷髪の流行猖獗を極めた昭和三四、五年の頃であつて、それ以後に於いては斷髪の風も年々減少を見、昨今に於いてはダンサー女給等の如き特殊職業婦人の一部に限られたかゝる如く、その他には殆んど影をひそめ、多少短なりとも、年々その需要増加の傾向を辿りつゝあるは喜ばしい現象と言はなけ

る外賣、即ち訪問販賣が近時非常なる發達を示して來たのである。従つて當業者としても店頭販賣の不振をこの方面に轉向開拓してゆくならば意外なる進展をなし得る餘地が、尙十分に残されてゐると思はれるのである。

總じて高級裝身具の如き、比較的高價なるものは年々これを改めて購入するものとは異り、その年毎に於ける流行の推移も明確には知り得ざるものであり、三年乃至五年を通じて、始めて一つの傾向として論じ得られるものなのである。従つて昭和九年度に於ける裝身具の傾向として一々これをあげることには困難であるが、昭和八年度に於ける裝身具に類してこれを眺めるときには、その間に自らなる流行の推移が見られるのである。

毎年云はれることではあるが、美容界の傾向として日本髪は、この年に於いても次第に減少の傾向を示して行つた。これに伴ひ、裝身具界に於いても釧甲、珊瑚等の如き、舊來の日本髪用飾物は著しく減少の傾向を示したとはいふまでもない。そしてこれに代つて寶石寶玉等の應用品は、これに用ふる寶石が世界共通の貴重品であり、且つ男女を通じて非常に愛着せらるゝ處から、増加の傾向を示してゐる。たゞ前年度來、問題となれる寶石關稅の問題が、尙解決せざりしために動もすれば寶石の品不足を告げ、従つて價格も高く、裝身具界の進展を妨からず挙げたることは、遺憾なることであつた。

婦人裝身具の中、需要の王座を占めるものは矢張り指環である。この年に於いては、指環の主要部を占める貴玉石が前述の如く品不足を告げるため、その價格は一般に値上りを示してゐた。而してこれに用ひらるゝ貴石の中、この年に於いても依然、流行の中心をなしたのは矢張りダイヤモンドで、高級品にては、その品質の吟味がいよ／＼精密となつて來たが、これに次

いてはエメラルドが、著しい進出を示してゐる。殊に上流需要者の間に於いては、エメラルドは非常なる流行を示し、エメラルドにダイヤを配せる新意匠のものは素晴らしい需要を見た。その他の貴石では、ルビー、サファイヤ、メキシコオパール、翡翠等が喜ばれ、此の年は翡翠も、高級品にては、彫刻せるものよりも石自體の自然の質を賞美するの傾向が著しく認められた。

以上の高級品は別として一般向のものとして、多くの需要を見たのは、十圓乃至二十圓を限度とする模造品——シンセティック——で、これにはバイオレット・サファイヤ、ダンプレット・ゴールド・トリマリン、ジルコン等の精巧なるものがあり、カット技巧、細工等には一層の進歩を示し、大衆的な需要を喚起したのである。

帯締の流行の基調をなしたのは、矢張り前年と同じく、白金を臺とせる金屬簪に、寫眞に示す如き、眞珠、サファイヤ、エメラルド、又は細微なるダイヤ等を應用したもので、この種のものは、その意匠圖案にいよ／＼新味を加へて依然帯締の主力をなした。その外には、美術的な彫刻金具並びに瀟灑なる陶磁製品が再び稱揚され、又は白檀の木彫物、象牙彫刻が廣く用ひられたのであつた。一般的な需要に向くものとしては、十圓乃至二十圓位のものが何と云つても多く賣れ、打紐を改良したる高雅なる無飾帶もいよ／＼増加してゆく趨勢を示した。

洋裝飾品 從來までは、婦人の整髪の流行を支配する美髮業者と、頭飾製造業者との提携連絡が缺け、動もすれば流行の髮形と、頭飾品の一致を缺くことがあつたが、本年からは、この間の連絡が漸く緊密となり、當に適した裝飾品が多く工夫されるの實情を示した。この流行の二大潮流とも云ふべきものは、寫眞に示す如き金屬

れたが、餘りに尖端的にすぎ、大衆的な需要を喚起するに至らず、一部の流行に終つた。

腕環 前年來、廣く流行してゐる腕環は、この年に於いては、洋裝の増加に伴つて一層需要の増加を示し、婦人服の袖の長短に關らず益々用ひられ、特に嶄新なる意匠の出現がなかつたにも拘らず多く使用せられるに至つた。

ネックレス 腕環が依然たる流行を示してゐるに反し、著しい減少を示したものはネックレスである。これは、この年に於ける婦人服の流行型が、著しく襟が詰り、リボン、レース等の飾りを用ひるやうになつた結果、ネックレスの用ひ場所がなくなり、この趨勢を示したもので、ネックレスの傾向としては全體の長さが短くなり、頸の周圍に近く垂れるやうになつた。

ブローチ ブローチは相變らず需要され、高級品は新規のクリップに稍々押される氣味があつたが、一般向價值のもの、女學生間には非常なる流行を見、その趣好に適合せる意匠によつて、大衆的な需要を齎した。

バツクル 婦人服のベルト飾留たるバツクルは、漸次多く用ひられ、從來の金屬製のものに加へて、革製のもの、木製のもの等が出來、一般に幅が廣く大型になつたことはこの年の著しい傾向と云へやう。

指環 貴金屬飾品としての指環は別として、趣味的の指環はこの年に於いてはいよ／＼大衆化し、若い男女間に用ひられ、洋裝の單純化に伴ひ、その意匠は大きく單純なるものが好まれ、淡い地味なるものは男子に歡迎され、銀座等の洋裝々身具専門店に於いては非常な賣行きを示すに至つた。(宮本庄七商店・栗木昇一氏談)

製のもの、釧甲製のものであるが、いづれかと云へば金屬のものが優勢を示し、高級品には、指環、帶締に用ひられる如き寶石類並びに珊瑚、眞珠等が配合されたる新圖案意匠が多く歡迎された。一般大衆向きのものとしては、その需要層たる職業婦人並びに家庭婦人が一切頭飾品を用ひざることを流行としてゐるために、見るべきものが無かつたのは、遺憾であつたが、衣服にのみ意を用ひてゐる婦人界の流行の傾向も同業者が相協力して、需要の喚起に努めたならば、頭飾品の流行を齎らすことも可能であらうと思はれる。(白牡丹本店・松田幸治郎氏談)

洋裝雜貨の流行

本邦婦人の間に於ける洋裝の流行は、前年度に引續いて昭和九年にはいよ／＼一般的となり、質的にも著しい向上を示した。隨つて婦人の洋裝に關する研究は素晴らしい進歩を示せるが如く、從來は洋裝に對する選擇の標準も型や色にのみ限られてゐたが、最近では歩行時の格好周囲の調度環境との調和といふやうな細かい點にまでも注意が拂はれるやうになり、量的にも非常なる増加を示して來た。

從來は婦人の洋裝は殆んど東京に限られてゐるかの觀があつたが、今年度に於いては關西大都市にも、洋裝は大いに増加し出したので、この趨勢に押された關西の各大百貨店では、いづれもその婦人服部の大擴張を行つて、この流行に順應せんとしてゐる。この洋裝の普及は今後いよ／＼全国的に擴まつてゆくものと思はれるが、然し現在に於いては、未だ何と云つても、文化的に進んだ大都市にのみ限られ東京、大阪に次いで京都、神戸、横濱、福岡、京城、大連等に需要の大部分が集中されてゐる現状である。

斯くの如き洋裝の非常なる進歩につれて、これに附屬する洋裝雜貨、婦人服飾品はいよ／＼その需要が大

袋物界の回顧

輸出の停頓 輸出好調の際とともに、空前の非常時を目前に控へたわが産業界である。袋物業界に於いてもまた相當の好影響あるは勿論である。現に袋物組合に於ける昭和九年四月調査の生産統計に徴しても、數量に於いて三割、金額に於いて三割五分の激増を示せるが如く、その消化力の旺盛なることは、將來の業界に相當明瞭の波紋を投ぜむとして居る。此の積極的原因に加ふるに消極的原因としては皮革、その他の原料、工業の急速なる進歩により、優に舶來品に對抗し得、敢て遜色なき優秀品も製作されつゝあり、折柄の國產愛用思想の普及と相俟つて徐々に國外品の侵入を防遏しつゝあるから、従つて原料方面の進展は益々有望なるものがある。斯くして日本商品の世界化は、それ等の業界に於いても漸々實現されつゝあるわけである。

内地の状況 隨つて内地の現状を見るに、八年度とは大變なきが如きも、九年度は農作方面に於いて極端なる氣候不順に襲はれ、且つ關西大風水害等の天災に禍ひされたる爲め、地方的には相當の苦境に悩まされた儘みもあつたが、商況に於いては必ずしも過大な損失は無かつたやうである。概して九年は、格別の消長は見受けられなかつたと言へるであらう。

流行の推移 一括して云ふと、袋物は各製造家によつて又は販賣店によつて各自の特色ともいふべきものがあり、従つて一定の推移といふものは見出し難いのが常である。従つて或る一部分のものを拉し來つてこれを流行物とすることは、動もすれば偏見に陥り易い危險を持つて居る。此の點から除外しても現在一勢力として背けるのは、男子用品に於ける洋裝附屬用の袋物、例へば夕

となり、その意匠に於いても獨逸、佛蘭西等の最新の流行を直ちに模倣するのみか、最近に於いては、歐米の服飾界が不況のため振はず嶄新なる意匠も少い處から、新意匠の變遷の烈しさに於いては、わが國の服飾界の方がむしろ外國品よりも先行せむとするの傾向をさへ示してをり、佛蘭西、獨逸の最新の流行の傾向を優秀なる技術によつて直ちに商品化し、遂に歐米への輸出さへ行はるゝに至つた。

歐米に於いても、流行の變遷の最も甚だしいのは服飾品、裝身具であるが、今年に於いては、洋裝の流行も、色彩の單純化の傾向に向ひ、帽子も、服も、靴下、靴、ハンドバッグまでも、悉く同一の系統の色に統一されるので、服飾品も、これに調和し、これを引立たせる意味で單純化され、鋭角な感じを持つ意匠が非常に歡迎せられ、且つ多くの需要を見た。

金屬ベルト 銀白色に輝く環を鎖状に連ねたさまざまの形態の金屬ベルトは、わが國の服飾界の創造になるもので、前年度の暮から市場に現はれたものであるが、近代的な感覺を持つたものとして、一時非常な流行を見、輸出向にも大量製造されて、歐米にまでも進出した。

服飾クリップ この年の新流行品として非常な進出を示したものに服飾クリップがある。これは金屬の臺にシンセティック寶石を嵌めたもの、大きな一個石を嵌めたもの等があり、洋裝の飾りとして胸、襟、ベルト等どこへつけようよい處から、多く需要せられたが、新意匠を求め、増加の勢を示してゐる。

木製服飾品 金屬にも飽き、石にも飽きた結果、新奇なる服飾材料として求められたものに、美しい木目をそのまま現はした木製の服飾品が新たに現はれた。これはフランスの流行界を風靡せるもので木製クリップ、木製ベルト留具、木製釧等に應用され我國の市場にも忽ち現は

フト等の如きものが、相當の關心と購買力を集めて居ること否難い事實で、婦人用品に於いてはハンド...

平穩な鬚形界

鬚形界に於ける昭和九年の消長は、前年度に引續いて、極めて平穩であつたと云へる。蓋し鬚形の如き需...

Table with columns for years (昭和七年, 昭和八年, 昭和九年) and categories (生地, 襪, 靴, etc.) showing values in thousands of yen.

是れを見るに、種別毎にそれ／＼活潑なる跳躍振りを示して居ることが知られる。然るに種別としては右の外に、セルロイド製歯刷牙を追加す可きものである...

形業組合が、その組合生産額を調査中で、未だ確定數を得るには至らないが、東京だけに於ける産額は、大...

セルロイドの趨勢

わが國に於けるセルロイド生地の産額は、昭和七年度 六、六〇〇千圓、昭和八年度 八、九五〇千圓、昭和九年度 一、一五〇千圓、昭和十年度 三、〇〇〇千圓...

昭和九年の化粧品原料が多事多端を極めたことは、最近にその例を見ない程であつたが、またこれを化粧品原料界から見れば、各本舗工場技術部の著しい進歩、充實によつて、原料の研究は、一／＼發展の途を辿り、稀れに見る活氣を示した。従つてその影響により、化粧品原料界は大なる刺激を興へられ、進んで新しい研究に努力と犠牲を拂ひ、本舗工場技術部と原料商の協力が相俟つて非常な發展を示すに至つた。

化粧品原料界

今日、化粧品原料としては、わが國産品は舶來品に比して、その品質に於いて毫も劣らぬものが續々と造られ、これを原料とせる各本舗の製品も優に舶來品を凌駕するの優秀品が少くない。従來化粧品ひいては化粧品原料といへば、舶來品の方が無條件に優秀なるかの如く考へてゐる者が少くないが、これは甚だしい謬見であり、他の化學工業に於いて歐米諸國を完全に壓倒しつゝあるわが國が、化粧品原料の方面に於いてのみ獨り劣つてゐるといふ理由は全くないのである。現在では舶來品の優秀なる點については全く學び盡され、今やこれを一歩抜んじてゐるのである。わが國に於ける原料供給會社でも外國の原料の研究については絶えず研究を怠らず化粧品の先進國たる佛蘭西、米國、獨逸については常に注意が拂はれてゐる。例へばライスパウダー(アミドン)について云へば、これは佛蘭西獨特の製品として、わが國では輸入を仰がなくては得られぬものとされてゐるが、一原料會社に於いて五六年前より研究の結果、佛蘭西品と同じものがわが國でも出来るやうになり、昭和十年の原料界に朗らかな話題を變へてゐる。このライスパウダーはその名稱からもすぐ判るやうに、米を原料とするものであるから、世界第一の米産國たる日本が、従來佛蘭西から輸入し

てゐたといふことだけでも甚だ不見識なことであつたが、今後は逆に豊富なる米を原料として、アミドンの輸出が行はれるに至るのではないかと想像される。また最近では、獨逸、佛蘭西に於いて新原料として使用されつゝあるコロイタルカウルがある。これは高價なもので、なか／＼手が出ないと思はれてゐたものであるが、南米ブラジルを原産地とするもので、これも近く市場に表はれやうとしてゐる。更らにキタニウムについては、粉白粉、練白粉、クリームの原料として今日缺くべからざるものとなつてゐる。テクナムも、最近では鹼化しないエマルジョンが發明され、大なる進歩を示してゐる。

昭和九年特賣一覽

Main table listing products, prices, and agents for the 1934 special sale. Columns include product name, price, agent, and quantity.

【備考】本館代理店若しくは販賣會社と聯合主催のもの、便宜本館に加へた此の表は昭和八年十一月より昭和九年十一月末日迄、東京大阪の兩商報に發表せられたもののみを調査した

新製品一覽

昭和九年中に於いて各本館より業界市場に送られたる新製品調査は東京大阪兩商報に發表されたもののみに限る。尚發賣月日の詳かならざるものは、最初商報に發表されたる月を以てその發賣月日としたものもある。本館名五十音順。

Table listing new products with columns for product name, price, and agent.

地方出張員一覽

Table listing regional sales representatives by city and agent, including names and addresses.

商品名

東京市

七五

七四

ヤババ

薬用クリーム



ハイン酵素應用
皮膚細胞發育促進
薬用クリーム

一號 壹圓參拾錢
定價 二號 壹圓
壹圓八拾錢

ソバカス・シミ・ニキビ・日焼け取り

京東 店商田杉 舖本

芳 誠 舍 石 鹼 製 造 所

創業明治二十五年

各種化粧石鹼製造

型狀・包裝其他共
貴需に應じ申候



目丁三町綠區所本市京東

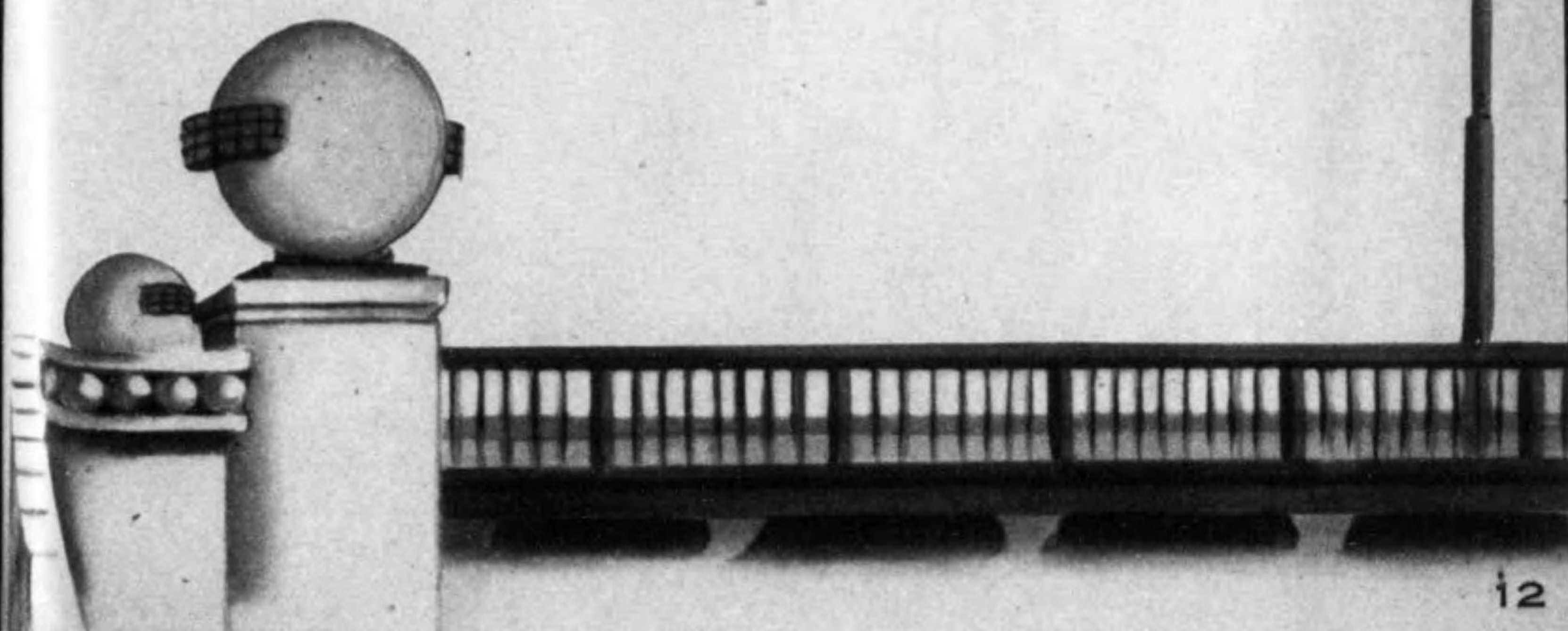
○ミツワ石鹼

其他

ミツワ煉石鹼 ミツワフレーク石鹼 ミツワシヤンプー
 ミツワ水石鹼 ミツワマルセル石鹼 實用石鹼
 トモエ石鹼 ミツワスノー石鹼 浮石鹼

サワ白粉

サワ固煉白粉
 サワ煉白粉
 サワ水白粉
 サワクリーム白粉
 サワ固形白粉
 サワ化粧水
 サワワイルドクリーム
 サワウァーニングクリーム
 サワ化粧紅粉
 サワ化粧紅粉
 サワ化粧紅粉
 サワ化粧紅粉



○ミツワ家庭薬

ミツワ制酸錠
 ミツワ鼻病液
 ミツワ解熱錠
 外三十六方

○ワツミ肝油ドロップス

其他

濃厚肝油

ビタミン肝油球



各種洋酒及び

○ミツワ規那鐵葡萄酒

○ミツワ人參葡萄酒



藥劑、滋養品、石鹼
 化粧品、小物問屋

東京・兩國
 ○丸見屋商店

電話代表 浪花二二二一—七
 振替口座東京七一〇、電略〇ミヤ

特 殊 製 品

純良無比 **やゝ石鹼**
 高級無害 **赤らが 王冠**
 一個萬能クリーム **ブリリアント**
 純家庭染料 **月桂冠**



REGISTERED TRADE MARK

Sumizome
 POMADE

小川潮華園 發賣本舖

東京日本橋二丁目
 電話八七〇一
 東京日本橋四丁目

自然に毛髪を黒くする

スミゾメ

新發明

墨染ポマード

一圓

尾久工場



旭電化工業株式會社

本社 東京市丸の内三丁目十番地
 出張所 大阪市西區土佐堀一丁目大同ビル
 名古屋市中區西川端町一丁目

製 品

苛性曹達 晒性粉 晒性粉 晒性粉
 合成鹽酸 旭化成 旭化成
 硬質石鹼 旭化成 旭化成
 硬質石鹼 旭化成 旭化成
 純良人造バター
 コスモス
 純良人造バター
 アデカ洗石鹼
 ノーブル化粧石鹼
 金春化粧石鹼
 アデカ粉末石鹼
 アデカ浮石鹼
 アデカマルセル石鹼

アデカ洗石鹼大東京一圓發賣元

合資會社

旭光舍

東京市下谷區仲御徒町二の三六
 電話 下谷 六六九二番



釜 化 鹼



(二其) 場 上 仕

テ況資ノ打型ガ方右 斷裁ガ方左テツ向
 スマリア



(一其) 場 上 仕

ニ中ノ枠ガノモタラゲ上仕ニ鹼石分充
 スマクカニ機斷裁チノモタク固テ入



HECHIMA CREAM

貴下の商戦の第一陣に、是非華々しく
立たせて頂き度いと存じます。

……ヘチマコロン・ヘチマクリーム……



舗 店商七
町山横區橋



HECHIMA COLOGNE

1935年
倍舊の御愛顧によつて



本 源野天
本日市京東

洗ひ榮えのする

ライオン洗澱石鹼



姉妹品

眞つ白で臭ひの無い

專賣特許 **ミクニ粉石鹼**

ライオン石鹼株式會社

藥用洗粉の先驅者 **モンモ**！

追従者は結局右に出ずるものなし



美白作用があつてシミ・ソバカスが治り
淨化作用があつてニキビ・吹出物が治り
皮膚の營養素を含んでゐてキメ細かにす
一歩進んだ全く藥用らしい科學的洗粉！

藥用 **モンモ**洗粉

株式會社 **モンモ**洗粉本鋪

一〇〇〇
一五〇〇
一八〇〇
一九〇〇

洗器用洗剤
固形・粉末
MIHANA SOAP POWDER
ハチナナ SOAP
ハチナナ SOAP
ハチナナ SOAP
MIHANA 株式会社
ハチナナ
ハチナナ SOAP
東京市神田区三崎町二丁目
山口豊永堂
電話九段三三〇番

取引は
正直な
店から

世界各國專賣特許
ビタオール
ビタオール
ビタオール
紳士の整髪料
青函ビタオール
養毛美髪料 紫函ビタオール
ビタオール液體ホマード
ビタオール煉ホマード

阪大—京東
部 品 粧 香 店 商 浦 松 20

標商錄登

現金勉強主義

飛川商店

月星印ゴム櫛本舗
婦人小間物問屋

東京市日本橋區横山町
電話浪花二五六五番
振替東京七一七一二番

純植物性 椿ねり

二葉ポマード

品妹姉

- 二葉 椿
- 二葉 艶出し油
- 二葉 葵ベールラム
- 二葉 實用ポマード

葵香南店

東京市牛込區市々谷田町一
電話牛込五九一八番
振替東京八一四五七番

TRADE MARK



陸軍御用品



忠勇
ハブラシ
一號形

東京市日本橋區馬喰町三ノ四
井 阪 支 店

大阪市東區南久寶寺町二ノ五三
井 阪 本 店

忠勇ハブラシ

みず眉粉院里巴



ドーマポ
ンチンアリブ水

紅 ほ
紅 口

院 里 巴・京 東 館 本

装容なソーダモ リほ香なクーシ



純植物性

アイマホ卵之鶴



京東堂高芳原高舖本

！すでドーマポいより膏く全

大日本セルロイド株式会社特約店
セルロイド・ラクトロイド・生地・製品問屋



三浦監督治商店

地番四目丁一橋草淺區草淺市京東
番六二三四 番五二三四層 (84) 草淺話電
番三一七八 京東替振
二六日丁四町橋吾區島向市京東 地請
番一三五三 (74) 田邊話電 庫倉

近代女性の禮讚

ドン白粉

ドンラビ化粧料

本舗 會社名 磯野化學研究所

東京市小石川區西原町一丁目

電話大塚(86)三一一九番
振替口座東京三三六七八番

勉強の

化粧品・石鹼

問屋

大山大勇次郎商店

地番五・町橋・橋本日
番五五三二(67)花浪話電

的表代國各米歐

品糖化

料原

米 國 製	ア ベ ン シ	佛 國 製	佛 國 製	諸 國 製	合 同 船 來	香 水 用	ヨ ロ シ	波 新	三 和 特 選	日 清 製 油	米 國 製	英 國 製	米 國 製	英 國 製	合 同 油 脂	三 和 特 製	合 同 油 脂
コ ー ン ス タ ー チ	微 粉 タ ル ク	ト イ レ ッ ト パ ウ ダ ー	ア ミ ド ン ズ リ ー	二 酸 化 チ タ ニ ユ ー ム	ヂ ン ク ス テ ア レ ー ト	無 臭 ア ル コ ー ル	德 用 ア ル コ ー ル	ト ラ カ ン ト ガ ム	白 マ シ	ヒ マ シ	ベ ト ロ ラ タ ム	ス パ ー マ セ チ	ビ ー ス ワ ツ ク ス	流 動 バ ラ フ キ ン	グ リ セ リ ン	苛 性 カ リ	ス テ ア リ ン 酸

門專料原品粧化
店商壽宇以和三

十地番一日丁二橋京區橋京市京東
番七六四三・番〇五三三(56)橋京話電
番四七一三三京東座口替振

ムーリクドルーコンリナ

〇 + 五



本舖

東京・丸ビル五九

クレオ研究所

電話丸ノ内(23)二八八二番
四九八四番

ムーリクンモレ性乾
〇五十三・〇十五・〇十七

植 物 性

小柳

髪洗粉

サラリとした
洗髪後の
清快さ

小柳髪洗粉

東 京 市 日 本 橋 區 小 網 町
柳 佐 吉 商 店
電 話 茅 場 町 一 四 九 番
總 工 場 墨 田 九 四 九 番

營 業 品 目

御販賣にも 御使用にも

大賣出しや 特賣の景品にも...品質優良、良く賣れる

正清 御小楊枝を!

最上一本撰
正清 御小楊枝
喜榮堂製

歯刷牙各種
ハフ各種
鏡
婦人用櫛
妻楊枝類

セルロイド製
各種入物
マユズミ

クリーム
ホマー
化粧石鹼
男子用櫛

口紅
化粧石鹼
安全剃刀替刃
有名齒磨類

歯刷牙各種
ハフ各種
鏡
婦人用櫛
妻楊枝類


硝子ケース
セルサツケ

東京市浅草區森下町三番地

大勉強 良品豊富の 寺内喜榮堂へ

電話浅草(84)四七三四番
振替東京七七三〇四番

東 京 喜 榮 堂 製



理容館高級化粧料

東京銀座
理容館

遠藤波津子女史創製

最高の品質
絶大の信用!!!



代表的化粧品

ライラツク化粧水
ライラツククリーム
理容水白粉
理容粉白粉
理容固煉白粉
理容レモンクリーム
オレンチカラー理容水白粉
理容ハイシエニツククリーム

其他 頬紅、口紅、髪出油、特殊化粧水
香水、石鹼等各種取揃へあり

香料

香料輸出入業
高級配合香料
國産果物香料



長谷川藤太郎商店

電話日本橋(24) 三四八三番
振替東京 五一三八番

佛國デロン香料會社關東代理店
東京市日本橋區本町四丁目





SHINE

シャイン
化粧料

シャイン 棒紅
シャイン 煉紅
シャイン 頬紅
シャイン 眉墨

東京市本所區東兩國四ノ二・石塚福治商店・電話本所(73)六四八一番

純植物性

キハツエヤ
トーマホ

高級ポマードの
大衆化

質……純良
匂……絶秀
装……斬新
量……豊富



鋪本 粉洗髮ンライケ
油香椿重八

會商友三

四ノ七ノ三橋大新區川深市京東
番七六八(73)所本話電
番八二五〇一京東替振

¥.40

標商録登府政本日大
REGISTERED TRADE MARK



FROG BRAND
FROG REFINING CO., LTD., LONDON

世界に於ける最も古き歴史を有する

最高級

カイロ印

ホワイトオイル

薬用 (薬局方適合品)
化粧用 毛髪由クリーム其他

本品の特長

無臭・無色・透明
濃度高ク・凝固點低シ

以上の條件を完全に保有するが故に何卒御愛用を乞ふ

見本御申越次第進呈

英國フロッグ レファイニング コンパニー

御注文は全國有名油問屋及化粧品原料商へ

香料 並に 化粧品原料



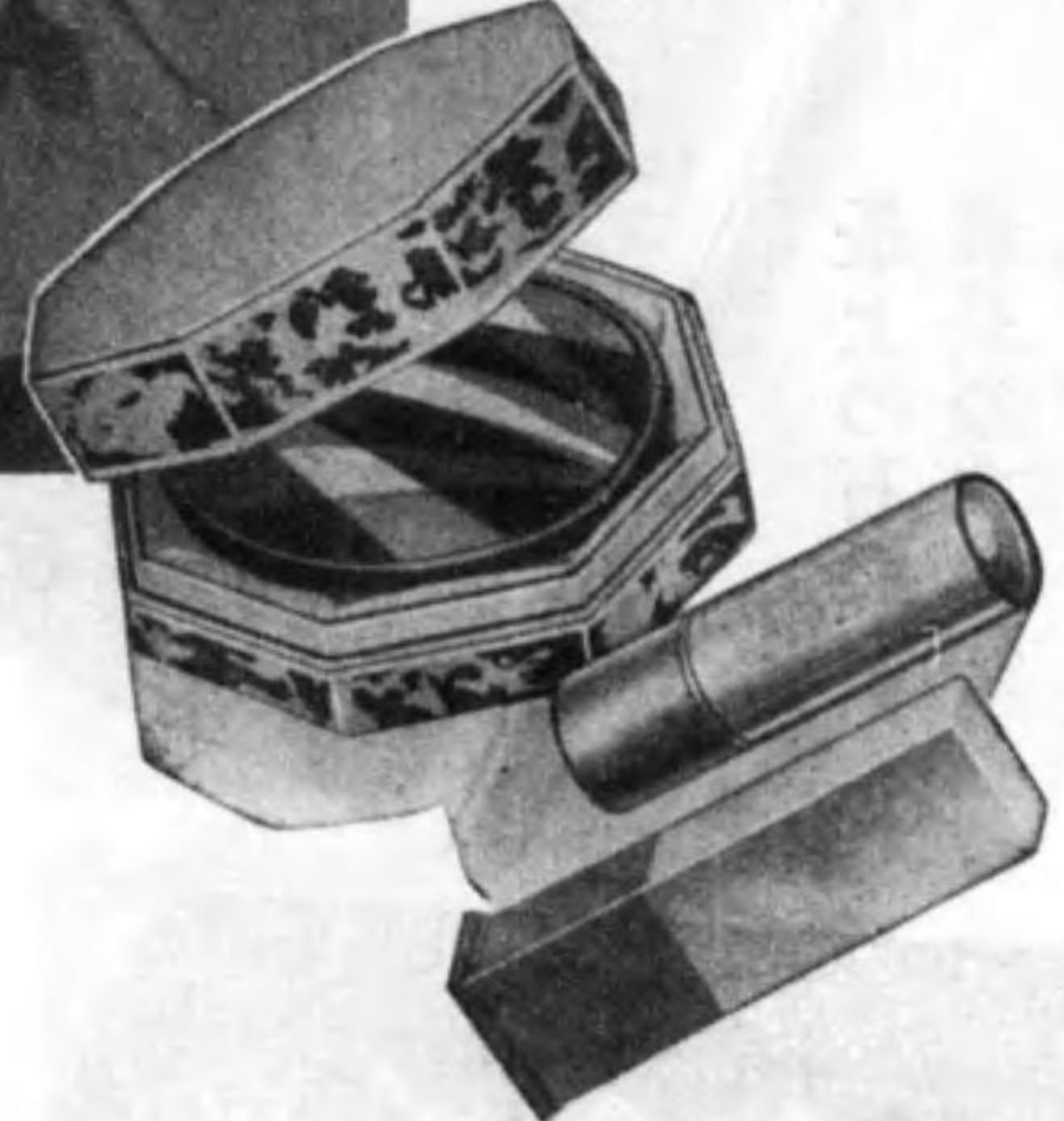
香料及一般輸出入業

早川市太郎商店

東京市浅草區浅草橋三丁目一番地
電話浅草(84)四〇三一・五三六三・五六九三



最新型 コンパクト
 近代型 棒
 寒 製 小
 リップステック
 紅
 町 紅 製造本舗
 化粧用・醫科用・食料用



代 各 化 化 化
 ホ 種 粧 粧
 ツ リ 種 紅
 ビ 化 粧 粧
 ー ン ビ 粧 粧
 理 コ 賣 十 用 用
 ン ン 化 用 海
 バ ン 粧 粧
 店 ト 元 料 貨 總 フ 墨

店商衛兵作田根羽

番六〇二田墨話電 三二一ノ二町島寺區島向市京東 部造製紅
 番五七五八六京東替換
 番三〇四一田墨話電 六〇一ノ二町島寺區島向市京東 部卸貨雜

近代人の御洗髮料

タマゴシャンプー

タマゴシャンプー
 玉子粉石鹸
 玉子化粧石鹸
 玉子洗髮粉
 玉子かみあらい

長社谷河

園香美社會資合

目丁三町針小區中市屋古名
 番六九六二番八七五局南話電
 五九町塀練區谷下市京東
 番三五〇五 谷下話電
 一口ノ西江潮村田小外市阪大

專賣特許
の齒磨

半煉の仁丹

新らしい科學と實驗から生れ
新時代の感覺と好尚に合致せる
劃期的齒磨として
好評噴々

一罐五十日
正價二十錢



最上の石鹼を
最廉の大衆化

石鹼の最高標準
パームオイル製



齒磨は仁丹の時代
仁丹粉と齒磨

仁丹粉と齒磨



松竹塔内美子嬢

品質に於て
效果に於て
價格に於て
賣行に於て
斷然！
齒磨界の寵兒



商品商店

中山太陽堂

Table with columns for product names (e.g., 北海道クアラ), brands, and prices.

中山太陽堂

Table with columns for product names (e.g., クアラ美身クリーム), brands, and prices.

山岸商店

Table with columns for product names (e.g., チューブ入り千代田ボマード), brands, and prices.

岡本信太郎商店

Table with columns for product names (e.g., コテイイー粉), brands, and prices.

藤村一誠堂 古代アブリ洗粉の卸賣歩引一般諸材料の高騰のため十一月より變更。

業界工場一覽

昭和九年十一月一日現在

Main industry directory table with columns for industry name, representative name, location, and establishment date.

八二

磯上佐太郎氏、京都桑武商店同店の營業一切を繼承。

友松武雄氏、大分市化粧品問屋辰巳屋を退店、延岡市に獨立開業。

三 月

門司吉井製株式會社新築起工。二月。

中山太陽堂、東賣劇場へ搬移。

柳下藤五郎氏經營さくら石鹼製造所失火停業。六月。

宮本庄七商店婦人洋裝服飾品フアッシュンシヨール。七月九日。

依田忠商店、依田新商店菲翠珊瑚試賣會。十日。

マスタ一本舖尚美堂蒲田梅屋敷新工場地鎮祭。十二日。

ゲンブ粉石鹼本舖第一工業製藥株式會社増資斷行、小野茂平氏新社長に就任。十七日。

堺化學工業株式會社、堺市役所建設費に一萬圓寄附。

クラパ化粧品第一販賣株式會社仙臺出張所開設。

マスタ一本舖大阪に出張所開設。

コセツト化粧品本舖コセツトパフューミー、神田區佐久間河岸八三に移轉。

千代田本舖山岸商店、少年團家を募集。

バケツ印洗石鹼本舖組織變更油鹼石鹼工業株式會社創立。

レイトクラパ本舖浦宿大火へ各一千圓寄附。

不二塗料株式會社、鶴町區丸の内二の一二戸烟筒物株式會社内に移轉。

化粧品石鹼問屋大山勇次郎商店左記へ移轉。

日本橋區橋町三丁目一。

マスタ一化粧品東京販賣會社事務原啓造氏辭任、田中吉兵衛氏就任。

レイト化粧品本舖大阪支店長平尾喜三郎氏勇退、取締役平尾實二氏就任。三日。

御園胡蝶園大阪中座へ搬移寄附。

福岡山口大分マスタ一販賣株式會社門司商會議所に創立總會開催。十日。

堺市堺化學工業株式會社事務所失火。十二日。

東伏見宮大妃殿下、クラパ化粧品本舖中山太陽堂工場お成り。二十日。

珊瑚貴金屬商會金忠商店組織變更、株式會社金忠商店設立。

クラパ化粧品本舖中山太陽堂創業三十周年記念並びにクラパ陽殿販賣系統實施滿七周年記念第四回全國中販代理店協議大

八三

町	村	郡	支店	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用職工数
大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田
...

町	村	郡	支店	代表者氏名	所在地	設立年月日	主要生産品	使用職工数
同	同	同	同	同	同	同	同	同
...

部長鈴木福太郎氏。廣告部長藤王夫氏。九日。不二飲料株式會社、戸畑物産會社に合併。マスタール化粧品名古屋販賣株式會社第一回總會。十七日。アイアール會第九回總會水上温泉に開催。十七日。鈴木彌太郎氏、横濱キネマ石鹼本舖退店、石鹼雜貨卸商開業。レイト本舖平尾養平商店店舖改業。若松屋支店新築落成。七日。木原傳兵衛商店左記へ移轉、日本橋區芳町二の三。大阪の北村黨主堂、堺市北町西一丁目營業所へ店舖を合併。七日。柳屋本店店舖改造開始。門司の吉井株式會社新築落成。大阪金鶴香水株式會社店員募集。マスタール化粧品四國販賣株式會社創立。十八日。黒獅子白毛樂器西代運店堀井重商店に決定。大阪パール石鹼本舖福井花香令喜西一氏獨立開店。工場防護圍中山太陽堂工場分

會を大阪に開く。二十、二月。桃谷順天物産會社社員追悼會、大阪に誓む。二十日。滿洲國日本實業觀察團の一行花王石鹼工場視察。二十八日。名古屋市内大次氏獨立營業。大原善吉氏、澁野八日市町目又商店退店、能登川縣前へ獨立開業。南葛三氏、あづ、油京都代理店齋藤要商店退店、獨立開業。椎原光男氏、大分市加賀屋商店退店、石鹼化粧品卸業開業。五月。明色クリム東日本總代理店桑原花生堂に決定。ライオン前橋本舖小林商店新工場社旗揚揚式。五日。メマ本舖井田京榮堂大阪支店、大阪市東區備後町五の五へ移轉。ターケル衛生ハブラシ本舖多田啓助商店、淺草區西三筋町三二へ移轉。資生堂東京セーレス株式會社設立。西九州マスタール化粧品販賣株式會社設立。五日。ウテナ本舖久保政吉商店員募集。ヘチマコロ本舖天野源七商店左の如く幹部店員異動。販賣

商品商店

Table with multiple columns listing company names, locations, dates, and products. Includes categories like '京都', '愛知', '神奈川', '兵庫', '大阪', '東京'.

同村化学工業株式会社... 田村香料製造所... 田村眞策

昭和七・四・一... 工業薬品... 化学香料

會發會式舉行。二十三日... 御香油、ゴロ一本、鼻、美、堂... 關西總代理店として大阪、田中清次商店を決定。

近藤工業製糖株式會社... 岸田浩吉... 京都市元警署通大宮西入

昭和八・四・一... 洗濯粉石鹼化粧品製造

クラブ本館中山太陽堂のクラブ新編販賣制度實施。一日三浦督治商店、淺草區淺草橋一丁目四の二へ新築移轉。クラブ特定品東京販賣株式會社設立。一日。

美香園... 河合喜三郎... 名古屋市中區小針町三の二〇

大正一一・三・三... 洗濯粉石鹼化粧品製造

喜原商事株式會社函館出張所假營業所を函館市末廣町九一に移轉。

成和商會... 山田爲三... 横濱市磯子區西根岸馬場町六

大正一〇・六・六... 石鹼化粧品

明光化粧品本館大阪版月三日月堂東京駐在員設置。高砂香料株式會社東北工場建設に着手。

工場地場名... 代表者氏名... 所在地

大正二・七・一七... 化粧品一般

エビヤ化粧品株式會社、神田區鍛冶町三の五へ新築移轉。日。

カガシ化粧品工場... 丸屋七郎... 神戸市協成町二丁目

大正五・五・二七... 化粧品一般

美作共榮クラブ有志懇談會... 兩宮殿下御見學

ワヰス商會... 代表者氏名... 所在地

大正一・四・一六... 蠟燭、紙、除菌液

東伏見宮大妃殿下には昭和九年四月二十日、愛國婦人會々長本野久子刀自、縣大阪府知事同夫人、内務部長同夫人、同警務部長、大阪市各務助役夫人等を隨へ大阪市浪速區水崎町中山太陽堂工場へお成り遊ばされ、クラブ化粧品の製造工程を親しく御視察遊ばされた。

小川香料製造所工場増築完成... 井上安治郎氏、京都製藥所を退社、石鹼製造業開業。

小川香料製造所組織を變更して、株式會社小川香料製造所設立。

北白川宮永久王殿下には、學術御研究の思召を以て各工場御視察中、十一月十九日、花王石鹼株式會社社長瀨田會香通町工場に台臨遊ばされた。殿下には陸軍砲工學校教官並びに御學友と、川上研究部長の御説明を聞き、社長、社長の御先導にて二時間に亘り、石鹼の各種製造工程を詳しく御視察遊ばされた。

岩谷商會社員安藤幸夫氏獨立開業。わかもとゴマード中京代理店水谷友吉商店及び原錦堂の二店に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

合同油脂株式會社大阪佃工場擴張計畫成立。Mikumi關西配給元二六商會に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

岩谷商會社員安藤幸夫氏獨立開業。わかもとゴマード中京代理店水谷友吉商店及び原錦堂の二店に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

合同油脂株式會社大阪佃工場擴張計畫成立。Mikumi關西配給元二六商會に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

岩谷商會社員安藤幸夫氏獨立開業。わかもとゴマード中京代理店水谷友吉商店及び原錦堂の二店に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

合同油脂株式會社大阪佃工場擴張計畫成立。Mikumi關西配給元二六商會に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

岩谷商會社員安藤幸夫氏獨立開業。わかもとゴマード中京代理店水谷友吉商店及び原錦堂の二店に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

合同油脂株式會社大阪佃工場擴張計畫成立。Mikumi關西配給元二六商會に決定。

美顔本館桃谷順天館東京支店長として西村幸之助氏就任。一日。尙美堂より新製品マスター液狀白粉、マスターホームバクトの二種新發賣發表。一日。

朝野クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。八月。函館アイアール會發會式。同十九日。全北太平洋會第七回總會を裝備商工會議所に開催。出席者二十二名。八月二十日。小樽アイアール會、小樽市北海ホテルに發會式舉行、會員三十餘名出席。同二十一日。靜岡縣クラブ化粧品中堅販賣店懇談會。同二十三日。廣島縣クラブ太平洋會總會。九月十二、三日。山口縣クラブ太平洋會總會。十四、五日。富山石川福井三縣下クラブ販賣店有志懇談會。九月。神奈川縣下二百數十名の有力

商品商店

小川香料製造所工場増築完成... 井上安治郎氏、京都製藥所を退社、石鹼製造業開業。

小川香料製造所組織を變更して、株式會社小川香料製造所設立。

北白川宮永久王殿下には、學術御研究の思召を以て各工場御視察中、十一月十九日、花王石鹼株式會社社長瀨田會香通町工場に台臨遊ばされた。殿下には陸軍砲工學校教官並びに御學友と、川上研究部長の御説明を聞き、社長、社長の御先導にて二時間に亘り、石鹼の各種製造工程を詳しく御視察遊ばされた。

化粧品一齊
検査の成績

化粧品取締規則が實施されてより二年
警視廳衛生部では、その實績を調査すべ
く四月十三日來、管下全警察署に命じて
化粧品の一齊検査を行つたがその結果と
して左の如く發表された。

- 一、調査業者總數 一四一一名
- 一、調査化粧品總數 一〇五九〇點
- 一、違反者總數 三〇六名
- 一、違反化粧品總數 九八五點
- 一、化粧品規則違反の内譯

違反の事實	違反の内譯	
	違反の件數	違反の點數
無免許にて製造販賣せしもの	四名	九三
無許可に名稱を變更したるもの	五九一三四	二四
免許證を發給受付又七の手続きを怠りたるもの	八	二三
内容又は製造に住所の氏名等の明記なきもの	一八三五七八	一一一七一
免許證を授け又は授けたるもの	一	一
部外品より化粧品へを移したるもの	四二二五六	三
その他		三九

列國特許實用新
案出願及び登録

最近、一九二七年乃至三一年五年間の統計により、列國の特許・實用新案出願及び登録件數を見ると、先づ出願の部では、獨が斷然首位を抜いてその首位を占

五歳階級に區分したる年齢別人口 (昭和五年調査)

年齢	總數	男	女	女百に對男
0-4	9,044,000	4,468,000	4,576,000	97.64
5-9	7,741,000	3,897,000	3,844,000	101.38
10-14	6,717,000	3,415,000	3,302,000	103.42
15-19	6,272,600	3,281,600	2,991,000	106.36
20-24	5,452,180	2,810,160	2,642,020	106.36
25-29	4,822,370	2,509,330	2,313,040	110.60
30-34	4,091,990	2,148,960	1,943,030	104.85
35-39	3,541,890	1,812,870	1,729,020	105.73
40-44	3,382,230	1,738,200	1,644,030	100.87
45-49	3,103,490	1,558,470	1,545,020	100.64
50-54	2,867,080	1,438,080	1,429,000	94.68
55-59	2,293,370	1,115,370	1,178,000	90.60
60-64	1,692,520	804,520	888,000	86.33
65-69	1,265,170	586,170	679,000	71.77
70-74	888,040	371,040	517,000	70.13
75-79	541,000	223,000	318,000	50.00
80以上	351,000	117,000	234,000	101.00
總數	64,067,050	32,294,890	31,772,160	

め、續いては米、そしてわが國は實に第三位に在るが、その數を列記すれば如次

日本 七〇六、四六五件

獨 四三五、一八〇

米 二三七、七三三

日 一八九、三九九

佛 一一七、三三二

英 五五、五九九

瑞 四六、三三九

瑞 四四、七六六

瑞 四二、六一五

次に登録の部は如何と見るに、これも依然獨がトップをきつて米がそれに

第五位に下るのは、要するに内容がよくないからといふことに歸着する。

それから、わが新特許局總會は五千坪強の五階建て、現局員は五百八十人であるが、かうした建物の點からいっても獨(局員約千五百人)米に次いで矢張り第三位である。英も相當大きい、但しこの建物は可成り古い。この點になるとわが總會は却々堂々と壯觀を極めてゐる

(東京商報)

皇室に關する文字
の取締使用標準

昭和五年十一月八日

皇室に關する文字の取締使用標準が今回内務省から各地方長官に通達された。

一、これまでは天覽、台覽、行幸啓、侍從御差遣、皇族御成りを賜はつたなどの文字はその事實があり、尙具體的に示して新聞雜誌その他の物品に記載の場合にこれを許されてゐたのであるが、今後は天覽台覽の文字は、宮内省御用達の文字と同様に宮内省の許可を得たものでないと使用を許されない、また行幸啓、皇族御成り、侍從御差遣などの文字は將來これを廣告などに表示することは許されない

二、獻上品、御探納品または御用命、御買上を賜はつたなどの事實を表示することは、これまでもほり皇室の尊嚴に關しない限り年月日とともに具體的にその事實を記載することは差支へないが、第三者がこれらの文字を廣告などに使用の場合に更に獻上品、御買上などを賜はつたもの、氏名を明示せねばならぬ、なほ各官家に關する獻上、御買上、台覽、御成りなどの事實を廣告などで使用する場合は右に準じて取締りを受ける。

賣藥部外品一覽

昭和九年十月一日 在

東 京	商 品	發 賣 元
毛 生 液	アウグストグラー	アリス商會
アリス冬の化粧水		
アリスフキトール		
アリスヘーヤトニツク		
アリスベルツ水		
養毛料都みどり		
ベルツ水		
オリヂナルペーラム		
かくれ美人		
オシドリクリーム		
オシドリペーラム		
頭髪用香水ターキー		
カンフォレート		
粧和カンフォール		
粧和スキンクリーム		
ベトリン		
ヂキサール液		
スミスマ、シヤンパー		
パンドリン		
キンキアタリウム		
タインスローション		
アモンドミール		
アタネタリウム		
ベルツ水		
トイレットタルカムパウダー		

賣藥部外品一覽

ウエクリーレモンクリーム	家木 鐵 正
アフタンエビンダ	
ベビー亞波散	
フケ散香水	
ウエクリーレモンクリーム	
ウエクリーレモンクリーム	
天國鳥トリレンジングクリーム	
天國鳥バニシングクリーム	
天國鳥アモンドクリーム	
天國鳥ビイリアンチン	
天國鳥水白粉	
芳香ベビーパウダー	
芳香金エム	
染髮料黒髮の素	
ダイヤモンド養毛トニツク	
キタユイ打粉	
ベルツ水月桂冠	
白毛染粉製	
白毛染水製	
爛だし芳香片腦油	
エタセル養毛香水	
エビアンニキビ用クリーム	
エビアンミール洗粉	
赤毛白毛染黒獅子白毛染	
ラブミーボソナ	
トツケヨクレーム	
トツケヨクレーム	
モーラントクレーム	
オリブ洗髮料	

ビビアトニツク	大木合名會社
ビビア養毛ローション	
オーツキ毛髮液	大 槻 吉 藏
パ、インクリーム	岡 田 春 一
パ、インフード	
パ、ヤスキ	
ホルマン	
ケンモール	
強活バ、ヤスキ	
純植物性レヂナボマード	岡 田 忠 邦
竹園香油	
松園香油	
松園椿香油	
ニュースキン	岡本信太郎商店
ドーヴユバスサルツ	
スリーフラワーバスサルツ	
ニビアエール	
スリーフラワーバスクリスタル	
ブレツプ	
ローレル化粧品	太田榮治郎商店
佛國ビノー會社化粧品	
佛國ブルジョア會社化粧品	
佛國レスケンジュ會社化粧品	
佛國モンベラス會社化粧品	
佛國ビオレ會社化粧品	
佛國フオービル會社化粧品	
英國キツスブルーフ會社化粧品	
英國キツスブルーフ會社化粧品	
英國カルバート會社化粧品	

八九

水巴レモンクリーム	藤江化粧品研究所
水巴レモン乾性クリーム	同
水巴レモンコールドクリーム	同
水巴バニシングクリーム	同
水巴コールドクリーム	同
野澤屋レモンクリーム	同
野澤屋バニシングクリーム	同
ヘウタンコロリン	藤田松楠堂
古代アズキ洗粉	藤村一誠堂
カユミ止メフクロムオンキニー	古屋ユニオン商店
カユミ止メフクロムオンキニー	同
パールモリソールラレット製刺石鹼	芳誠合石鹼製造所
メザカ石鹼	同
糸工石鹼	同
シコ石鹼	同
あせもよけ打天瓜粉	堀口義夫
ホーカフタフタ	堀越嘉太郎
ホーカフタ	同
湯巻蚊よけ線香	同
丸八御薬はみがき	松岡惣一
丸八のみよけ	同
丸八蚊よけらぶ巻	同
丸八蚊除香	同
御化粧下都賀多	同
しらが柑黒油	同
釣鐘 墨	同
ベルツ水	同
日の出煎顔	松本伊兵衛商店
スティックポグイ(口紅原料)	松本積次郎商店

ゲンソキウカンパー	松本積次郎商店
ゲンソホワイトクリーム	同
ゲンソ過酸化クリーム	同
ゲンソ液	同
ゲンソアルチン	同
クレームゲンソ	同
丸善ベータム	丸善株式会社
丸善養膚膏	同
アデルミンクリーム	同
丸善オーデキニー	同
丸善ヘアートニック	同
ミツワ人參葡萄酒	丸見屋商店
ミツワ規那那葡萄酒	同
ミツワ合嗽香水	同
ミツワ肝油ドロップス	同
フローラ	同
パオス	同
養顏料マネキンレモン粘クリーム	丸の内美容院
山野脫脂化粧液(ヤマノエーゲル)	同
美顏料マネキンアストリゼント	同
アーモンドミール	同
ネオスヘナ	同
ドーラン棒白粉	万新商店
ラモット口紅	同
ラモットアイシヤード煉眉墨	同
チタンロール	同
入舟打粉	三原麗人堂
化粧液リムロン	三保梅壽
パインクリームリムロンピク	宮澤福四郎

うすぎぬ打粉	村川作太郎
オリオン脂取紙	同
ホーヨーアレ止	村上幾太郎
オリオン化粧料	産木化粧品合資會社
中央あせ打粉	同
キング蠟取粉	同
フケカユミ止ゲンカボマード	森下長次郎
ピオン養毛ローション	森本太吉
太陽ソーラーシヤンプー	安田作之助
本津や御黒油	柳屋商會
銀印輕便しらが染	柳屋本店
柳屋御きわすみ	同
化粧用ドクトル石鹼	同
薬用ドクトル石鹼	同
黒砂糖石鹼マーシヤル	同
美人かつら	同
美人かつらフケメツ	同
ハニーフレックタル(クリーム劑)	柳村マサチ
ミヤコ香油	柳下商店
アズセナベータム	同
アズセナポマード	同
アズセナローション	同
アズセナ過酸化クリーム	同
アズセナレモンパインシヤードクリーム	同
アズセナバニシングクリーム	同
アズセナコールドクリーム	同
アズセナレモン水クリーム	同
アズセナヘアートニック	同
アズセナ髪出し香油	同

アズセナ鈴蘭香水	山本商店化粧品部
香久花香油	同
香久花椿香油	山本香油店
香久花艶出油	同
香久花髪香油	同
香久花髪附油	同
香久花髪附油青色	同
香久花梳油	同
香久花ポマード油	同
香久花黒髪油	同
香久花黒髪油	同
香久花くせ毛油	同
香久花フケットリ	同
くせ毛直し油	同
おねり油	同
匂入匂香油	同
匂入匂香油	同
ホト、グス印湯巻蚊取線香	山本徳太郎
イテフ印蚊取線香	同
巴標印蚊取線香	同
寶印蚊取線香	同
花の梅	山岸章浩
アモンドプラスタバツク	山野チエ
丸万クリーム	油麴商店
丸万艶出しポマード	同
丸万煉油	同
丸万すみれ椿	同
ベルツ水	横尾榮治商店

芳香スミレ小町	横山光明
芳香ねり製井筒屋フケットリ油	同
美髮料ミニキ	同
美髮料かつら	同
美髮化粧用井筒屋椿香油	同
井筒屋新香油	同
井筒屋玉子入美髮料の香洗粉	同
井筒屋玉子入美髮料の香洗粉	同
高級美髮料井筒屋洗粉	同
高級美髮料井筒屋フジ化粧液	同
煉製染毛劑井筒屋ルーマ	同
養毛劑井筒屋ブリタイ	同
美容料井筒屋ベルツ水	同
毛髮用井筒屋のびる	同
花柳病豫防劑井筒屋セルフ	同
しらが美顔用井筒屋黒みどり	同
紅白ヘアートニック	吉田勝太郎
御きわすみ	よしや商店
櫻油	同
みかど油	同
乙女椿	同
理容ベータム香水	理容品製作所
理容ポマード	同
理容クリーム	同
理容化粧水	同
ヤイチポマード	同
カルリナポマード	同
ベリカン香水	同
ブリアンチツク	同
リョーポード	同

毛髮肥料ベチリン香水	リーガル商會
レオン洗顔クリーム	レオン商會
あしの雪	藤田盛眞堂
花王打粉白粉	同
やまに肌	同
ワキ化粧	同
御打粉あやめ	同
オレンヂクリーム	同
ミスポマード	波邊勘藏
ミスクリム	同
ミスベータム	同
和光堂肝油マルツ	和光堂
ピオスメール	同
マルツ汁越幾新	同
シツカロール	同
シツカロール石鹼	同
シツナルポマード	成和商會
シツナルベータム	同
セイワホーサン石鹼	同
二葉葵ベータム	葵香本店
月の友プリランチツク	月の友化粧園
羽衣	青木嵩山堂
明光クリーム白粉	同
アシズベータム	秋月三日月堂
アシズクリーム	荻津屋化粧品部
アシズ植物性ポマード	同

いろはくろんぼ	石田商會
いろはカスガイ液	同
風鳥メー	宇野造之助商會
タリーサン	永廣堂本店
伊豆梅トニツク	大槻彩芳園
メニボクリーム	金子
モンマフケ取香水	佐々木三香堂
薬用化粧水	同
三美化粧水	三美堂
タリオン齒磨	純美堂
トローラ	誠光堂
タイムデン齒磨	タイムデン製薬社
タイムデン洗粉	同
タイムデンベビーパウダ	同
タイムデン煉香油	同
初鳥	谷回春堂
金鳥の湯巻	大日本除虫菊會社
金鳥香	同
金鳥除虫粉	同
キンチョール	同
白毛染ナイス	丹平商會
白毛染粉末ナイス	同
オサナ薬用化粧品	中山島
トラブ薬用天瓜粉	中山太陽堂
トラブヘアートニツク	同
トラブブリ、アンテン	同
エメラキウリ化粧水	西村卓二
エメラキウリクリーム	同
エメラ粉白粉	同

エメラ固練白粉	西村卓二
エメラ水白粉	同
エメラリビン香水	同
エメラ化粧下クリーム	同
エメラハイレニツククリーム	同
エメラホワイトクリーム	同
エメラシワ取クリーム	同
エメラ乳液	同
エメラコールドクリーム	同
エメラ水クリーム	同
エメラホーテナテウル	同
エメラ化粧水	同
エメラ過酸化水素水	同
エメラ過酸化クリーム	同
エメラ過酸化水白粉	同
エメラ緑色水粉	同
エメラマツサージュクリーム	同
ナフテール石鹼	仁壽堂分店
金鳥香油	野村外吉
金鳥ボマード	同
金鳥コスメチフク	同
金鳥水白粉	同
金鳥粉白粉	同
金鳥化粧水	同
金鳥艶出香油	同
ヤオール	藤森源之助商店
青南ビタオール	松浦商店香粧品部
紫南ビタオール	同
ビタオール液體ボマード	同

ビタオール髪毛ローション	松浦商店香粧品部
カガシベトラム	九善化粧品部
カガシオードキニン	同
カガシヘアートニツク	同
カガシデンチフリス	同
カガシ粉齒磨	同
カガシタルカム粉	同
カガシ天瓜粉	同
カガシパオン化粧水	同
白雪あれどめ	三宅堂
仁丹の煉齒磨	森下博
仁丹の薬齒磨	同
ミノル洗粉	吉田實石煉株式会社
ベトロールワラル 佛國製	ヨドヤ化粧品部

備考

一、以上の「賣薬部外品一覽」は、東京に於ける分は警視廳の免許臺帳によりて調査せる外、別に各當業者よりの報告を參考として整理した。

二、東京以外の各都市に於ける分は、各當業者に直接照會を發してその回答を求め、そのまゝ登載したものである。

三、然るにその報告中には「化粧品」と思はるゝものをも含み、この再調には意外の困難を感じた。

四、部外品は化粧品とその取替上の手續きを異にするので、彼此混同して報告されたものありとすれば、獨り發賣元のみならず、小賣店に於ても迷惑少からざるを思ひ、疑念を挟むの餘地多きものに對しては極力再調を行ひ、能ふ限りその誤謬なきを期したるも、萬一各自その間違ひを發見せられたる時は直ちに報告せられ度い。

生産 販賣

昭和九年の生産販賣界

昭和九年の生産及び販賣界は、多くの重要問題を業界に残せることに於て、洵に近年稀れに見る多端の年であり、苦難の年であつたことが知られる。随つてこの年に於ける業界情勢は販賣市場に於ける波瀾の表面化とともに、一面深刻なる同業者の内部闘争に終始したといふ一語に盡さるであらう。

勿論これは化粧品界に於ける情勢の一般を指すものである。然らば何がさうさせたかを語る前に、先づわれ等の考へ度いのは、市場統制の崩壊を來たさしめたるその原因の奈邊にありやといふ一事である。即ち昭和九年六月四日、東京化粧品卸業組合が組合解消の決議と同時に、營業統制の即時中止を聲明して販賣市場をその自由競争に委せしむるの已むなきに至つたのは、是れ果して何に原因するやの問題である。而してこれを解くことは、昭和九年の業界に於ける販賣問題の根本を衝くことであるとともに、業界情勢の大半は説明し盡されと信ずるからである。然しながらわれ等は既に「業界一年史」に於いても、之れを述べたるが如く、組合の解消に導ける一半の理由は、法の無力が第九條の制裁權發動に期待を有つ能はざるに至らしめ遂ひに組合自體の統制がつかなくなつたことにもあるけれども、然し商業組合をして此の絶命境に追詰めたるその根本原因に關しては勿論別にこれを擧げなければならぬ。

三

然らばその根本原因とは何か、當時わが商報が業界の各方面から徴したる多くの意見は、これを語つてその正鵠を得たるに近しと信ぜらるゝものであるが、然しわれ等は今、その一々を引用するの邊を有せざるが故に、便宜上、これらの意見を綜合することによりて手取り早くその結論を求めんとす。

一、生産、販賣の兩機軸の聯絡に缺陷あり、併かもその統制は販賣機軸の間にのみ企てられたるものにして、之れを傍觀するの狀態であつたこと。

二、帝都に於ける卸商の過剰から勢ひ配給機關の健全性が缺如せるによること。

以上二點に歸着するものゝ如くである。勿論内外の經濟情勢並びに産業界の一般的不況が、大いに販賣市場の不振を將來せるにも因るは、言ふを須むざる處なるも内部的の原因としては、先づこの二點の外に出でざるものと見るもまた多くの誤りはあるまいと信ぜられる。然しこれ等のことは既に業界の認識に明らかなる處であるから、われ等は再びこゝに説明を加ふることをせざるも、要するに製造本館から卸問屋へ、而して小賣店へといふ、これ等の相對的關係にして適正を缺くに於いては、忽ちにして需要供給の圓滿なる進路を阻み、當然市場の健全性が失はるゝの虞れあるは、何人も容易に看取し得る處なるに拘らず、然も業界現在機構を以てしては生産の調節と販賣の合理化とを彼此協調して行ふことは、到底至難なるの實情に在り、更らに今一つの配給機關たる中間商人の過剰問題に至つては、是れ獨り帝都に於ける問題たるに止まらず、

小賣商問題とともに實に全業界がその備
みを齊しくする處にして、全く全国的と
もいふ可き刻下の重要問題たる點に於い
て、その解決の容易ならずと見るのが至
當であらう。東京商業組合は、三百二十
名の組合員の外に、所謂アウトサイダー
凡そ二百、合せて五百に近い同業者が、
その營業職權を帝都に布いて激烈なる競
争を行ひ、遂ひにそのアウトサイダーの
爲めに禍ひせられて組合の一角が漸く崩
壊し始め、さしにも堅固なりと思はれた
結束も、全く瓦解に歸したわけである。
然しこれ等は單に一商業組合の潰滅とい
ふのみに止まらずして、實に全業界の動
向にも影響するの重大問題にして、是れ
が販賣市場に投じたる渦は、今後に残
されたる業界の課題中、恐らくその最も
大きなもの、一つであると言へるであら
う。

果せるかな、年末の近づくに及び、市
場の混亂、その極に達せむとするの現状
に陥れるを憂ひ、十日會を中心とする有
力本舖は屢々會合の上これが對策に就い
ての協力を遂げた。蓋し本舖側としては
常に現状の打開並びに拾收に努むるのみ
に止まらず、その根本對策の發見により
て販賣市場の正常化を圖るとともに、業
界共榮の大計に邁進せむとする、眞摯な
る態度と熱意と、而して發達なる理想と
に出でたるもの、如く、年内には何等の
結論をも見るに至らなかつたけれども然
し遠からずして何ものをか業界に齎らす
ものと期待してよからう。

業界の機構解説

問屋

業界に於いて問屋とは如何なる販賣店
を指して云ふものであるかと云ふに、そ
の意味を嚴密に規定することは極めて困
難である。たゞ漫然と、本舖と直接取引
を有する卸店を問屋と稱する場合もあ
り、本舖によつては、問屋資格なるもの
を定めて「本舖と直接取引を有する代理
店にしてその地區に於ける責任販賣額を
達成し得るものたる店」と定義して、年販
賣額何萬圓以上のものを問屋と見做すと
なしてあるところもあり、極めて區々であ
る。これを業界について見るに、問屋
と云はれる店には、多くの商品を一手に
引受けて卸賣する店で、委託販賣制度を
とつてある所も可成りに多いが、業界に
はかかる取引關係は殆ど行はれてゐない
ので、問屋といふよりは、むしろ卸店と
と云ふ方が妥當と思はれる處もある。
いづれにせよ、業界に於ける問屋なる
名稱は、嚴密なる意味のものではなく、
卸問屋と云ふ風に従来の慣行的に有力な
る卸業者を呼ぶ場合が多いやうである。

卸店

卸店とは一般的な意味から言へば、生

産者と小賣商との間、また商人と商人と
の間にあつて、商品を仲介賣買する店を
云ふので、共に生産から消費への過程
に於ける商品の分配、配給の役割をなし
てゐるものである。従つて業界に於いて
も、製造本舖と、一般小賣店との間に介
在してゐる一切の卸賣業者は卸店と云ふ
言葉に包摂せらるべきものである。然し
一般には、問屋業者よりも小規模なる卸
賣業者を卸店とよぶ場合もあり、本舖と
直接取引を有せず問屋を通じて商品の配
給をうけつゝある卸業者を卸店とよぶ場
合も多い。又、本舖によつては、卸店資
格なる規定を作り「直接取引したる問屋
取引問屋理由の取引したる問屋は、
其の地區に於ける責任販賣額を達成し得
られる店たること」と定めて、年販賣額
何千圓以上の店のみを卸店として認めて
ゐる所もある。

代理店

業界に於ける何々化粧品代理店なる言
葉も極めて曖昧なる意味のものである。
その製品の卸賣に關してある限り如何なる
卸店に於いても、その製品の代理店と
稱し得るものと廣義の解釋をなすことも
出来れば、又、代理店資格なる一定の規
準を定めて、その責任販賣額に及ばざる
卸店に對してはこれを使用することを喜

特約店

特約店又は特約代理店と云ふと、如何
にも本舖と直接取引があるかの如き感
を與へるが實際には然らざる場合が多い。
今日の普通特約店と云ふのはB級代理店
でA級代理店より配給をうける店で斯く
稱してゐる所が多い。問屋—卸店とい
ふ一つの系統に對して、代理店—特約
店といふ別の系統に分つた場合のB級卸
店と同様の意味に用ひられてゐることが
多い。

化粧品小間物製造 及販賣高

東京卸商同業組合調

製 造 額	製 造 額		製 造 額
	八年度	七年度	
白 齒 粉	三、七五八、八三三	三、七六四、八三三	一、九〇三、三三三
洗粉及シャンプー	二、七七一、五〇九	二、五八八、八四四	二、三三、六九五
化粧水及化粧液	一、五〇一、五〇一	一、二二一、〇〇一	二、〇〇一、〇〇一
タリ	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、〇〇一、〇〇一
香油及煉油	一、〇七三、九一八	一、〇七三、九一八	一、〇七三、九一八
その他の化粧品	四、〇一三、三三三	四、〇一三、三三三	四、〇一三、三三三
化粧品小計	一三、〇八八、五九二	一三、〇八八、五九二	一三、〇八八、五九二
日本製用掃帚	一、〇〇一、〇〇一	一、〇〇一、〇〇一	一、〇〇一、〇〇一
日本製用特	一、〇〇一、〇〇一	一、〇〇一、〇〇一	一、〇〇一、〇〇一
束髮用掃帚	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三
束髮用ピン及髮止	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三
髮掛及根掛	九、九一三、三三三	九、九一三、三三三	九、九一三、三三三
髮掛、附、入、毛	三、七〇七、三三三	三、七〇七、三三三	三、七〇七、三三三
金屬製石鹼容器類	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三	二、七〇七、三三三
セルロイド雑貨	六、八二二、三三三	六、八二二、三三三	六、八二二、三三三
その他の小間物雜貨	三、七〇七、三三三	三、七〇七、三三三	三、七〇七、三三三
小間物小計	二二、五五五、五五五	二二、五五五、五五五	二二、五五五、五五五
合 計	二六、一四四、一四七	二六、一四四、一四七	二六、一四四、一四七
増 減			
比			

業界の販賣制度

化粧品

化粧品の販賣並びに配給系統は、本舖を中心
本舖と直接取引を有する問屋並びに、問屋の手
を経て本舖と間接取引をなす卸店によつて、小賣販
賣店に商品の供給が行はれ、こゝから需要者の手
に賣られるといふのが普通である。
これ等の諸店はいづれも、それ／＼獨立の經營
に立ち、本舖は商品の製造並びにその廣告宣傳に
當り、製品を問屋卸店に販賣する本舖と直接取引
を有する代理店、即ち、問屋、及び間接代理店、
即ち卸店では本舖から買ひつた品を自己の販賣
網に從つて小賣店に販賣するもので、業界では、
問屋とは云ふものゝ、問屋の意義として他業界で
用ひられてゐるが如き、委託販賣といふことは全
く行はれてゐない。
而してこれらの本舖卸店間、卸店小賣店間の取
引價值はそれ／＼定まり、一定の建値に從つて行
はれることを原則とするがこの利潤の外に、更ら
に景品券、報酬券、割戻等の名稱によつて本舖よ
り、卸店、小賣店それ／＼へ謝禮金が贈られ、又
は清遊、觀劇、招宴等の優待も行はれて本舖、卸
店、販賣店が密接なる關係を保つて、相互の利益を
伸長し、製品の擴賣に努めつゝあるといふのが、
現在の化粧品界に於ける大部分の取引方法であ
る。
従来、各本舖に於いては、業界の備みたる濫賣

の弊よりその販賣店を救ふべく、種々なる販賣策
が行はれ、その全製品を各部に分ち、一般に販賣
するもの、特定販賣店に於いてのみ販賣するもの
等の區別をなす所もあつたが、いづれも思はずしき
結果を得るに至らざるためか、これを廢止したる
本舖も少なくない。然し、近來、濫賣の弊いよ／＼
甚だしく、化粧品販賣業者の利潤が益々薄くなり
つゝある傾向あるに際して、再び各本舖に於いて
も販賣店の利潤を保ち、種々なる販賣方策に腐心
しつゝある傾向が現はれる。その傾向の一として
認むべきものは、各本舖が、目下行ひつゝある
販賣會社の設立である。これにはクラブ特定品東
京販賣會社並びにマスター本舖が全国各地に設立
したるマスター化粧品販賣會社、ラブミー本舖が
脇田盛眞堂と協力の下に設立したるラブミー化粧
品關東販賣株式會社等がある。これらはその設立
の動機に於いて、組織運用に於いて多少の相違は
あるが、要は、正價維持によりその販賣力を増進
せしめ、且つ販賣店と本舖の中間にあつて、すべ
ての販賣額をこゝに集め、配給機關の單純強化を
計るためと云へやう。その他の販賣組織としては
問屋卸店の手を離れずして、チェーン組織により
本舖が直接小賣店に種々なる機關を通じて商品の
供給を行つてゐるものに、資生堂化粧品、アイデ
アル化粧品、柳屋化粧品(一部)、カマシ化粧品、
モンド化粧品、サンキス化粧品、ナルビー化粧品
等がある。これら業界の取引制度は種々なる特徴
を有し、それ／＼の分野を開拓してゐるが、こゝ
には現在、活潑なる成果をあげつゝある特色ある

Table with 4 columns: 品別 (Category), 七年産額 (7-year production), 六年産額 (6-year production), 対比 (Comparison). Rows include items like 自動車タイヤ (Automobile tires), 洗濯石鹼 (Laundry soap), etc.

昭和七年ゴム製品・生産・販賣高

東京ゴム同業組合調査

Table with 4 columns: 品別 (Category), 七年産額 (7-year production), 六年産額 (6-year production), 対比 (Comparison). Rows include items like 自動車タイヤ (Automobile tires), 洗濯石鹼 (Laundry soap), etc.

統制が保たれてゐる。

本社は云ふまでもなく、製造を司りその製品を各販賣會社に供給すると同時に、賣出、宣傳の企劃と實行、販賣會社以下の監視統制に當るものである。

販賣會社は、その地區に屬するスペリアルメンバー以下を統制して販賣の實行に當り、資生堂製品のみを販賣に専念する純然たる子會社で、近く創立される臺北、大通、奉天の三會社をも含めて全國に亘り、五十四會社があり、資生堂製品供給網の中心をなすものである。

スペリアルメンバーと云ふのは、販賣會社の統制下にあつて、一市又は一郡、或は數郡の配給を司る機關で、その數全國に約六百ある。

チエインストラー(連鎖店)並びにセルスマンパーは何れも小賣場關で、前者は全國に七千、後者は七萬店ある。セルスマンパーは資生堂の各種石鹼類、齒磨等の大衆向商品を小賣する店であり、資生堂各種化粧品、化粧雑貨、石鹼、齒磨等の全商品を販賣する店である。故に、チエインストラーはその契約に當つて定價販賣、轉賣禁止を堅く誓約し、その代りに本舖より資生堂化粧品代表販賣店としての種々なる保護を受け、仕入値段等も全く一定し、且つチエインストラーの濫設を避けてゐるために小賣店間の濫賣競争もなく常に本舖と連鎖を保つて整然たる統制が行れてゐる。

以上の組織によつても明かなる如く、資生堂連鎖店販賣組織の特色は、濫賣の弊を全く絶ち、全國到處同一値段で販賣され、小賣店は必ず一定の利益が認められるといふ處にある。その製品には全部番號が打つてあるので、假りにあるチエインで規約を犯し、轉賣などを行ひ、それが市場

資生堂連鎖店販賣組織

目的として結成せられたる柳生會は、都下の有力小賣店を網羅せるの團體にして、柳屋化粧品柳生會特製品を作り、柳生會員のみが販賣し得る仕組みとして無意味なる競争を避け、これによつて正價の確保につとめつゝあるものである。大正十四年七月末實施。

その組織は柳屋本店の外に、販賣店の團體なる柳生會があり、幹事は會員の互選により決定され各地區毎に選ばれたる會長の集まれる會長會が柳生會の總ての方針計畫を立案遂行してゆくものである。商品の配給は柳生會販賣部がこれに當り、現在では、一切卸店の手を借りず、本舖より會員たる小賣店に直接配給を行つてゐる。會員の資格は、柳生會の規約により絕對に濫賣をしないことを要件とするもので、新會員の入會は、幹事會がその店に近接する會員の同意を得た上で決定することになつてゐる。

本舖は毎月の賣上高、現金收入額を會に報告し、その五分を積立て、それを第一回の總會費にあつるの外、一切特賣品等はこれを行はない。現在柳生會特製品に定められたるもの十種。東京柳生會、神奈川無柳生會の二つあり東京柳生會の會員は現在五百八十餘名である。

レイト化粧品販賣制度

レイト化粧品本舖平尾登平商店ではその全製品を第一部製品並びにレイトサービス製品の二つに分ち、それぞれ異なる販賣制度をとつてゐる。この兩系統に屬するレイト製品は時々變更されることはあるが、昭和九年二月現在に於いて第一部製品に屬するもの四十九種、レイトサービス製品に屬するもの四十一種に分けられてゐる。

レイト化粧品第一部製品の取引制度としては、本舖より直接代理店の手を経て、卸店、販賣店に配給されるもので、本舖の建値を規準として販賣される。歩引は公表されたもの三分、その他、特賣により代理店により、景品並びにその他の歩率はそれらと異つてゐる。

レイトサービス製品の販賣に関しては、全國各地に、配給元を置き、この數二百五十軒、各配給元それぞれにサービスストアを契約し、全國に約一萬軒あり、サービス製品の販賣に關しては、定價の八割を以て確實に配給を行ひ殆ど正價を崩すことなくして一定の利益が守られることとなつてゐる。このサービス製品の制定は、濫賣によつてその利益の薄くなれる販賣店保護の意味より出たものである。サービス製品の外面には定價を明記し、同じ製品にても兩の意匠等を變更してゐる。

小問物

小問物界に於いても、その製品の配給が、製造業者、問屋、小販賣店の手を経て、消費者の手に入ることは、勿論化粧品と選ぶ處はない。

小問物製造に従事する店も、これを大別して二系統に分つことが出来る、その一は、例へば、小問物みのる會の會員諸氏の如きもので相當に大なる資本を以て、大量生産的に小問物類の製造に當るもので、自らは工場職人を持たず、原料を大量に仕入れて、これを各製造工場又は職人により向け、製品をまとめて、小問物問屋に販賣するもので、一種の仲買ひ的な營業とも見ることが出来る。この製造法によるものには、機械生産的なものが多い。

これに反して、細工的な精密なる製造技巧を要する小問物にありては、その製造家は專屬の職人を自店に置き、自ら原料を仕入れ、製造してこれを問屋に販賣するものである。

かく製造家の生産する小問物を一手に引うけて販賣する所謂小問物問屋は、日本橋横山町邊にある各卸業者を指すものであるが、以前には各問屋それぞれに自店に職人を置き製造をなしたものであつたが、それでは新着意匠を生かす小問物類に於いて、新鮮味を出すことが困難となり、商品のバラエティに乏しいこととなるので、現在ではいづれの問屋に於いても、自らは製造に關與せず専ら販賣に主力を注いでゐる。この問屋も二種に大別することが出来るが、一は店舗に常に豊富なる商品を揃へてをり、小賣店へ直接現金取引によつて販賣する店、他は地方の卸店へ販賣することを主とし、この種の問屋業者には、商品のストックを持たず、單に見本程度の商品を持つて、地方各地をまわり、注文をとる。そしてこれを製造業者より仕入れて送るといふやうな方法によりつゝあるものが可成り多い。いづれにしても小問物類は流行の變遷の比較的早いものであるから、一般小賣店に於いても、大量仕入れを行ふこと少く、速かなる調轉を目指して、現金仕入れが多く行はれてゐるので、切りの如き問題も、化粧品に比して遙かに一般的に短かいと云へやう。

鉛白の販賣・一年延期

昭和九年十二月末日を以て販賣禁止となるべき含鉛白粉に關しては豫て業者の死活問題なりとして關係業者の熾烈な延期運動が續行されつゝあつたが、當局も遂ひに業者の衷情を察し昭和九年十二月八日附内務省令第三十五號を以て左記の如く公布、即日實施された。

内務省第三十五號 昭和九年十二月三十一日「昭和十年十二月三十一日」改正公布ノ日ヨリ之レヲ施行ス 内務大臣 後藤 文 夫 第十二條第二項中「昭和九年十二月三十一日」ヲ「昭和十年十二月三十一日」ニ改ム 第十四條第一項中「昭和九年十二月三十一日」ヲ「昭和十年十二月三十一日」ニ改ム 第十四條第二項中「昭和九年十二月三十一日」ヲ「昭和十年十二月三十一日」ニ改ム 第十四條第三項中「昭和九年十二月三十一日」ヲ「昭和十年十二月三十一日」ニ改ム 第十四條第四項中「昭和九年十二月三十一日」ヲ「昭和十年十二月三十一日」ニ改ム

販賣線展望

【昭和八年三月刊・東京市商業調査】

種別	取 賣 金 額			仕入金額	買 入 金 額	営業費	損益金額	商品高平均手持	従業員数	借入金額	
	卸	小	買							總 額	
小間物	2,884	841	472	369	1,862	1,490	372	181	78	103	31,853,509
洋品類	155	105	5	55	44	36	8	6	2	4	4,339,966
洋品類	2,729	736	422	314	1,818	1,454	364	175	76	99	27,513,543
化粧品類	3,013	551	362	189	2,001	1,823	178	461	302	159	93,565,126
化粧品類	264	167	92	75	26	15	11	71	32	33	64,940,437
化粧品類	2,749	384	270	114	1,975	1,808	167	390	270	120	28,624,689

生産販賣

帝都市場の一年

各本舗・市場爲正の爲めに起つ

帝都に於ける販賣市場の混亂は、昭和九年下半年に於いて殊にその甚しきを加へた。これは畢竟、統制撤廢の爲め競争の激化したにもよるけれども、一方にはまた卸商組合の解消後、卸業者の團結が手薄となつたのに乘じて噴込み來れる小賣業者の仕入團體が跳躍し出したにもよる現象である。わけても有名化粧品類の濫賣が、目立つてその著しさを加へて來たのに鑑み、先づ自家製品の安賣を防止するとともに販賣市場の爲めに、率先して立つたのはライオン齒磨本舗であつた。

ライオン齒磨本舗の帝都に於ける販賣網としてはライオン會がある。即ち本舗では八月二十八日、その理事を招集して新方針を披露した。上、正統價格保護に就いての協力を求め、その完全なる共鳴によりて左の如き決議及び宣言書を作成、全理事の連署を以つて全會員の注意を喚起するとともに、今後は絶対に値崩しを許さず、萬一にも市場を紊すものあらば、断然送荷を停止すべしといふ、強硬な決意を明らかにするに至つた。

拜啓、陳者殘暑の御賣店益々御隆昌奉賀上候。却説ライオン各製品に就いては、毎々格別の御愛顧を蒙り、賣行日に増し向上の一路を辿り居候段製造本舗は申すに及ばず、ライオン會としても御同慶の至りに奉存候。

然る處近時販賣界の趨勢を見るに、敢てライオン製品とは限らず有名化粧品一般のことは候へども、大多數の方々は深き業界愛の發露と申す可きか、大體穩健なる態度を以つて商業常識上、相當なる價格を保護維持被成下居候にも拘らず、時には現金取引の美名の下に、不可解にも如何なる採算を以てしても立行く管なき亂暴なる價格にて販賣せられ居候ものも有之、その爲め一般正業者の蒙る損害は測り知る可からざるもの有之、遂には市場を大混亂に陥れ、收拾す可からざる事態を惹起するの虞れ有之候。就いては去る二十八日開催のライオン會理事會に於いて慎重審議の結果、左記大方針を決定し今後一致協力して價格保護に邁進することと商場一致、決議致候間、本舗並びに理事者の微衷御諒察の上、新方針の徹底方につき一層の御協力被成下度切望の至りに不堪候、敬具。

ライオン各種製品を正統なる價格による採算と合せざるが如き價格にて販賣するものありたる時は、東京ライオン會規約第八條に基づき理事會の決議により、送荷を停止することある可し。以上。

1011

ライオン本舗の職正運動に次いで、市場爲正の爲に乘出したのは左の十七本舗であつた。

- 御園化粧品本舗
- みづゝ油本舗
- メヌマボマード本舗
- ラブミー化粧品本舗
- 花玉石本舗
- クラブ化粧品本舗
- ウテナ化粧品本舗
- ミツワ石本舗
- ピタオール本舗
- ライオン齒磨本舗
- オリヂナル本舗
- ヘチマコロン本舗
- 資生堂化粧品本舗
- マスター化粧品本舗
- リート化粧品本舗
- 美顔化粧品本舗
- 仁丹 齒磨本舗

此の十七本舗の結束は、もと／＼東京化粧品卸商研究會が、市場爲正の必要を痛感して起ち、會つて、商業組合の統制に参加された十七本舗に呼びかけ、その眞意に聽いて業界の現状打破を策す可く九月二十五日、組合事務所懇談會を開いてその重大決意を披露した。本舗側もまた販賣市場の爲正に關しては、業界の正しき進歩の上からも、全然同感の旨を述べ、完全に相互の意見の一致を見るに至つた。是に於いてか本舗側としては卸商側の主張に對しては、能ふ限りの援

東京市の業界品

産業別及 卸商組織別	業 種 別 卸 賣 所 数										資本金額
	總数	卸			小			買			
		種数	卸	小	買	種数	卸	小	買		
小間物	2,884	841	472	369	1,862	1,490	372	181	78	103	31,853,509
洋品類	155	105	5	55	44	36	8	6	2	4	4,339,966
洋品類	2,729	736	422	314	1,818	1,454	364	175	76	99	27,513,543
化粧品類	3,013	551	362	189	2,001	1,823	178	461	302	159	93,565,126
化粧品類	264	167	92	75	26	15	11	71	32	33	64,940,437
化粧品類	2,749	384	270	114	1,975	1,808	167	390	270	120	28,624,689

生産販賣

助を惜まざるは勿論なるも、市場の爲正はたゞ單に卸商側の運動にのみ委す可きに非ず、本舗側としてもまた独自の立場から、之れに善處するの必要ありとの見地から、先づ全本舗の結束を固め、苟くも市場の爲正に關する限りは、萬難を排して努力す可きを約すると同時に、左の宣言を決議して強硬なるその決意を業界に發表するに至つた。

宣 言
下名等は業界現下の情況に鑑み、現今各種製品の正統なる價格による採算に合せざるが如き價格にて販賣するものありたる時は、相互の利益擁護の爲め、一致して警告を發し尙ほ改めざる時は、送荷停止、その他適宜の處置を講ず可し。右宣言す。

商業組合解消後の帝都販賣界

東京化粧品卸商組合の解消後に於ける帝都販賣界の動向に、多大の關心を有せる業界人の、ひとしく考へてゐた處の問題は、一その後に来るものは何であるかにあつた。殊に怖れられたのは、統制撤廢の鐵則から解放されたその反動として、卸業界は或ひは非常な混亂に陥るのではないかと云ふ、その一事であつた。六月四日、遂ひに最後の日が來た。統制の即時中止とともに組合の解散決議にまでも突き進むの外なきまでに、情勢は

緊迫して居る。統制撤廢後僅かに十ヶ月を出でずして、早くも此の悲しむ可き運命に直面しようとは、殆ど想像されなかつた處ではあり、事ここに至るまでには何等かの補強工作が施されなかつたものかとの説さへ起つたのは、無理もない處であるが、切迫した業界の實情は、生優しい手段方法を以つてしては、到底匡救の餘地はあり得なかつたのである。かくて總會は、一路、解散へと進みはしたものの、人々の胸には明日からの業界に對する不安が、錯のやうに重もくるしく感ぜられたのであつた。

解消の波紋は全業界をその渦中に捲入れた。その當時幾多のデマは飛び、また實際に何等かの暗躍を試みやうとしたものも、幾人かはあつたらしい。然しその當座の業界は、宛がら深淵の静けさにも似た底氣味の悪い沈黙を保ち、何等表面的に現はれたといふものはなかつた。それはその輕率から來る破綻を怖れて、暫らく待機の姿勢にあると言つたやうな形であり、烈しい競争激化の徴候は、何處にも見られなかつた。

一方、本舗側では個人特賣のトップを切つたものにレートがあり、六月中、七組の特賣を一齐に發表して積極政策への一大轉向に、鮮やかな意氣を示したのをはじめ、クラブが特定品販賣會社を東京に創立して大販賣網の確立に乗り出した如きは、正に業界の刮目に値する處であつた。尤もクラブの計畫は、可成り以前か

ら秘められてあつた腹案らしいが、統制解消とともに、その實現に絶好の機會を見つけて市場擴大運動に、その先手を打つたものであるといふ測測が瀕りに行はれた。

かくの如く、一時その露地に迷ひつゝあつた業界の動向も、今や漸く明白になりかけるに隨ひ、漸く靜觀の山を下つて積極への一路に立つことが、業界の情勢に適應する最善の方策と考へらるゝに至つた。だが然し販賣界としては、必らずしも豫想されたやうな白刃亂下には陥らなかつたと思はれる。當時當業者中には「動くものは動け、その動くうちに弱小者は將棋倒しにばた／＼と倒れ、強いののみが残るとすれば、寧ろこれ業界の淨化であり、堅實化である」といふ説をなした人もあつた程である。兎に角、此の苦難は獨り間屋業者のみの問題ではなくして、本舗としてもその對策に慘澹たる苦心を拂つた處であつた。隨つて堅實を尊び、信用を重しとする主力間屋や本舗は、深く相成めて動かさず、つとめてその自制を固くした。それによつて業界の波瀾も、漸く平靜に歸するかと思はれたるにも拘らず、事實は全くこれに反して策動、常に絶えず、遂ひには商人としては常軌を以て律することの出来ない無採算的な濫賣を爲すものが、頻りに跳躍し出した爲め、市場は漸次その安定を失ひ、本舗、間屋をして焦心苦慮、これが對策に日も難れ足らざるの感あらしめた。

1011

昭和九年 販賣制度改正

昭和九年に於ける販賣界に於いてその取引制度の改正を行つたものには、次の諸本舗がある。先づ御園本舗伊東胡蝶園では、八年十二月一日より特約店取引制度の改正を行ひ、従来、一二代理店に限られてゐたる特約店を一齊二十餘店に増加せるの外、久保田販賣部長の辭任に伴ひ、その後を襲へる北村新販賣部長の手により、従来の販賣店政策に多少の新味を加へるに至つた。

レイト本舗は、この年までの販賣政策を一變して、著しく積極的方針に進み、切の短縮に努め、業界の悪弊を打破して進まむとする生々潑潑たる活躍ぶりを示した。美顔本舗桃谷順天館は、七月一日より明色化粧品並びに美顔化粧品の取引制度改正を行ひ、新たに打券「ハッピーカード」及び細券「サービスクード」の新提供を行ひ、新たな販賣店優待の方法を設定した。

ライオン會規約改正

ライオン齒磨、ライオン齒刷子の卸店で毎年一千圓以上の本舗と直接取引を有する東京化粧品卸商業組合員を以て組織する東京ライオン會では、その規約の一部改訂を行ひ、一月十日より實施。規約改正の要點は、商業組合の結成により、獨化粧品卸商業組合を商業組合と改めたること、會の存続期間を更に三年

延長、従つて理事の任期も延長したることの三點である。一月十日

ライオンの特利券

ライオン齒磨本舗小林商店では、従来特賣大券並びに賣上増進券の二種の景品券を發行し來つたが、この規定は聊か複雑に互り、取扱上煩瑣なる虞れもあるのを、これを廢止したる上、新たに一層内容の充實した「ライオン特利券」の規定を新設、これを業界に發表した。二月十日

その規定は、ライオン齒磨、齒刷子、昭和九年度自昭和八年十一月二十一日至昭和九年十一月二十日買上高金五百圓毎に一枚を贈呈し、抽籤により、特利券一萬六千本に對し、一等一百圓一百本、二等五十圓二百本、三等二十圓三百本、等外七圓幾全部以上の景品を進呈する新制度である。

名古屋の價格統制

名古屋化粧品卸商業組合では、その統制規定を昭和九年一月三十日を以て認可、三月一日より商業組合法による販賣統制を實施した。三月一日

クラブ全國大會

クラブ化粧品全國中堅代理店會議は、四月二十一、二の兩日、大阪中の島中央公會堂にその第四回の協議大會を開いた。會するもの五百、クラブ本舗が現下の經濟的情勢に鑑み、眞に業界の實情に即せる新販賣方針の確立を目指して、久しくその研究を續けてゐた。「クラブ式新陽級販賣系統」に關する諸制度の最後の完成への會議であるといふ點に於いて

製造、販賣界よりは多大の興味をもたれてゐたものであつた。試みに第一日及び第二日に互つて審議せられた議題を擧ぐれば

- 一、陽級クラブ商品配給制度に關する件
- 二、支拂制度に關する件
- 三、特賣制度に關する件
- 四、即引割戻制度に關する件
- 五、特別感謝券制度に關する件
- 六、運賃制度に關する件
- 七、値段保護制度に關する件
- 八、正しき利益の累加方法を優待制度とその資格喪失に關する件
- 九、太平洋會共榮クラブ會の機能發揮に關する件
- 一〇、値段の徹底的實施に伴ふ本舗、代理店協力に關する件
- 一一、特別協議事項
- 一二、同

以上十二項。今一々その内容を検討するの邊を有しないけれども、總ては是れ製造、販賣、需要三者の相互利益を確保助長す可しといふ信念の下に對議せられたものだけに、業界の共存共榮に資せむとする製造、販賣兩者協力の精神は、左の宣言によつても明白に窺はれるであらう。

宣言

茲に第四回クラブ化粧品中堅代理店協議大會を開きクラブ式陽級販賣系統を根幹とし商品配給制度、責任販賣及び責任支拂制度、特賣制度、即引割戻及び特別感謝券制度、運賃制度、値段保護及び開帳表規定をはじめ、正業繁榮を基調とせる正しき利益累加方法の優待諸制度に關し慎重協議を遂げ、更ら

に特定品専門配給機關の設置並びに大區域一手販賣會社の設立案等、孰れも満場一致可決確定するに至れり。仍てわれ等全國中堅代理店一同は、本大會に於ける決議の趣旨を體しクラブ式新陽級販賣系統を遵守し製販兩者協力一致、益々純備なる結束の下に、消費大衆の便益に資するとともに、優良國産化粧品の推廣擴賣に渾身の努力を捧げ以て業者相互の繁榮と國家産業の隆昌に貢獻せむことを期す。右宣言す。

昭和九年四月二十二日

尙、その新制度は七月一日より一齊に實施された。

ライオン制度改正

ライオン齒磨本舗小林商店では、ライオン齒磨の値段改正を行ふと同時に、販賣制度の一部改正を發表した。六月一日

クラブ特定品會社

クラブ本舗中山太陽堂では、陽級及び堂級製品の外に、大東京共榮クラブ會の特選品たる特定品を製造し、大東京共榮クラブ會員たる特定小賣店に限り、チェーンストア式に販賣せしめることを目的として、クラブ特定品東京販賣株式會社を設立した。この會社はクラブ本舗幹部並びに有力卸店三十名を株主とするもので、一、株式會社、全額拂込済、資本金五萬圓の株式會社である。二月二十三日創立總會開催。

クラブ本舗中山太陽堂では、クラブ特定品販賣會社を設立して、販賣界に一石を投じた。アツキ洗粉本舗藤村一誠堂でもその取引建値の改正を十一月發表する等、販賣界も大小の問題相次ぎ頗る多事であつた。

油外貿易

油外業界

業界日本の海外進出

世界の市場を行く商品日本の汎濫は、正しく是れ産業日本の輝き姿であり、力である。力の満つる處、外に溢るゝは自然の勢ひであつて見れば、近代日本は有つその産業威力が、奔流の勢ひを以て内から外に向ふのは理の當然である。況や爲替安の經濟現象は、その勢ひを導くに最も明瞭なる潮流を興へたのである。何れから見ても、その條件は既に開然する處がない。然るに是れに恐怖を抱ける世界の各國は、宛がら相競ぶが如くその關稅障壁を高め、市場の扉を固うして日本商品の流入を防遏せむとして焦心慘憺たるの風にあるは、自から守るが爲とは言ひながら、有無相通するの經濟原則を無視せる、暴戾な、而して稚拙な方法とよりしか言へないのである。然も日本商品はそれ等の障礙をも意とせず、幾多の難關を飛越え、制越えてその躍進を續け、向ふ可き處には向ひ、行く可き處には行き盡して居る。洵や良品廉價は商人の生命であり商品販賣市場に於ける動かし難き鐵則であることは、此の事實の前に何等の説明を必要としなうであらう

それにつけても、われ等の考へるのは、業界品の販路を擴大してその市場を海外に求め、業界の局面一轉大いに世界に向つて業界日本の勢威を示すの機會は、實に今を措いて再び來る可しと思はれないと言ふ一事である。絶好のチャンス、容易に掴み難いその幸運が寸前にまで近づいて居る今日、何等の躊躇する處もなく、業界人の立上る可き秋は、正に此時を外にしてはないと思はれる。勿論在來と雖も、業界品の海外輸出は、絶無であつたわけではない。然も近年に於いては當然跳躍の跡が歴々として認められるけれども、その貿易統計に現はれた處のものは、必ずしも驚異に値ひする程のものではなくして昭和七年度に於ける輸出は一七、二〇、四八三圓に過ぎざるは、わが業界の

生産力を以てして誇る可き數字ではあるまい。然るに驟つて現時に於ける内地市場の狀勢を見るに、勿論内外に於ける經濟諸相の深刻な影響もあるにはあるけれども、業界の不振は殆どその極に達せるかの如く、是れに伴ふ生産及び取引機構の缺陷とも、市場の統制を失ひ、動もすれば混亂誘發の徵さへある。業界の爲めに深憂を植ゆるもの、恐らく此の外に出づるものはない。

是に於いてか今や業界を擧げての最大關心事は、一に業界の難局打開の道、何れにありやの問題に外ならないのである。われ等をして言はしむれば、ただ一語曰く「叩け上開かれむ」と。而して道は近きにあり、是れを求めてその新市場を海外に獲得するに於いては、業界は正に一石二鳥の効果を擧げ得るに間違ひはないのである。海外市場の開拓は固より容易の業ではあるまい。況や各國とも日本品の輸出に日も難れ足らざるの時、其處に多くの苦心を要するであらうけれども、苦心は一時、市場の生命は永遠である。故に多少の犠牲は覺悟の前として勇敢なるその進軍を續けるに於いて、新販路の開かるゝと、もに自から内地市場の緩和が行はれるのであるから、無用の競争も當然その終熄を見、業界は初めて共倒れの運命から脱し得るに至るであらうことと思はれる。殊にその心強しとする處は、進歩せるその製造技術に於いて、又その優越せる生産機能に於いて大量安價の良品を得ることに難しとしない點にあるから、業界品をして各國の市場に進出せしめ、その信用を確保することも、さまで難事ではあるまいと思はれる。百の議論よりも一の實行業界の共存共榮の道は此處にあり、昭和十年に於ける業界の新課題として「海外躍進」の一大計畫を提案する所以である。

歐米の業界大観

歐米の化粧品界

恐らくシツタな點に於いて、斷然全商品中で的女王であらう處の化粧品に就いて、暫らく歐米諸國に於けるその業界瞥見を試みて見よう。

1. 佛蘭西

香水乃至化粧品と言へば、直ちにフランスを聯想する程、然かく化粧品界に於けるフランスは古き傳統とまた經驗に輝いてゐる。就中、香水の場合に於いては、何としてもフランスに第一指を屈せねばなるまい。品質の優良、容器のスマートさ、等々に於いて、斷じて他國品の追隨を許さぬものあることを認識せねばならない。

かくてフランスの斯界、寔に多士儔々の壯觀を呈しつゝあるのであるが、中にもウヰガン、Houbigant、ロタイ(Coty)、タラン(Guerlain)、カロン(Caron)、ローゼ・ド・エ・ガ、Roger et Gallet、ミヨ Millot、ドルセイ D'Orsay 等の諸社は、先づその代表的なものでとりわけコティ、ウヰガン、タラン等は今や三尺の童子なほよくそれを知ると云つた風にポピュラーな存在となつて了つた。又、最近は大分巴里の衣裳店で香水界に進出するものが多くなり、ウオルト Worth、ランブレン Lanvin、ランテリック Lenthetic、モリノ Molynaux 等特に有名である。その他、ジャン・バトウ Jean Patou、シャネル Chanel、リヌシエン・ルロン Lucien Lelong 等も等しく衣裳店から斯界に進出して來つた諸社である。

以上諸社の代表的香水を挙げてみるならば、先づコティではロリガン L'Origan、パリー Paris、エメロ

エメラルド Emerald 等、同社獨特の繊細な瓶型と温雅な香風とで全く日本人向きとして多くの愛好者を有ち、又最近には日本を幻想したところのスマ Shama や、東洋趣味横溢のラ・フージュレ・オウ・クレビエキユル La Fougere au crepuscule 等の新香水も出現した。それからウヰガンでは、古くから著名なケルク・フラール Quilques Fleurs、ロイヤル・シクラメン Royal Cyclamen 等、妖美甘麗な香風を以て最も愛好され、また最近オー・マタン Au Matin、エチエール Etiele、フエステイヴァル Festival 等を發賣して好評を博してゐる。タランは、いともクラシツクな意匠と香風とで又古くから知られ、ミッコ Micoonko (お、日本娘の名!)、シヤルワー Shalmar、ローズ Rose、ルー・デ・ラ・ペー Rue de la Paix 等甚だ有名で、最近には豪華リユウ Liu が發賣された。

その他、ミヨでは、多分に異國的な濃麗さを有つたレブ・ド・シエム Crème de Chine が代表的なもので、ランヴァンでは新らしい輸入ながらスキャンダル Scandal が最も有名で、他にマイ・シン My Sin、アルベール Arlage 等がある。キャロンには、世界的有名品ニオイ・ド・ノエル Nuit de Noël を始め黒水仙 Nourisse noir 及び白水仙 Nourisse blanc、ネイメ・ク・モア N'aimez que moi 等の飾々陳べて、又變り香タバ・ボン Tabac Blond があることも特筆されよう。ジャン・バトウは、最近わが國に紹介されたものであるが、香水のカクテル、即ちそれによつて個性的香風をジクリエートするといふ現今の流行に迎へられて頗る好評を博し、特にカクテル Cocktail は素晴らしい人気がある。その他、ブルー・バトウ Bleu Patou、ルウジエ、バトウ Rouge Patou、ル・シエム Le Siam、モーパン・モンブレム Moment Supreme、ランヴィタシオン L'Invitation 等がある。又、特色ある會社にリユシアン・ルロンがある。元來が衣裳創案家である同社社は、從來試みられなかつた ABC JLN 等の諸

海外主要商工會議所一覽

北米合衆國

- Chamber of Commerce of the U. S. A.,
- Mills Bldg., Washington, D. C., U. S. A.
- Washington Chamber of Commerce,
- 318 Homer Bldg., Washington D. C., U. S. A.
- Chamber of Commerce of the State of New York,
- 65 Liberty Street, New York City, U. S. A.
- The Merchants Association of New York,
- 233 Broadway, New York City, U. S. A.
- Chamber of Commerce,
- Dor. 12th & Walnut St., Philadelphia, Pa., U. S. A.
- Boston Chamber of Commerce,
- 80 Federal Street, Boston, Mass., U. S. A.
- The Chicago Association of Commerce,
- 10 La Salle Street, Chicago, Ill., U. S. A.
- St. Louis Chamber of Commerce,
- St. Louis, Mo., Missouri, U. S. A.
- New Orleans Association of Commerce,
- New Orleans, La., U. S. A.
- Seattle Chamber of Commerce,
- Seattle, Wash., U. S. A.
- San Francisco Chamber of Commerce,
- Merchants Exchange Bldg., San Francisco, Calif., U. S. A.
- Los Angeles Chamber of Commerce,
- Los Angeles, Calif., U. S. A.
- Philadelphia Commercial Museum,
- 34th Street below Spruce, Philadelphia, Pa., U. S. A.
- カナダ

記號を自家製品に附して發賣、その香水に最もふさわしき服裝の明快な説明を與へてゐる。即ち、A はアウト・ドアの香水でトキード服によく、C はシホシ地の軽い衣服用でイントマシイの香水、J はジャヤミン系統で強烈にアツビイルする...と云つた具合に。

なほ諸社の有名品を列記すれば、モリノのニエムロ・サンク No.5 ヤフエート Péro、シャネルのガルドニア Gardenia、ウオルトのダン・ラ・ニエム Dams le Nuit、ウエル・ラ・ジュニール Vers la Jour、サン・アディウ Sans Adieu、ランテリックのイラジヤ Maharajah、ジヤルダン・デタ Jardin de Ete 等、却々に有名である。

その他、フランスにはなほブルジョア Bouffant、チエラミイ Cherramy、グレンウイユ Grenoville、ワイエル Weil (これは元毛皮店で、製品には一切毛皮の名を冠してゐる。例へば Chinchilla-Royal、Zibeline、Hermine など(大調子に) ルモン Lubin、モノー Prinand、タルディ Graddy、ガブラ Gabilla、ビツエ Perver、イサベイ Isabeau、オクオオ、フランス・マテヤバリ Prince Matchabelli、フレール Fresse 等の有力者が雲の如くあり、寔に同國における化粧品界は世界冠絶の豪華を極めつゝある。で、香水以外の種々な化粧品にしても、わが國には少からず輸入されてゐるものである。

2. 獨英米

以上、餘りに多くの紙白をフランスの分にとり過ぎて了つた。が、少くも化粧品を語る以上、それは不可避の成行であらう。で、續いて獨英米の項に移る。

先づドイツに於ける有名社としては、フェルチナン・ド・ミュンヒヒンス Fertl Mulhens (通稱 4711)、シエルク Scherck、ウルフ Wulff、ガスタウ・ローゼ Gustav Lohse、ゲオルグ・ドラウ George Dralle、ハイエルス・ドルフ Helers Dirl、ムーゾン Mouson、リ

シゲル・ウエルケ Ingner Werke 等がある。こゝに就いては既に多くを述べたまでもなくオーデコロンを以て餘りに有名であり、シエルクはフランスに一籌を論ずるドイツ香水界に獨り萬丈の氣を吐く概があつて、却々優秀な製品を世に送りつゝある。

ウルフは、可成り古くからわが國にも輸入されてゐるが、カンタマゼリーといふ整美料や、カンタマ及びミルビルス石鹸等は能く知られてゐる。又、ガスタウ・ローゼの石鹸類は、以前はよく輸入されてゐたものだが、今は餘り市中にその姿を見ない。ゲオルグ・ドラレは、またドイツ有数の大社であつて、香水を始め種々の製品があるが、現在わが國に在つては口紅、ホイード、チツク、オーデコロン、ローション等が廣く愛用され、特にビルケンワッサーは頭髮養毛劑として著名である。

バイエルス・ドルフは、ニピアなる名稱の下に、そのクリームは正に世界的有名品である。又、ニピア煉白粉はわが花柳界方面に非常な愛用者を有ち、品質、芳香ともに優秀な製品であり、そのほかペレコ齒磨も有名である。ムーゾンは、クリーム等以前は大いに輸入されたものだったが、現在では餘り輸入されてゐない。それから、リンデル・ウエルケは、オドルと稱する水齒磨、健齒磨等愛好者を有つてゐる。

次に、イギリスに於ける化粧品界は矢張りその國民性が製品の上にも反映して一般に進歩的色彩が少いやうに感じられるが、それはそれ、アトキンソン Atkinson、ヤードレー Yardley 等は著名なものである。前社に在つては香水、後社に在つてはボマードが、最も有名である。

その他、エラスミツク Erasmie 及びギブス Gibbs の兩社は齒磨で有名であり、モーニー Morry は水白粉、カルヴァート Calvert はカーボリツク齒磨の製造社として名を成してゐる。又、ピアース Peare は石鹸製造の古き歴史を有つ世界的著名な會社である。なほ

- Canadian Chamber of Commerce,
- Montreal, Canada.
- Canadian Manufacturers' Association,
- Toronto, Canada.
- Board of Trade,
- Vancouver, Canada.
- ニウ・カマートン
- Chamber of Commerce,
- 17 Swanson St., Auckland, New Zealand.
- フィリピン
- Chamber of Commerce of the Philippine Islands,
- 12 Pasola St., Manila, P. I.
- Manila Chamber of Commerce,
- P. O. Box 939, 26 Plaza Cervantes, Manila, P. I.
- Honolulu Chamber of Commerce,
- Hawaii, Honolulu.
- メキシコ
- Camara de Comercio, Industria e Navigation de de la Isla de Cuba,
- Havana, Cuba.
- メキシコ
- Confederation de Camaras Industriales de Los Estados Unidos Mexicanos,
- Apartado, 189, Mexico City, Mexico.
- アルゼンチン
- Bolsa de Comercio de Buenos Aires,
- Buenos Aires, Argentina.
- ペルー
- Camara de Comercio de Lima,
- Lima, Peru.
- チリ

石鹼と書いた序に、一寸つけ加へて置くが、スペイン、ミルヒア Myringia 社の製品では、矢張り石鹼が最も有名で、それは時折わが國にも輸入されて好評を勝ち得てゐる。

アメリカには、香水よりも香水以外の化粧品で有名有力な会社が多数ある。特にクリームは米國品が冠絶するといふ定評がある位、兎も角フランスが「香水の國」であるとしたら、こゝアメリカは「化粧品の國」である。で、アメリカ婦人の化粧品使用高は年額二百十五億餘弗に上り、その廣告料のみでも十億弗を超えるものと見られ、そしてクリーム、白粉、浴用鹽、ローション、紅、齒磨等の化粧品輸出高は、最近年額約千三百萬弗に達するといふのだから、正に素晴らしいものがあると言はう。

その主要各社について概言すれば、先づリチャード・アドナツト Richard Hudnut は、アメリカの高級化粧品製造会社として知られ、紐育市に高樓實に入階建の大工場を有し、眞に潑刺たる營業振を示してゐるがわが國にもスリー・フラワー、マーベラス、デュービーD等の名稱を冠するクリーム、その他の製品が多数輸入されてゐる。又、ミツチエル Michel の口紅は非常に愛好者を有つてをり、トレジャー Trejar はロムバクト、クリーム等で頗る有名である。それからポンビアン Pompeian はクリームに名高く、先づ米國物として一番早くわが國にも一般的に知られてゐる。その他、ウキリアム Williams 及びタルカム・ソーン Talcum Buff 二社のタルク、コルゲート Colgate の石鹼、ボンズ Pond's のクリーム、ペンメント Penicent の齒磨、バーバゾール Barbasol のシェービング、クリーム、ポター・ドラッグ Potter Drug の石鹼等、それ／＼に有名であり、更にヴィルビス Vivilbis の香水吹、コーケン Koken の草紙、フェルチナンド・ホボキンスの水白粉等、また相當古くから知ら

れてゐる。

世界の化粧品界

フランス

フランスは、南部温暖な氣候に恵まれる關係上、天然香料、殊に高價なローズ、ジャスミン、ダライオリット、チヌヘローズ、レセダ等の花精香料を多く生産し、合成香料に在つては、英獨に一籌を輸するものがあるが、天然香料及び調合香料に於いては獨特の技能を有してゐる。従つて、これらを使用した化粧品も世界の最高基準に立つわけであるが、學術方面にては主として精油成分その他天然香料の研究が多いのである。で、例へばイオソンの如き天然香料を加工したものの、クマリン、ワニリン、その他幾多の高級アルデヒドの如き合成香料をも、多量に産出するのである。

次に、フランスの断界主要社を挙げるならば、先づ南佛デラスに於ける Bruno Court S. A.、Compagnie Africaine Des Plantes A Parfum, P. Robertet & Co. Antoine Chiris, Bertrand Freres, Jautier Fils, Roure-Bertrand Fils & Justine Dupont, J. Meno & Boyevan 等は、何れも天然香料の製造社であり、その他、トリ等に於ける Des Collonges Freres S. A., La Lavande Francaise, L'opold Lasseron, Societe de Usines Chimiques Rhone-Poulenc, Arbert Verley, Jean-Marie Vial, Fabriques de L'aire の諸社は、多く人造香料を製造してゐる。

ドイツ

ドイツに於ける天然香料は全部熱帯地方から輸入してゐるが、有機化學の王者を以て任するドイツの特徴は、當然合成香料に在る。で今日、他國の追従を許さぬものに合成ワニリン並びに合成樟腦がある。前者は

アメリカ

アメリカには、概して香料の如きフアイン・ケミカル工業は發達してゐない。爲めに、大部分の香料は歐洲から輸入してゐる状態に、只、天然香料として薄荷、柑橘油、サツサfras油、多線油等の生産があるが、特に顯著なものとしてはない。また、學術方面も比較的貧弱であると謂へる。

ニューヨークに於ける Dodge & Oleott Co. Felton Chemical Co. Inc. Megnus, Marbee & Reynard, Ide. 及びシガンに於ける A. M. Toledo Co. 等、先づ主要製造社であらう。

イタリー

イタリーは、レモン油、オレンジ油、ベルガモット油、ネロリ油等柑橘油の世界的供給國で、學術方面にもこれらの柑橘油を取扱つたものが多う。

メジナに於ける Baller Essential Oils Ltd., Fratelli De Paquale & Co., Citrus Oils Co., W. Sanderson & Sons 及びミラン並びに、ブルベモに於ける Compagnia Italiana Fabbriche Acid Citrico 等が主要社である。

スウェーデン

スウェーデンは、小國ながら知らるゝ化學工業國である。現に一九三三年初頭に於いて、同國の化學工業株式會社数は三五九で、全公稱資本は二二一、六〇〇、〇〇〇(佛國)フランで、その他には七つの人稱會社があり、その資本額は二七、〇〇〇、〇〇〇フランに達した。

スウェーデンに於ける、ウメネン U. Usines De L'Allo-nalon, S. A., L. Girandan & Co. — J. G. 本社社トナンス、ペリに在る — M. Nraf & Co., Ltd. 等の地 U. Chemical Works Flora, Th. Muhlethaler,

- Chamber of Commerce of Chile, Santiago, Chile.
- ウチネキヒ
- Camara de Comercio de Caracas, Caracas, Venezuela.
- ブラジリア
- Associacao Commercial do Rio de Janeiro, Palacio de Commercio, Rio de Janeiro, Brasil.
- エクアドル
- Camara de Comercio y Agricultura, Guayaquil, Ecuador.
- 中華民國
- Shanghai General Chamber of Commerce, Shanghai, China.
- Hongkong General Chamber of Commerce, Hongkong China.
- Association of Chambers of Commerce in China & Hongkong.
- No. 1, Bund, Shanghai, China.
- タイ
- Bangkok Board of Commercial Development of the Dept. of Commerce.
- 印度
- Indian Merchants' Chamber, 50 Marwarri Bazar, Bombay, India.
- Associated Chamber of Commerce of India and Ceylon, Calcutta, India.
- Mysore Chamber of Commerce, Bangalore, India.
- The Baroda Mill Owners' Association, Gadhali Pole, Baroda, India.
- Ceylon Chamber of Commerce, Colombo, Ceylon, India.

東印度

- Singapore Chamber of Commerce, Chartered Bank Chambers, Singapore, East Indies.
- Penang Chamber of Commerce, Downing Street, Penang, East Indies.
- 印度支那
- Chambre de Commerce de Saigon, Saigon, French Indo-China.
- Chambre de Commerce de Hanoi, Hanoi, French Indo-China.
- Chambre de Commerce de Haiphong, Haiphong, Indo-China.
- 蘭領印度
- Commercial Association of Sourabaya, Sourabaya, Java.
- Chamber of Commerce and Industry, Batavia, Java.
- Medan Chamber of Commerce, Medan, Sumatra.
- 亞弗利加
- Capetown Chamber of Commerce, Inc., Capetown, South Africa.
- Chambre de Commerce de Dakar, Dakar Senegal, Africa.
- エチオピア
- Egyptian Chamber of Commerce, Alexandria, Egypt.
- Chamber of Commerce of Cairo, 4 Rue Cohari, Cairo, Egypt.
- 南洋
- Sydney Chamber of Commerce, Sydney, N. S. W., Australia.
- Melbourne Chamber of Commerce,

新分類種業社業工學化			
業種	社数	資本額	員位百圓
重化学工業	二二	二七、〇	
電氣化学工業	二二	六一、五	
染料工業	九二	六七、一	
及工業製品	四六	一一、七	
石鹼工業	一四六	二四、九	
化学工業原料	一四	四、〇	
及工業燃料	二	五、五	
爆発物、可燃物	二	六、六	
セルロイド	一	三、二六	
その他	一六		

S. A. Volkart Brothers 等があつて、ムスタ初め多量の合成香料を生産し、わが國への輸出も少くない。

中華民國

支那は、古くから有数の香料産地として知られてゐる。靈麝香、麝香の如き特異の動物性芳香原料に於いては、現在でもなほ世界有数の生産地である。元來、香といふものに對しては頗る趣味を有つ國民であるだけ、その莫大な量を消費する。單に祝典に際して香水をたき、香脂を燻るといふに留らず、家庭にも遊びにも、さては料理にまでも香を入れるのである。特にこの民族の珍重するのは燻香の類であつて、龍涎香、麝香、阿片に混じた大麻の花、又は一層強烈な物質に大麻の花を混じたものなどを特殊の魔法を以て用ひたりするのである。

その他

なほ最後に、その他の諸國における主要製造會社を列挙するならば、オランダに於ける N. V. Chemische Fabriek

Narden Polak & Schwarz Polak's Frital Works
H. Raab & Co. A. Maehmijer J. R. K. ード
リブに於ける East Fritler Katschenol-Brenner
Bruder Unteweger オーストラリアに於ける Plaimar Ltd. ブルガリアに於ける Union Generale Des Cooperatives Agricoles P. K. Shipkoff & Co. 等は印度マインールに於ける Tatgunli Jinaloe Plantation. 等、先づ主要なものであらう。

世界の石鹼工業

石鹼や砂糖の消費量はその國の文化の尺度を示すものといはれてゐるが、歐洲大戰前の世界各國の石鹼消費量は、一人當り

國	消費量
米	一、〇〇斤
獨逸	一〇、〇〇
英	八、八〇
伊	五、三〇
日	一、二〇
本	〇、四〇

以上の如しとされてゐた。然し今の状態では餘程變つてゐるらしく、昭和九年の外國石鹼雜誌によると、英國が斷然世界石鹼消費のトップを切つたと記して居る。日本の消費量も大戰後には一、五斤が一人當りの消費量とされてゐるが、その後又爲替相場の關係で輸出が増え、生産高も増してゐるから統計上の一人當りの數字はもつと増加してゐるに違ひない。

アメリカ

美國は今迄は世界一の石鹼消費國で、小賣値で一年間に二億七千萬弗を消費する外、商工業、汽車、汽船用等に三千萬弗消費するから一年約三億萬弗を使つてゐる。これは一家が一日三仙の石鹼を使ふこととなる。一般國民が衛生思想の進んでゐることも此數字の

原因であるが、クリンリネス、インスチチユートなどいふ團體が、石鹼業者の支持を得て、公衆衛生局、保健團體などの後援で、學校、工場、團體等に清潔運動、清淨教育をやつて盛に石鹼を使ふことを衛生上の立場から鼓吹してゐることも預つて力がある。米國の石鹼輸出も相當に多い。統計は少し古いが、その輸出額は左の如く年々減少の傾向にある。

品名	一九二六年	一九二七年	一九二八年
洗濯	四、二九、六七五	三、八七、九七九	三、三六、八八〇
化粧	三、〇七、七五五	二、八〇、一五五	二、三六、八八〇
その他	一、三三、四〇〇	一、一八、一三三	八六、六六六
合計	八、七〇、八三〇	七、八六、二六七	六、六〇、四二六

これはお得意先のラテン・アメリカ等の國內産業が盛になつて、石鹼も自給自足するやうになつたからである。お得意先としてフリツピンが第一に多いが、それは量に於いて第一は悪いものが多い爲金額としては、第四位となつてゐる。輸入は約百萬弗で、英國及佛國から主に入るので九〇%を占めて居る。アメリカ人でも舶來品がお好きなのである。製造家の主なものは、

プロクター・ギャンブル會社	資本額	員位百圓
プロクター・ギャンブル會社	一億三千八百萬弗	
コルゲート・パルモリブ・ビート會社	六千二百萬弗	
カークマン石鹼會社	洗滌石鹼	
リパアラザースの支社		

等が最も優勢である。就中プロクター・ギャンブル會社は資本金でも見るとやうに米國第一の大會社で、石鹼の原料市場はこの會社の取引で値段を左右されるといつた状態である。第二位のコルゲート、パルモリブ、ビートですら半分の資本金であるから、他は推して知る可しである。面白いことには、このコルゲート・パルモリブ・ビートといふのでさへも、實は第一位のプロクターに市場を左右されることに耐へ兼ねて、結束した會社なのである。即ち名の示す通り、始めはバ

35-43 William St., Melbourne, Victoria, Australia.

Chambre de Commerce et d'Industrie de Constantinople.

Quatrieme Varif Han, Bagtche Capou, Constantinople, Turkey.

英國

The London Chamber of Commerce, Inc., 97 Cannon St., London, E. C. 4, England

Manchester Chamber of Commerce, Ship Canal House, King Street, Manchester, England.

Liverpool Chamber of Commerce, Liverpool, England.

Edinburgh Chamber of Commerce & Manufacturers, 25 Charlotte Sq., Edinburgh, Scotland, Great Britain.

Birmingham Chamber of Commerce, 95 New Street, Birmingham, England.

Association of British Chambers of Commerce, 14 Queen Anne Gate, Westminster, London, England.

The Association of British Chemical Manufacturers, 166 Piccadilly, London W. 1., England.

Association of Chambers of Commerce of the Free State, Dublin, Ireland.

Chamber de Commerce de Paris, 2 Place la Bourse, Paris, France.

Chamber de Commerce de Lyon.

Lyon, France.

Chambre de Commerce de Marseilles, Marseilles, France.

Chamber de Commerce Franco-Asiatique, 97, Rue Saint-Lazare, Paris (9e), France.

Industrie-und Handelskammer zu Köln, Köln, Germany.

Industrie-und Handelskammer zu Berlin, Berlin N. W. 7, Germany.

Industrie-und Handelskammer zu Leipzig, Leipzig, Germany.

Die Bibliothek der Industrie-und Handelskammer zu Frankfurt am Main, Frankfurt a/M.-Hannu Hauptgeschäftsstelle Frankfurt, Germany.

Handelskammer zu München, München, Germany.

Handelskammer, Hamburg, Germany.

Deutsche Industrie-und Handelsstag, Berlin Bradford Chamber of Commerce, Frankfurt, Germany.

Chamber of Commerce & Industry, Genoa, Italy.

Camera di Commercio e Industria de Venezia, Venezia, Italy.

Camera di Commercio e Industria di Milano e Museo Commerciale, Milano, Italy.

Camera di Commercio e Industria di Napoli, Palazzo Borsa, Napoli, Italy.

Camera di Commercio e Industria di Roma, Roma, Italy.

プロクター・ギャンブル會社
コルゲート・パルモリブ・ビート會社
カークマン石鹼會社
洗滌石鹼
リパアラザースの支社

アイボリー	十仙	普通
キヤメイ	十仙	
ライフアイ	十仙	
洗濯用としては		
P アンド G	四厘	
アイホリフレック	四厘	
ラック	四厘	
パーモリア・ビーズ	ビーズ状	
オクメゴン石鹼	四厘	

その他なか／＼澤山である。
非常に興味のあることは、米國の石鹼消費量——恐らく先進國は凡てその傾向にあるかも知れないが——は最近山を越して少し下り坂になつてゐることだ。その原因はどこにあるかをピトキンストイふ男の調査した結果が又面白い。この記述の最後の項で述べて見ようと思ふ。

英國

英國の石鹼工場として代表的なものは、リバーブラザースで資本金五千四百萬ポンド、世界各地に二百六十の工場を持つ、實に世界第一の石鹼會社である。ポートサンライトの工場には使用人五千人、これらに浴室、庭園付の住宅を貸與し、維持費と修繕費を取るだけである。それらの工場は教會あり學校あり、美しい公園ありて實に立派な近代都市を形造つてゐる。米國のプロクターと對照して、世界の著名な石鹼工業家が一種の社會事業家であることは意義深いこと、言はねばならない。リバーブラザース會社は、アフリカに椰子林を經營し、米國のプロクターと提携してマルガリンユニオンを作るなど、世界の油脂工場の市場を左右せんとする野心を抱くもの如くである。
英國の著名石鹼としては、化粧用としてはリバーブラザースのラックスを始め、米國のパーモリアも相當幅を利かしてゐる。この外有名なビヤスといふ透明石

鹼や、ラベンダー、イラスミツク、ペノリヤなどの石鹼が大程四ペンス位の値段で賣られてゐる。洗濯用としては何といつてもリバーブラザースのサンライト石鹼(固形)、ラックス(薄片状)石鹼が壓倒的である。前記の化粧石鹼にしても、所謂リバーブラザースの一員であつて原料買入に就いては全くリバーブラザースの膝下に屈して、その云ふまゝになつてゐるのである。

獨逸

獨逸ではジュツセルドルフのヘンケル會社が第一で、リバーブラザースのサンライト會社が第二、ジュツセルドルフのトンブソン會社が第三位になつてゐる。化粧石鹼では米國のパーモリアや英國のラックス——唯獨逸ではルックスと云ふ——が盛に賣れてゐる。只洗濯石鹼としてベルジールなどいふ石鹼が國産品の爲に氣を吐いてゐるといふ状態である。

フランスその他

フランスでは有名なコデーの石鹼が、フランス人よりもより多くフランスにゐる外國人に親しまれ、フランス人にはフランスで出来るアメリカのパーモリア石鹼が、安くてもはやされてゐるといふ奇現象(？)がある。その他サボン、カダムなどいふのが一般に愛されてゐる。洗濯石鹼としては、やはり英國系の「ラックス」が相當に賣れてゐるやうである。一般にフランス人は趣味とか個性が強く、アメリカ人のやうに雷同性が少いから一つの石鹼が壓倒的に賣れるといふことは少く、コデーの石鹼にしてもいふ／＼の人に合ふやうに非常に種類が多い。
著しい對照は、アメリカのホテルにはどここの室にも有名石鹼會社で作つた石鹼が置いてあるけれども、フランスの宿屋にはシャンゼリゼーの一流の旅館にもそれがない。
フランス人は各々の好みの石鹼を持ち歩いてホテル

米國に於ける再生ゴムの需要

年次	消費量	再生量	再生ゴムの生産に對する比率
一九三〇	6,000,000	1,500,000	25%
一九三一	7,000,000	1,800,000	26%
一九三二	8,000,000	2,100,000	26%

米國「清淨協會」のアウトライン

私は去る昭和六年、歐米視察の途次「清淨協會」(Cleanliness Institute)を訪ひ、理事長ロスマー・O・エドランド氏と親しく會談するの機会を得、該協會の諸事業に就いての研究を通じて歸朝、翌七年春の東京商報紙上にその一端を紹介したのであるが、かゝる組織が本邦にも要望せらるゝの度は年とともに濃くなりつゝあるに鑑み、こゝに再びそのアウトラインを紹介して御参考に供する次第である。【ライオン石鹼株式會社常務取締役竹井俊郎】

「清淨協會」(Cleanliness Institute)は、全米石鹼ダリヤリン組合 American Soap and Glycerine Association、の事業の一つとして、組合員二八二中の有力者四〇軒を以て一九二七年に組織せられた「個人と家庭と團體生活に於ける清淨標準の向上を圖る」ことを目的とする公衆奉仕團體であるが、この運動の眞目的はこの運動を通じて

- 一、石鹼消費の増大を圖り
- 二、グリセリンの利用を喚起する一方
- 一、共同の廣告によつて廣告費の経済化と廣告効果の増大を圖る

にあつて、流石に米國人の商法の凡てないことに今更敬服せられるものである。この協會は會員の公選

世界のゴム工業界

生ゴムの価格は連年暴落を續け、昭和八年に於いては一封度入錢といふ安値を示したが、世界最大のゴム原料需要國たる米國のインフレーションと、最近に於ける英蘭減産協定によつて、九年上半年期から漸騰し始め、七月に入つては一封度二七錢に昂騰するに至つた。加之、最近におけるゴム化學の發達は、ゴム製品の品質を改善し、耐久度を増加したため、ゴム原料の消費量を抑制する傾向がある。従つてかゝる理由からこゝ兩三年間のゴムの生産と消費は、漸次不振の氣味合である。
又、前述の如く生ゴムの需給が緩慢なると同時に再生ゴムの市況も不振である。今、こゝにその一例として、過去三年間に於ける米國內再生ゴムの消費狀勢を一瞥して見れば如左表。【化學工業年鑑に據る】

世界のゴム消費高

國名	一九三二年	一九三三年
アメリカ	24,000,000	20,000,000
イギリス	12,000,000	12,000,000
フランス	10,000,000	10,000,000
ドイツ	11,000,000	11,000,000
イタリア	12,000,000	12,000,000
カナダ	12,000,000	12,000,000
日本	12,000,000	12,000,000
その他	12,000,000	12,000,000

- スペイン
Camera Oficial de Comercio le Provincia,
Madrid, Spain.
- ポルトガル
Associacao Commercial de Lisbon,
Lisbon, Portugal.
- キリマンヤ
Chambre de Commerce et d'Industrie de Athènes,
Athènes, Greece.
- Chambre de Commerce et d'Industrie de Volo,
Thessaly, Greece.
- スキエ
Chamber of Commerce of Geneva,
Rue Petitot 8, Geneva, Switzerland.
- Handelskammer zu Zurich,
Zurich, Swiss.
- ソビエト聯邦
Oriental Chamber of Commerce, Moscow,
c/o USSR Society for Cultural Relations
with Foreign Countries,
Moscow, 69, Malaya Nitskoya 6, Russia.
- USSR Chamber of Commerce for Western Trade,
Moscow, Hinka, 6, Russia.
- Russian Oriental Chamber of Commerce,
Rizaly 50, Moscow Russia.
- フィンランド
Finnish Central Chamber of Commerce,
Helsingfors, Finland.
- チェコ・スロバキヤ
Chamber of Commerce & Industry,
Prague, Czechoslovakia.
- Czechoslovak-Japanese Chamber of Commerce,
Prague, Czechoslovakia.
- オーストリア
Kammer für Handel, Gewerbe und Industrie,
Wien, Austria.
- ハンガリー
Chamber of Commerce and Industry,
Budapest, Hungary.
- 露
Kamer van Koophandel en Fabrieken voor Rotterdam,
Rotterdam, Holland.
- Chamber of Commerce of Hague,
Hague, Holland.
- スウェーデン
Stockholm Handelskammare,
Vestra Trädgårdsgatan 9, Stockholm, Sweden.
- Chamber of Commerce,
Kalmar, Sweden.
- ルーマニア
Camera de Comerț si Industrie,
Bucarest, Roumania.
- L'Institut Beonomique Roumain et du
L'Association des Banques Roumaines,
Bucarest, Roumania.
- ルーマニア
Chambre de Commerce de Bruxelles,
Bruxelles, Belgium.
- ノルウェー
Oslo Handelskammer,
Oslo Bors 2, Oslo, Norway.
- デンマーク
Danish National Committee of the International
Chamber of Commerce, Copenhagen, Denmark.
- 波蘭
Merchant's Association,
Sakalna 10, Warsaw, Poland.

による理事長の下に、理事を主任とする。

以上四つのパートがあつて、約七十名の人が各々の仕事に従事してゐる外、全国各地の学校、保健團體、社會奉仕機關、工場等々の團體を協力者として、その運動の手は全米に隈なく展べられて居る。

この運動に要する費用は、年額約八十萬圓の巨額に上り、これを協會員の生産額に按分して負擔せしめてゐる。因みに協會員の石鹼生産高は全米生産額の約八十%に達してゐる。又各パートメントには、斯界の權威者による委員會が構成せられてゐる。例へば保健班に於いては著名なる醫學者六名がその委員であり、各機關によつて調査調査せられた材料は、委員會を経て協會の名によつて發表せられるのである。委員會の他にもそれ／＼の權威がこの調査研究に當つて居るので、協會が三月乃至六月に一回發行するパンフレットの如きは、一つの權威として認められて居る。

この協會の主なる目的は、前述の通り一般の衛生思想を啓蒙誘導して、これによつて石鹼とグリセリンの消費を増大せしむるにあつて、その爲めの仕事として学校、工場等の諸團體へポスター、パンフレットの類を配布し、小學兒童にはこの外に課外讀本、童話、童話、繪本等によつて「清淨」の大切なことを鼓吹し、學校教師には兒童に清淨教育を施すための教科書、指導書の類を頒布してゐる。又一般へはパンフレット、ポスター、新聞雜誌による外ラヂオ放送も展々行つて「保健と家政」に石鹼とグリセリンの效用を教へてゐる。新聞廣告の如きはイヴニングポスト紙等に一回の廣告料七千弗もかかる素晴らしいものを掲載してゐる。

この運動開始以來、米國の石鹼需要は逐年著しい増

主要業界品貿易國別表

Table with columns for '輸出の部' (Export) and '輸入の部' (Import), listing various goods and their trade volumes between 1936 and 1937. Includes categories like chemicals, oils, and textiles.

海外貿易海外業界

加を見つゝあるが、グリセリンの利用研究に於ても、先年自動車の機關冷却用水にグリセリンを混入して凍結を防ぐことに成功して以來、需要は激増しつゝあると言はれてゐる。前記、同協會の理事長エドランド氏は、私と面談の際、日本でも是非この運動を、業者と公衆との爲めに起すことを懇願せられ、且つ助力を約され、その後度々書を寄せられる。私もその實現の一日も早からむことを希つてゐる次第である。

世界のセルロイド工業

一九二九年前後の頃を顧ると、世界に於けるセルロイドの生産額は、米、二〇〇萬延、獨一、一〇〇萬延、日本七〇〇萬延、英佛各二五〇萬延、爾餘の諸國を合し、四、五〇〇萬延と推せられてゐた。然るに、その後、諸種の經濟的事情と且つ合成樹脂の進展豫期の如く抄々しからざる事情等に因りて、世界セルロイド市場は獨り日本製品の活躍に委ねられるの状況を呈し、更に一九三三年度に至つては、大約如左。

Table showing celluloid production values for Japan, USA, UK, France, and Germany in 1933.

海外各地からの本邦品取引照會 最近、海外各地から照會し來る本邦商品取扱希望、乃至買入れ方の斡旋依頼の頻りに激増したことは、正に本邦品の廉價を有難に物語るものであらうが、左にその一例として、東京商工會議所へのこの種照會數を

ライプチツト見本市の反響 ライプチツト見本市に於ける邦品は、海外進出の花形として優秀、安價との歡迎裡に人氣を占め、豫想外の成果を収めたが、最近早くもその反響は現はれ、業界關係の中では安住大藥房へは蚊取線香、日本製業者輸出會へはセルロイド製品と云ふ工合に、夫々出品見本によつての大量注文があり、現在のところ、これらの注文は各國の商人が自國植民地その他の新市場へ旅商に向く際の携帶見本品として試験的に買入れられるものであるが、各國旅商間の宣傳如何によつては新市場よりの直接取引も期待されやう。

羅尼亞への業界輸出許可制度

ルーマニア國政府では、九月十八日官報を以て從來輸入許可制度の下に置かれるた商品四十種に對する許可税を二倍乃至三倍に増加するも、従來輸入許可制度外に置かれてゐた商品二十九種を爾後輸入に際し許可を要することなし、このため從來無許可の石鹼類香水その他化粧品も許可が必要となつた。

Table showing export permit statistics for Romania from 1927 to 1932.

業界品輸出入年表

最近三ヶ年比較 九年は一月より十月までの累計

Table with 4 columns for years (昭和九年, 昭和八年, 昭和七年) and 2 columns for quantity and price. Rows include various goods like wool, silk, and cotton.

海外取引案内

今や日本商品の販賣は全世界に喧傳せられ、各國の凡ゆる防遏手段にも拘らず異常な躍進を續けつゝあるは寔に欣快に堪へない。而して各國は凡ゆる邦品防遏手段を講じつゝあるにも拘らず、然も海外各地から邦品輸入希望の照會は、わが各商工會議所宛日々幾通となく寄せられつゝあるの現状である。

- 一、買手によくアツピールする宣傳廣告。
二、輸出に適する見本の用意。
三、適當なる代理店の設置。
四、賣込先諸國の經濟事情に通曉すること。
五、外國爲替の知識。
六、關稅、輸出の規則及び手續等の知識。
七、商品の荷造及び積出。
八、賣込先との間に惹起さるべき種々の緊争問題に對する法律知識。

輸入の部

Table with 4 columns for years (昭和九年, 昭和八年, 昭和七年) and 2 columns for quantity and price. Rows include various goods like wool, silk, and cotton.

はその經營者の商才と努力とに重點を置き度い。そして成るべくその市場土着商社を避ぶことである。又、代理店契約取極に當つては、各條件につき双方にして十二分の諒解を得、字句は成るべく簡明に、後日紛争の種となるが如き曖昧な條項は大いに避くるの心掛を要する。先方の經濟事情に通ずること、一之れは多くを云ふ迄もなく、兵法の常道である。全く十二分の努力を肝要とする。

合は輸入の際税關に於いて輸入禁止、罰金又は沒收等の處分を受けることあるを以て、各國の輸出入規則手續等は最も注意を要すべき事項である。
輸出品荷造方法には、その品種により略一定の形式があるので豫めその點を調査し置き、然して後、總て注文主の指定に従つて爲すべく、若しその指定が不可能乃至不合理の際は注文主に照會して充分打合せ後にすべきである。それから、荷造が完了したら包装の表面見易き所に必要な記號その他の表示を行ふ。この「マーキング」に必要なものは、荷印、番號、揚地、原産地、品名及び數量、重量及び容積、注意書等である。かくて荷造完了し、マーキングも終れば、回漕問屋の手により通關を了し積出の段取となる。そして積込んだ貨物に對しては、規定の運賃を支拂つて船荷證券を受取り、尙ほ、積出しと同時に必ず保險を附しその保險證券は船荷證券とともに荷受主に送る。

昭和八年十一月—同九年十月

業界品輸出入月表

〔大蔵省編纂「大日本外貨貿易月表」に據る〕

輸出の部

Table of exports for various goods including pig hair, ivory, and oils, with columns for month, quantity, and price.

米國に於ける化粧品消費量

Text describing cosmetic consumption in the U.S., listing items like face powder, skin cream, and hair oil with their respective quantities.

粉白粉消費量

Text describing face powder consumption in the U.S., mentioning the number of people using it and the total quantity.

輸入の部

Table of imports for various goods including pig hair, ivory, and oils, with columns for month, quantity, and price.

薬店の化粧品

販賣高

Text describing the sales volume of cosmetics in drug stores in the U.S., comparing 1928 and 1929 data.

クリーム消費量

Text describing cream consumption in the U.S., mentioning the number of people using it and the total quantity.

輸出の部

Table of exports with columns for item name, quantity, and price for months 5 through 10. Items include various oils, chemicals, and manufactured goods.

均一四、九一弗、地方では五、九五弗である。又、支店を除き約三百の卸賣藥種商があり、この中には二二の仲買人聯合會が含まれてゐる。

藥店の販賣檢定

家庭藥賣藥 一六・五%
處方 八・五%
化粧用品 三〇・〇%
飲物 三〇・〇%
藥卷及煙草 一〇・〇%
藥房 二〇・〇%
その他雜貨 六・五%

コールド・クリーム

藥店を通じて 五〇%
連鎖店及び他各種店を通じて 二二%
百貨店を通じて 一二%
連鎖店藥店を通じて 一〇%
メール・オーダーその他を通じて 六%

化粧品の雑誌

廣告費

米國に於ける一九三〇年度化粧品の雜誌廣告費は、總計二〇、一六四、一九一弗に上り、その細目は如左。
歯粉 六、一九八、二四弗
剃用クリーム及美容水 一、二六、九九九
一般化粧水 四、七五、四九九
粉白粉及び香水 一、〇三三、一〇〇
洗髮料及び髮毛料 一、七三二、四四四

輸入の部

Table of imports with columns for item name, quantity, and price for months 5 through 10. Items include various oils, chemicals, and manufactured goods.

「重要品輸入月表」は、九年度年鑑掲載後、即ち昭和八年十一月以降同九年十月までの滿一年間の分を示したものであつて、翌年度にはよつてゐないから、一年間としての合計は出してない。附して一年間の計数を知らむとせらるゝには別表「三年間比較表」を参照せられたい。

Table of import statistics for various items like クリーム及びローション, アンドロウ・サヤ・ヤニス, and others from 1928 to 1930.

米國化粧品會社

新聞廣告費統計

會社名 一九二九年 一九三〇年
アルモ、下 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
コチイ 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
ワビガ、 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
リチャード・ノドナツヤ 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
メロコロ 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
アンドロウ・サヤ・ヤニス 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇
ジョシソン&ジョシソン 一、〇〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇

世界に於ける有名香粧品及香料製造會社一覽

1 香水・化粧品

- Garon. 10, Rue de la Paix, Paris.
- Chanel. 29, Rue du Faubourg, Saint-Honoré, Paris.
- Clany. Arcades des Champs-Élysées, Paris.
- D'Isleby. 43, Rue du Colisee, Paris.
- D'Orsay. Chateau des Bonnets, Puteaux, Paris.
- Fovill. 120, Champs-Élysées, Paris.
- F. Millet. 57, Avenue Victor Emmanuel 3 Champs-Élysées, Paris.
- Galle Frères. 6, Avenue de l'Opera, Paris.
- Grenoville. 42, Rue de Papadaise, Paris.
- Honbegant. 19, Rue du Faubourg, Saint-Honoré, Paris.
- Jean Paton. 9, Rue Saint-Florentin, Paris.
- J. Lesquendieu. 5bis, Rue de la Tacherie, Paris.
- Lanvin. 4, R.-P. des Champs-Élysées, Paris.
- L'Plasard. 92, Rue du Vieux-Pont, de Sevres, Boulogne-S-Seine.
- Laetien Lelong. 16, Rue Matignon, Paris.
- La Maison Dorin. 60-62, Rue de Wattignes, Paris.
- L. T. Piver. 10, Boulevard des Strasbourg, Paris.
- Lubin. 11, Rue Boyale, Paris.
- Ilonseuu. 20-20bis, Rue Dagebert, Clichy.
- Mury. 24, Rue Joubert, Paris.
- Monpedaal. 7, Rue de Metz, Paris.
- Neige des Cevennes. 97, Rue Anatole-France, Levallois-perret (Seine).
- Prince Matchabelli. 26, Rue Cambon, Paris.
- Pinaud. 59, Rue de Paris, Pantin, Paris.
- Perfums Gurdly. 82, Rue D'Hauterille, Paris.

- Perfums Coty. 23, Place Vendôme, Paris.
- Perfums Guerlain. 68, Avenue des Champs-Élysées, Paris.
- Parfumerie Bourjois. 43, Avenue Marceau, Paris.
- Rallet. 1, Avenue de Messine, Paris.
- Roger & Gallet. 38, Rue D'Hauterille, Paris.
- Simon. 69, Martin, Faubg. St., Paris.
- Vigny. 416, Rue Saint-Honoré, Paris.
- Violet. 29, Boulevard des Italiens, Paris.
- Viville. 24, Avenue de l'Opera, Paris.
- Worth. 7, Rue de la Paix, Paris.
- Weill. 28, Rue de la Pepiniere, Paris.
- Corso Co., G. m. b. H. Berlin-Charlottenburg, Sybelstr. 43.
- Eisenstuck & Co., G. m. b. H. Berlin Teltow, Elbestr.
- Ferd. Mathies (4711). Glockengasse, Cologne, O/Rh.
- F. Wolf & Sohn. Karlsruhe.
- Gustav Lohse. Berlin.
- Georg Dralle. Hamburg.
- Lingner Werke. Dresden.
- L. Zucker Co. Berlin.
- P. Beiers Dorf Co. Hamburg.
- Sherk. Sudende, Berlin.
- Atkinson J. & E. Ltd. Southwark park road S. E. 16, London.
- A & F Pears Ltd. Isleworth.
- Breidenbach & Co. Ltd. Tower works Croydon.
- D & W Gibbs Ltd. I. E. London.
- Erasmie. Warrington.
- F. G. Calvert & Co. Manchester.
- Gannes E & Son. Angell rd. Brixton, S. W. 9, London.
- Lloyd ainée. 23, Panton St. Haymarket S. W. London.
- Potton & Moore Ltd. Tyssen St. Dolton E. 8, London.
- Sammelson P. & Co. 27, Mincingla E. C. 3, London.
- Yardley. 8, New Bond St. London.

アメリカ

- American Hair Restorer Co. 11, Meacer St. New York.
- Barboeol Co. Indianapolis.
- Colgate & Co. Chicago, Ill.
- J. B. Williams Co. Montreal.
- Koken Co. Saint Louis.
- Molmenx. 41, West 57th St. New York.
- Michael Cosmetics Co. New York.
- Pond's Extract Co. Crinton, Con.
- Peppodent Co. 919, North Michigan Avenue, Chicago, Ill.
- Potter Drug & Chemical Corporation. Boston.
- Richard Hudant. 113-127, West 18th St., New York.
- Treglar. 18, West St., New York.
- Talcum Buff Co. 195, West St., New York.
- Myrurgia. Espana.

2 香料

- Antoine Chiriz. Grasse.
- Albert Verley. Ile Saint-Denis (Seine).
- Bruno Court S. A. Grasse.
- Bernard Frères. Grasse.
- Compagnie Africaine Des Plantes A Parfume. Grasse.
- Descoulonges Freres S. A. Paris-92 Avenue d'Iena.
- Fabriques de Laitre. Paris.
- J. Mero & Boyvean. Grasse.
- Jean-Marie-Vial. Frigny Rhone.
- La Lavande Française. Sault (Vaucluse).
- Lopold Lamerson. La Garonne Colombee(pres Paris), 39, Allée du Nord.
- Lantier Fils. Grasse.
- P. Robertet & Co. Grasse.

Roure-Bertrand Fils & Justine Dupont. Grasse.

Société de Urines chimiques Rhone-Poulenc Paris.

- Agfa Riechstoffs. Berlin S. O. 36.
- Heine & Co. Aktiengesellschaft Leipzig-Groba-Riesa (Elbe).
- Schimmel & Co., A. G. Mittiz Nr. Leipzig.
- Chas. Zimmermann & Co., Ltd. 9 & 10 St., Mary-at-Hill, London, E. C. 3.

- Dubuis & Rowsell, Ltd. Croydon, near London.
- Essence & Synthetics, Ltd. 4, Garside Avenue, Fenchurch St., London, E. C. 3.
- Holland's Distillery, Ltd. 37 & 39, Wood St., Mitcham, Surrey.
- Potter & Clarke, Ltd. Artillery Lane, London, E. 1.
- Stafford Allens & Sons, Ltd. Cowper St., Finsbury, London E. C. 3.
- Standard Synthetics, Ltd. Headingly Works 76, Glenham Road, Barnes, London S. E. 13.
- Stevenson & Howell, Ltd. South work St., London, S. E. 1.
- W. J. Bush & Co., Ltd. Ash Grove Street, London, E. 8.
- Whitfin & Sons, Ltd. Fulham, S. W. 6, London.

イタリヤ

- A. M. Todd Co. Palamazzo, Michigan.
- Dodge & Oleott Co. 180, Varick Street, New York.
- Felton Chemical Co. Inc. Brooklyn, New York.
- Magnus, Marboe & Reynard, Inc. 32, Cliff Street, New York.
- Baller Essential Oils Ltd. Messina.
- Citrus Oils Co. Messina.
- Compagnia Italiana Fabbriche Acid Citrico Milan and Palermo.
- Fratelli De Pognolo & Co. Messina.
- W. Sanderson & Sons. Messina.

イギリス

Chemical Works Flora. Dudenlof-Zurich.
 L. Giraudan & Co. Vernier, near Geneva.
 M. Naef & Co., Ltd. Geneva.
 Th. Mallettaler, S. A. Nyon.
 Leiros Del'Alondon, S. A. La Plaine, Geneva.
 Volkart Brothers. Winterthur.

石 鹼

A M R
 Armour Soap Wks. 1365 W. 31st St., Chicago.
 Cincinnati Soap Co. 7th & Elm Sts., Cincinnati, Ohio.
 Colgate-Palmolive-Per Co. Chicago.
 Hewitt Soap Co. Dayton, Ohio.
 Holbrook Mfg Co. 18th St., Jersey City, N. J.
 Los Angeles Soap Co. Los Angeles, Calif.
 Peck's Prods. Co. 5224 N. 2nd St., St. Louis.
 Procter & Gamble Co. Cincinnati.
 J. T. Robertson Co. 147 Richmond Ave., Syracuse, N. Y.
 Geo. A. Schmidt Co. 236 W. North Ave., Chicago.
 Swift & Co. Chicago.
 Allen B. Wisley Co. 6801 W. 65th St., Chicago.
 J. Eavenson & Sons. Del & Penn Sts., Camden, N. J.
 Holman Soap Co. 3100 Fox St., Chicago, Ill.
 Larkin Co. Buffalo, N. Y.
 Lightfoot Schultz Co. 1412 Park Ave., Hoboken, N. J.
 Marshall Prods., Inc. 806 N. 1st St. Louis.

Geo. E. Marsh Co. 393 Chestnut, Lynn, Mass.
 National Soap Co. Box 1613, Tacoma, Wash.
 Newell, Gutraft Co. 350 Fremont St., San Francisco
 North Coast Soap & Chem. Wks. Seattle, Wash.
 John T. Stanley Co. 640 W. 30th St., N. Y.
 Vliet Soap Co. 638 Monroe St., Brooklyn.
 M. Werk Co. St. Bernard, Cincinnati.
 Chas. W. Young & Co. Philadelphia.
 Du Bois Soap Co. Cincinnati.
 Manhattan Soap Co. Bristol, Pa.
 Hoekins Bros. & Co. Sioux City, Iowa.
 Harris Soap Co. Buffalo, N. Y.
 H. Kohnstamm & Co. 91 Park Pl., N. Y.
 Nat'l Milling & Chem. Co. Mannyunk, Phila.
 American Soap Powder Wks. 100 Van Dyke St., Brooklyn, N. Y.
 Lever Bros. Co. Cambridge, Mass.
 Paper Makers chemical Corp. Kalamazoo, Mich.

N R K
 Gelle Freres. Paris.
 Societe Galign Courbevoie. Paris.
 Roger et Galle. Paris.
 L. T. Piver. Paris.
 Coty. Coty.
 Honbigan. Paris.
 Monayon. Paris.
 Palmolive. Paris.
 Rna Tussy & De Roux. Marseille.
Y M R
 Edward Cook & Co. Ltd. Near Bow Bridge London E. 3.
 D & W Gibbs Ltd. Wapping, London E. 1.
 Lever Brothers Ltd. Port Sunlight.
 Crossfield Erasme Soap Factory, Warrington.
 Pears Ltd. Near London Ireneworth.

各國對日貿易狀勢

【昭和六年(1931年)】
 【資料來源：日本關稅廳統計】

Saville. London.
 S. P. Giese Ltd. London W.
 Yardleys. London.
 Vinolia Co. Ltd. London S. E. 16.
 J & E. Atkinson. Liverpool.
 R. S. Hudson Ltd. Manchester.
 John Sankey & Son Ltd. Manchester.
 David Thom & Co. Ltd. Manchester.
 Harrods Ltd. London.
 F. J. Hunt & Co. London.

ユ
 Aug. Lahn & Co., G. m. b. H., Seifenund Glycerinfabrik. Barmen-Rittershausen, Schwarzbachstr. 101-103.
 J. F. Schwarlose Sohne, G. m. b. H., Fabrik feiner Parfümerien und Toilet-teseifen Berlin Nw 21, Dreyesstr. 5.
 Vereinigte Chemische Werke A.-G., Bealin-Charlottenburg 2, Salauer 15-16.
 Ruba-Werke, Rudolph Balhorn, Seifen-und Parfümerien-Fabrik G. m. b. H., Dres-lan XIII, Steinstr. 23-29.
 J. G. Mounson & Co., Fabrick feiner Parfümerien und Toiletseifen, Frankfurt (Main), Gwinnerstr. 9.
 Karlsruher Parfümerie-und Toiletseifenfabrik F. Wolf & Sohn, G. m. b. H., Karlsruhe (Baden), Durbacher Allee 31-33
 C Naumann, Feinseifenwerk, Offenbach (Main), Speyer Str. 7.
 Bergmann & Co., Feinseifen-und Parfümfabriken, Radebeul bei Dresden, Hallenstr. 23
 Ph. Benj. Ribot A.-G., Bayerische Seifenfabrik, Schwabach (Bayern).
 Henkel & Cie., Akt.-Ges. in Düsseldorf.

英國印度
 面積 1,808,679 平方哩 日本内地の約 12倍
 人口 總數 352,837,778 人
 密度 195 人/平方哩
 日本への輸出 205,154,660 圓
 日本より輸入 204,737,858 圓

佛蘭西
 面積 285,000 平方哩 日本内地の約 19 倍
 人口 總數 21,652,000 人
 密度 76 人/平方哩
 日本への輸出 3,680,018 圓
 日本より輸入 9,610,436 圓

英領馬來亞諸島
 面積 83,606 平方哩 日本内地の約 12 倍
 人口 總數 4,500,000 人
 日本への輸出 46,270,988 圓
 日本より輸入 44,513,473 圓

暹羅
 面積 733,206 平方哩 日本内地の約 6 倍
 人口 總數 60,731,025 人
 密度 89.8 人/平方哩
 日本への輸出 157,487,754 圓
 日本より輸入 55,709,966 圓

滿洲國
 面積 469,334 平方哩 日本内地の約 3 倍
 人口 總數 34,104,980 人
 密度 73 人/平方哩
 日本への輸出 82,071,259 圓
 日本より輸入 147,807,890 圓

中國
 面積 1,532,705 平方哩 日本内地の約 10 倍

アメリカ合衆國
 面積 2,973,776 平方哩 日本内地の約 20 倍
 人口 總數 122,775,046 人
 密度 41.3 人/平方哩
 日本への輸出 499,237,580 圓
 日本より輸入 62,778,684 圓

カナダ
 面積 3,690,043 平方哩 日本内地の約 28 倍
 人口 總數 10,376,786 人
 密度 2.8 人/平方哩
 日本への輸出 6,580,441 圓
 日本より輸入 46,801,334 圓

ブラジル
 面積 3,276,510 平方哩 日本内地の約 22 倍
 人口 總數 40,272,650 人
 密度 12 人/平方哩
 日本への輸出 2,765,874 圓
 日本より輸入 1,008,143 圓

海外商品陳列館一覽

藥港日本商品陳列所	Japanese Commercial Museum 449 Market St. San Francisco Calif., U. S. A.
哈爾濱日本商品陳列館	哈爾濱道里街文苑二號哈爾濱商會展覽部349號
スタンプル日本商品陳列館	Musee Commercial du Japon, Boite Postale 1423, Stamboul, Turquie.
カイロ日本商品館	Commercial Institute of Japan, 17 Shareh El-sheikh Abou El-Sebou.
メゾン商品陳列所	Cairo Egypt, P. O. Box 658 Cairo, Egypt.
Heb Japanese Handelsmuseum, max Havelaarlan, I, Melan, Sumatra, D. E. I.	
新加坡商品陳列所	The Japanese Commercial Museum, No. 65 High St., Singapore, S. S.
スラバヤ日本商品陳列所	Japanese Handelsmuseum, Pasar-Besar, Soerabaya, Japan, D. E. I.
スラバヤ日本商品陳列所	スラバヤ日本商品陳列所、パタビヤ出張員事務所
ジャバネセ Handelsmuseum, Gangsoott no. 3, Batavia Centrum Java, D. E. I.	
ラングーン日本商品陳列館	The Japan commercial Show Room, 238 Mogul St., Rangoon, Burma.
甲谷乾日本商品館	The Indo-Japanese Commercial Museum 135 Canning St., Calcutta India.
總存日本商品見本陳列所	c/o Sample Room of Japanese Merchandise, Bangkok, Siam.

商工省貿易通信員 アドレス一覽

駐在 地	氏 名	ア	ド	レ	ス
天津	嚴 重 任 一	天 津 日 本 租 界 松 島 街 新 德 里 五 四 號			
漢口	西 川 喜 一	漢 口 日 本 租 界 大 正 街 第 四 二 號			
青島	遠 藤 寛 六 郎	日 下 歸 朝 中			
香港	大 谷 彌 十 次	青 島 大 平 路、青 島 グ ラ ン ド ホ テ ル			

ナイロビ	中 川 彦 治	P. O. Box 480, Nairobi East Africa.
西貢	加 藤 俊 雄	No. 1 Rue Lauréguiberry Prolongée, Saigon.
盤谷	大 山 周 三	P. O. B. N. N. 178, Saigon
蘭貢	大 山 周 三	c/o Japanese Consulate, Bangkok, Siam.
馬尼刺	渡 邊 忠 彦	c/o The Japanese Consulate, Rangoon, Burma.
唐地	缺 缺 缺 缺	P. O. Box 1990, Manila, Philippine Islands.
未蘭	缺 缺 缺 缺	
雜納	齊 藤 功 員	No. 5, Rue Robert Thoreau, Woluwe-St-Pierre, Bruxelles, Belgique.
モムサ	缺 缺 缺 缺	
トロント	大 沼 恒 員	Claude Apartments, Claude Avenue, Toronto, Ontario, Canada.
シヤトル	松 本 正 雄	124-13th Ave., Seattle, Wash., U. S. A.
シカゴ	小 川 末 次 郎	P. O. Box 443 Seattle, Wash., U. S. A.
トビニス	河 井 信 三	c/o Consulate of Japan, 1533 Tribune Tower, 435 North Michigan Ave., Chicago, Ill., U. S. A.
トバナ	缺 缺 缺 缺	327 Cotton Exchange Bldg., Houston, Texas, U. S. A.
メキシコ	指 田 平 陸 員	Calle de Ocampo No. 3 Mexico, D. F.
里馬	富 田 謙 一	又: Apartado 2431 Mexico, D. F.
サンチナ	新 谷 吉 松	Apartado 499, Lima, Peru. 又: c/o Consulate of Japan, Giron Manz-
コナ	古 川 大 斧	on No. 204, Lima, Peru.
リオデ		Casilla 4107, Santiago, Chile.
チネ		c/o Embaixada do Japao, Rua dos Voluntari-
シドニー	岩 崎 實 太 郎	os da Patria 166, Rio de Janeiro, Brazil.
		G. P. O. Box 2446 M.M. Sydney, N. S. W., Australia.

Home Fashions (Harnsworth's)	M	Creation de Manteaux.	Q
Hatters' Gazette.	M	Chapeaux de la femme chic. 10 Nos.	Q
Leacher's Home Dressmaker.	M	—du Très Parisien.	Q
Ladies' Tailor.	M	Coiffure Française Illustrée.	M
Leach's Children's Fashions.	M	Distinction.	M
Man & his Clothes.	M	Enfants du Jardin des Modes.	S-A
Minister's Gazette of Fashion.	M	Excelsoir Modes.	Q
Needlework for All.	M	Enfants de la femme chic. 2 Nos.	S-A
Ronak's Pictorial Fashions.	M	Enfant Star.	S-A
Style for Men	M	—Juno.	S-A
Tailor & Cutter.	W	—Elegant.	S-A
Weldon's Ladies Journal.	M	Élégance Féminine.	S-A
—Basar of Children's Fashions.	M	Françoise.	M
—Catalogue of Fashions.	3 Nos.	Femina.	M
—Home Dressmaker.	M	Femme chic.	M
—Illustrated Dressmaker.	M	Grande Revue de Mode.	S-A
Watchmaker, Jeweller, Silver-smiths & Optician.	M	Iris.	S-A
ワッチャ	M	Iris, La Blouse Moderne.	S-A
Beyer Modiführer.	S-A	La Mode Favorite.	S-A
Dame.	W	La Parisienne.	S-A
Das Grasse Ulstein Maden Al-bum.	S-A	Jardin des Modes.	M
Handarbeiten aller Art.	8 Hefte	Journaux de Mode Imprimées à Lyon.	
Herrn Journal	M	Modes et Travaux	24 Nos.
Neue Linie.	M	Parle-tailleur.	Q
ファッション	S-M	Paris Enfants	S-A
Art et la mode.	S-A	Parle-toilettes.	M
Album d'Enfant.	M	Receuil.	M
Adam. Revue de l'homme.	M	Revue des Modes.	M
Adam-Chemistier.	M	—Parisienne.	S-A
Belle Parisienne.	M	Robes Elegantes.	M
Bijou de la Mode.	S-A	Soyons pratiques.	M
Chic Parfait.	S-A	Saison Parisienne.	S-A
		Smart.	S-A

—Manteaux et Coctume.	S-A	Commercial Photographer.	M
Soyons chic et Patrique.	M	Merchant's Record & Show Window.	M
Star	S-A	Outdoor Advertising Associa-tion News.	M
Stella.	S-A	Postage and Mailbag: the Maga-zine of Mail Advertising.	M
—Coctume et Manteaux.	S-A	Printer's Ink.	W & M
Très Parisien.	11 Nos.	イギリス	
Toujours chic.	Q	Advertiser's Weekly.	W
Très Elegant	M	Advertising Display	W
Toute le Mode.	S-A	—World.	M
Votre Gout.	M	Commercial Art & Industry.	M
Voi la Mode.	M	Signes & Outdoor Advertising.	M
Vogue.	M		
オーストリア			
Jenness Parisienne.	S-A	F 1 9	
Wiener Modelle f. d. Strickerei u. Wiskerei.	M	Dekorations-und Reklamekunst.	M
婦人出版物		Mit A B C des Kaufmanns.	M
ファッション		Gebrauchsgraphik.	M
Harper's Magazine.	M	Gebrauchsphotographie.	M
Ladies' Home Journal.	M	Konfektionær.	W
Pictorial Review.	M	Neue Dekoration. Siehe: Kon-fektionær Reklame.	21 H
Woman's Home Companion.	M	Schaufenster-Kunst & Technik.	M
イギリス		總 加	
Modern Woman.	M	スウェーデン	
Weldon's Ladies Journal.	M	Svensk Kemisk Tidkrift.	
Woman and Home.	M	Stockholm.	
Woman's Journal.	M	Pharmaceutisk Revy.	
—Pictorial.	W	Stockholm.	
ファッション		南アフリカ	
Art Menager.	M	The African chemist & Druggist.	
Beaute; Coiffure-Mode.	M	P. O. Box 513, Johannesburg.	
廣告		South Africa.	
ファッション		Advertising & Selling.	F

外國行小間物化粧品運賃表

一、日本郵船調の分

Table with 10 columns: 地名 (Location), 種別 (Type), 運賃 (Fare), 最低運賃 (Minimum Fare), 備考 (Remarks). Lists destinations like 青島, 上海, 香港, 倫敦, 孟買, 宿務, 新嘉坡, 檳榔嶼, 仰光, 巴達維亞, 泗水, 香港, 上海, 青島, 神戶, etc.

二、大阪商船調の分

Table with 5 columns: 地名 (Location), 種別 (Type), 運賃 (Fare), 備考 (Remarks), 運賃 (Fare). Lists destinations like 青島, 上海, 香港, 倫敦, 孟買, 宿務, 新嘉坡, 檳榔嶼, 仰光, 巴達維亞, 泗水, etc.

燐寸の對米輸出

本邦燐寸の對米輸出は、昭和七年以降顯著な進出振りを示し、八年度に於いてはその金額百九十四萬七千餘圓といふ前年度の約四倍に上り、わが燐寸總輸出額の六割弱を占むるに至つた。...

中華民國業界

品輸入稅率

Table with 3 columns: 品名 (Item Name), 單位 (Unit), 稅率 (Tax Rate). Lists items like 亞細亞白、石鹼、煤油、紙、布、糖、油、麵粉、茶、咖啡、藥、酒、烟草、香煙、化妝品、文具、玩具、運動用品、其他。

重要輸出品に石鹼

重要輸出品に石鹼。商工省にては、昭和九月十一月十六日附告示第七十六號を以て輸出組合法第一條第二項の規定により、石鹼を「重要輸出品」に指定した。

重要輸出品に石鹼

商工省にては、昭和九月十一月十六日附告示第七十六號を以て輸出組合法第一條第二項の規定により、石鹼を「重要輸出品」に指定した。

オールドコロン

オールドコロン。今昔、二百二十五年前。即ち十八世紀初頭の頃、若いイタリヤ人——ジャン・マリア・コロンが、オールドコロン（オールド・コロニー）の兄弟二人が、ライオン沿岸のケルンに絹物と婦人帽の店を立ち、一家店を開業した。...

送要重限せるす港寄の船本日



滿洲の全貌

日本の生命線滿洲はまたわが業界の生命線でもありわれ等の若き隣人は、またこれわれ等の新らしき市場でもあるからである。廣袤七萬四千方里、千里の曠野はこれ無限の寶庫、五族三千萬の民衆はこれ悉くわれ等の顧客である。見よその五色旗の翻る處、王道政治の下、今や安居樂業の理想境は、若き帝國の生長とともに、その完成へと進みつゝある。四年間に過ぎざるの努力としては、眞に是れ世界歴史に類ひ稀れる偉業ではないか。若き滿洲、輝く滿洲、われ等は義として此の不朽の大作を守立て、行かなければならない。



而してその親善は、日滿經濟プロダクトの實現にその基礎を置いて彼此、相互の共榮を圖ることに、その第一歩を置く、此の大旨に對しては何人も異論があるまい。われ等業界人は、目標を其處に置く。
 仄かに聞くが如くむば、皇帝陛下には陽春を期して日本訪問の途に就かせらるゝの御意圖ありやに拜する。若し然りとすれば若き隣邦の若き元首を理ふるの昭和十年は、日滿國交の上に、重大な一エポックを作るの年となるであらう。

古きは言はない。記憶せらるべき大同元年三月一日、輝ける獨立を中外に宣してから早くもこゝに四星霜。内外多艱の眞只中に全三千萬の民衆ひたすら王道立國、樂土建設の途に邁進、替々國際的地位の卓立に指据したる結果、今や寔に國運の進展炳乎として日星の如く、諸般の施政刮目直に見るべく、産業文化凡百の發展愈々顯著なる今日とはなつた。善隣の我ら、鼓腹、實に欣快之れ堪へざるものがある。

廣茫、東部内蒙古を包括する大滿洲國。面積は滿洲が六萬七千方里、東部内蒙古が一萬三千方里、合計八萬方里に及び、實にわが國總面積の約二倍に當る。然して、之れに對しての人口は幾千といふに、約三百万人であつてわが國の約三分の一。廣茫眞に羨むべきの地。今後、着々たる資源の開發と建設事業の進捗とによる發展や寔に計り難きものあらう。

要約すれば大陸の酷烈な氣候で、冬季の寒威凜烈なるに反し夏季は暑熱甚だしく、その中間季節の春秋は極めて短い。が、寒波温波の轉換比較的規則正しく、殊に冬季に於いては一週間内外の周期を以て反覆する所謂「三寒四温」の變化を呈し、そのため案外凌ぎ易き氣候を呈するのである。

滿洲從來の貨幣制度は、屢々それが整理統一を企圖せられたるにも拘らず、依然各地に各様の地方通貨あり、更らに金、銀本位の外來通貨が流通し、その稱呼、計算法或ひは相場用途を異にし、實に亂雜を極めたのである。然して滿洲國建國とともに幣制の統一を最大急務なりとし、新たに中央銀行を設けてその御に充て

ることとなつた。大同元年七月一日から實施された舊貨幣整理辦法によれば、東三省官銀號、吉林永衡官銀號、黑龍江省官銀號及び邊業銀行の發行せる現大洋票、奉天票、哈爾濱大洋票その他各種の紙幣は、辦法施行後二年間を限り一定の換算率により效力を保有し、又奉天省の十進銅元は五年間新貨幣一分青銅貨と同一效力を有し、中國、交通兩銀行の發行せる哈大洋は五年以内に回收する方針である。

現に滿洲國到る處で流通力を有する便利なもの、大洋錢、小洋錢、それに補助貨として銅元がある。

輸出品中の主要なものは大豆、その他の豆類、粟、高粱、榨油用種子、豆粕、豆油、鹽、石炭、鐵等であるが、特に重要なのは大豆である。
 大同元年中に於ける大豆輸出は四二・三九萬八千擔、價格一億四三・八五萬九千九百兩であつて、輸出總價格の三七・四%を占め、之れに大豆を原料とする製品——豆粕豆油の輸出額を加算すると價格二億三・四六八萬二千兩に上り、輸出品總額(再輸を除く)の六一%を占める。之れを以て見るも大豆及びその製品が如何に重大な役割を演じつゝあるかを察知し得よう。然してその主要仕向國は、日本内地、中華民國、關印、ソ聯、英、獨、和、伊、埃及等である。

輸入品の主なるものとしては、小麦粉、砂糖、煙草、燈油、棉花、綿織物及び糸、その他の織物、麻袋、紙、鐵及び鋼、機械工具類、車輛等が挙げ得られる。その首位に在る小麦粉は、大同元年に於いて總輸入高三九七萬六千擔、價格一五六八萬三千兩あり、輸入品總額の八・一%を占め、主要仕向地は、日本内地、中華民國、北美合衆國である。

滿洲國業界 品輸入稅率

Table of import duties for various goods in Manchuria. Columns include item name (品名), unit (單位), and tax rate (稅率). Items include cotton and wool products, silk, leather, and various oils.

滿洲の産業界一瞥(業界關係)

大豆油工業

滿洲に於ける油場工業は、日本農村の疲弊、疏安工業の勃興、歐洲製油工業の發達、特に獨逸の關稅政策により衰微の狀態にある。滿鐵にては中央試驗所にて完成されたアルコール抽出法による小規模工場を大連市寺兒溝に建設しつゝある。大豆處理量一日百餘の工場である。この方法によつて製造される油は、從來のものに比して優良で、然も豆粕は從來のものと同目を異にし、純白で小麦粉に類似し食用となる。なほその他に、醫藥用或ひは工業用として貴重なレシチンを副成する。これらの新副産物が適當に利用消費せられるならば、このアルコール抽出法は油房工業の採算を有利ならしめるであらう。同法の成功は斯業の行き詰りを打開するものではないが、大いに期待される。(『九年版「化學工業年報」に據る。』)

硬化油生産及び其供給表(千噸)

Table showing production and supply of hardened oil in thousands of tons. Columns include year, production, and supply.

油脂加工業

滿洲に於ける油脂加工業は、硬化油、石鹼、蠟燭、染料等を擧げ得るが原料の豊富なるに比しては甚だ振はず、大正五年、滿鐵は大豆油を原料とする硬化油製造の目的を以て、資本金百圓の大連油脂工業株式會社

罈寸工業

社(現在は資本金二十五萬圓に減資)を設立、同時にグリスリン、オレイン、ステアリン等の製造を開始し、これら事業の發達改良に多大の努力と犠牲を拂つたが、母國に於ける新業保護策として、大正十年、内地輸入關稅増徴のため、内地輸入不可能に陥り、硬化油事業のみを残して他は休止するの已むなきに立ち至り、専ら硬化油の品質向上に力を致し、今日に於いては各種硬度の硬化油以外、食用脂製造をも開始し、社業次第に好轉しつゝある。

Table of import duties for various goods in Manchuria. Columns include item name (品名), unit (單位), and tax rate (稅率). Items include various oils, chemicals, and raw materials.

滿洲に於ける罈寸製造業は、明治三十九年十一月、新京内に資本金三萬圓を以て佐藤精一氏經營の日支合辦廣仁洋火柴会社が濶鷹をなし、同公司是年十月、日清罈寸株式會社に買収せられ、營業成績も順調に進んだが、罈寸業の有難なることが認められるや、大正二年、營口に關東、三明の二支那人工場、大正三年、吉林罈寸株式會社の設立されたが恰も歐洲大戰に遭遇して互利を博するや、同業各地に發生、更に支那側の利權回收、國產獎勵熱のため、支那人工場の濫設を見、遂に生産過剰を來し、滿洲に於ける一ヶ年三十五萬箱の罈寸需要に對し六十萬箱の生産能力を有するに至つた。

加ふるに、大正十四年より瑞典に本據を有する國際罈寸會社は東洋市場の統一を畫し、その巨大な資本を以て滿洲侵入となり、日清罈寸を始め吉林罈寸及び大連罈寸の三社を買収するに及び、滿洲罈寸界は純邦人系、瑞典系及び支那人系の三者鼎立して烈しき競争を演じ、遂に日支兩者は瑞典社のため壓迫され、支那人工場は休業するもの續出したるを以て、支那官憲は自國産業保護の見地を以て昭和六年より東北四省内に罈寸の專賣制を施行し、純邦人系及び支那人系工場を中心に東北罈寸同業聯合會を組織、省政府の委任を受け、各社協定比率によつて罈寸製造を行ひ、專賣局の定むる價格を以て日支同業者の出資に成る東北罈寸經理處なる機關の下に共同販賣をし、多年混亂せる滿洲罈寸界もやうやく平靜を得、專賣制とともに支那輸入關稅が從價四割に増額のため、外部より輸入は断たれたれども銀安による商況不振と專賣とを見越しての思惑買と價格暴騰のため需要激減し各社とも多大の製品を擲して苦惱せる狀態である。【以上二項、九年版關東廳要覽「に據る。』

現在、世界の文明國に飼育されつゝある豚の大部分は肉用種で、工業製品たる剛毛の發生を見ざるのみならず、熱帯地方産の豚毛は殆ど用をなさざる結果、世界の需要に對する豚剛毛の供給國は支那、滿洲、ロシアその他二三の寒地帯に止り、然も支那及び滿洲がその首位を占め、年々海外に輸出される、數量は約九百萬封度上り、全世界産毛量千六百萬封度の五六%を占め、中、滿洲産豚剛毛は約二百萬封度にしてその約四分の一に當つてゐる。